

図25 土器の出土位置(IWP-45)

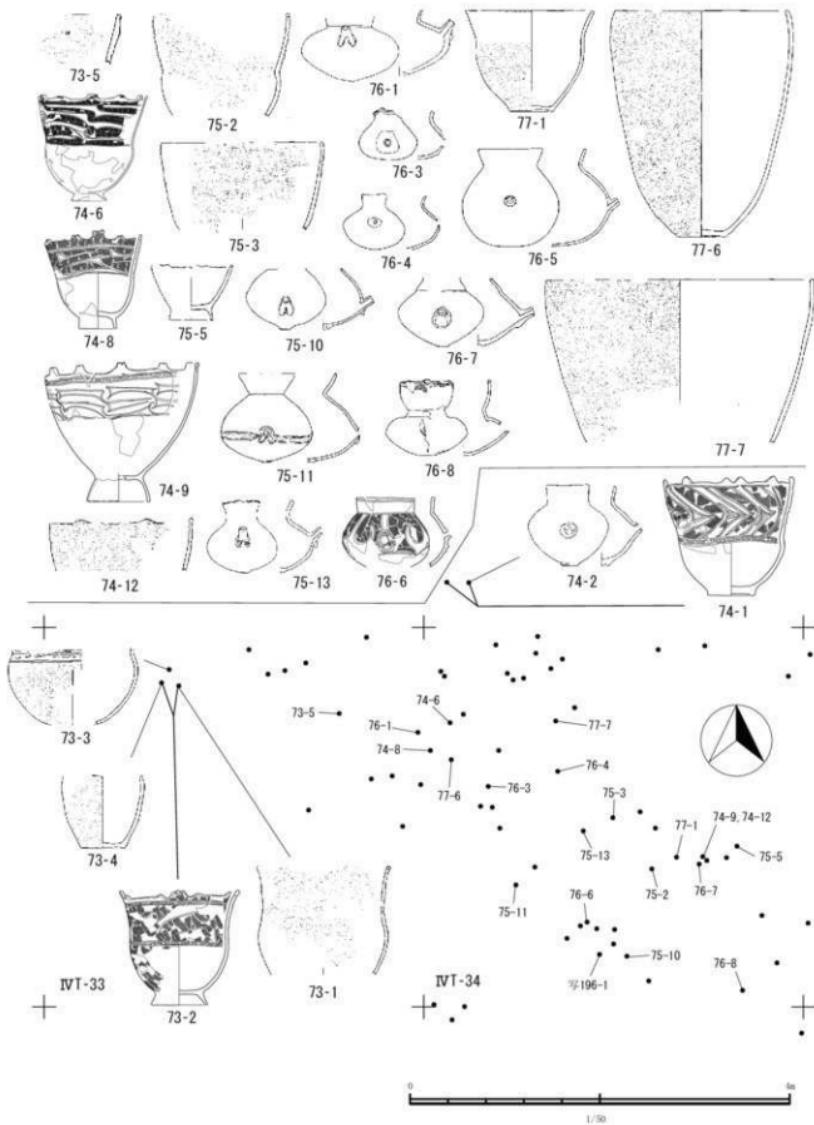


図26 土器の出土位置(IVT-33・34)

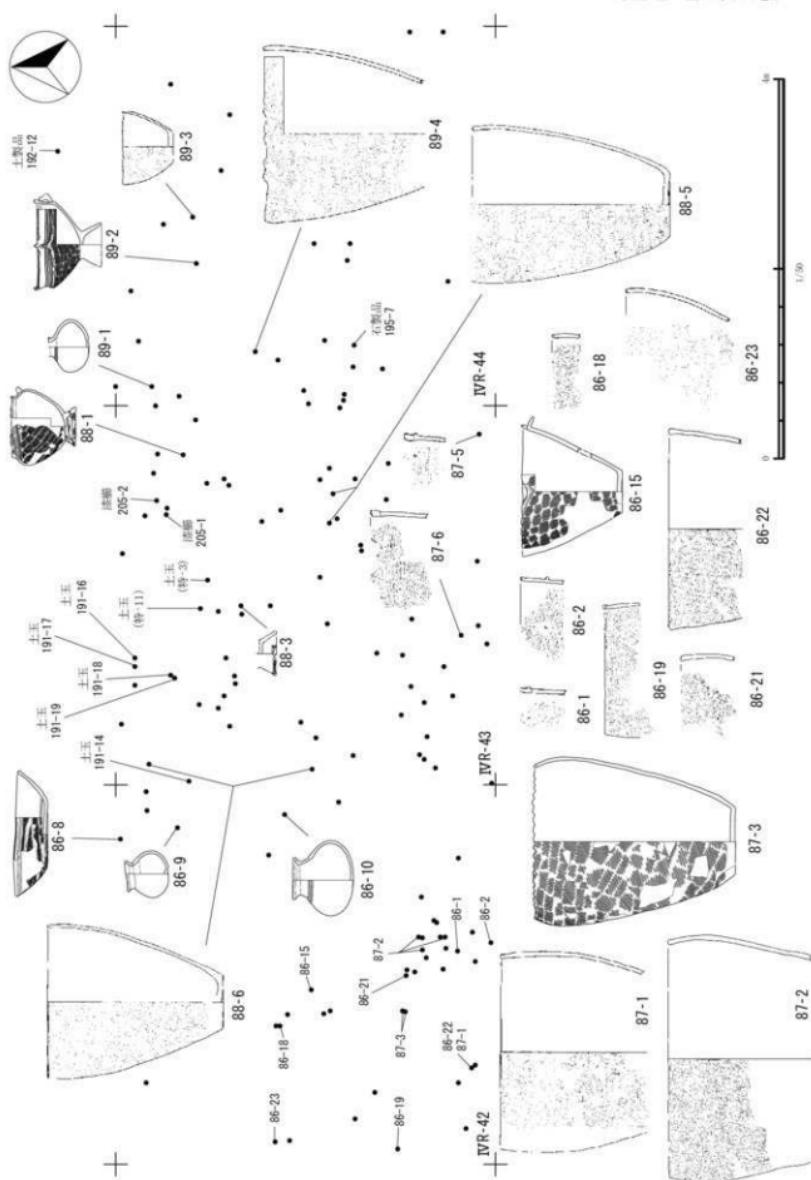


図27 土器の出土位置 (IVR-42~44)

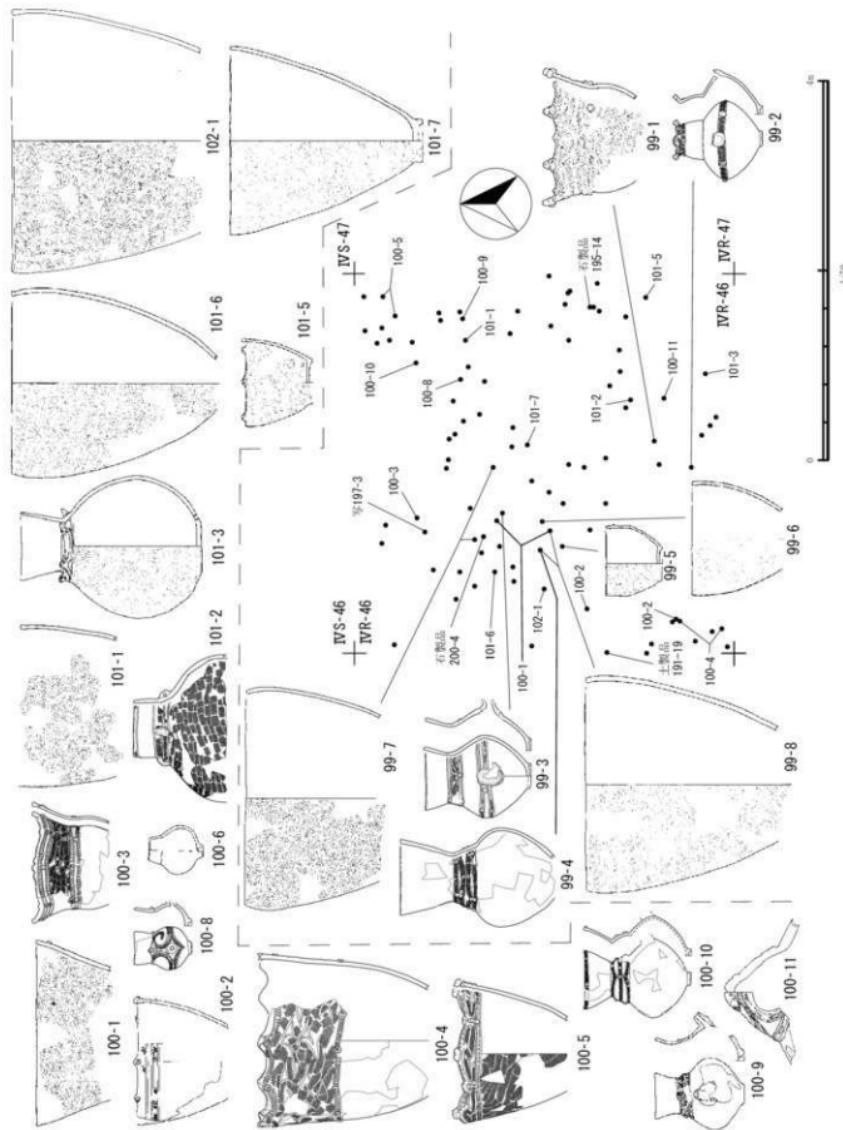


図28 土器の出土位置(IWR-46)

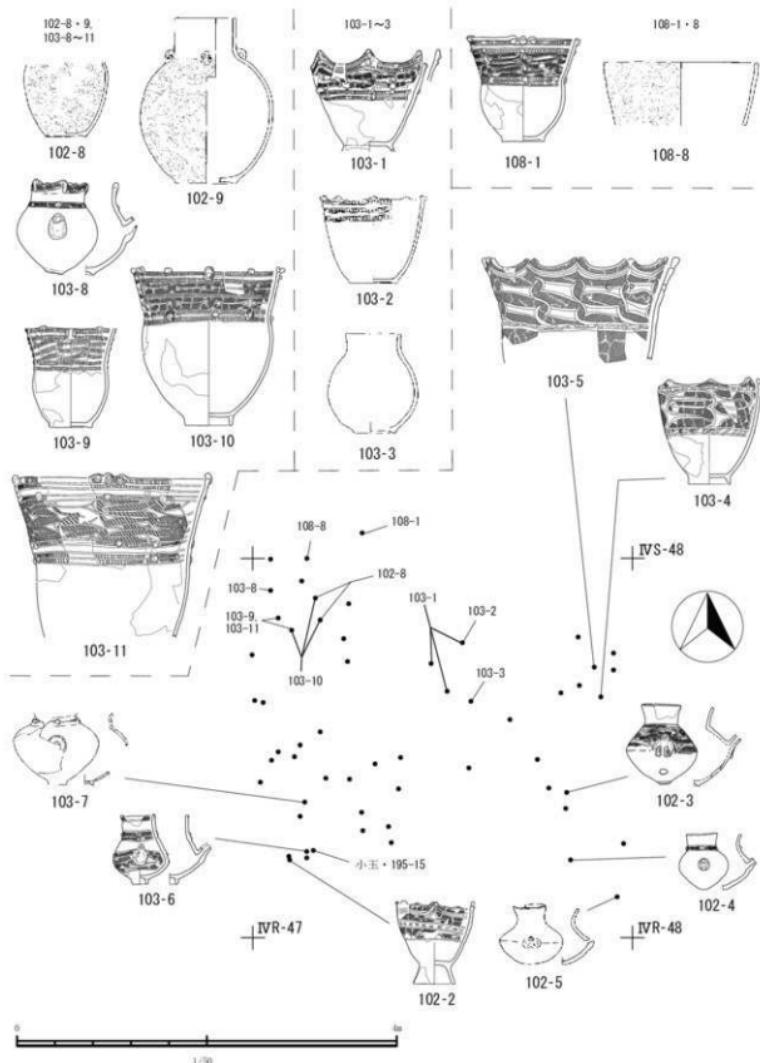


図29 土器の出土位置 (IVR-47)

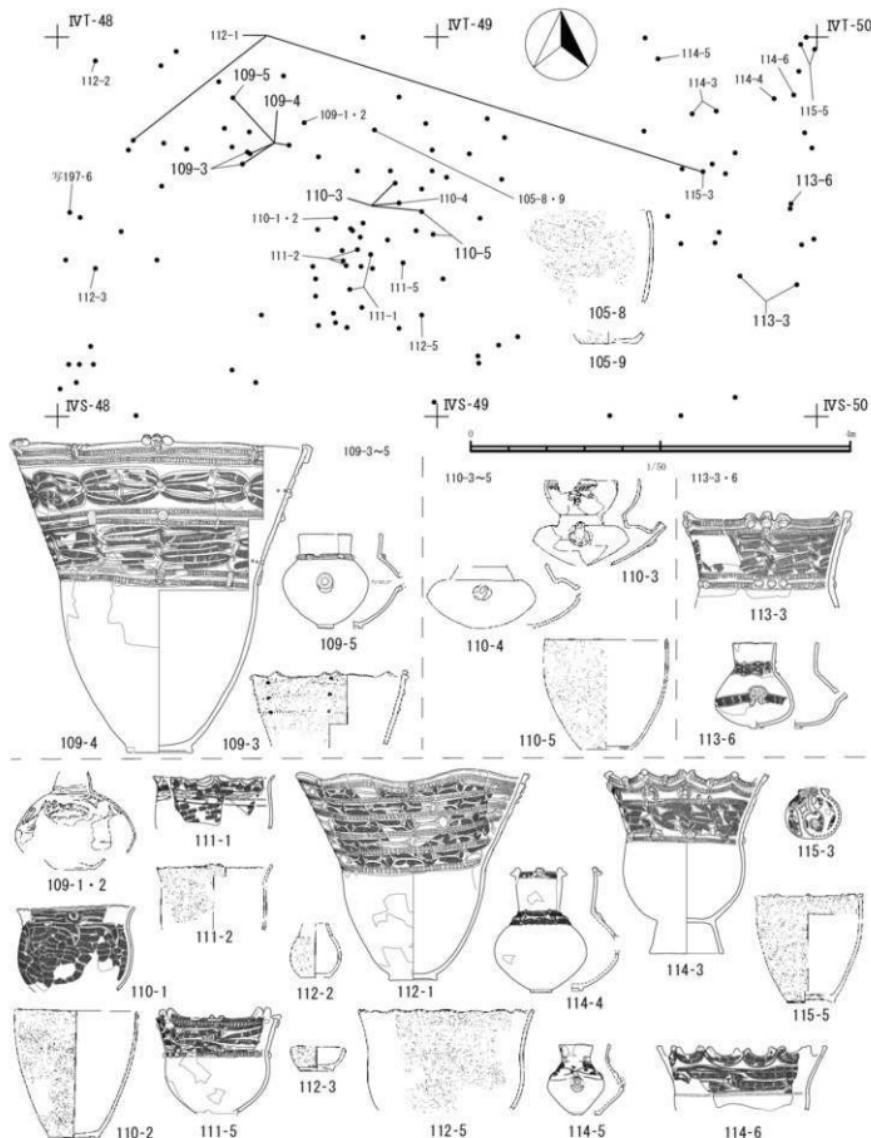


図30 土器の出土位置 (IVS-48・49)

6 剥片石器・自然礫・石斧

石器の分類は、弘前市薬師遺跡の報告（青理文編2014）に準じた。薬師遺跡は、本遺跡から距離的に近い縄文時代晚期の大集落で、石器組成の違い等を対比できるためである。しかし、平成23年度から26年度まで、複数の職員によって石器の整理が行われてきた経緯があり、細分は行わないこととした。そして、「ノッチ」（抉入削器）として台帳登録されていたものについては、削器に読み替える等整合性を図った。

ここでは剥片石器及び関連する石核転用敲石と、搬入された自然礫である原石、石斧について記述する。

【剥片石器】

剥片を素材とした石器で、掲載資料については器種ごとに分類し、観察表に記した。

石 鐵	石鐵としたものは、尖頭部をもち、先端部が薄く扁平な石器である。鐵身部先端の平面形態は基本的に二等辺三角形をなしている。掲載は尖基有茎鐵、平基有茎鐵、尖基鐵、平基鐵・凹基鐵・円基鐵・石鐵未成品（加工から石鐵と思われるが、形状が整わないもの）の順とした。
石 槍	尖頭部をもつ石器の内、左右対称形であり、石鐵と比較し大形で厚手のある石器である。
石 錐	尖頭部をもち、その断面形が三角形もしくは四角形の石器である。石鐵の先端部が比較的扁平であるのに対し、石錐は厚手である。摘みみを有する形態、棒状形態、剥片の一端に錐状の加工を有するもの、錐部断片の順に図示した。
石 筒	両面加工でほぼ左右対称の細長い形態で、長軸一端に直交する刃部が作出されている石器である。
両面調整石器	形状が整わず、器種の特定できない両面調整の石器を一括した。
石 匙	素材剥片の一端に一対のえぐり加工をいれ、つまみ部を作出し、刃部と判断できる縁辺をもつ石器である。つまみ部の位置から縦方向に長い刃部を持つ縦形石匙、横あるいは斜め方向に刃部をもつ横形石匙の順に図示した。
搔 器	急角度の刃部をもつ石器である。刃部の平面形態は外湾もしくは直線状である。
削 器	刃部と判断できる縁辺をもつ石器である。
両極石器	対向する縁辺から、バルブが発達せず、リングの密な二次加工や階段状剥離の二次加工で形成されている石器である。
二次加工剥片	部分的に加工がみられるが、器種を特定できない場合を二次加工剥片とした。大半は貝殻状剥離がみられる。
異形石器	機能よりも、デザインを重視して加工がなされていると判断される石器である。人・動物・三日月に類した形状などがある。黒曜石や鉄石英、玉髓など、色の付いた石材のものが一定量含まれる。
微細剥片	剥片の縁辺に微小剥離痕がみられる石器である。

- 石核** 目的的剥片を剥離したと思われる石器である。そして敲石類のうち、珪質頁岩製のものの多くは、石核を転用したと判断されるため、石核に統けて図示した。他の敲石と同様に、礫石器の中におき、縮尺率を3分の1にすると、小さな剥離の読み取りは難しい。また石器の変形を示す例となるため、石核としての履歴を考慮し、本報告書では剥片石器の中で記載することとした。
- 剥片** 二次加工や微細な剥離痕の認められない一群である。アスファルトが付着した資料も含まれる。特に微小なもの(碎片)は、図示していない。

【自然縫】

加工・使用痕のない縫であり、黒曜石、珪質頁岩などの原石、くびれ石や水晶などの搬入縫が該当する。原石や水晶片は図化を行わないが、一部は、写真撮影を行った。

【石斧】

- 磨製石斧と打製石斧に分類した。
- 打製石斧** 剥片や縫を素材とし、形状は細長い形態であり、石籠に類似する。打製石斧の刃部は剥離基部が大きく深くえぐられた剥離で構成され石籠の刃部加工と異なる。そして、より大形で厚みがあり、石材が粗粒玄武岩など、礫石器の素材となる石でも作られている。
- 磨製石斧** 研磨で最終的に整形し、長軸の一端に直交した刃部をもつ石器である。

【遺構外出土石器】

今回報告の区域は、縄文時代後期末から晩期にかけての土器に伴う限られた時間幅の資料であり、第I層とした表土出土の石器についても、時期は同一である。そのため各層のものと、遺構構築及び機能時のものとは限定できない柱穴出土の石器を一括して図示した。

石鐵 (図119～図123)

尖基有茎鐵が多く、凹基は少ない。石鐵ではアスファルトが完成品の指標となるため、付着するもの(図119から図120-50)から図示した。長幅比、全長と茎の長さの比率、加工部分の比率などに着目すると類型化できそうなものがある。例えば図119-29・30・32のように茎が長く、茎部へ向かうラインが丸みを帯びる物がある一方で、36・39・47のようにラインが角張るもの、図119-8・120-21のように刺突機能部の短いものなどがある。特筆すべきものとして、図119-9・15のように全長1.5cm前後的小形のものがあることである。これは、石核のなかに全長2cm程度の小形のものがあることに対応している。

図120-52～56は黒曜石製石鐵である。黒曜石製のものは、珪質頁岩製のものと形状では特に異なるが、全体的に小形である。また、その石質のためか、アスファルトの付着は確認できない。53は石錐にも類する。しかし珪質頁岩の産地では石錐に、軟らかい黒曜石よりも、より硬い珪質頁岩や

玉髓が選択される傾向にあるため石鐵とした。図121-1～図123-17はアスファルトの付着は明確に確認できないが、形状が整っており完成品の可能性があるものである。図123-14は、ほぼ正三角形で、本遺跡の多くの石鐵と形状が異なる。図123-16～17は剥片の周縁を急斜度で加工して三角形の先端を作り出している。図123-18～35は石鐵未製品の可能性がある。32のように側縁が非直線的なものや左右非対称な一群である。図123-36～47は未製品とした。42は平坦な剥離で押圧剥離によると思われるが先端部の作り出しが弱い。43～47は欠損部分を持つものであるが、加工途中の欠損の可能性がある。他は加工部分が少ないものの、形状と加工から石鐵との関係を推定し、石鐵未製品とした。

石 槍 (図124)

横長剥片を素材としたものが多いため厚みのあるものが多い。縦長剥片が多い石鐵と異なっている。図124-10・14～17は縦長剥片素材である。17は、素材剥片の湾曲が側面に現れている。12・13のように石鐵未製品の可能性のあるものもあるが、厚みがあるため本類とした。

石 錐 (図125～図127)

つまみを有する形態、棒状形態、剥片の一端に加工したものがある。つまみを有するものは、つまみ部分が左右非対称のものが多い。図125-1～5のように、上辺が錐先に対して斜めに位置するものがある。うち1・3～5は上面に礫面が残る。礫面を持つ横長剥片のより厚みのある礫面側をつまみ部にしているものである。一方で、図125-9・12のように打面側がつまみ部となっているものがある。棒状のものは、摩滅がみられるものが多い。摩滅は両端に残るものもあるほか、観察表に明記したもの以外でも可能性を感じさせるものが多い。剥片の一端に加工したもの(図127-44～50)については、つまみを持つものと同様に摩滅が観察できるものが少ない。

石 瓢 (図128～図129-12)

図128-1～3、図129-1のように、基部等に光沢をもつものがある。図128-1～3のように縦長剥片を素材とするものほかに、図128-4・6・10・図129-9のように横長剥片素材のものがある。大きさや形状の変異が大きい。長さが4cm前後の小型のものでは、図129-6・10・12のように刃部が半円状となるものがある。

両面調整石器 (図129-13～図130)

石槍や石瓢の未製品の可能性のあるものが多い。側縁は非直線的であるが、さらに細部を加工すると削器・搔器への変形も可能である。図130-10は端部に光沢があるが、他の剥離面より風化度が古く、礫面の可能性があるが、周囲の礫面より新しい。刃部は木形成である。図130-13は石瓢のように中央上部に光沢があるが、側縁・下部共に細部加工がなされていない。石瓢の刃部が欠損し、再加工のために裏面の下辺から剥離加工を行った可能性もある。しかし、刃部の作り出しじゃなされておらず、本類とした。

石匙 (図131～図143-7)

図131から図134-14までは縦形石匙である。うち図133-4までは、縦長剥片の打点側につまみ部を加工したものである。図133-5～7は横長剥片素材、図133-8～図134-14は素材剥片の末端につまみ部を作り出している。一方から連続して生産された縦長剥片を素材としたものが図131-22や図133-11、図134-7のように散見される。図134-15～図143-7は、つまみ部が刃部の斜め及び横に作出された横形石匙である。長さや幅が5cm未満のものは、抉り部にアスファルトの付着するものがほとんどみられないが、5cm以上のものでは図133-1・2・7・9等のように付着するものがある。

図134-2～7をはじめとして、加工がつまみの作り出しを中心として、刃部にほとんどみられないものが多数存在する。素材剥片の形状をとどめているため、石核との対比ができる。また、つまみ部を素材剥片の、どの部分に作り出すのか把握できる。そのため図示点数を他のものより若干多くした。

また、つまみ部を二つもつものがあり、上下(図132-6)に位置するもの、左右(図137-15、図138-2)に位置するものがある。つまみ部については、刃部に向かない縫面付近の軟質部に作り出したもの(図138-3など)、縫面をつまみ部の上部に残すもの(図138-11など)がある。

搔器・削器 (図143-8・図143-10～図146-18)

図143-8は中央部に、10は刃部にアスファルトが付着している。図146-4も同様であるが、刃部に付着するものは、その掻き取りに使われた可能性がある。図143-11は、石刃状の縦長剥片の末端を腹面側から折り取るよう加工して、側縁を刃部としている。図144-1～4は搔器である。1・3の側縁は削器としての加工がなされている。縄文時代草創期に類似する形状のものがあるが、両者とも特に風化が進んでいるということはないため、後期末から晩期の搔・削器の多様性のなかで理解したい。また、素材剥片が縫面や縫面付近の軟質部を持つ場合、図145-1・2のように凝灰岩質の軟質部をさけて、珪質頁岩の良質な部分を刃部としている。図146-5～8は、一側縁にアスファルトが付着した削器である。秋田県平鹿遺跡など秋田県内に類例が多いが、本遺跡周辺では弘前市薬師遺跡から同様のものが出土している。図146-9は石槍状の大きさであるが、正面右側の側縁付近に表裏とも光沢があり、同様の削器と考えられる。

両極石器 (図146-19～図147-3)

図146-19は基部付近の断面が逆台形状であり、基部正面側が両極打法により加工されている。²⁰は正面下側が縫面に近い比較的軟質の部分であり、楔としての使用よりも、両極石核の可能性がある。²¹は側面の厚みがなく、両極剥片の可能性がある。

図147-1は対向する2辺に両極打法に伴う剥離痕がみられるが、刃部は未形成である。器体を薄くする加工に両極打法が使われたと考えられる。2は正裏ともに上部に階段状の剥離が顕著である。下部に対向する階段状の剥離がないことから、下端部が削片として割れ落ちて、欠損した可能性がある。3は上下に階段状の剥離がみられる。

二次加工剥片（図147-4～図148）

図147-5～図148-3は石器・小型削器・石錐の未成品の可能性がある。石錐未製品の可能性があるが、目指す器種は特定できず、小型削器の可能性があるものも含む。図148-7・8は、器体中央に向かい合う抉り加工を持つ。図148-11～17はアスファルトが付着している。刃部に付着するものは、その挿き取りに使われた可能性がある。

異形石器（図149）

図149-2は上部を欠失しているが白に近い黄灰色であり、突起の存在から異形石器とした。図149-3～6、8は人が動物の形を意識していると思われる。図149-19はサメの歯の形に、そして秋田県増田町八木遺跡で命名された「嘴状石器」の中の一部に類似する。基部形態は異なるが、基部にアスファルトの付着したものが青森市三内丸山遺跡の第9次調査区（縄文時代中期後半）から出土している。

図149-20は、石核を素材として、中央部に左右から加工している。実用性をもたせた加工とすると、石鎚への転用品の可能性がある。しかし、中央の断面の線付近を中心に上下でほぼ線対称となるので、本類においた。

微細剥片（図143-9・図150）

微細な剥離痕のある剥片のうち、大形のものとアスファルト付着のものを中心に図示した。図150-2の打面は非常に小さく幅6mmである。図150-6は、石刀状の縦長剥片を素材としているが、剥片剥離軸は非直線的である。

石核及び石核転用敲石（図151～図160）

図151-1～15は黒曜石製である。原石は大きなものでも10cm未満と考えられ、礫面が残るものが多い。2・11は最後に上下から、14は左右から両極打法で剥離した痕跡が残る。図151-16～図153-4は縁辺から求心的に、剥片を剥離していくものである。剥片剥離は、全体として裏面の礫面に向かって進行する。長さが数cm程度の小形の石核の多くは、礫面からの淡黄色(2.5Y8/3前後)の軟質部が1～2cm内部に続くものがあり、軟質部が近づいた時点で剥離が終了するものが多い。図153-5～9は両刃礫器状に交互に剥片を剥離している。6は軟質部と正面左側の節理を避けながら剥片が剥離されている。図154～図158-9は、求心的な剥片剥離を基本としながらも、打面転移を頻繁に行うものである。そのうち図157-1～5は、最終形の一端が尖る部分を持つ。

図158-1・6～9のような小形の石核が、原石の小さな黒曜石ばかりではなく、珪質頁岩にも存在する。これは、石器の項でも述べたように長さが1.5cm～2cm程度の小形品（図122-45～47など）と対応するものと考えられ、小さな剥片でも目的的剥片となりうる。

図158-10～図160は、石核を転用した敲石である。珪質頁岩の礫を直接敲石として使用し、剥落が生じたものと事実上の区分がつかない。しかし、それらは少數であると判断されるため、一括して取り扱う。図158-11のようにごく一部にのみ敲打痕がみられるもの、図159-5のように剥離が敲打痕からの剥落を主体とするものがある。図159-2は、ほぼ全面が敲打痕におおわれている。

剥片・接合資料（図161）

図161-1・2は同一グリッドから得られた接合資料で、1は5点の、2は3点の接合品である。1と2は、同一母岩であるが、両者をつなぐ剥片がなく、接合しない。図161-3は、両面加工の石器の製作途上で生じるポイントフレイク、図161-4は黒曜石製の両極剥片である。図161-5～14は、アスファルトの付着する剥片である。その挿き取りに使われたためか、縁辺を中心にして付着している。

自然礫

加工・使用痕のない礫であるが、搬入品として選択されたと考えられる。

黒曜石、珪質頁岩などの原石、水晶、赤色顔料塊なども含まれる。これらは図化を行わなかったが、一部は、写真218で掲載した。

打製石斧（図162）

図162-1は緑色凝灰岩製であるが、硬質である。図162-2は正面の礫面に若干の光沢があるが、使用に伴うものか不明である。また、基部は長く、抉りの形成される部分の両側縁は潰れが顕著である。図162-3は、粗粒玄武岩製で正面の礫面の刃部付近に摩耗が認められる。

磨製石斧（図162-4～図165）

粗粒玄武岩、デイサイト、砂岩、凝灰岩、緑色凝灰岩の石斧を先に置き、遠隔地石材である緑色岩製のものを図165-2～10に置いた。

黒曜石製石器

黒曜石については、今回の刊行範囲内で1,029点以上出土している。今回の報告では石鎌5点、異形石器2点、石核、微細剥片及び剥片の一部を掲載した。内眼的にはつがる市出来島産（岩木山系）のものが多数を占める。産地分析は今後、遺跡全体を見渡したうえで試料を選定し、実施する予定である。分析を終え、最終報告書のなかで今回報告範囲についても遠隔地産のものなど必要な石器の図示や写真掲載を行う予定である。

原石は円礫・角礫両者の利用が認められる。近隣の大川添（4）遺跡では黒曜石剥片が早期前葉の深浦産の1点を除き出土しておらず、本遺跡とは対照的である。

写真図版で紹介した石器（写真217・218）

写真217・218は写真図版での紹介資料である。原石、アスファルト付着品、礫面付近の軟質部分を持つが珪質頁岩の部分を生かした削器、ジャスパーなどの色鮮やかな石材を用いた石器などを中心に紹介する。主に写真での紹介に適した資料であるが、一部、図化予定を変更したものを含む。写真217-1・2は、主に正面側の縁辺を加工して整形した石鎌で、図123-16・17と同類である。写真217-4は長さが約1.5cmの小形の石鎌である。写真217-5は鉄石英製の石錐の基部である。写真217-6～8は、アスファルト付着品である。7・8は、つまみ部に相当する基部に加工がある。石錐の未成品のように見えるが、横型石匙と同様のアスファルトの付着痕跡を持つ。

（齋藤）

7 磨石器

分類基準は以下のとおりである。

磨石 磨面を主体とするもの

円礫、楕円礫、俵状の形態で、器面には滑らかな磨痕が見られる

1類 磨痕のみ

A：片面に磨痕 B：両面に磨痕

2類 磨痕＋アバタ状の打痕（1類の磨痕の中にアバタ状の打痕が見られるもの）

3類 磨痕の中に凹孔が見られるもの

4類 全面に磨痕；円礫

5類 トチノキ石に似る

6類 スリコギに似る 棒状礫の端部に磨痕（敲石の形態）

7類 扁平磨石またはこれに類似した石器

8類 上記以外

敲石 敲痕を主体とするもの 敲打痕と凹痕との区分は凹の深さによる

1類 扁平礫、棒状礫の端部に打痕

2類 小繩素材で扁平気味の円（楕円）礫の平坦面に打痕

3類 扁平礫、楕円球状礫の片面にアバタ状の打痕。凹石的でもある

4類 端部が丸みを持つ円柱状、俵状の形態の石器

5類 平面が隅丸長方形で厚みのある石器で4面に打痕

6類 円礫素材で、周縁に打痕

7類 扁平礫の側縁に打痕（磨石形態）

8類 全面打痕のもの

凹石 凹痕を主体とするもの

1類 凹孔のみが見られる石器

A：1面に見られるもの B：2面に見られるもの C：その他 3面以上

2類 凹孔＋磨痕

A：1面に見られるもの B：2面に見られるもの C：その他 3面以上

3類 凹孔＋敲き痕

A：1面に見られるもの B：2面に見られるもの C：その他 3面以上

石皿 磨面が中心となる板状の大型礫石器

1類 板状筋理の素材を利用 薄板状で割れやすい

A：片面利用 B：両面利用

2類 1類以外の素材とする石皿で周縁に縁が見られるもの

3類 1類以外の素材とする石皿で縁のないもの

台石 敲打痕が中心となる板状大型礫石器

砥石 筋状や湾曲のある平滑面をもつ板状もしくは不整形の石器

磨 石 (図166～図168-7)

磨痕を主体とする石器である。237点出土した。これには、球状(円錐)礫や厚みのある円錐、楕円錐等の器面に磨痕が見られるものもほか、扁平・棒状・柱状礫等の器面や端部に磨痕が見られるものがある。多数を占めるのは、厚みのある円錐や楕円錐の片面あるいは両面に磨痕が見られるものであるが、両面に見られるものが多い。また、磨痕とともに線状痕やアバタ状の打痕ないしは凹孔が見られるものもある。これらの磨石の中には赤色顔料の付着が見られたものは8点あるが、これについては後述する。

扁平礫を素材としたものは一般的に扁平磨石と呼ばれているもので、側面に磨痕あるいは打痕、平坦面には凹痕(凹孔)が見られる。棒状あるいは柱状礫の類では、端部に磨痕が見られる(図168-5～7、図1-26 [SI02出土])。このうち、図1-26・図168-7はトチノキ石(あるいはトチムキ石)に似た石器である。石材には11種類が認められた。多い順に記述すると安山岩95点、凝灰岩40点、花崗閃緑岩31点、緑色凝灰岩25点、粗粒玄武岩23点、デイサイト12点、玄武岩4点、斑岩4点、流紋岩1点、閃緑岩1点、礫岩1点である。

凹 石 (図168-8～図174-5)

凹痕を主体とする石器である。591点出土した。礫石器の中で半数近くを占めている。大半は扁平礫を素材とするものであるが、厚みのある円形、楕円形の礫や棒状礫のものを用いているものもある。凹痕は扁平礫の両面に見られるものが多数を占めているが、片面にのみ見られるものもある。また厚みのある礫や棒状礫の中には、3面以上の面に凹痕が見られるものもある。凹痕の数は2個から3個見られるものが多いが、中には多数の凹痕が連なって溝状を呈しているものある。また、両面に凹痕が見られる場合は、表裏面の対応する位置に見られるものが多い。凹痕の深さには、1mm前後の浅いものから10mm前後の深いものまであるが3～6mm前後のものが多く、中にはすり鉢状を呈しているものも相当数みられる。石材には10種類が認められた。緑色凝灰岩302点、安山岩の126点、凝灰岩91点、粗粒玄武岩38点、デイサイト24点、流紋岩1点、玄武岩4点、斑岩2点、ひん岩2点、砂岩1点である。

敲 石 (図174-6～図174-25)

敲打痕を主体とする石器である。104点出土した。中には、敲打痕と凹痕との区分が紛らわしいものもあるが、ここでは凹みの深さによって区分した。敲打痕は、円錐の全面や側縁、扁平礫の平坦面や端部・側縁、棒状礫の端部等に見られた。また、凹痕の周辺には滑らかな磨痕が見られるものもある。石材には8種類が認められた。安山岩33点、花崗閃緑岩15点、凝灰岩21点、緑色凝灰岩17点、デイサイトの10点、玄武岩1点、粗粒玄武岩6点、閃緑岩1点である。

石 錘 (図175-1～4)

4点出土した。扁平礫を素材とし、長軸側縁に抉りをいたしたものと短軸側縁に抉りを入れたものがある。石材は、安山岩1点、粗粒玄武岩2点、凝灰岩1点である。

礫 器 (図175-6~9)

5点出土した。棒状に加工したものや、角礫の一端に刃部を作出したもの、円礫の一端に刃部を作出したものがある。石材はデイサイト2点、珪質頁岩3点である。

砥 石 (図175-10~図176-4)

筋状や湾曲のある平滑面をもつ板状もしくは不整形の石器である。6点出土した。筋状の痕跡を持つものは、いわゆる有溝砥石と呼ばれるもので、3点出土した。図175-10は板状の縦を素材としたもので、3本の溝状の砥ぎ痕が見られる。石材は安山岩である。図176-1は、全面に他方向からの砥ぎ痕が見られるもので、研磨による消耗度が激しい。石材は凝灰岩である。図176-2は板状の縦を素材とし、溝状の砥ぎ痕が斜交するように見られる。石材は凝灰岩である。図176-3・4は板状の縦を素材とし、3は片面、4は両面に平坦な砥ぎ痕が見られる。石材は凝灰岩である。このほかに、SN39から出土した石皿の裏面には砥石として利用されたと思われる溝状の痕跡が見られる。

石 皿 (図176-5~図179-5)

石皿は板状節理の板状縦を利用したものと、大型の縦を利用したものがある。前者の石質は安山岩およびデイサイトであるが、厚さ2~3cmの薄板状で、割れやすいという特徴がある。そのため形状には一定のものではなく、破片となっているものも多い。片面を利用したものと両面を利用したものがあるが、前者が多い。なお、この類の石皿は大小含めて47点出土しているが、個体数は不明である。大型の縦を素材とするものには、周縁に縁が見られる有縁の石皿と無縁の石皿がある。191点の出土があるが、前者は27点、後者は121点で、どちらに属するか不明な破片が43点である。また完形品は前者が27点中4点、後者は121点中27点で、破損品が多い。赤色顔料の付着が見られた石皿は14点であるが、これについては後述する。また、黒色のタール状物質の付着が見られたものは2点ある(図177-2、図178-4)。石材には9種類が認められた。最も多いのは安山岩の140点であるが、これは前述の板状節理の破片が多いためである。これ以外では緑色凝灰岩55点、凝灰岩18点、デイサイト12点、花崗閃綠岩6点、縦岩2点、粗粒玄武岩2点、斑岩2点、閃綠岩1点がある。

台 石

62点出土した。石材には5種類が認められ、多い順に安山岩27点、緑色凝灰岩26点、花崗閃綠岩4点、デイサイト3点、凝灰岩2点である。

赤色顔料が付着している石器 (図180・181)

赤色顔料が付着している石器には磨石、凹石、石皿がある。このうち、図180-7~9の石器に見られる赤色顔料は器面のごく一部に痕跡的に見られるものであり、使用に伴って付着したかどうか疑わしい。また、同じことが石皿の破片にも見られるものが1点ある(未実測)。これらの4点を除くと、使用に伴って顔料が付着したことが確実な石器は磨石6点、石皿13点である。ほとんどが遺構外から出土したもので、遺構に伴って出土したのは第9号配石遺構(SQ09)の石皿1点のみである。

使用によって赤色顔料が付着した磨石は、厚みのある円縦、楕円縦を素材としている。顔料の付着

は、器面の全面に見られるもの(図180-3)や平坦面の両面と片面に見られるものがある。図180-1では片面に顕著である。図180-2は平坦面にも痕跡的に見られるが、とくに側縁に顕著である。図180-3では両面を中心に見られるが、とくに凹みのある面に顕著で、裏面では薄く痕跡的である。図180-5は両面の磨痕を中心として見られる。図180-6は平坦面より側縁部に顔料の付着が顕著である。石材はディサイト、凝灰岩、緑色凝灰岩、斑岩、花崗閃綠岩がある。

石皿は13点のうち、板状節理の素材を用いたもの9点と無線の石皿4点に赤色顔料の付着が見られた。図181-5は中央のくぼんだ面に薄く見られたがその周辺では馬蹄形状に色濃く見られ、開いた部分ではこれより若干薄く見られる。

さて、上記の石器は赤色顔料そのものが付着した例であるが、図181-3の場合はいくぶん様相が異なっている。板状縫の表面には樹脂状の赤色と黒色の物質が斑状に、そうでない部分では赤色顔料や黒っぽい煤状の物質の付着が観察できる。分析していないので不明であるが、樹脂状の物質は赤漆と黒漆の可能性があり、この板状縫はパレットとして使われた可能性がある。石材は安山岩である。

(畠山)

表5-8 磨石器の組成

石 材	磨 石	凹 石	敲 石	石 錘	礪 器	砥 石	石 皿	台 石	小 計
流紋岩	1	1	0	0	0	0	0	0	2
ディサイト	12	24	10	0	2	0	12	3	63
安山岩	95	126	33	1	0	2	140	27	424
玄武岩	4	4	1	0	0	0	0	0	9
斑 岩	4	2	0	0	0	0	2	0	8
ひん岩	0	2	0	0	0	0	0	0	2
粗粒玄武岩	23	38	6	2	0	0	2	0	71
花崗閃綠岩	31	0	15	0	0	0	6	4	56
閃 緑 岩	1	0	1	0	0	0	1	0	3
砂 岩	0	1	0	0	0	0	0	0	1
礪 岩	1	0	0	0	0	0	2	0	3
凝灰岩	40	91	21	1	0	4	18	2	177
緑色凝灰岩	25	302	17	0	0	0	55	26	425
珪質頁岩	0	0	0	0	3	0	0	0	3
点 数	237	591	104	4	5	6	238	62	1,247
割合 (%)	19.0	47.4	8.3	0.3	0.4	0.5	19.1	5.0	100.0
重量 (g)	165,926	239,245	58,411	491	3,432	8,681	872,681	252,310	1,601,177

※石皿は破片数もカウントしていることから、この数字が個体数を表すものではない。

とくに割れやすい板状節理を素材とする石皿には多数の破片がある。

8 土 製 品

土偶は、顔の表現・全体の特徴から、後期末から晩期中葉ごろに比定される資料である。他の土製品も出土状況などから、当該時期のものと思われる。

土 偶 (図182~188)

図182-5は中空の遮光器土偶である。頭に角状の突起の形をした髪飾りが形成されている。眼部と口部ともに隆帯で楕円形に囲んで表している。眼部には隆帯部分の上に刻みが施されている。後頭部には透かし孔がある。体部の正面側には両肩から推定で脇にかけて三角形状の隆帯がみられ、隆帯の上に刻みが施されている。下半身は欠損している。江坂輝弥(1960)の第4類土偶、藤沼邦彦(1997)の角状の突起がついた土偶に相当する。図182-1や図182-2は、同じ種類の遮光器土偶の右眼部分である。図182-4は角状突起である。図182-8は口である。図182-6は小形の遮光器土偶の頭部である。顔面は欠損している。図182-7は土偶の部品と思われる。図182-3は遮光器土偶の右眼である。

図183-1は中空の大形土偶である。胴部に比して頭部が大きい。眼部と口部ともに隆帯で楕円形に囲んで表している。口部は穿孔があり、内側に貫通している。頭頂部に開口部がある。背中には沈線で入組文風に文様を描いている。下腹部(脇部)は出ている。図183-2は遮光器土偶の頭部から背中にかけての部品である。図183-4は中空土偶の右肩、図183-3は中空土偶の脚部である。

図184-1は遮光器土偶の下半身部分と思われる。体部中央下よりに脇を表現したと思われる突起がついている。下面には穿孔があり、内部とつながっている。図184-2~8は土偶の部品と思われる。一部は図184-1と同一個体と思われる。

図185-1は中実土偶の頭部である。吊り上った眼をしている。眼部と口部ともに隆帯で楕円形に囲んで表している。眼部の隆帯部と、頬部、頭部、髪飾り部の沈線で囲まれた範囲に繩文が施文され、さらにこの部分は赤彩されている。環状の耳がつき、中央には孔がある。図185-2は上述の頭部と同一個体と思われる上半身部である。背中に入り組んだ三叉文状の文様が展開している。肩や肘などの関節部が肥厚し、繩文が施文されている。この肥厚部に顎著に赤彩がみられるが、沈線内にも残されている部分があるので、本来は全面赤彩されたと思われる。図185-3、図186-1はその腕と推定される。

図186-2は土偶の頭部である。吊り上った眼を表現しているなど、頭部の作りは図185-1と類似している。眉、頬、髪の部分に繩文が施文されている。首部分の内部が空洞であり、口の孔とつながっている。図186-3は腕部であろうか。

図187-1と図187-3は小形の中実土偶である。図187-3は体部中軸に貫通孔がある。図187-2は胴部であり、妊娠線と思われる中軸の沈線がある。その部分に赤彩がみられる。また左腕の破損部に、黒色の付着物がみられる。アスファルトであろうか。

図188に掲載されているのは土偶の部品である。1~5は髪飾り、6・10は腕部、7~9・11は不明部分である。

耳 飾 り (図189～191)

臼形(図189-1～5)が出土しており、図189-1は玉抱き三叉文の文様を持つ赤彩の耳飾りである。図189-2は弧状の沈線文と、弧状モチーフの間4か所と耳飾りの中心に小孔がある。沈線内に赤彩が残されている。図189-3と図189-4と図189-5は素文である。図189-3以外は中心に孔がみられる。

中心に孔のない車輪形(図189-6～10)について、図189-8は刺突文があり、刺突部に赤色の顔料が付着している。鼓形(図189-11・12)も出土している。

中心に孔がある環状の耳輪(図189-13～17、図190、図191-1～4)があり、大半は素文である。図189-14、図189-17、図190-1など刺突文や沈線文モチーフのもある。

断面が三角形のさらに薄い環状の耳飾りと思われる多数の断片資料が出土している(図190、図191-1～4)。

1点耳栓形態の耳飾りが出土している。

玉 類 (図191)

赤彩の玉が出土している。図191-5、図191-6など突起をもつ星形、図191-7、図191-8など歯車形状の玉、側面に沈線で螺旋状のモチーフを持つ図191-9などがある。図191-5はそれぞれIVQ-45、IVV-33と20m近く離れた地点から出土したもの同士が接合している。図191-11、図191-12は勾玉状の小さな玉、図191-13～18は小形の土製の玉である。すべて赤彩されている。

垂 飾 品 (図191)

図191-19はイモガイを模した垂饰品である。

ミニチュア土器・その他(図192)

ミニチュア土器として、壺、注口土器、鉢などが出土している。図192-12は棒状の芯に隆帯をつけ、C字文風モチーフを表現している。他に不明瞭な土製品が出土している(図192-13～18)。

土製円盤 (図193～194)

縄文地文の素材が多く、数点底部を素材としている。図193-4、図193-30、図194-6などは文様部分が土製円盤に加工されている。

(高橋)

9 石 製 品

石製品と選別したものは総数452点出土した。下記のとおり形状や加工状態などの特徴により分類し、記述する。なお、各分類の分布状況には際立った特徴は認められず、対象範囲の南東と南西隅付近を除く範囲に広く分布している様子が見られた。

岩 版 類 (図195-1~10)

板状の凝灰岩等の軟質な石材を用い、器表面に整形時の擦痕と沈線による文様が見られるものをまとめた。

図195-1~6はいわゆる岩版に分類されるものである。3が完形に近いがその他は破損している。1・3・4・6は脇または下腹部・正中線などの表現が見られるため、人体をイメージしていると考えられる。6の正面中央部には黒色物質が付着している。主な文様としては入り組み文や満巻き文の他、3では三角形状の文様なども見られる。1と4では背面の表現も積極的にされているが、その他では擦痕が見られるだけである。

図195-7~10は表面に十字・放射状その他の沈線が見られるものである。7の沈線は縦横ともに全周している。8の沈線は表面のみ施されている。9の正面には細く浅い沈線が主に下半部に見られる。10の正面の沈線は、最初に中心部を通る十字が施され、その後放射状の沈線が施されている。

有孔石製品 (図195-11~30)

緑色凝灰岩、凝灰岩、軽石等の石材を用い、器体の一箇所ないし複数箇所に貫通孔ないし盲孔が見られるものをまとめた。

図195-11~21は玉類とその未成品と考えられる。翡翠や緑色凝灰岩等を素材とした直径1cm程度の玉である。図195-11~16は完成品で、孔が貫通している。11と12は片側から穿孔されているが、その他は両側からの穿孔である。17は盲孔であるがほぼ完成品である。18~21は素材に穿孔途中もしくは素材そのものである。

図195-22~28は垂飾品と考えられる。22・23は軽石を用いている。孔は片側からの穿孔により貫通している。24は凝灰岩製である。全体形状は不明であるが、ブーメランのような形状をしている。表裏面及び側面は盲孔と沈線により加飾されており、作りは非常に丁寧である。表裏面の盲孔は形状に沿って2列あり、それぞれが表裏で対になる。また、孔の直径が大きい列と小さい列が見られ、大きい孔は貫通直前まで穿孔されているものが多い。側面には盲孔列とその間を埋めるように×状の沈線が施されている。盲孔の内部には赤色顔料が残存している。26~28には複数の貫通孔が見られる。26と27は湾曲した素材を用い、端部や中央付近に両側からの穿孔による貫通孔が見られる。26の正面には赤色顔料が塗布されている。28は粘板岩製で扁平に整形されている。

図195-29・30は垂飾の未成品と考えられる。29はマンガンノジュールに穿孔を試みているものである。30は盲孔の周囲に敲打痕が見られる。表面には擦痕も見られる。

円盤状石製品（図196～198）

凝灰岩・板状の安山岩・デイサイト等を素材とし、敲打・剥離・研磨等の整形により円形ないし多角形に仕上げられたものをまとめた。

図196-1～5は直径が3cm程度、厚さが5mm～1cm弱程度で全面が丁寧に研磨されたものである。横断面形は長方形である。4の中央部には浅い盲孔が見られる。6は側面のみ研磨されており、直径が5.6cmと大きい。

図196-7～図197-11は側縁を片面からまたは両極打撃による急角度調整で整形されているものである。直径は3cm程度から、大きいものは直径9cm程度のものがあり、4～5cm程度のものが多い。平面形状は小型のものは円形を呈するものが多く、大きいものの一部に剥離が全周しないものや多角形を呈するものなどがある。概して小さいもののほうが丁寧に製作されているようである。横断面形は側縁の剥離角は急角度であるため、台形ないし長方形を呈するものがほとんどである。剥離の稜線が磨耗しているもの（図196-7・8・11・12・22）、整形剥離の後敲打調整が施されるもの（図196-17・24・32・図197-8～11）がある。また、表面に黒色物質（図196-25）や赤色顔料（図196-26）等が付着しているものもある。剥離の稜線が磨耗するものについては、裏面側の縁辺部が強く磨耗しているものが見られるが、用途を推定するための材料となるかどうかは不明である。

図197-12～図198-14は側縁の整形剥離が両面から施されることで、横断面形が楔形を呈するものである。直径は4cm～7cm程度のものが見られる。平面形状がきれいな円形を呈するものは少なく、多角形状や楕円形状のものが目立つ。整形剥離の後に敲打調整が行われているもの（図198-5～7・11・12）がみられる。特殊なものとして、黒色物質が付着するもの（図198-4）や、表面に擦痕が見られるもの（図198-11・12）がある。

石棒・石剣・石刀類（図199～202）

柱状ないし棒状の粘板岩、安山岩等の石材を用い、敲打や研磨整形を用い各種の形態を形作っているものをまとめた。これらは被熱しているものが多く含む。

図199・図200には体部の横断面形が円形ないし楕円形のもの、もしくは男性器を模倣したと思われるものをまとめた。いわゆる石棒と呼ばれるものである。

図199-1・2は小型で男性器を模倣したと考えられるものである。図199-1は凝灰岩製の反りのある素材の上端付近と正面中央に沈線が施されている。沈線内には赤色顔料が塗布されている。2は砂岩製で剥離・敲打整形により上端部付近に括れが作出されている。正面には擦痕も見られる。

図199-3～図200-3は粘板岩等を素材とし、敲打・研磨により整形され、横断面形が円形、楕円形、隅丸方形のものである。体部の一部に帯状の敲打痕や沈線による区画が見られるものもあり、柏子所型石棒と呼ばれるものを含む。図199-3・4は傘状の頭部を持つ。4の頭部には平行沈線の他に円形の沈線が表裏それぞれに2個一対施文されている。5の頭部には遮光器土偶の目のような文様が施されている。また、頭部直下には両端に貫通孔がある。図199-6・7・10・11・15・図200-2などには帯状の敲打痕や沈線が見られ、敲打痕を縁取る沈線が見られるものもある。この部分から下位が柄部と見られる。また、沈線間にX字状の沈線が見られるものもある。11は折損したものの破断面を研磨し再加工しているものである。図199-16や図200-2の先端部分には磨耗痕が見られる。

図200-4～6は大きめな安山岩等の棒状鍬を用い、敲打と一部研磨により整形されたものである。被熱しているものが多い。

図201には棒状の粘板岩等を素材とし、敲打・研磨により整形され、横断面形が菱形、レモン形のものをまとめた。断面形状から石剣と呼ばれるものである。断面形状以外は図199-3～図200-3の粘板岩素材の石棒とあまり変わらない。先端部付近に帯状の敲打痕と沈線の縁取りが見られるものがあり、この部分から下部が柄部と見られる。熊登型石剣と呼ばれるものを含んでいる。1・8は折損した破断面を再度研磨整形している。6は断面形状が扁平で、下端部がすぼまり柄の作出があるため石刀に分類される可能性がある。7～12の先端部は磨耗している。13も扁平であるため小型の石刀の可能性もある。

図202-1～12は粘板岩等を素材とし、敲打・研磨により整形され、横断面形が扁平、楔形等のものをまとめた。いわゆる石刀である。図202-1・2はやや大型で、刃部が内反りである。2は擦痕が明瞭である。3～5は柄頭部と見られ、括れを持つ。3と5の柄頭には2本一対の平行沈線が上下に見られる。3の背には沈線が施されている。6・7は刃部へ鋒部にあたる。6は鋒が四角く、身が直線状である。7は刃部が内反りである。9には刃闊がみられる。11と12は両端部が磨製石斧の刃部のように整形されている。11は両端ともに縱断面が両刃に整形されている。表面には成形段階の剥離面を残している。12は両端ともに片刃に仕上げられている。被熱し、黒色物質が付着している。

棒状石製品（図202-13・14）

チャートや凝灰岩を素材とし、敲打・研磨により整形され、全体形が棒状のものをまとめた。図202-13は完形品で、全面研磨整形されている。特に下端部には擦痕が明瞭であり、研磨により複数の面が形成されている。14の表面は擦痕があまり明瞭ではない。

石製模倣品（図202-15～図203-9）

軟質の凝灰岩などを使用し、さまざまものを模倣したと考えられるものをまとめた。

図202-15～図203-5は表面の一部が緩く凹むため、容器を模倣したと考えられるものである。図202-15と図203-2は凝灰岩製である。図202-15は研磨整形されており、外面に沈線が施されている。図203-1・3～5は安山岩や粗粒玄武岩製である。1は正面が明瞭にへこんでいる。側面から裏面の中央付近は敲打成形により帯状に凹んだ部分が見られる。正面のへこんだ部分には黒色物質が広く付着している。同様の状況は図203-4にも見られる。図203-3～5は正面がごく緩く凹んでいる。凹んでいる部分は敲打痕が見られるものもある。正面以外の部分にも敲打成形が見られる。5は横断面形が算盤玉状である。

図203-6～8は石槍を模倣したと考えられる。両面からの剥離整形が施されるため、見た目は石槍と大差ないが、素材がデイサイトと凝灰岩であり、実用の石槍とは考えにくい。8には一部に擦痕も見られる。

図203-9・10は石冠である。2点ともに凝灰岩製で、敲打と研磨整形が施される。9は弧状の側縁に擦痕が見られる。また、表裏面に敲打による凹みも見られる。10は弧状に緩く湾曲する体部に突起が作出されている。突起は体部の中央からややずれた位置に作出されている。

擦痕の見られる石製品（図204-1～13）

器表面に研磨整形痕及び擦痕が見られるものをまとめた。

図204-1～3は全面が研磨整形されている。1は長方形の板状に、2・3は細長い棒状に仕上げられている。2は裏面の2箇所に盲孔が見られる。4は円盤状石製品に似るが、橢円形を意識していることからこの類に含めた。7も同様である。4の側面には敲打痕が見られる。7は表面と側面に擦痕が見られる。

図204-5は耳飾状の石製品である。下端部がやや広がる鉗状の形状で、上下両端が凹んでいる。

図204-11の表裏面には擦痕の他、敲打による凹みも見られる。12の表面は擦痕も見られるが磨耗した状況が広く見られる。石皿のような使われ方をした可能性もある。13は岩版の可能性もある。

自然礫利用石製品（図204-14・15）

加工痕跡は見られないが、縦に自然に開いた孔が見られるものである。垂飾品等として利用されたかどうかは不明である。

(茅野)

10 漆 製 品

芯の部分を失い、漆塗膜のみが残った資料が出土している。

図205-1~3は堅櫛である。破損が著しく、歯の部分は残存していない。その特徴から結糸式堅櫛であろうか。他に、写真240のJ03、J04、J06、J07など脆弱なため土ごと取り上げた資料が数点ある。特徴からこれらも結糸式堅櫛と思われる。

図205-4は籠胎漆器と思われる容器の一部である。くびれをもつ器形のため、壺の可能性が高い。小片のため復元実測はしていない。口縁の一部が肥厚しており、山形の突起をもつ可能性がある。これ以外に、写真240のJ05、J09、J12、J13など繊維の痕跡が認められ、籠胎漆器と思われる資料が数点確認されている。これらの資料は脆弱なため、土ごと取り上げた。

図105-12は土器の底部に赤色顔料(漆の可能性もある)が厚く付着した資料である。

(高橋)

11 アスファルト関連遺物

図205-5は注口土器もしくは壺形土器の底部にアスファルトが付着している。写真241A-9はアスファルトが付着している。これ以外にも図205-7、図205-6など土器片にアスファルトが付着しているものが出土している。これらの土器内にアスファルトを保存していたと思われる。

図205-8~11、写真241A-8はアスファルトの塊である。

写真197-1~7は注口土器に付着したアスファルト状黒色物質(実測図なし)。

(高橋)

12 赤色顔料原礫 (写真241)

赤色顔料については、刊行範囲では約150点出土している。主要なものは写真241の集合写真に示したが最大のものは、集合写真の左上のもので2,673.6gある。顔料採取の容易な、すりつぶせる軟質部を外側にもつもののほかに、中心部の硬い部分のみ残るものがある。また、鉄石英として石器素材との区分が難しいものがある。赤色顔料についても分析を行った後、最終報告書で、まとめる予定である。

(齋藤)

13 焼成粘土塊 (写真232)

調査区から粘土塊が検出されている。関連資料として焼けひずみのある土器(図77-3)があり、焼きは堅い。焼成失敗土器の可能性がある。

(高橋)

14 その他

コハク

透明感のある褐色の鉱物らしきものがIVT-34グリッドIII層で2点出土し、コハクの可能性がある。発見時には1cm未満の塊で加工痕跡はなく、取り上げ時に砕けてしまったため掲載はしていない。

焼骨

遺跡内では細片となった焼骨が出土している。III層で出土位置を押された箇所としては特-4・17・45・50・51がある。グリッドではIV0-41・IVS-48などで出土している。いずれも少量であり、すべてを回収できたわけではない。遺構内ではPit0072などで出土しているが、直接当該遺構に伴うものとは考えていない。一部の資料について骨組織形態学的検討を行った。ヒトは含まれておらず、すべて動物骨である。また、4点について年代測定を実施中である。分析結果の詳細は、次年度以降に刊行される報告書に掲載する。

炭化物

III層出土の炭化材について樹種同定を行った。同定結果は次のとおりである。
IVR-36・III層下部・C-3: トリネコ属、IVR-55・III層(色調うすい範囲): ニレ属、IVR-35・III層・P-1834下部: アスナロ。詳細は、次年度以降に刊行される報告書に掲載する。

白色粘土

基本層序で白色粘土が確認された。Pit0035では白色粘土塊も出土している。また、III層中で塊として、あるいは土器に收められた白色粘土が出土している(写真90-4~8)。粘土塊は後期後葉~晩期にかけてのものであることは確かだが、時期が判明する土器には伴っていない。

(岡本)

第3節 繩文時代後期中葉以前の土器(図118・写真192)

報告範囲では十腰内V群から晩期にかけての土器が圧倒的に多いが、少量ながら十腰内IV群以前に属する土器が出土しており、遺跡規模が大きくなる後期7-4期より遡る時期にも断続的な土地利用があつたことを示している。本節で扱う時期の土器破片は、後期7-4期以降のものと比較した際判別可能なものが多かつたため、図化可能な個体についてはほぼすべて抽出できたのではないかと思っている。特定の地区で集中して出土するわけではなく、遺跡全体で散発的に出土する。包含層下部や漸移層で出土した破片もあるが、多くは後期7-4期から晩期の遺物に混じって出土している。時期別に見ると、遺構出土分も含め榎林式～最花式(中期後葉)の出土数が多い。報告範囲では典型的な十腰内V群土器は出土していないため、後期後葉の一時期に土地利用の断絶が認められる。なお、本遺跡の放射性炭素年代測定で3,400yrBPより古い値を示した炭化物は、本節で触れるいづれかの時期の土地利用によって生じたものと考えられる。

円筒下層d式

写真195-21・22がSec3下部の漸移層から出土している。図示していないが、Sec3では同式のものがこのほかに2点出土している。本遺跡で最も古い時期の遺物である。

円筒上層c式

図118-1がIII層下部で出土している。

榎林式・大木8b式

4点を図示した(図118-2～5)。2～4が榎林式、5はそれと併行する大木8b式にあたると考えられる。3は緩やかな波状口縁を呈し、波頂部の下に梢円形と推定される透かしが施されている。4はIII層下部で出土した。

最花式

2点を図示した(図118-6・7)。このほか、遺構ではPit0126から当該期の土器破片がまとまって出土している。

中期後葉

文様をもたない土器で、榎林式から最花式と考えられる。2点を図示した(図118-8・9)。遺構ではSQ18下層で小片が出土している(写真195-11)。

十腰内I群

5個体7点を図示した(図118-10～16)。15は櫛齒状工具で施文しているが、モチーフは不明である。III層下部で出土しており、出土状況は写真85-2に示した。写真右側が15であり、左側の土器よりも低い位置で出土したことが分かる。16は網目状燃糸文が施文されている。

十腰内IV群

2点図示した(図118-17・18)。器厚はやや厚手で色調は黒褐色である。17は結節のない羽状繩文が施文されている。

(岡本)

第6章 弥生時代以降の遺物

第1節 出土遺物

1 弥生土器(遺物図206、写真242)

破片1片の出土である。小破片でしかも割れ口を含め全体摩滅が著しいため時期特定は困難だが、弥生土器の可能性があると最終的に推定したものである(本遺跡の縄文土器の範疇には該当させ難い)。

器種は、甕・壺・鉢のいずれかと思われ、復元口径は20.7cmを測る。

外面文様は、口端直下に1条の隆帯、その下位に無文の頸部、さらに下位の肩部には2条の横走沈線が巡る。口端直下の隆帯は、強くつまみ回す過程で器体に密着し、体部との隙間は全く認められない。このため、口端～隆帯まで非常に一体化しており、凹線を伴う肥厚帶のような状態に仕上がっており(平安時代のロクロ製品の口唇部形状に類似する)。上位の横走沈線には、 $15 \times 5\text{mm}$ 程度の粘土粒が被さるよう貼付され、晚期後葉の深鉢などにみられる2個1対の粘土粒に類似する。

口端部に残る若干の凹凸は、刻目痕跡の可能性があるが、復元図では平口縁としておいた。

内面の口端部も外面と同時につまみ出すように作られ、その下位には3条の凹線、そのさらに下位の屈曲部には縄文が帶状に施されている。この縄文は単節であることは確かだが、施文後に擦れて歪んだようで、LRかRLかの判別は難しい。

焼成は堅緻、外面色調は浅黄橙色(5YR8/4)～橙色(5YR7/6)、内面色調は灰色(5Y5/1)、胎土中には1mm前後の小礫が多量に混入する。

上述のように本資料は弥生土器と確定できるものではないが、青森県域で生産された資料とみなして時期的な位置づけを行うなら田舎館式期頃と想定しておきたい。勿論、外来系の縄文土器である可能性も否定できない。注意喚起の意味も込め、あえてここに独立させて報告した。忌憚のないご指摘を持ちたい。

(木村)

2 土師器(遺物図206、写真242)

ロクロ杯の口縁部破片1点のみの出土である。大きく端反り、外面には段状のロクロ目が明瞭に認められる。色調は灰白～灰黄色を呈し、焼成堅緻で、胎土には細砂粒と海面骨針が含まれている。小片であるため、年代を特定するには情報が少なすぎるが、青森県域における大まかな年代観に照らせば、概ね10世紀代を中心とするものと推定される。

(木村)

3 近世以降の遺物 (写真242)

陶磁器、土器、銭貨等が出土しており、出土層位は全て1層である。陶磁器は、18世紀の肥前(肥前IV期)から20世紀の製品まで出土している。陶磁器の一部と土器2片のみを写真掲載し、ほかは図・写真とも省いた。

陶 磁 器

写真242-1~6は肥前IV期の磁器であり、1~3は皿類、4・5が碗類、6は瓶類である。1は人物文の可能性があるもの、5は外面青釉、内面縁文が四方博文(?)の碗と思われる。これらと同時存在した可能性がある陶器が18の擂鉢で、いわゆる唐津である。24の壺類は内面に黒色の鉄釉が施され、肥前IV期の唐津の可能性がある。

7~11は19世紀中葉の瀬戸である。7・8は碗、9・10は小壺、11は色絵の仏花瓶である。これらと併存した可能性があるのが19の擂鉢類、22、23の片口鉢で、これらは地元製品「悪戸」である。

12~14は19世紀後葉以降の摺絵である。12は皿類、13が碗類、14は瓶類である。時間的に下るものではあるが、産地は不明である。

これら以外の15~17、20・21、25・26の7点の陶器も産地不明であるが、19世紀の中には収まっているものと推定される。

土 器 (写真242)

27・28は同一個体で、出窓をもつタイプのいわゆる舟カマド形の焜炉と思われる。27は突出する皿状の部分であり、脚が貼付されている。28は本体の底部で、内面に強いクロ目、外底面には回転糸切痕がみられる。19世紀中葉頃の製品と推定され、7~11の瀬戸などと共に存したものと推定される。

銭 貨

新寛永2点(一文と四文)、富士1銭アルミ貨(昭和16年)が1点出土している。

そ の 他

銅製の指貫やガラス製のお弾きなどがある。

(木村)

第7章 調査の成果と課題

第1節 遺構

1 検出遺構の時期区分

今回の報告範囲で検出された遺構は、建物跡6、焼土遺構42、単独で検出された柱穴(Pit) 225、土坑5、石棺状配石3、配石遺構15、土器埋設遺構36である。このうち、およそその時期が判明しているものは次のとおりである。

中期後葉 : Pit0126

後期後葉 : SR07

後期末葉 : S105, SQ06, SQ14, SQ18, ブロック08, ブロック09, ブロック旧S103

晚期初頭 : SN15, SQ19, SR28, ブロック07

晚期前葉 : S101, S102, S104, S106, SN01, SN31, SR01, SR19, SR20, SR21, SR22, SR23, SR25

晚期中葉 : S101, SN13, SN41, SK01, SN04, SQ08, SQ09, SQ12, SQ41, SR16

晚期後葉 : Pit0128, Pit0436, Pit0542

やや時期幅をもつもの

後期後葉～後期末葉 : SQ11

後期後葉～晚期初頭 : SN28, SN50, SK05, SQ01, SQ02, SQ16, SR06

後期末葉～晚期初頭 : SQ07, SR27

後期後葉～晚期前葉 : SQ03, Pit00918-0019-0102-0536

後期後葉～晚期前葉 : 刃片集中域2, 刃片集中域3

後期末葉～晚期前半 : SN33

後期後葉～晚期中葉 : SN38, SN39

後期末葉～晚期中葉 : SN09

晚期前半 : 刃片集中域4

晚期前葉以降 : SN44, 刃片集中域1

晚期 : SN02, SN04, SN05, SN16, SN25, SN43, SN49

報告範囲では、十腰内V群の前半期(後期7-1～3期)に比定される土器がほとんど出土していない。それ以前は円筒下層d式、円筒上層c式、榎林～最花式、十腰内I式、十腰内IV群土器が少量ずつ出土しており、縄文時代前期から後期にかけての断続的な土地利用が認められる。後期7-4期から晩期5期にかけては途切れることなく土器が出土しているため、後期後葉に集落が形成され晩期後葉まで維持されたと考えられる。晩期6期の土器は出土しておらず、それ以降の遺物は弥生土器・土師器が1点ずつ、近世陶磁器が少量であり遺構は検出されていない。出土土器の時期と量から考えて、時期が確定できない遺構は後期後葉(後期7-4期)から晩期後葉(晩期5期)の間に構築された可能性が高い。

遺構・遺物の数量から考えて、川原平(1)遺跡は津軽ダムによる水没地区において、砂子瀬遺跡の後を受けて抛棄集落としての役割を果たしたと理解できる。本遺跡の晩期集落は晩期5期のうちに縮小または廃絶し、水没地区内ではこの後、大川添(3)遺跡で平安時代の堅穴建物跡5棟を含む小規模な集落が確認されるものの、大規模な集落が営まれることはなく、近世に砂子瀬村・川原平村が成立して現代に至る。本遺跡は川原平村の外縁に位置していたため、近世の土地利用の痕跡はほとんど確認できない。近代以降もあり地形変更を受けなかったようで、縄文時代の遺構や遺物包含層が極めて良好に保存されていた。

2 遺物包含層の成り立ちについて

第5章図④でグリッドごとの土器出土重量を示したように、本遺跡では遺物が多量に出土する場所とそうでない場所の差が大きい。遺物が多量に出土する場所は図⑥の区域区分で区域A・B・C・Dにあたる範囲であり、東西約70m、南北約30mの弧状を呈している。この範囲は第4章において「南捨場」と仮称されたが、完形に復元できる土器が多数出土していることや、地点的に一括性の高い出土状況が認められるなど、集落構造を考える上では「捨て場」として位置づけるのが妥当である。ただし、今回は遺物包含層として現地調査を進めており、報告にあたっても遺構外として扱った。

捨て場（区域A～D）と捨て場外（区域E・F）では第3章第2節でも触れたように、堆積土の様相がやや異なる。調査では縄文時代の堆積土をIII層としたが、捨て場のIII層は黒～黒褐色なのにに対し、捨て場外のIII層は黄褐色～褐色で、III層の堆積も捨て場内の方が厚い。捨て場内のIII層は遺物や礫、炭化物を多く含むことから自然に堆積したものではなく、人為堆積が主と考えられる。III層に含まれる礫の多くは、遺構掘削の際に地山から掘りあげられ、廃棄された可能性が高い。今回報告範囲では前節で記したようにそれ以前の遺構・遺物は極めて希薄であることから、後期7～4期に本遺跡での居住が開始され、地表面にモノが捨てられたことが捨て場の始まりと考えられる。今回報告範囲のすぐ北側には柱穴が集中する範囲があり、最初期の居住域は確定していないもののその範囲内に求めてよいのではないかと考えられる。III層と地山との間には漸移層が確認できる場所が多いため、捨て場内では整地のような地形変更は行われていないのであろう。後期8期、晚期1a期においても引き続き捨て場は継続しており、同時に配石遺構、土器埋設遺構が捨て場内に作られることもあった。一部の堅穴建物も捨て場と重複しているが、建物周辺からは同時期の遺物が多量に出土することはなく、廃絶後の堆积にもそれほど遺物は含まれていない。モノを捨てる場所と祭祀的な場所は明確に区分されていなかつたようであるが、居住場所とモノを捨てる場所はそれほど近接していなかつた可能性がある。晚期1b期はそれ以前に比べて遺物量が減り、晚期2期はさらに少ない。晚期3期には区域Aで一括遺物が得られており、捨て場としての機能が復活した感もあるが、晚期4期・5期は再び遺物量が減少する。今回報告した捨て場は、後期後葉～晚期初頭に最も利用されたといえる。

今回報告した捨て場は、1,500m²を超える範囲に広がる。堆積土の上下関係は部分的に設定したセクションベルトでしか捉えることができない。区域BにはSec1・5・7が設定されており、Sec1では下部のIII-3層が後期、上部のIII-2層が晚期の堆積である。Sec5では下位が後期後葉、中位が後期末葉～晚期初頭、上位が晚期前葉の堆積である。Sec7では下位が後期後葉～末葉、上位が晚期前葉の堆積である。この範囲は主に後期後葉～晚期前葉に捨て場として機能し、晚期中葉には建物SI101が建てられる。後葉には土地利用の痕跡がほとんど認められない。のことから、全時期を通じて同一地点に廃棄され続けたのではなく、時期により廃棄される地点は異なっていることが分かる。また、同じく区域Bの例をあげると最も小さいブロック09が2.3×3m、最も大きいブロック07が3×6.7mの範囲で確認されており、実際の廃棄単位はおおむね調査で設定した1グリッド程度で捉えることが可能であることも分かった。捨て場というのはこのような小さな廃棄単位が累積したものと考えることができる。

3 石棺状配石の時期と系譜

捨て場の西端では、いわゆる石棺墓に類似した配石遺構が3基検出された(SQ14・SQ18東石組・SQ18西石組)。青森県内の石棺墓は、縄文時代中期末葉～後期前葉に構築されたと考えられており、本遺跡の下流約2kmには20基以上の石棺墓が検出された水上(2)遺跡が位置する。本遺跡でも調査時点では時期は不明ながら石棺墓を検出したと発表した(青理文編2013a・b)。その後の整理で出土土器の検討、炭化材の放射性炭素年代測定を経て、SQ14・18が後期末葉頃に構築されたことが明らかとなり、青森県で知られている石棺墓と時期が異なること、墓としての機能が確定できることなどから、石棺状配石として報告した(第5章第1節)。石棺状配石の石組内はいずれも埋め戻されている。SQ18東石組・同西石組で蓋石のようにみえる上面縁は、石組の上部に架け渡されたものではなく、埋め戻された土の上に置かれたものであるため石組内に空間は作れない。石組内を埋めた土はその後掘り起こされておらず、石棺状配石が墓であったとしても、再葬との関連はない。

では、中期末葉～後期前葉の石棺墓と、本書で報告した石棺状配石には関連があるのだろうか。青森県内では後期中葉以降に属する石棺墓は知られていない(児玉2007)が、秋田県大館市矢石館遺跡では晩期(大洞B式)の「組石棺」が5基検出されている(奥山1954)。矢石館遺跡では組石棺のほかに列石が検出されており、本遺跡の状況と類似している。時間的・空間的な近接(両遺跡の距離は約30km; 第4章図XV参照)、列石を伴うという構造上の類似から、両者の関連はあると考えてよい。これとは別に、後期から晩期にかけては再葬と関連しない石棺墓が関東・中部地方の一部で作られており(加藤2007)、時期的に併行する本遺跡の石棺状配石や矢石館遺跡の組石棺は関東・中部地方との関連も視野に入れる必要があるが、東北北部と中部・関東地方を直接結びつける要素は希薄である。ところで、本遺跡北西部では日時計形組石を伴う晩期前葉の土坑が検出されている(県565集で報告予定)ほか、近隣では弘前市大森勝山遺跡に晩期の環状列石が存在する。日時計形組石をもつ晩期の墓は、秋田県鹿角市玉内遺跡でも検出されている(秋埋文編1988)。石棺墓や環状列石は後期前葉の十腰内文化を特徴付ける遺構(鈴木2013)であり、秋田県鹿角市大湯環状列石などの例から日時計形組石も同時期の代表的な遺構の一つといえる。本書で報告した石棺状配石を含め、秋田県米代川流域と青森県岩木川上流域では、十腰内文化で盛行した石組の遺構を構築する習わしが時代が下っても継続していたと考える方が、地理的に隔たった関東・中部地方との関連を考えるより妥当と考えられる。

4 土器埋設遺構

後期後葉～晩期の土器埋設遺構が36基検出された。粗製土器が多数のため、詳細な時期が確定できないものが多い。青森県内でこれまでに調査された土器埋設遺構は後期後葉が6基、晩期が28基(鈴木編2014)であるが、今回の調査ではこれを上回る数が検出された。

土器埋設遺構は捨て場内に分布し、群集箇所が複数あることが明らかとなった。群集した場所では接してはいるものの、隣接する土器を壊したものは確認できず、土器が埋められていることが地表面で分かるようになっていた可能性が高い。埋設位は正立31、倒立4、不明1で、掘方は確認できない場合が多い。また、当初から底部を欠いた個体を正位埋設した例がSR01をはじめ22基確認されており、ひとつの特徴といえる。また、報告範囲内では墓と認定できる遺構が検出されておらず、本書で報告した土器埋設遺構と墓域の関連は低いと考えられる。

(岡本)

第2節 遺 物

今回報告範囲で出土した遺物は、土器・土製品724箱、石器・石製品404箱、漆製品3箱である（調査で使用した箱は容積36リットルの段ボール箱）。土器重量は約5,500kg、剥片重量は約1,200kgである。また、調査区のほぼすべてが今回報告範囲に含まれる2003年度の調査では、土器62箱、石器17箱が出土しており、この区域での出土量は1,200箱を超える。本遺跡全体では約7,400箱の遺物が出土しているため、今回報告した遺物量は全体の2割に満たない。亀ヶ岡文化（川原平(1)遺跡はその成立直前も含むが）の拠点集落には膨大な量の遺物が埋蔵されているということを改めて認識させられる。なお、青森県内では円筒土器文化の遺跡で大量の遺物が出土することが知られており、三内丸山遺跡で約4万箱、水上(2)遺跡で約6,500箱、畠内遺跡で約4,800箱が出土している。三内丸山遺跡は別格としても、本遺跡の遺物出土量は円筒土器文化の拠点集落における出土量に比肩するものである。

1 土 器

図⑩は後期7-4期、図⑪は後期8期、図⑫は晩期1a期、図⑬は晩期1b期、図⑭は晩期3期、図⑮は晩期2・4・5期の主要な土器を示した。いざれも一括資料を提示したわけではなく、文様・形状などが分かるものを時期ごとにまとめている。今回報告範囲では、青森県内ではこれまでまとまって出土していなかった後期7-4期・8期の土器が大量に出土した。このほか、晩期1a期・3期の資料が充実している。晩期1b期は図⑬にはやや多めに掲載したが、出土量はそれほど多いわけではない。晩期2・4・5期の出土量は少なく、晩期6期は出土していない。

後期7-4期（図⑩）はIV O-P-43、IV R-47、IV S-49風倒木にまとまりがみられる。いざれの器種でも粗粒を問わず口唇に面取りが施されることが多く、器壁は厚手で、色調は黒～黒褐色を呈するものが多い。底部はすべての器種で高台状のものが多く、壺・注口を除き台付のものがある。深鉢と鉢は器高と口径の差がないものが多く明瞭に区分されないため、ここでは深鉢・鉢を合わせて深鉢として述べる。粗製深鉢ではくびれのない器形（I類）が多く、精製深鉢はくびれのある器形（II類）が多い。I類の精製深鉢は一定量あるが、108-4のようにII類の粗製深鉢は極めて少数である。II類の精製深鉢ではくびれより上に文様が施されることが多い。文様部より下は無文であることが多く、37-5のように全体が繩文地であるものは稀である。文様の特徴としては沈線間の刻目、大ぶりの貼瘤があげられるほか、磨消繩文で文様が描かれる場合、磨消部が彫去されたように一段低くなったものもみられる。文様の要素は比較的単純で、三叉状の磨消部あるいはそれが横位または斜位に結合したくびれのある四角形または平行四辺形の磨消部が配置されたものであることが多い。口縁は突起の付く平口縁が多く、波状口縁のものは少数である。浅鉢は文様をもつものは少ないが、無文のものでもミガキが丁寧に施されている。壺・香炉は少なく、注口の比率は高い。46-10は注口の上部に香炉にみられる突起が付く例である。

後期8期（図⑪）はブロック09、ブロック旧SI03、IVP-44、IVP-45、IVT-34にまとまりがみられる。口唇の面取り、厚手の器壁、底部の形状、深鉢と鉢の不分明などの特徴は前代を引き継いでいるが、土器の色調は赤褐色のものが一定数あらわれる。白色の小疊を胎土に含むものがあることが特徴である。波状口縁深鉢は少数となり、くびれのないI類の精製深鉢が増加し、II類でもくびれ部分の屈

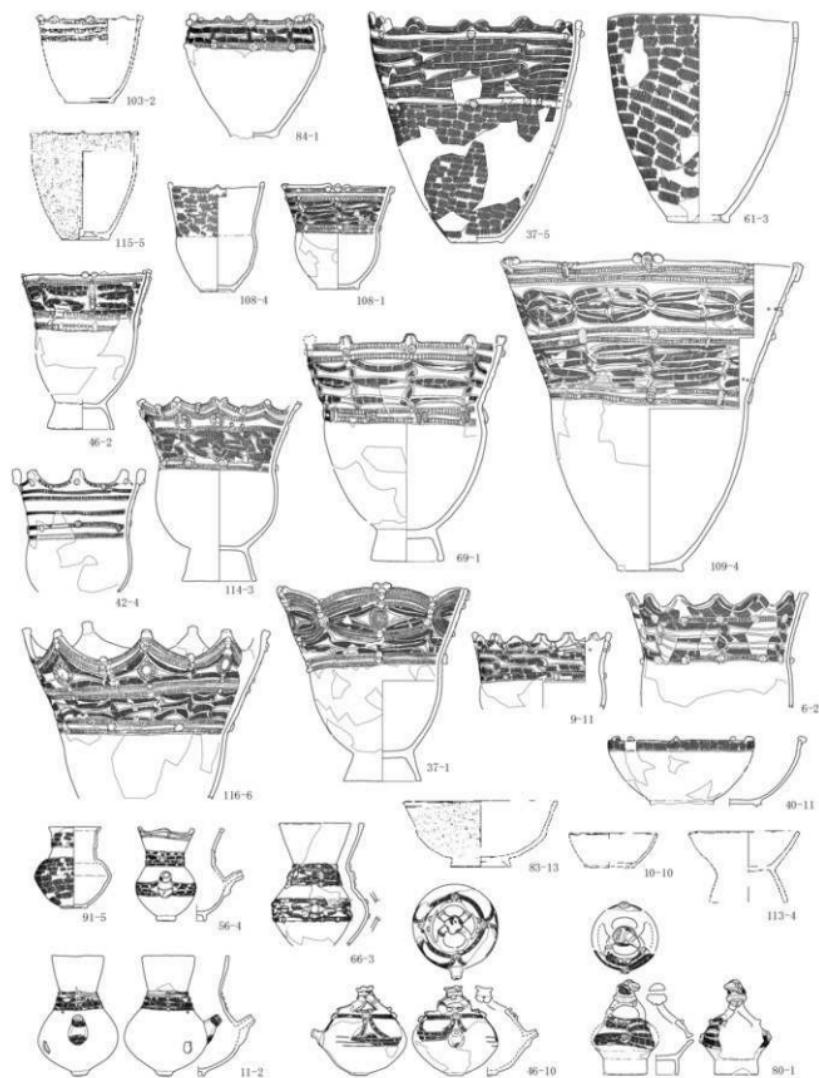
曲が弱まる。体部文様は前代よりも複雑な入組文が増えるようで、44-6のように一定のパターンのないものもみられる。70-7は粗製土器に文様が施文された珍しいものだが、本遺跡では同様の例が複数個体確認されている。沈線間の刻目や貼瘤は少數である。口縁突起の頂部に向かって弧線が施される例が多いことも本期の文様の特徴である。壺はやや大型の半精製・粗製のものが伴う。注口は基部に二袋状の膨らみが付されるものが目立つ。

晩期1a期(図33)はブロック07、IV 0-42、IV 0-44にまとまりがみられる。器壁は後期に比べて精製・粗製を問わず薄くなる。深鉢では底部の高台が残存する。96-1や12-4のような後期の形態を引き継ぐ深鉢・鉢では、突起の間隔が狭まって口縁の平たい部分がはっきりしなくなる。これらの口縁部には独立した三叉文が配され、体部文様は単純な入組文であることが多い。17-2・79-7・78-8・53-1は体部が膨らむ金魚鉢形ともいべき台付鉢で、本期に新たに出現する器形である。口縁は小波状を呈し、体部文様は単純な入組文である。体部は繩文が施文されることが多い。115-6は器形は金魚鉢形であるが口縁文様は後期からの伝統を引き継いだものであり、金魚鉢形の台付鉢の祖型のようなものと考えられる。また、本期には92-1・22-12などのように、文様をもつ浅鉢が一定量伴うことも特徴である。金魚鉢形の鉢と同様に小波状口縁を呈す浅鉢もある。精製壺は少量で、17-6は典型例というわけではない。半精製壺は101-3のように頸部に隆帯をもつものがある。注口は底部の高台が消失する。基部の二袋状の膨らみは96-5のように一部で残るもの、19-12のように装飾となって痕跡化する。28-5は正面の口縁部に人面が付いた優品である。

晩期1b期(図34)はIV M-39にまとまりがみられる。深鉢・鉢は前代に比べて小型のものが増えるようである。口縁は平縁ではなくなり、小波状(57-2)か連続した刻目(40-1)となる。底部は19-3のように平底のものが確実に伴うため、粗製土器でも高台は消失傾向にあると考えられる。文様要素としては深鉢・鉢にみられた入組文が消失し、入組三叉文が深鉢・鉢・浅鉢・壺など多くの器種に施される。どの器種にも同じ文様が施されるようになるのはこの時期以降の晩期の特徴であろう。105-1・110-1のように深鉢・鉢には「野脇類型」(小林2010)の文様も施される。53-2のように金魚鉢形の鉢も組成する。壺は多様な精製壺が伴う。注口は体部が扁平となって壺との共通性がなくなり、注口独自の器形が完成する。文様は注口部周辺にのみ施されることが多い。

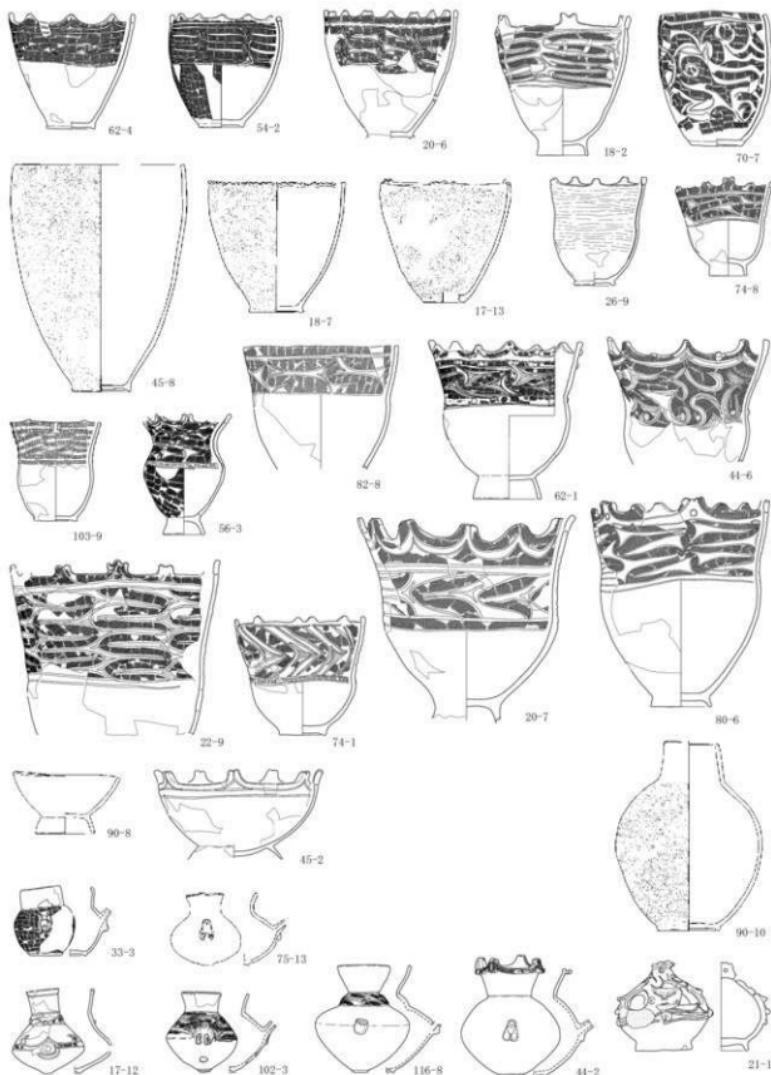
晩期2期(図35上段)は出土数が少ない。羊歯状文が本期の代表的な文様である。63-2は特殊な器形の注口である。

晩期3期(図35)はSec 2-III-7層、IV N-44、IV N-45・46、IV 0-45にまとまりがみられる。50-15のように容量の大きい粗製深鉢と50-13のような小型の半精製鉢が明瞭に区分される。89-5のような大型の半精製深鉢は本遺跡ではほとんどみられない。粗製深鉢は基本的に平縁または口唇に刻目のあるもので、平縁のものには50-15・58-6のようにB突起が正面にのみ付く場合がある。底部は平底もしくは凹底で、高台が付くものはない。半精製鉢は台付のものが多く、文様は羊歯状文が省略され沈線間の刻目となった50-13・59-15のようなものと、32-1・57-9のように沈線のみのものが共存するようである。浅鉢は平縁で口縁が内湾するものが多い。63-5のようにB突起が付くものは少なく、晩期2期の特徴が残存したものと考えられる。体部が磨消繩文となるものは口縁に沈線間の刻目が施されたものが多く、体部に繩文が用いられない場合は沈線のみとなるようである。49-8・9は口唇に刻目が施される皿で、単独では晩期4期に位置づけたいが、49-6・10・11のような浅鉢と共に伴しており本



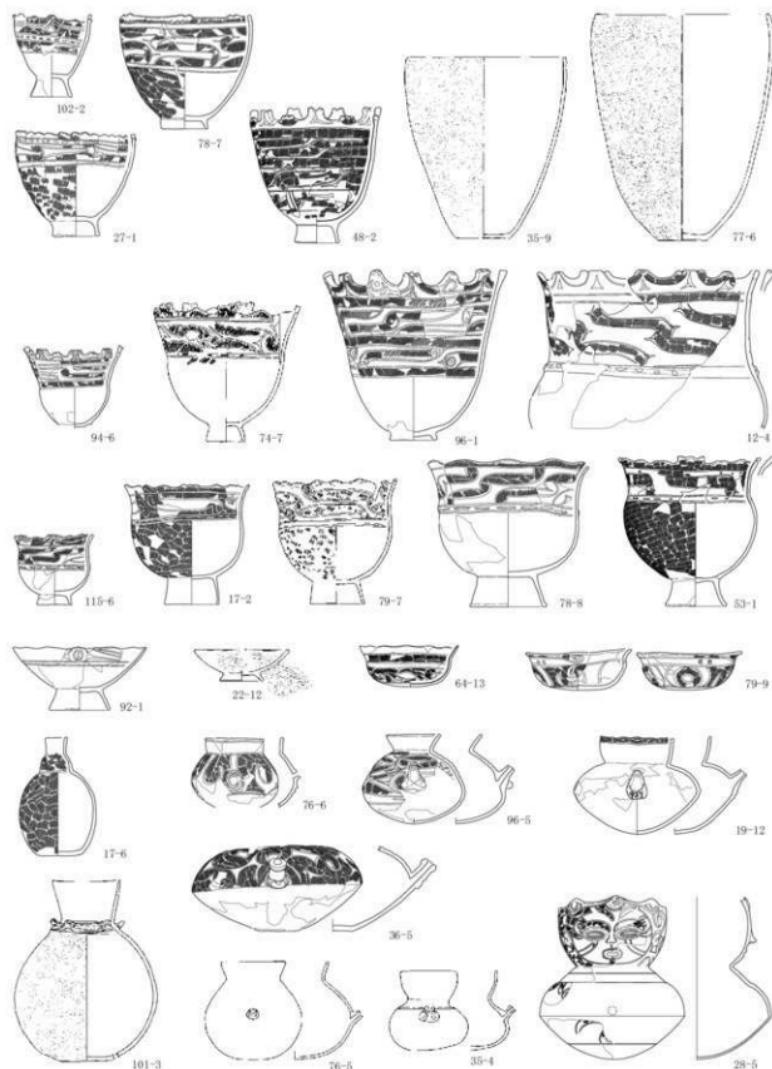
数字は掲載番号
S=1/8

図30 後期7-4期の土器



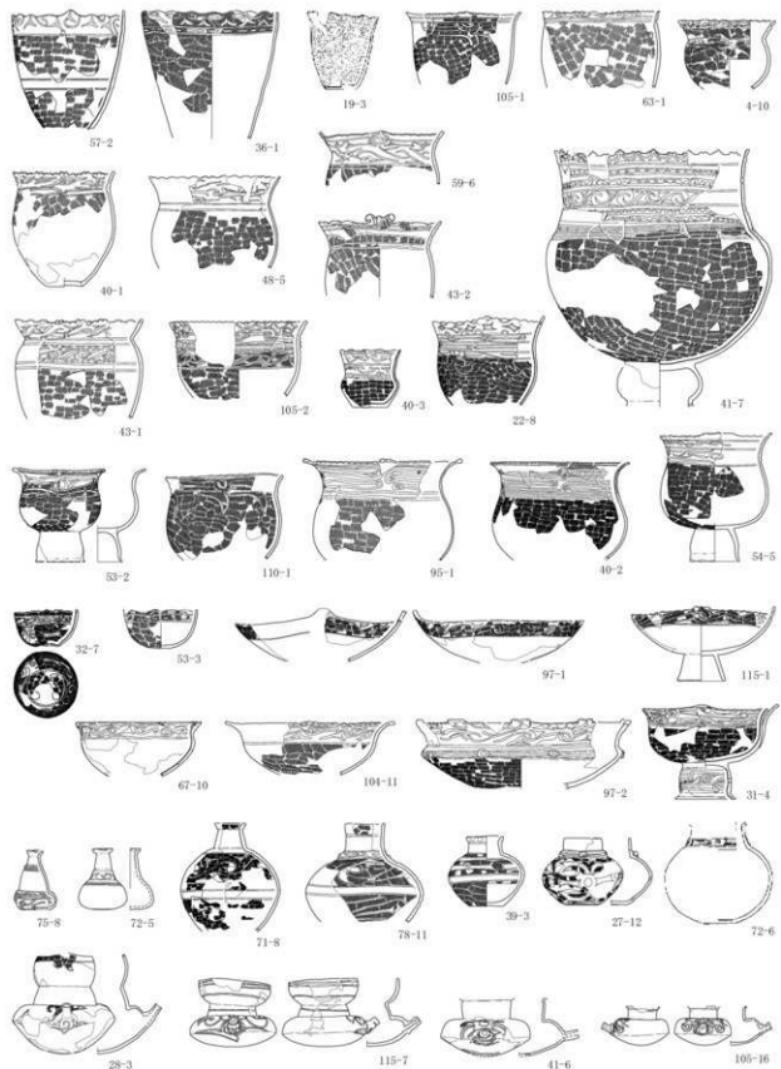
数字は掲載番号
S=1/8

図⑫ 後期8期の土器



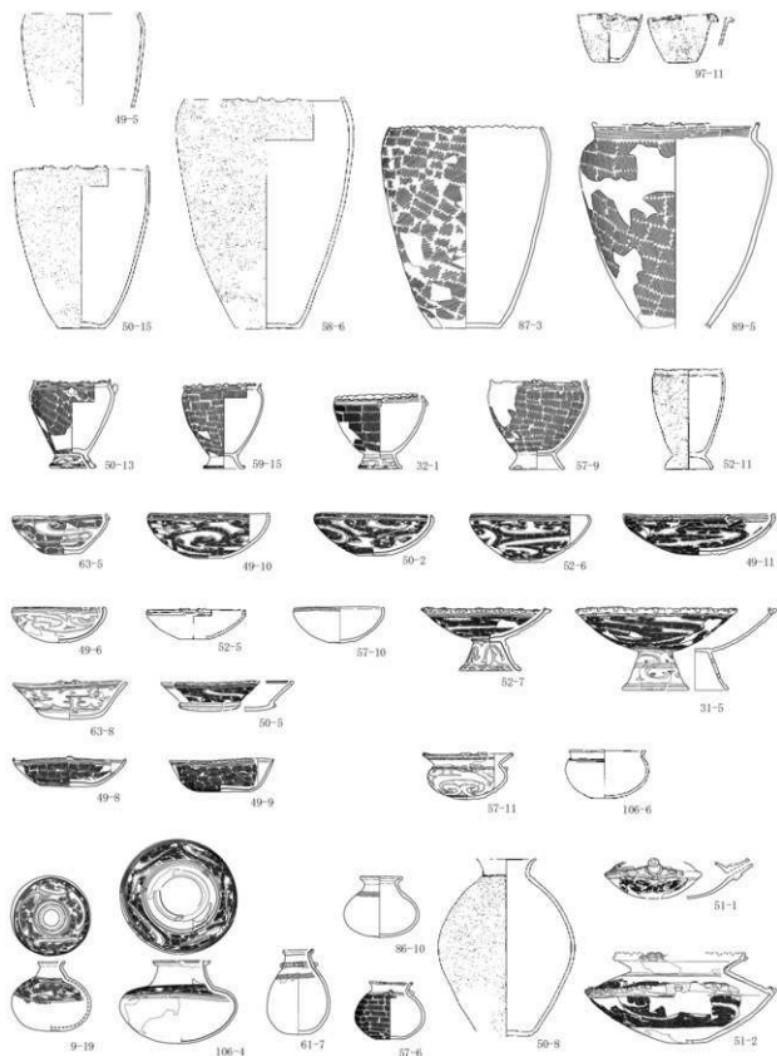
数字は掲載番号
S=1/8

図33 晩期Ia期の土器



数字は掲載番号
S=1/8

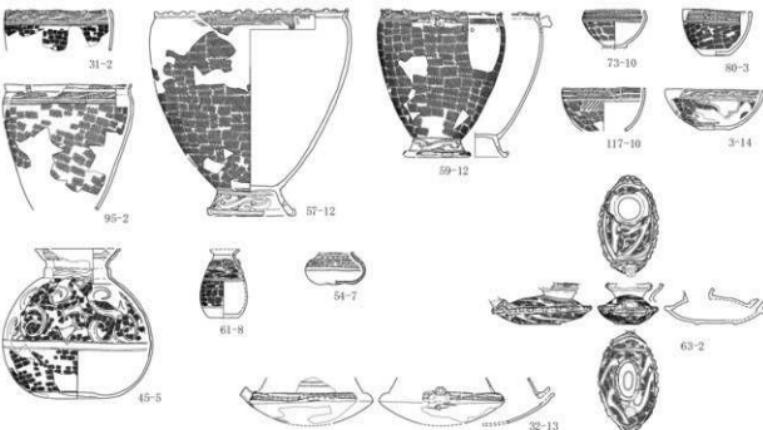
図34 晩期1b期の土器



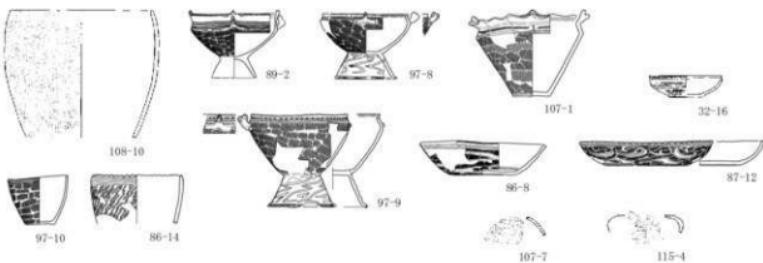
数字は掲載番号
S=1/8

図35 晩期3期の土器

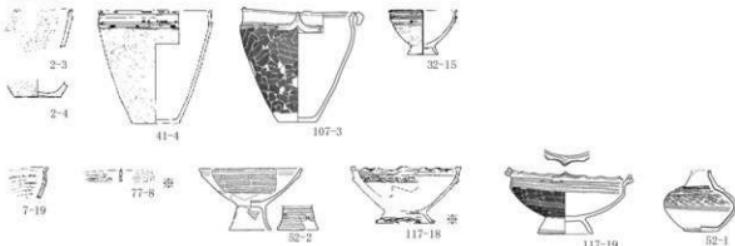
晩期2期



晩期4期



晩期5期



数字は掲載番号
S=1/8(※1/6)

図56 晩期2期・4期・5期の土器

期にまとめた。

晩期4期(図36中段)は出土数が少ない。108-10は口縁に沈線をもつ縱走縞文の深鉢である。半精製鉢には台付とそうでないものとがあり、台付鉢は頸部に一箇所の突起が付くようである。107-1は津軽地域には少なく、より南の地域で多く出土する形態の半精製鉢で、小波状口縁と頸部文様が特徴的である。97-10・86-14は晩期3期の可能性もある。精製土器の主体は86-8・87-12のような皿である。32-16は晩期5期に下る可能性もある。107-7・115-4は精製壺である。

晩期5期(図36下段)も出土数が少ない。今回報告範囲で出土したものは晩期5期でも古い段階に属するものが多いと考えられる。

放射性炭素年代との関係

測定結果の詳細は次年度に刊行される報告書に掲載するが、後期後葉から晩期初頭の土器付着物を多量に測定した(第5章第2節)。特に後期7-4期で9点、後期8期で6点、晩期1a期で9点とこれまでほとんど測定が行われてこなかった連続した時期について年代値が得られた意義は大きい。中央値は後期7-4期が3,300~2,970yrBP、後期8期が3,080~2,910yrBP、晩期1a期が2,980~2,910yrBPに分布する。後期7-4期と晩期1a期は分布範囲が重ならないが、後期7-4期と後期8期・後期8期と晩期1a期はそれぞれ分布範囲が重複する。また、これまでの年代測定結果と比較した場合、大洞B1式を3,120~3,050yrBPとする見解(小林2010)に対して中央値の分布範囲が重複せず100年程度後出の年代値を得たことになり、測定結果の詳細が公開された後にはあらためて晩期の開始年代について議論する必要が生じるだろう。

参考までに上記以外の青森県内における後期後葉から晩期の測定結果をまとめる。

炭化物等

- ・十腰内IV群：十腰内(1)遺跡/SI107床面・3, 260±40yrBP, 3, 260±40yrBP(青理文編2001)
- ・十腰内V群：大川添(4)遺跡/S109・3, 080±20yrBP, SK09底面直上・3, 130±20yrBP(青理文編2014)
 - 芦沢(2)遺跡/S106床面・3, 130±20yrBP(青理文編2014)
 - 獅子神遺跡/1号住・2, 540±50yrBP, 2号住・3, 050±50yrBP(青理文編2003)
 - 米山(2)遺跡/S11004・3, 220±40yrBP(青理文編2005)
- ・後期末葉～晩期初頭：川原平(1)遺跡/SN-33(図4-14土器内)・3, 070±20yrBP(本報告)
- ・晩期初頭：川原平(1)遺跡/Sec1-III-2層(特23漆塗膜)・3, 000±20yrBP(本報告)
- ・晩期初頭～前葉：有戸島井平(7)遺跡/AS13・2, 890±30yrBP(青理文編2003)
- ・大洞B2式：野尻(1)遺跡/407号焼土・2, 970±40yrBP(青理文編2002)
- ・晩期前葉～中葉：有戸島井平(7)遺跡/BSI11・2, 860±30yrBP(青理文編2003)
- ・大洞C1式：野尻(1)遺跡/414号焼土・2, 680±50yrBP(青理文編2002)
- ・晩期中葉：野尻(1)遺跡/409号焼土・2, 700±50yrBP(青理文編2002)

土器付着物

- ・後期後葉～晩期初頭：芦沢(2)遺跡/2, 920±20yrBP(青理文編2014)
- ・後期後葉～晩期前葉：大川添(2)遺跡/2, 930±20yrBP(青理文編2012)
- ・大洞B1式：川原平(1)遺跡/4, 280±40yrBP(青理文編2006)
- ・大洞B2式：大川添(2)遺跡/2, 920±20yrBP(青理文編2012)
- ・川原平(1)遺跡/2, 960±30yrBP(青理文編2006)
- ・大洞B2式～BC式：不偏無遺跡/2, 925±20yrBP(開根・上條編2012)
- ・大洞BC式：川原平(1)遺跡/2, 925±35yrBP, 2, 875±30yrBP, 2, 990±40yrBP(青理文編2006)
- ・大洞BC～C1式：不偏無遺跡/2, 880±20yrBP(開根・上條編2012)

- ・大洞C1式：杉沢遺跡/2, 860±20yrBP(閑根・上條編2012)
- ・大洞C2式：川原平(1)遺跡/2, 580±80yrBP, 2, 710±40yrBP(青理文編2006)
- ・大洞C2～A式：米山(2)遺跡/AOMB1a・2, 570±30yrBP, AOMB1b・2, 450±35yrBP(青理文編2005)

注目される土器

1) 穿孔のある土器

いわゆる補修孔ではない焼成後穿孔が施された土器として図11-2(注口・後期7-4期)、53-4(注口・晚期1a)、57-5(壺・晚期3)、102-3(注口・後期8)、115-5(深鉢・後期7-4)があげられる。117-8は後期末葉～晚期初頭の注口で、底部に穿孔を試みた痕跡が確認できる。

図109-4・116-11は、深鉢の胴部中位に補修孔が認められる例である。

2) 香炉の使用痕

図21-1では、香炉の内底面に付着したススの範囲を図化した。80-1も同様に内底面にススが付着しており、香炉内部では何かを燃やしたこと明らかである。

3) 人面・獸面付土器

本遺跡では人面・獸面付土器が多数出土している。過去の調査においても写真92に示したように人面付注口、人面・獸面付香炉が出土している。今回報告範囲でも次のように多数出土している。図21-1(人面付香炉)、21-2(人面付注口)、28-5(人面付注口)、33-2(簡略化された獸面が付された香炉)、61-5(獸面付香炉)、64-9(獸面付香炉)、72-10・11(人面付壺?)、80-1(獸面付香炉)、92-11(人面・獸面付香炉)、94-3(簡略化された人面が付された壺)、117-7(人面付深鉢?)。時期は後期後葉～晚期初頭に集中している。なお、人面・獸面付土器は特別な出土状況を示してはおらず、その表現は土器の装飾の一部であったと考えられる。

4) 両性表現のある土器

後期末葉から晚期初頭の注口土器は、注口部を男性器に見立て、基部に二袋状の膨らみをもつ例が多数ある。図44-4もその一つで、時期は晚期1a期である。注口基部の二袋状の膨らみの間に、スリットを伴う突起が付されている。このような例は他に知られておらず、男性器表現と女性器表現が同一個体内に共存している現象と捉えたい。

5) 焼けひずみのある土器と焼成粘土塊

図77-3は焼けひずみのある粗製深鉢で、焼成失敗品の可能性がある。時期は晚期前半と考えられる。焼成粘土塊は写真232に示したように複数点出土しているが、これらの時期は特定できていない。また、後期末葉には図38-4・70-7など本遺跡でしか確認できないような粗製深鉢に文様を描いたと考えられる土器があり、本遺跡内で土器を生産していた可能性は高い。このほか、保管されたような出土状況を示す白色粘土(写真90)もあり、これらが土器生産と関係するのかどうか検討すべき課題である。

(岡本)

2 石 器

1 石材環境

本遺跡の最初の報告（青埋文編2006）で、膨大な量の珪質頁岩製の剥片と長径15cmほどの原石が数点出土したことが記述された。珪質頁岩が分布する西目屋村の遺跡においては、一般に各時期とも石器の出土量が多く、原石も集落内に持ち込まれて石器製作が行われている。その詳細については『大川添(4)遺跡』で詳述した（青埋文編2014）。

石材産地だけに、礫面がついた剥片も石器素材として多数使用されている。両縁に加工のあるものについて、珪質頁岩の部分が刃部、礫面に近い軟質部分については手に持つ部分もしくは着柄部分に位置する可能性がある。削器のなかには加工の大きな縁辺が軟質部分であり、反対側の珪質で側縁の弱い剥離のある方が刃部と判断できる物がある。

珪質頁岩の原石は基本的に、水摩をうけており、凸部にローリングの痕跡をもつものが多い。このことから岩木川の本・支流の川原から搬入したものが多いと考えられる。石質は堅緻で良質のものから、珪化の進んでいないものまで多様である。

写真217-14は、刃部のみが珪質頁岩で、他は軟質で凝灰岩質となっている。石核においても、事実記載の項で述べたように礫面を作業面の背後にし、中心部の珪質頁岩の部分を可能な限り採取しようとしているのがみられる。

石材については、晩期になると、在地石材の利用が顕著になる。北海道では黒色の安山岩で削器が製作されることもある。津軽西部では地元で採取できる緑色凝灰岩を使用した玉作りが行われる。磨製石斧に関しては岩手県川目A・手代森遺跡の「蛇紋岩」、二子貝塚の花崗岩類、雨滝遺跡や青森県泉山遺跡の安山岩製のものなどが製作される。本遺跡では、北海道日高産と考えられる良質の緑色岩のほかに、粗粒玄武岩など、磨石などに使用される石材のものが出土している。今回の報告資料には敲打整形の石斧等の未製品の出土はなく、本遺跡で製作された痕跡はない。しかし、粗粒玄武岩は各地に産するので製作地域は不明である。千点以上出土した黒曜石については、今後、産地分析を行う予定であるが、肉眼的には出来島（岩木山系）産のものが多数を占め、深浦産のものを含む。遺跡から北に岬を越えて9.5km先の、中村川支流の孫産童子川でも同質の黒曜石が採取できる。中村川ではその合流点より下流でも採取することができる。本遺跡の周辺では筆者が整理した大川添(4)遺跡（縄文時代中期末～後期初頭主体）では黒曜石は縄文時代早期の日計式に伴う深浦産が1点のみ出土した。西目屋村では後期前葉～末葉の砂子瀬遺跡で161点の黒曜石が産地分析され、出来島（岩木山系）産のものが多数を占めている（青埋文編2012・2014）。後期前葉以降、その利用が増加するようであるが、晩期を主体とする弘前市薬師遺跡で計9,416.6gの黒曜石が出土しており（青埋文編2014）、晩期にはより多く使用されると考えられる。

磨石・石皿等の礫石器に使用される石材についても、付近に花崗閃綠岩の大沢岩体があるほか、デイサイト、安山岩、緑色凝灰岩、粗粒玄武岩なども岩木川の河原で採取可能である。そのためか、礫石器の出土数量は多い。

2 石器生産技術

縦長剥片を連続的に剥離するものや、石核縁辺から求心的に剥離するもの、両極打法などがあり、それらで得られる多様な形状の剥片が各種石器に利用されている。

石鐵については、加工部分が少ないものや側縁が非直線的などで粗い加工のものなど、石鐵の項目の未成品としたものから、二次加工剥片とした初期段階のものまで各段階のものがそろう。これらの素材となる小形剥片を剥離した小型の石核も得られており石鐵の製作が行われていたことを示すものと考えられる。

また、両極石器が出土しており、それらがみられないと報告された縄文時代後期末の西目屋村水上(4)遺跡(青森県教育委員会2011)と様相が異なる。

石核転用敲石の一部は磨製石斧製作遺跡にみられる「多面体を呈する敲石」(阿部1984・1990)に類似する。対象物については不明であるが、本遺跡の場合は、有縁石皿、中高の石皿などの敲打整形に使用した可能性も想定される。

3 アスファルト付着石器

産地である秋田県境に近いためか、石鐵・石匙はアスファルトの付着するものが多い。付着率を提示することはできなかったが、前述の大川添(4)遺跡と比較すると、川原平(1)遺跡の付着率は高い。特に石匙への付着は、大川添(4)遺跡ではみられず、岩木川をはさんで、その対岸にある大川添(3)遺跡でも報告されていない。石匙への付着についても縄文時代晩期の時代性が関係する可能性がある。また、削器や剥片においても、付着しているものがあり、使用の際に掻き取りのために使用された可能性がある。

4 剥片等石器組成

本報告書の範囲内は遺構内外ともに縄文時代後期末から晩期であるため、合算して1表にまとめた。珪質頁岩の産地だけに、石核の重量は計194kg、剥片は計1,106kgと非常に多い。また、定形石器では、石鐵・石錐・石匙の比率が高い。

なお、両面調整石器については、分類当初、器種として設定していなかった。刃部が未形成であることから、多くを二次加工剥片に、一部は石槍(未製品?)等他の器種に分類していた。図示したものは、1表の作成にあたって両面調整石器に振り替えた。そして、1表ではその多くが含まれると考えられる二次加工剥片と合算した。

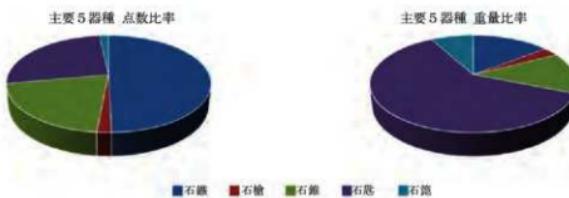
(齋藤)

1表 剥片石器等組成

大分類	器種	点数	重量(g)
定形石器その他	石鏟	1,100	1,938.7
	石槍	43	384.9
	石錐	455	1,863.2
	石匙	582	8,207.9
	石鎌	38	1,070.1
	撞器	15	282.7
	削器	661	13,678.1
	両極石器	36	498.3
	二次加工剥片*	3,988	70,960.2
	異形石器	25	394.9
	微細剥片	1,382	26,523.2
	(小計)	8,325	125,802.2
石核	石核	2,228	193,961.9
	石核軸用敲石	53	6,898.4
剥片	接合資料含む		1,105,700.0
黒曜石	黒曜石製剥片・石核**	1,022	2,626.4
石斧	磨製石斧	17	1,790.1
	打製石斧	3	885.2
自然縫	珪質頁岩原石	82	16,702.6
	黒曜石原石	1	94.0
	水晶	7	10.8
全合計		10,606	1,432,362.5

※ 両面調整石器を含む。

※※ 二次加工剥片・微細剥片を含む。石鏟・異形石器は含まない。



3 その他の遺物

1 共伴土器から推定される土偶の時期

図185-1はIV P-45グリッドで後期8期の土器とともに出土しており、後期末葉の土偶である。図186-2はIV V-32グリッドで後期末葉頃の注口土器破片(P2006・非掲載)の隣で出土しており、これも後期末葉の土偶として問題がないように思われる。

2 鉛物(マンガンノジュール)を加工した遺物

図195-29は鉛物(マンガンノジュール)を加工した遺物である。外見は金属滓のようであるが自然の素材で、それに対して石製品のように穿孔を試みている。出土場所はIV T-45グリッドIII層である。当該グリッドの土器は固化したものがないが、取上げ時のメモは「斜面下の方、大洞BCの近くで出土。撓乱があったかも知れないがIII層から出たのは確か。9月8日」となっており、調査時点では金属滓と考えていた。2014年調査で西捨場から同様の有孔製品が出土しており、マンガンノジュールと判定されたため図195-29も金属滓ではないことが分かり、縄文時代の遺物として掲載することができた。

3 漆 製 品

今回報告範囲は台地上の乾燥地であるが、漆製品が多数出土した。漆製品の多くは櫛の破片と考えられるが、実測できたものは少ない。図205-4は艦胎漆器で、器種は壺と考えられる。また、生漆と思われるものが付着している土器(図27-10・写真197)が確認できるため、遺跡内で漆の調整を行っていたと考えられる。漆は赤色漆が多く、黒色漆はない。漆付着土器は塗彩されたものを含め、今回報告範囲では晩期に限られる。

4 アスファルト

アスファルト塊は図205に示したように数点出土している。補修や貯蔵、調合に用いたためにアスファルトが付着した土器もある。図205-5の黒色付着物は、分析の結果アスファルトと漆の混合物であることが分かった。漆黒色で光沢のある黒色物質は、アスファルトと漆の混合を疑う必要があるだろう。205-8・11のように歯が多く入ったアスファルト塊は、表面に砂粒が多く食い込んでおり、精製前に地面に置かれたことが分かる。断面で見ると不純物が含まれていたようには見えない。

5 赤色顔料の生産に関わる遺物

赤色顔料の煮沸製粉に関わると考えられる、内面に顔料が付着した深鉢が複数点出土した。図4-20・21-3・105-12は晩期と考えられる。100-2は後期、4-10・108-10は晩期の有文土器で、確実に煮沸製粉に用いられたと言えるわけではないが、内面に赤色顔料が付着している。また、赤色顔料粉末を貯蔵したと考えられる壺(図112-2)や注口(図80-5・113-5)も出土している。写真240で示したように赤色顔料の素材となる赤石も多量に出土しているほか、赤石を粉末にする際に用いられた敲石や石皿がある(図180・181)。赤色顔料塗彩土器は主に晩期で、特に確実な赤色漆が塗彩されたものは今回報告範囲では晩期に限られる。

(岡本)

引用参考文献

- 青森県教育厅文化財保護課編 2002『三内丸山遺跡X』青森県埋蔵文化財調査報告書第338集 青森県教育委員会
- 青森県教育厅文化財保護課編 2015『西目屋村川原平(1)・(4)遺跡隣接地』『青森県遺跡詳細分布調査報告書』27
- 青森県埋蔵文化財調査報告書第560集 青森県教育委員会
- 青森県埋蔵文化財調査センター編 1987『大湊近川遺跡発掘調査報告書』青森県埋蔵文化財調査報告書第104集 青森県教育委員会
- 青森県埋蔵文化財調査センター編 1988『上尾駄(1)遺跡C地区』青森県埋蔵文化財調査報告書第113集 青森県教育委員会
- 青森県埋蔵文化財調査センター編 1993『野脇遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第149集 青森県教育委員会
- 青森県埋蔵文化財調査センター編 1996『山舟遺跡Ⅲ』青森県埋蔵文化財調査報告書第190集 青森県教育委員会
- 青森県埋蔵文化財調査センター編 2001『十櫻内(1)遺跡Ⅱ』青森県埋蔵文化財調査報告書第304集 青森県教育委員会
- 青森県埋蔵文化財調査センター編 2002『野尻(1)遺跡Ⅳ』青森県埋蔵文化財調査報告書第320集 青森県教育委員会
- 青森県埋蔵文化財調査センター編 2003『獅子仲遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第339集 青森県教育委員会
- 青森県埋蔵文化財調査センター編 2003『有戸島(2)遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第348集 青森県教育委員会
- 青森県埋蔵文化財調査センター編 2005『米山(2)遺跡Ⅲ』青森県埋蔵文化財調査報告書第391集 青森県教育委員会
- 青森県埋蔵文化財調査センター編 2006『川原平(1)・(4)遺跡、大川添(2)遺跡、水上遺跡』
- 青森県埋蔵文化財調査報告書第409号 青森県教育委員会
- 青森県埋蔵文化財調査センター編 2012『砂子瀬遺跡Ⅲ』青森県埋蔵文化財調査報告書第313集 青森県教育委員会
- 青森県埋蔵文化財調査センター編 2012『大川添(2)遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第515集 青森県教育委員会
- 青森県埋蔵文化財調査センター編 2013a『平成25年度川原平(1)遺跡・水上(2)遺跡現地見学会資料』
- 青森県埋蔵文化財調査センター編 2013b『川原平(1)遺跡』平成25年度青森県埋蔵文化財発掘調査報告会』
- 青森県埋蔵文化財調査センター編 2014『川原平(1)遺跡』『文部省附置出土書類』2014年7月号通巻308号 ジャパン通信情報センター
- 青森県埋蔵文化財調査センター編 2014『川原平(4)遺跡Ⅲ』青森県埋蔵文化財調査報告書第539集 青森県教育委員会
- 青森県埋蔵文化財調査センター編 2014『芦沢(2)遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第410集 青森県教育委員会
- 青森県埋蔵文化財調査センター編 2014『大川添(4)遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第512集 青森県教育委員会
- 青森県埋蔵文化財調査センター編 2014『砂子瀬遺跡Ⅳ』青森県埋蔵文化財調査報告書第433集 青森県教育委員会
- 青森県埋蔵文化財調査センター編 2014『大川添(3)遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第544集 青森県教育委員会
- 青森県立郷土博物館 1984『鮫ヶ岡石器時代遺跡』青森県立郷土博物館調査報告書第17集・考古-6
- 大平山元I遺跡発掘調査団編 1999『大平山元I遺跡の考古学的調査』 大平山元I遺跡発掘調査団
- 平賀町教育委員会編 1981『組合I遺跡』平賀町埋蔵文化財報告書第9集
- 秋田県埋蔵文化財センター編 1983『平拝遺跡発掘調査報告書』秋田県文化財調査報告書第101集 秋田県教育委員会
- 秋田県埋蔵文化財センター編 1988『玉内遺跡発掘調査報告書』秋田県文化財調査報告書第173集 秋田県教育委員会
- 秋田県埋蔵文化財センター編 1989『八木遺跡発掘調査報告書』秋田県文化財調査報告書第181集 秋田県教育委員会
- 秋田県埋蔵文化財センター編 1990『深渡遺跡・森吉山ダム建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書I-1』
- 秋田県文化財調査報告書第286集 秋田県教育委員会
- 秋田県埋蔵文化財センター編 1998『虫内I遺跡』秋田県文化財調査報告書第274集 秋田県教育委員会
- 秋田県埋蔵文化財センター編 2000『平川遺跡』秋田県文化財調査報告書第294集 秋田県教育委員会
- 秋田県埋蔵文化財センター編 2002『向塚A遺跡』秋田県文化財調査報告書第346集 秋田県教育委員会
- 秋田県埋蔵文化財センター編 2004『向塚B-A遺跡 遺物編』秋田県文化財調査報告書第370集 秋田県教育委員会
- 秋田県埋蔵文化財センター編 2005『向塚D遺跡』秋田県文化財調査報告書第392集 秋田県教育委員会
- 秋田県埋蔵文化財センター編 2006『深渡遺跡・森吉山ダム建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書 XVI-1』
- 秋田県文化財調査報告書第407集 秋田県教育委員会
- 秋田県埋蔵文化財センター編 2008『塚ノ内遺跡』秋田県文化財調査報告書第432集 秋田県教育委員会
- 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター編 1986『防板遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第98集 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
- 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター編 1988『丁代森遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書 第108集 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
- 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター編 1994『黒内Ⅸ・黒内ⅩIII遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第208集 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
- 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター編 2010『雨瀬遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第562集 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
- 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター編 2012『川日A遺跡第5次調査発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第589集 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
- 久慈市教育委員会 1993『二子貝塚』久慈市埋蔵文化財調査報告書第16集 久慈市教育委員会
- 中郷村教育委員会 1987『龍崎遺跡発掘調査概報』中郷村教育委員会
- 北海道埋蔵文化財センター編 1987『千歳市 ママ子遺跡Ⅲ』北海道埋蔵文化財センター調査報告書第36集 北海道埋蔵文化財センター
- えりも町教育委員会 2000『油駒遺跡』えりも町教育委員会

- 奥尻町教育委員会 1999 「青苗B遺跡」 奥尻町教育委員会
- 泊村教育委員会 1985 「浜井遺跡発掘調査報告書」 泊村教育委員会
- 秋田かな子 2008 「加曾利B式土器」『縄文土器総覧』 アム・プロモーション
- 阿部朝晴 1984 「多面体を呈する鐵石について」『豊栄市史研究』第2号 豊栄市
- 阿部朝晴 1990 「多面体を呈する鐵石－再論」『帝京史学』第5号 帝京大学
- 江坂輝彌 1960 「土偶」校倉書房
- 江坂輝彌 1965 「青竜刀形石器考」『史学』第38巻第1号 三田史學會
- 奥山 誠 1954 「縄文晩期の組石棺—秋田県北秋田郡早口町矢石館遺跡—」『考古学雑誌』第40巻第2号 日本考古学会
- 加藤雅士 2007 「関東・中部地方後晩期の石棺墓」「死と弔い—葬制—」縄文時代の考古学 同成社
- 児玉大成 2007 「東北地方北部の再考察」「死と弔い—葬制—」縄文時代の考古学 同成社
- 児玉大成 2015 「東北北の環状列石」「死輕海岳巻の縄文文化」 瓢太平洋文明叢書1 雄山閣
- 小林謙一ほか 2006 「川原平(1)遺跡出土土器付着物の14C年代測定」『川原平(1)・(4)遺跡・大川添(2)遺跡・水上遺跡』 青森県埋蔵文化財調査報告書第409集 青森県教育委員会
- 小林圭一 2008 「塗付土器」『縄文土器総覧』 アム・プロモーション
- 小林圭一 2010 「龜ヶ岡式土器成立期の研究—東北地方における縄文時代晚期前葉の土器型式一」早稲田大学総合研究機構先史考古学研究所
- 齊藤岳・島口天・長井雅史・金成太郎・杉原重夫 2010 「弘前市中村川支流の孫鹿童子沢に分布する黒曜石の全岩化学組成」「青森県立郷土館研究紀要」第34号 青森県立郷土館
- 島口 天 2006 「遺跡周辺の地形・地質」『川原平(1)・(4)遺跡・大川添(2)遺跡・水上遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第409集 青森県教育委員会
- 島口 天 2013 「川原平(4)遺跡A区の地形・地質」「川原平(4)遺跡II」青森県埋蔵文化財調査報告書第527集
- 鈴木克彦 2009 「十勝内I遺跡の青玉攻玉と壺に収納された青玉の流通」『研究紀要』第13号 青森県埋蔵文化財調査センター
- 鈴木克彦 2013 「第I部I 分布図と文化圏」「青森県史 資料編」考古2 縄文後期・晚期 青森県
- 鈴木克彦編 2014 「北日本縄文時代理設土器・埋設構造集成」北日本縄文文化研究会叢書2 北日本縄文文化研究会
- 鈴木克彦 2015 「透光器土偶の集成研究」弘前学院大学出版会
- 鈴木保彦 2015 「配石墓研究 追述と再考(1)－その分布と形態－」『縄文時代』第26号 縄文時代文化研究会
- 須藤 隆 1992 「東北地方における晚期縄文土器の成立過程」「加藤祐先生還暦記念 東北文化論のための先史学歴史学論集」加藤祐先生還暦記念会
- 須原 拓 2013 「「日A」遺跡出土の製石斧にみる石斧生産について」『紀要』XXXII 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター編
- 開根達人 2002 「「良上貝塚出土晚期縄文土器の再検討」『宮城考古学』第4号 宮城県考古学会
- 開根達人 2005 「「十一櫻内III・IV・V群土器」に関する今日的理解」「葛西勤先生還暦記念論文集 北奥の考古学」葛西勤先生還暦記念論文集刊行会
- 開根達人・上條信彦編 2012 『下北半島における龜ヶ岡文化の研究 青森県むつ市不偏無遺跡発掘調査報告書』弘前大学人文学部日本考古学研究室研究報告8 弘前大学人文学部附属図書室
- 開根達人 2013 「第I部 II 土器の編年」「青森県史 資料編」考古2 縄文後期・晚期 青森県
- 辻誠一郎・中村俊夫 2001 「縄文時代の高精度編年」「第四紀研究」第40巻第6号 第四紀研究会
- 辻誠一郎 2000 「三内丸山の層序と年代」「植生史研究」特別編2号 日本植生史学会
- 富澤泰時 1983 「青竜刀形石器」「縄文文化の研究」9 雄山閣
- 中門亮太 2013 「東北地方北部における塗付土器の基礎的研究」『古代』第131号 早稲田大学考古学会
- 奈良修介・豊島昂 1967 「秋田県の考古学」郷土考古学叢書3 吉川弘文館
- 成田末五郎 1958 「第1章 第1節4、遺跡と沿革」「日暮ダム建設記念 砂子瀬部落誌」十和田市木川総合開発協議会
- 西木豊弘 2009 「平成16~20年文部科学省・科学研究費補助金企画創成研究費「弥生農耕の起源と東アジア一供牟千年代測定による高精度編年体系の構築」」(課題番号16G S0118)研究成果報告書 研究代表者西木豊弘
- 福田友之 1984 「西目屋村砂子漸村元出土の遺物」「青森県考古学」第1号 青森県考古学会
- 藤沼邦彦 1997 「歴史発掘③ 縄文の土偶」 講談社
- 藤沼邦彦ほか編 2005 「青森県東津輕郡平賀村今津遺跡発掘調査報告書—津軽半島東泊岸部における龜ヶ岡文化の遺跡—」弘前大学人文学部日本考古学研究室研究報告2 弘前大学人文学部日本考古学研究室
- 藤沼邦彦・開根達人 2008 「龜ヶ岡式土器(龜ヶ岡式土器群)」「縄文土器総覧」 アム・プロモーション
- 藤沼邦彦ほか編 2008 「青森県三戸郡三戸町杉沢遺跡発掘調査報告書」弘前大学人文学部日本考古学研究室研究報告6 弘前大学人文学部日本考古学研究室・弘前大学人文学部附属図書室
- 前川寛利・大塚和義・諸間秀彦 2010 「若石考古学の構築: 若石考古学の手法を用いた縄文土器の解析」『特別史跡 三内丸山遺跡 年報』第10号 青森県教育委員会
- 村越 潔 1984 「増補 内筒土器文化」雄山閣考古学叢書10 雄山閣
- 山口義伸 2014 「遺跡周辺の地形及び地質について」『川原平(4)遺跡III』青森県埋蔵文化財調査報告書第539集 青森県教育委員会
- 新潮社編 2014 「青森縄文王国」 新潮社

檢出遺構一覽表

検出遺構一覧表(1)

遺構種別	遺構名	遺構図	写真	グリッド	備考	遺物図	調査年
建物跡	SI01	1	19	IVP-25, 26			1 11
	SI02	2	20	IVR-40, 41			1 11
	SI03	【欠番】		—	土器ブロックに変更		22~24 11
	SI04	3	21	IVR-27			2 13
	SI05	4	22	IVR-37			2 11
	SI06	4	22	IVU-31			2 13
	SI101	5	23, 24 36	IVT-34, 35, 36 IVU-34, 35, 36	SN45~48および82基のPitで図上復元		3, 写193 整理
	SN01	6	25	IVV, IVW-32			4 11
焼土遺構	SN02	6	25	IVV-32			11
	SN03	6	25	IVR-43			4 11
	SN04	6	25	IVR-43			11
	SN05	6	26	IVQ-41			11
	SN06	6	26	IVQ-41			11
	SN07	6	26	IVQ-39			11
	SN08	6	26	IVQ-40			11
	SN09	6	27	IVR-44			11
	SN10	7	27	IVQ-41			11
	SN11	7	27	IVR-40			11
	SN12	7	27	IVR-42			11
	SN13	7	28	IVR, IVS-44			11
	SN14	7	28	IVR-37			11
	SN15	7	28	IVR-36			11
	SN16	7	28	IVS-36, 37	SN17・SN20含む		11
	SN17	【欠番】		IV	SN16に統合		11
	SN18	7	28	IVR-38			11
	SN19	8	28	IVS-37			11
	SN20	【欠番】		IVS-37	SN16に統合		11
	SN21	8	29	IVN-41			11
	SN22	8	29	IVN-42			11
	SN23	8	29	IVP-42			11
	SN24	8	29	IVN-44			11
	SN25	8	29	IVR, IVS-46			4 11
	SN26	8	30	IVR-46			11
	SN27	8	30	IVS-47			11
	SN28	8	30	IVR-49			4 11
	SN29	9	30	IVQ-44, 45			11
	SN30	9	31	IVR-46			11
	SN31	9	31	IVS-49			4 11
	SN32	9	31	IVQ-46			4 11
	SN33	9	31	IVQ-44, 45	SN40を含む		4 11
	SN34	9	32	IVR-45			11
	SN35	9	32	IVR-45			4 11
	SN36	【欠番】		IVT-48	SN41に変更		13 11
	SN37	10	32	IVS-44			11
	SN38	10	32, 33	IVT-48			5 11
	SN39	10	33, 52	IVT-48			5, 6 11
	SN40	【欠番】		IVQ-44	SN33に統合		11
	SN41	10	33	IVT-35			11
	(SN42)	【欠番】	現地性の焼土ではないが、隣接するSN41の時期判定のため、本焼土直下の出土土器を掲載。				6 11
	SN43	10	34	IVV-34			6 13
	SN44	10	34	IVS-36			6 13
	SN45~48	【欠番】	24	IVU-34, 35	SI101に統合		13
	SN49	10	34	IVV-33			6 13
	SN50	10		IVS-35	Sec7の中にあり		13
	SN51~52	IIIで報告					
	SN53	10	34	IVS-37			13
土坑	SK01	11	38	IVS-42			8 11
	SK02	11	38	IVO-37			11
	SK03	11	38	IVN-38			11
	SK04	11	38	IVO-40			8 11
	SK05	11	38	IVR-28			8 13

検出構造一覧表(2)

遺構種別	遺構名	遺構図	写真	グリッド	備考	遺物図	調査年
石棺状配石	SQ14	12~14	39~41 47	IVU, IVW-32			11 13
	SQ18	12・15~19	39・42~ 46・48	IVU-32, 33 IVV-32, 33			11 13
配石遺構	SQ01	20	49	IVV-32		9	11
	SQ02	20	49, 50	IVV-31, 32		9	11
	SQ03	21	50	IVV, IVW-32			11
	SQ04	21	50	IVQ-40			11
	SQ05	21	50	IVR-43			写194 11
	SQ06	21	50	IVR-43		9	11
	SQ07	21	50	IVR, IVS-37		9	11
	SQ08	21	51	IVR, IVS-45		9	11
	SQ09	22	51	IVR-44, 45	SQ13を含む	10	11
	SQ10	22	51	IVS-46			11
	SQ11	23	52	IVS-47		10, 11	11
	SQ12	22	52	IVT-48		5	11
	SQ13 【欠番】			SQ09に統合			11
土器埋設遺構	(SQ14)	12~14		上記参照	「石棺状配石」とする	11	
	SQ15	IVで報告				12	
	SQ16	23	46	IVV-31, 32・IVW-31	SQ17を含む	11	13
	SQ17 【欠番】			IVV-32	SQ16に統合		13
	(SQ18)	12・15~19		上記参照	「石棺状配石」とする	11	
	SQ19	24	53	IVR-34, 35・IVS-35	「旧IVR-35配石」を含む	12, 13	13
	SQ20~37	III, IVで報告					
	SQ38~40 【欠番】						13
	SQ41	23	52	IVT-48	SN36から変更	13	整理
	SR01	25	54	IVW-32		14	11
	SR02	25	54	IVQ-38		14	11
	SR03	25	54	IVQ-38		14	11
	SR04	25	54	IVQ-38		14	11
	SR05	25	55	IVQ-38		写195	11
	SR06	25	55	IVQ-42		14	11
	SR07	25	55	IVP-40		14	11
	SR08	25	55	IVR-44		14	11
	SR09	25	55, 56	IVR-44		14	11
	SR10	26	55, 56	IVR-44		14	11
	SR11	26	56	IVR-43		15	11
	SR12	26	56	IVR-43		15	11
	SR13	26	56	IVR-44		15	11
	SR14	26	57	IVR-44		15	11
	SR15	26	57	IVR, IVS-43		15	11
	SR16	26	57	IVS-44		15	11
	SR17	26	57	IVS-44		15	11
	SR18	26	58	IVM-40		15	11
	SR19	27	58, 59	IVM-39		15	11
	SR20	27	58, 59	IVM-39		15	11
	SR21	27	58, 59	IVM-39		16	11
	SR22	27	58, 59	IVM-39		16	11
	SR23	27	58, 59	IVM-39		16	11
	SR24	28	59	IVN-39		写195	11
	SR25	27	58, 59	IVM-39		16	11
	SR26	28	60	IVR-44			11
	SR27	28	60	IVQ-45			11
	SR28	28	60	IVQ-45		16	11
	SR29	28	60, 61	IVR-46			11
	SR30	28	61	IVT-49, 50		16	11
	SR31	28	61	IVS-49		写195	11
	SR32	28	61	IVS-49		16	11
	SR33	28	62	IVT-49		16	11
	SR34	28	62	IVS-44		16	11
	SR35	28	62	IVQ, IVR-44		16	11
	SR36	28	62	IVR, IVS-44			11

柱穴一覧表 (1)

Pit No.	グリット	深さ (cm)	出土 遺物・備考	Pit No.	グリット	深さ (cm)	出土 遺物・備考
0001	IVQ-39	12	後期7-4期～晚期	0052	IVR-38	15	遺物なし
0002	IVQ-39	13	後期7-4期～晚期	0053	IVR-38	23	遺物なし
0003	IVR-40	15	後期7-4期～晚期	0054	IVR-38	16	遺物なし
0004	IVO-36	43	後期1期(図7-1)。	0055	IVR-38	18	無文の注口土器。後期末葉～晚期初頭。
0005	IVN-36	31	遺物なし	0056	IVR-38	14	後期7-4期～晚期
0006	IVN-35	25	沈縫のみ施文の土器片、晚期か。剥片(図161-8)。	0057	IVR-38	17	遺物なし
0007	IVN-36	35	遺物なし	0058	IVR-37	23	遺物なし
0008	IVN-36	34	遺物なし	0059	IVR-37	36	遺物なし
0009	IVP-36	26	遺物なし	0060	IVR-38	22	遺物なし
0010	IVP-36	17	遺物なし	0061	IVS-37	28	遺物なし
0011	IVP-36	22	遺物なし	0062	IVR-37	24	後期7-4期～晚期
0012	IVP-36	20	遺物なし	0063	IVR-37	21	晚期1b期 壱(図7-10)。
0013	IVP-35	22	遺物なし	0064	IVQ-38	11	後期7-4期～晚期
0014	IVP-35	32	遺物なし	0065	IVR-38	9	後期7-4期～晚期
0015	IVP-35	21	遺物なし	0066	IVR-39	31	晚期赤彩壺。
0016	IVP-35	38	遺物なし	0067	IVR-39	27	後期7-4期～晚期
0017	IVP-35	26	遺物なし	0068	IVR-39	17	無文の注口土器。後期末葉～晚期。
0018	IVS-38	113	後期前葉茎部。	0069	IVR-39	26	遺物なし
0019	IVR-37	114	多量に破片を含む。 住居で後期7-4深鉢ほか(図7-2,3,5,6)。 前方で後期7-4深鉢ほか(図7-4)。 S 105より新しい。	0070	IVP-42	25	遺物なし
0020	IVS-40	26	後期7-4期～晚期。	0071	IVQ-42	12	後期7-4期～晚期
0021	IVS-41	37	遺物なし	0072	IVQ-41	26	後期8期深鉢(図7-11)、破碎した骨舟。
0022	IVS-41	35	晚期赤彩壺。	0073	IVQ-41	12	遺物なし
0023	IVS-41	33	後期7-4期～晚期	0074	IVQ-40	12	晚期1b期注口。
0024	IVS-41	35	遺物なし	0075	IVQ-40	20	遺物なし
0025	IVR-41	34	晚期赤彩壺。	0076	IVN-40	21	晚期1期注口。
0026	IVS-41	21	遺物なし	0077	IVQ-40	16	晚期前葉とみられる粗製深鉢(図7-12)。
0027	IVS-41	27	遺物なし	0078	IVN-40	46	遺物なし
0028	IVR-41	25	晚期5期 薄鉢。	0079	IVN-39	23	遺物なし
0029	IVR-40	35	後期7-4期～晚期	0080	IVP-36	30	遺物なし
0030	IVR-41	24	遺物なし	0081	IVR-43	17	遺物なし
0031	IVR-41	42	遺物なし	0082	IVR-43	27	遺物なし
0032	IVP-39	45	後期1期 台付鉢(図7-7)。	0083	IVR-43	18	遺物なし
0033	IVS-39	17	後期1期 深鉢(図7-8)。	0084	IVR-43	16	遺物なし
0034	IVR-44	33	後期7-4期～晚期の粗製深鉢(図7-9)。	0085	IVR-43	15	遺物なし
0035	IVR-44	25	粘土1、種3、右舌1(図163-1)。	0086	IVQ-43	31	遺物なし
0036	IVQ-38	1	遺物なし	0087	IVQ-43	24	遺物なし
0037	IVQ-38	不明	遺物なし	0088	IVR-43	27	遺物なし
0038	IVQ-38	6	遺物なし	0089	IVQ-39	36	遺物なし
0039	IVQ-38	7	遺物なし	0090	IVQ-40	22	遺物なし
0040	IVQ-38	25	遺物なし	0091	IVQ-40	14	遺物なし
0041	IVQ-38	13	後期7-4期～晚期	0092	IVR-40	9	遺物なし
0042	IVQ-38	30	遺物なし	0093	IVQ-40	17	遺物なし
0043	IVQ-38	19	後期7-4期～晚期	0094	IVQ-40	26	遺物なし
0044	IVQ-39	20	後期7-4期～晚期	0095	IVQ-40	23	遺物なし
0045	IVR-39	15	遺物なし	0096	IVQ-41	25	遺物なし
0046	IVR-39	不明	遺物なし	0097	IVQ-41	23	遺物なし
0047	IVR-39	不明	遺物なし	0098	IVQ-41	12	遺物なし
0048	IVR-38	6	底の粗製深鉢底部。晚期。	0099	IVQ-41	8	遺物なし
0049	IVR-38	5	遺物なし	0100	IVQ-40	35	遺物なし
0050	IVQ-38	不明	遺物なし	0101	IVR-40	24	遺物なし
0051	IVR-38	不明	遺物なし	0102	IVS-39	31	遺物なし
				0103	IVS-37	45	遺物なし
				0104	IVS-37	22	遺物なし

柱穴一覧表 (2)

Pit No.	グリット	深さ (cm)	出土 遺物・備考
0105	IVR-36	43	遺物なし
0106	IVR-37	29	遺物なし
0107	IVR-37	44	遺物なし
0108	IVQ-37	14	遺物なし 【二列弧状の内側】
0109	IVR-37	26	遺物なし
0110	IVR-37	19	遺物なし
0111	IVQ-37	25	後期7~4期~晚期の粗製深鉢(図7-13)。 【二列弧状の内側】
0112	IVQ-37	13	遺物なし
0113	IVQ-37	23	後期7~4期~晚期
0114	IVQ-37	29	遺物なし 【二列弧状の内側】
0115	IVQ-37	21	遺物なし 【二列弧状の内側】
0116	IVQ-37	23	遺物なし 【二列弧状の内側】
0117	IVQ-37	16	遺物なし
0118	IVQ-37	16	遺物なし
0119	IVQ-37	33	遺物なし
0120	IVQ-37	22	遺物なし
0121	IVQ-37	21	遺物なし
0122	IIVP-43	20	遺物なし
0123	IIVO-43	28	遺物なし
0124	IIVO-43	34	遺物なし
0125	IIVO-43	34	遺物なし
0126	IIVO-44	26	最花式、後晚期を含まない(図7-14~18)。
0127	IIVO-44	30	遺物なし
0128	IVN-48	34	晩期5期壺(図7-19)。
0129	IVB-46	23	後期7~4期~晚期の粗製深鉢(図7-20)。
0130	IVB-33	41	遺物なし
0137	IVB-32	29	遺物なし
			剥片7、RF1、石核1、石繙1。 住痕で条痕有深鉢(写193-30)、 崩力で晚期3~4期壺(写193-31)、 壺底で晩期5期深鉢(写193-29)。
0176	IVT-39	46	住痕で晚期3期鉢(写193-32)、 崩力で後期16期深鉢。石繙未成品1。
0181	IVT-39	55	住痕で後期3期鉢(写193-32)、 崩力で後期16期深鉢。石繙未成品1。
0187	IVT-35	52	後期7~4期深鉢(写193-2)、 崩力で異系統深鉢(写193-3)。 【S1101柱穴】
0188	IIVU-35	32	晩期2期深鉢(図7-21)、 後期7~4期~晚期の粗製深鉢(図7-22)。 【S1101柱穴】
0189	IIVU-35	46	住痕で後期8期深鉢(写193-25)。 崩力で後期3初期の可能性があるが滅した有文土器 片。晩期1期の粗製深鉢(図7-23)。 【S1101柱穴】
0190	IIVU-35	19	遺物なし 【S1101柱穴】
0191	IIVU-35	26	遺物なし 【S1101柱穴】
0192	IVT-39	16	遺物なし
0194	IVT-38	24	遺物なし
0195	IIVS-38	14	遺物なし
0196	IVT-39	11	遺物なし
0200	IVT-39	18	遺物なし
0208	IVT-38	96	剥片2、RF1、後期7~4期~晚期
0209	IVT-38	50	晩期1期浅鉢(写193-33)。
0211	IVT-39	12	遺物なし
0212	IVT-39	17	遺物なし
0220	IVT-40	13	遺物なし
0221	IVT-40	16	遺物なし
0222	IVT-40	8	遺物なし
0223	IVT-40	11	遺物なし

Pit No.	グリット	深さ (cm)	出土 遺物・備考
0241	IVT-41	27	遺物なし
0242	IVT-41	70	遺物なし
0280	IVT-43	132	遺物なし
0307	IVT-44	33	後期7~4期~晚
0318	IVT-45	57	遺物なし
0319	IVT-45	18	遺物なし
0333	IVT-46	15	遺物なし
0336	IVT-46	36	後期7~4期~晚期
0337	IVT-46	19	柱紙で後期7~4期~晚期初頭の粗製深鉢。
0338	IVT-46	33	無文の注口土器。後期末葉~晚期初頭。
0340	IVT-47	30	遺物なし
0341	IVT-47	15	遺物なし
0418	IVT-41	27	遺物なし
0426	IVT-41	82	後期7~4期~晚期
0436	IVT-41	97	晚期5期深鉢(写193-34)。
0453	IVT-46	31	遺物なし
0455	IVT-46	31	遺物なし
0456	IVT-46	16	無文の注口土器。後期末葉~晚期初頭。
0457	IVT-46	93	高台状の底部。後期末葉~晚期初頭。
0458	IVT-46	21	遺物なし
0459	IVT-46	11	遺物なし
0533	IVT-47	27	洞円1。晚期前半とみられる粗製深鉢。
0535	IIVU-34	40	晚期1a期深鉢(写193-20)。 【S1101柱穴】
0536	IVS-36	98	前方で後期8期注口(写193-26, 27)。 柱紙および層で晚期1a期深鉢(図7-24, 25)。
0537	IVS-37	51	遺物なし
0538	IVS-37	54	後期7~4期~晚期の粗製深鉢(図7-28)。
0539	IVT-36	21	小波状口縁の粗製深鉢。後期末葉~晚期前半。
0540	IVU-35	21	遺物なし 【S1101柱穴】
0541	IVV-32	22	後期7~4期~晚期
0542	IVU-35	29	晚期4期鉢(写193-17)。 【S1101柱穴】
0543	IVV-32	19	後期7~4期~晚期
0544	IVU-35	46	後期7~4期~晚期 【S1101柱穴】
0545	IVU-34	50	前方で晚期1a期の付合深鉢(写193-24)。 【S1101柱穴】
0546	IVU-35	22	後期7~4期~晚期 【S1101柱穴】
0547	IVT-37	25	遺物なし
0548	IVT-36	50	遺物なし
0550	IVT-35	14	後期7~4期~晚期 【S1101柱穴】
0555	IVU-35	19	柱紙で後期末葉~晚期初頭注口(写193-15)。 【S1101柱穴】
0556	IVT-35	49	後期7~4期~晚期 【S1101柱穴】
0558	IVU-36	28	遺物なし
0571	IVU-46	61	遺物なし
0571	IVT-37	20	遺物なし
0586	IVT-35	27	遺物なし 【S1101柱穴】
0587	IVT-35	22	遺物なし 【S1101柱穴】
0588	IVU-35	61	遺物なし 【S1101柱穴】
0589	IVU-35	28	遺物なし 【S1101柱穴】
0590	IVU-35	16	遺物なし 【S1101柱穴】
0591	IVU-35	46	遺物なし 【S1101柱穴】
0592	IVT-35	15	遺物なし 【S1101柱穴】
0593	IVU-36	23	遺物なし 【S1101柱穴】
0594	IVU-36	16	遺物なし 【S1101柱穴】

柱穴一覧表 (3)

Pit No.	グリット	深さ (cm)	出土遺物・備考	Pit No.	グリット	深さ (cm)	出土遺物・備考
0595	IWT-35	27	遺物なし	0695	IWT-35	39	遺物なし
0596	IWT-35	22	遺物なし	0707	IWT-34	40	後期7-4期深鉢(写193-27)。耳飾。
0597	IWT-35	20	後期7-4期～晩期	0710	IWT-36	50	後期7-4期～晩期
0598	IWT-34	15	後期1b期深鉢。	0711	IWT-36	46	遺物なし
0599	IWT-34	22	後期7-4期～晩期	0712	IWT-36	33	遺物なし
0600	IWT-34	19	後期7-4期～晩期	0713	IWT-36	25	遺物なし
0601	IWT-34	11	後期7-4期～晩期	0714	IWT-35	15	遺物なし
0602	IWT-34	23	遺物なし	0715	IWT-35	11	遺物なし
0603	IWT-34	10	後期7-4期～晩期	0716	IWT-34	22	遺物なし
0604	IWT-34	10	後期7-4期～晩期	0717	IWT-33	52	遺物なし
0605	IWT-34	13	後期7-4期～晩期	0718	IWT-33	16	遺物なし
0606	IWT-34	18	後期7-4期～晩期	0719	IWT-33	20	遺物なし
0607	IWT-34	17	後期1a期台付深鉢(図7-29)。	0720	IWT-33	45	後期7-4期深鉢(写193-28)。
0608	IWT-34	21	後期7-4期～晩期	0733	IWT-42	53	遺物(3P10436+0733で取りあげている。 後期7-4期～晩期。鉄片2)。
0609	IWT-34	18	後期7-4期～晩期	0743	IWT-40	71	晩期3期深鉢(写193-35)。
0610	IWT-34	13	後期7-4期～晩期	0787	IWT-38	44	後期7-4期～晩期
0611	IWT-34	14	後期8期深鉢。	0824	IWT-40	22	遺物なし
0612	IWT-34	14	後期7-4期～晩期	0829	IWT-41	13	遺物なし
0613	IWT-34	32	後期7-4期～晩期	0830	IWT-41	37	遺物なし
0614	IWT-34	15	後期7-4期～晩期	0870	IWT-46	28	遺物なし
0619	IWT-34	19	遺物なし	0927	IWT-47	15	遺物なし
0620	IWT-34	25	異系統深鉢(図3-0)、 晩期1a期台付深鉢(写193-16)。	0928	IWT-47	18	遺物なし
0621	IWT-34	12	後期7-4期～晩期	0929	IWT-47	17	遺物なし
0622	IWT-34	16	遺物なし	0931	IWT-48	17	遺物なし
0623	IWT-35	37	柱窓で後期7-4期深鉢(写193-23)。	0932	IWT-48	24	遺物なし
0624	IWT-35	12	遺物なし	0934	IWT-48	16	遺物なし
0628	IWT-34	25	後期7-4期～晩期	1038	IWT-39	21	遺物なし
0631	IWT-34	8	晩期1a期深鉢(写193-22)。	1039	IWT-38	13	洞針1
0632	IWT-34	13	後期7-4期～晩期	1066	IWT-41	84	赤彩土器。晩期か。
0642	IWT-34	16	後期8期注口器(写193-21)。	1115	IWT-47	22	遺物なし
0643	IWT-35	6	遺物なし	1117	IWT-32	30	晩期1a期深鉢(図7-31)。 後期7-4期～晩期の粗製深鉢(図7-30)。
0644	IWT-35	10	晩期1期深鉢(写193-18)。	1118	IWT-38	10	遺物なし
0645	IWT-35	11	遺物なし	1119	IWT-38	10	遺物なし
0646	IWT-35	11	遺物なし	1125	IWT-39	11	遺物なし
0647	IWT-35	6	遺物なし	1126	IWT-39	6	遺物なし
0648	IWT-35	18	遺物なし	1127	IWT-39	4	遺物なし
0649	IWT-35	22	後期7-4期～晩期	1128	IWT-39	13	遺物なし
0650	IWT-36	30	遺物なし	1131	IWT-41	7	遺物なし
0651	IWT-47	14	無文の精製陶。晩期。	1132	IWT-41	24	遺物なし
0658	IWT-46	29	遺物なし	1133	IWT-41	41	遺物なし
0666	IWT-34	9	後期7-4期～晩期	1134	IWT-42	26	遺物なし
0667	IWT-34	27	後期7-4期～晩期	1146	IWT-45	47	後期7-4期～晩期
0668	IWT-34	14	遺物なし	1174	IWT-36	36	遺物なし
0669	IWT-35	19	遺物なし	1175	IWT-35	19	遺物なし
0670	IWT-35	27	遺物なし	1176	IWT-33	30	遺物なし
0671	IWT-35	29	後期7-4期～晩期	1177	IWT-33	27	遺物なし
0672	IWT-35	35	遺物なし	1178	IWT-33	18	遺物なし
0673	IWT-35	39	遺物なし	1179	IWT-33	23	後期7-4期～晩期
0674	IWT-35	39	後期末晩～晩期切頭(写193-26)。	1180	IWT-33	14	遺物なし
0675	IWT-35	31	遺物なし	1181	IWT-33	20	遺物なし
0676	IWT-36	59	遺物なし	1182	IWT-32	25	遺物なし
0692	IWT-35	28	遺物なし	1188	IWT-33	27	遺物なし
0693	IWT-35	29	後期7-4期～晩期				

遺物觀察表

縄文土器観察表(1)

器番号	写真	出土位置	層位	器種	形態	時期	特徴	参考	段上No.	筆者No.
1-1	93	S101	貼床	深杯	II	後期Ib	口唇：直目。外面：沈縁。縄文LR(横位)。内面：ナデ。施土：陶器骨粉少々。使用痕：な「」。	1-1と同一個体。	348	348
1-2	93	S101	貼床	深杯	II	後期Ia-b	口唇：直目。外面：沈縁。縄文LR(横位)。内面：ナデ。施土：陶器骨粉少々。使用痕：な「」。	1-1と同一個体。	347	347
1-3	93	S101	貼床	注口	一	後期Ia	口唇：直目。外面：ミガキ。内面：ミガキ。外縁全面体を焼く上にしているが焼付は乏しい。	1-2と同一個体。	352	352
1-4	-	S101	上層	注口	一	後期Ia	口唇：直目。外面：沈縁。外縁による入組文。縄文LR(横位)。内面：ナデ。施土：陶器骨粉少々。	1-3と同一個体。	353	353
1-5	93	S101	下層	深杯	I	後期Ib	口唇：直目。外面：沈縁。外縁による入組文。外縁：カスケード。	1-1と同一個体。	350	350
1-6	93	S101	下層	浅杯小	一	後期Ia	口唇：直目。外面：沈縁。外縁による入組文。外縁：カスケード。	1-1と同一個体。	351	351
1-7	93	S101	上層	深杯	一	後期後期～後期	口唇：直目。外面：ミガキ。外縁：カスケード。底部：ナデ。高台：施土：砂粒多く。使用痕：な「」。底径：5.0cm。	P-15	349	349
1-8	93	S102	床面	深杯	II	後期Ib	口唇：直目。外面：沈縁。体部縄文LR(横位)。内面：ナデ。使用痕：内コマ。	1-1と同一個体。	358	358
1-9	93	S102	1層	深杯	一	後期7-4	口唇：直目。外面：沈縁。外縁による入組文。外縁：カスケード。	1-1と同一個体。	361	361
1-10	93	S102	1層	深杯	一	後期7-4	口唇：直目。外面：沈縁。外縁による入組文。外縁：カスケード。	1-1と同一個体。	362	362
1-11	93	S102	1層	深杯小	一	後期Ia	口唇：直目。外面：沈縊。外縁による入組文。縄文LR(横位)。内面：ナデ。施土：外スス。内コマ。	1-1と同一個体。	364	364
1-12	93	S102	1層	深杯	一	後期Ia-b	口唇：直目。外面：沈縊。外縁による入組文。縄文LR(横位)。内面：ナデ。施土：陶器骨粉少々。	1-1と同一個体。	365	365
1-13	93	S102	1層	深杯	一	後期2	口唇：直目。外面：沈縊。外縁による入組文。内面：沈縊。ミガキ。内面：ナデ。施土：陶器骨粉少々。	1-1と同一個体。	366	366
1-14	93	S102	1層	深杯	一	後期2	口唇：直目。外面：沈縊。外縁による入組文。内面：沈縊。ミガキ。内面：ナデ。施土：陶器骨粉少々。	1-1と同一個体。	367	367
1-15	93	S102	1層	深杯小	一	後期Ia	口唇：直目。外面：沈縊。外縁による入組文。縄文LR(横位)。内面：ナデ。施土：外スス。内コマ。	1-1と同一個体。	368	368
1-16	93	S102	1層	深杯小	一	後期Ia-b	口唇：直目。外面：沈縊。外縁による入組文。縄文LR(横位)。内面：ナデ。施土：陶器骨粉少々。	1-1と同一個体。	369	369
1-17	93	S102	1層	壺	一	後期2	口唇：直目。外面：沈縊。外縁による入組文。内面：沈縊。ミガキ。内面：ナデ。施土：陶器骨粉少々。	1-1と同一個体。	370	370
1-18	93	S102	1層	注口	一	後期後期～3	口唇：直目。外面：沈縊。外縁による入組文。内面：沈縊。ミガキ。内面：ナデ。施土：外スス。	1-1と同一個体。	371	371
1-19	93	S102	1層	台付杯	一	後期Ia	口唇：直目。外面：沈縊。外縁による入組文。内面：沈縊。ミガキ。内面：ナデ。施土：外スス。	1-1と同一個体。	372	372
1-20	93	S102	1層	粗製灰土	一	後期後期～後期	口唇：直目。外面：沈縊。外縁による入組文。内面：沈縊。ミガキ。内面：ナデ。施土：外スス。	1-1と同一個体。	373	373
1-21	93	S102	1層	粗製灰土	I	後期後期～後期	口唇：直目。外面：沈縊。外縁による入組文。内面：沈縊。ミガキ。内面：ナデ。施土：外スス。	1-1と同一個体。	374	374
1-22	93	S102	1層	粗製灰土	I	後期後期～後期	口唇：直目。外面：沈縊。外縁による入組文。内面：沈縊。ミガキ。内面：ナデ。施土：外スス。	1-1と同一個体。	375	375
1-23	93	S102	1層	粗製灰土	I	後期後期～後期	口唇：直目。外面：沈縊。外縁による入組文。内面：沈縊。ミガキ。内面：ナデ。施土：外スス。	1-1と同一個体。	376	376
2-1	93	S104	貼床	深杯	1	後期～後期	口唇：直目。外面：沈縊。縄文LR(横位)。口縁直下に断続窓孔。内面：ナデ。施土：粗良。使用痕：な「」。底径：6.5cm。	P-2	2288	2288
2-2	93	S104	貼床	深杯	1	後期～後期	口唇：直目。外面：沈縊。縄文LR(横位)。口縁直下に断続窓孔。内面：ナデ。施土：粗良。使用痕：な「」。底径：6.5cm。	外スス。	2289	2289

繩文土器観察表(2)

図版号	写真	出土位置	層位	器種	器形	時期	備考	版上No.	整理No.
2-3	93	S104	I層	深杯	I.CI	後期5	外輪：口縁に繩文文様。内輪：縦文文様。口縁に斜めに走る溝がある。内側：口縁に斜めに走る溝がある。内側：口縁に斜めに走る溝がある。内側：口縁に斜めに走る溝がある。	2-1と同一層体。	2295・ 2294
2-4	93	S104	I層	深杯	I.CI	後期5	外輪：口縁に斜めに走る溝がある。内側：口縁に斜めに走る溝がある。内側：口縁に斜めに走る溝がある。	2-3と同一層体。	2296
2-8	93	S105	I層	深杯	後期8	小口部は縫の可能性あり。外輪：縦文文様(偏位)。内輪：縦文文様。内側：ナデ。内輪：ナデ。外輪：外スヌ。	2-3と同一層体。	2617	
2-9	93	S106	覆土	深杯	I	後期1b	口縁：面透かない。外輪：内輪：縦文文様。内側：ナデ。外輪：外スヌ。	2-1と同一層体。	2299
3-1	94	SN15	燒土	深杯	II	後期2	口縁：輪目。外輪：外スヌ。内側：外輪：縦文文様。内側：ナデ。外輪：外スヌ。	3-1と同一層体。	2275
3-2	94	P10187	覆土	深杯	I	後期7-4	口縁：面透ない。外輪：外スヌ。内側：ナデ。内側：ナデ。外輪：縦文文様。内側：ナデ。外輪：外スヌ。	3-1と同一層体。	2299
3-3	94	P10187	板方	深杯	III	後期後段～ 後期前段	口縁：面透ない。外輪：外スヌ。内側：ナデ。外輪：縦文文様。内側：竹管状の工具による。体部縦文文様。周系窓孔。	3-1と同一層体。	2298
3-4	94	P10620	覆土	深杯	-	後期前段～ 後期前段	口縁：面透ない。外輪：外スヌ。内側：ナデ。外輪：外スヌ。内側：ナデ。	3-1と同一層体。	2291
3-5	94	SN458切 (W-1-41)	2層	深杯	-	後期後段～ 後期前段	口縁：面透ない。外輪：外スヌ。内側：ナデ。外輪：外スヌ。内側：ナデ。	3-1と同一層体。	2290
3-6	94	SN458切 (W-1-53)	III層	台付杯	II	後期2	外輪：外スヌ。内側：ナデ。	外輪：外スヌ。内側：ナデ。	2183
3-7	94	SN458切 (W-1-55)	厚忍耐	II	後期2	後期2	外輪：外スヌ。内側：ナデ。外輪：ナデ。内側：ナデ。	外輪：外スヌ。内側：ナデ。	2270
3-8	94	SN458切 (W-35)	地下焼土	壺	III	後期8	外輪：縦文文様。底面：高輪。内側：外スヌ。	器高：11.1cm。底径：3.2cm。	2136
3-9	94	SN458切 (W-34)	2層	深杯	I	後期7-4	口縁：面透。外輪：外スヌ。内側：ナデ。外輪：外スヌ。内側：ナデ。	外輪：外スヌ。内側：ナデ。	2273
3-10	94	SN458切 (W-34)	2層	深杯	II.B.C.I	後期7-4	口縁：面透。外輪：外スヌ。内側：ナデ。外輪：外スヌ。内側：ナデ。	外輪：外スヌ。内側：ナデ。	2239
3-11	94	SN458切 (W-34)	II・ III層	杯	II.B.C.I	後期7-4	口縁：面透する。外輪：外スヌ。内側：ナデ。外輪：外スヌ。内側：ナデ。	外輪：外スヌ。内側：ナデ。	2113
3-12	94	SN458切 (W-34)	III層	深杯	II	後期8	外輪：内側：ナデ。外輪：外スヌ。内側：ナデ。外輪：外スヌ。内側：ナデ。	外輪：外スヌ。内側：ナデ。	2219
3-13	94	SN458切 (W-34)	III層	深杯	II	後期8	外輪：内側：ナデ。外輪：外スヌ。内側：ナデ。外輪：外スヌ。内側：ナデ。	外輪：外スヌ。内側：ナデ。	2219
3-14	94	SN458切 (W-35)	III層	浅杯	I.B.I	後期2	口縁：面透なし。外輪：外スヌ。内側：ナデ。外輪：外スヌ。内側：ナデ。	外輪：外スヌ。内側：ナデ。	P-2419 2195
3-15	94	SN458切 (W-35)	III層	浅杯	I	後期2	口縁：面透なし。外輪：外スヌ。内側：ナデ。外輪：外スヌ。内側：ナデ。	外輪：外スヌ。内側：ナデ。	P-2564 2191
4-1	-	-	-	深杯	-	後期8	口縁：面透なし。外輪：外スヌ。内側：ナデ。外輪：外スヌ。内側：ナデ。	外輪：外スヌ。内側：ナデ。	P-2562 2258

縄文土器観察表(3)

図版号	出土位置	層位	器種	器形	時期	特徴	参考	段上No.	筆記
4-2	94	SN01	深杯	口厚、面取、外腹・底縁2点、縄文R、内面：ナガ。使用痕：なし。	後期後期	底径：9.0cm、4-1と同一個体。	P-1 94%	333-2	
4-3	94	SN03	甌土	深杯小、	後期後期	口厚、面取、外腹・底縁2点、縄文R、内面：ナガ。使用痕：なし。		334	
1-4	94	SN25	Ⅲ層	甌土 1	後期後期	口厚・面取、外腹・底縁2点、縄文R、内面：ナガ。使用痕：なし。		1463	
1-5	94	SN25	Ⅲ層	甌土	後期後期	口厚・面取、外腹・底縁2点、内面：ナガ。底面は荒れている。内面：ナガ。甌土：小窓、クサリ縁、海螺骨付。使用痕：なし。		1459	
4-6	94	SN25	Ⅲ層	相撲取甌	後期後期	外腹・底縁2点の小甌。口厚・面取、ナガ。底面は荒れしている。内面：ナガ。甌土：長径に多くの含む形で目立つ。底面は荒れしている。内面：ナガ。底面は荒れている。内面：ナガ。内面：ナガ。	4-4と同一個体。	332	印記
4-7	94	SN28	Ⅲ層	相撲取甌 1	後期後期	外腹・底縁2点の小甌。口厚・面取、ナガ。底面は荒れている。内面：ナガ。内面：ナガ。	P-2	331-1	
4-8	-	SN28	Ⅲ層	相撲取甌	後期後期	外腹・底縁2点の小甌。口厚・面取、ナガ。底面は荒れている。内面：ナガ。内面：ナガ。	4-4と同一個体。	331-2	
4-9	94	SN28	Ⅲ層	台付杯	後期	外腹・ナガ。内面：ナダ。内面：ナダ。内面：ナダ。内面：ナダ。内面：ナダ。	P-3	339	
4-10	94	SN31	Ⅲ層	甌土 II	後期II	小窓付口縁、外腹・底縁2点の切削痕。底面から側面にかけての強度の差異。最高部の化粧面が最も薄い。内面に複数の短い縦溝、三つの块り。内面には色斑付。断面研削：辯通す。土器質。	P-2	339-1	
4-11	94	SN31	Ⅲ層	甌土 II	後期II	小窓付口縁、外腹・底縁2点の切削痕。底面から側面にかけての強度の差異。内面：ナダ。	P-2	335	
4-12	95	SN32	Ⅲ層	甌土	後期II	外腹・ナガ。底部・高台、内面：ナダ。外腹・ナガ。底部・高台、内面：ナダ。外腹・ナガ。底部・高台、内面：ナダ。	P-2	335	
4-13	95	SN32	Ⅲ層	甌土	後期II	外腹・ナガ。底部・高台、内面：ナダ。外腹・ナガ。底部・高台、内面：ナダ。外腹・ナガ。底部・高台、内面：ナダ。	P-2	335	
4-14	95	SN33	Ⅰ層	相撲取甌 Ⅲ	後末～地獄	外腹・底縁2点、縄文R(複数)。底面との境界二重線、底部・高台。ナガ。内面：ナガ。	P-1	330	
4-15	95	SN33	甌土	甌土	後期II	口厚・面取・底縁2点の切削痕。外腹・底縁2点の切削痕。内面：ナガ。	P-2	341-6	
4-16	95	SN33	甌土	相撲取甌	後期II	平底に突起、口厚・面取・底縁2点の切削痕。内面：ナガ。内面：ナガ。内面：ナガ。	P-2	341-4	
4-17	95	SN33	Ⅰ層	台付杯	後期II	外腹・ナガ。底縁2点の切削痕。内面：ナダ。内面：ナダ。内面：ナダ。内面：ナダ。	P-3	3460	
4-18	95	SN35	甌土	注口	後期II	外腹・底縁2点、縄文R(複数)。断面部ナガ。内面：部のつくナガ。	P-7	341-5	
4-19	95	SN35	甌土	深杯	後期II	外腹・底縁2点の切削痕。内面：ナダ。底部・高台、内面：ナダ。内面：ナダ。内面：ナダ。	P-6	3462	
4-20	95	SN35	甌土	相撲取甌 Ⅰ(B)	後期後期	口厚・面取、外腹・底縁2点の切削痕。内面：ナガ。内面：ナガ。内面：ナガ。内面：ナガ。	P-8	3465	
4-21	95	IV-46	Ⅲ層	相撲取甌 Ⅰ(B)	後期後期	外腹・底縁2点の切削痕。内面：ナガ。	P-1474	3467	
4-22	95	SN35	甌土	相撲取甌 Ⅰ(B)	後期後期	外腹・底縁2点の切削痕。内面：ナガ。	P-2, 3	3466	
5-5	95	SQ02	層中	相撲取甌 Ⅱ(B)	後期後期	柱状土器の底、上面は圓筒形の複合形を有する。口厚・面取、外腹・底縁2点の切削痕。内面：ナガ。内面：ナガ。内面：ナガ。内面：ナガ。	P-1	407	

縄文土器観察表(4)

器番号	文質	出土位置	層位	芯地	器形	時期	特徴	備考	段上No.	整理No.
6-2	SN39場 (W18)	III層	深井	II段	口縁：浅縁。底部：幅広の上縁と下縁を有する直筒形。肩部を削った口縁。肩部を削った口縁。内面には突起部に付いた斜面がある。外縁は直線的で、芯地が強めである。使用痕：ナラ。内面：ナラ。	後期7-4	口縁：浅縁。底部：幅広の上縁と下縁を有する直筒形。肩部を削った口縁。内面には突起部に付いた斜面がある。外縁は直線的で、芯地が強めである。使用痕：ナラ。内面：ナラ。	口縁：29. 4cm。 P-1828	1244	
6-3	96 (SN42)	火葬場	灰土下	深井	II	後期Ib	口縁：浅縁。底部：幅広の上縁と下縁を有する直筒形。肩部を削った口縁。内面には突起部に付いた斜面がある。外縁は直線的で、芯地が強めである。使用痕：ナラ。内面：ナラ。	口縁：29. 4cm。 P-1828	1244	
6-4	96 (SN43)	火葬場	灰土下	深井	I	後期Ia	口縁：浅縁。底部：幅広の上縁と下縁を有する直筒形。肩部を削った口縁。内面には突起部に付いた斜面がある。外縁は直線的で、芯地が強めである。使用痕：ナラ。内面：ナラ。	口縁：29. 4cm。 P-1828	1244	
6-5	96 (SN44)	火葬場	灰土下	Ⅲ層	I	後期Ia	口縁：浅縁。底部：幅広の上縁と下縁を有する直筒形。肩部を削った口縁。内面には突起部に付いた斜面がある。外縁は直線的で、芯地が強めである。使用痕：ナラ。内面：ナラ。	口縁：29. 4cm。 P-1828	1244	
6-6	96 (SN49)	9号	II段	相輪芯杯	I	後期Ia	口縁：浅縁。底部：幅広の上縁と下縁を有する直筒形。肩部を削った口縁。内面には突起部に付いた斜面がある。外縁は直線的で、芯地が強めである。使用痕：ナラ。内面：ナラ。	口縁：22. 0cm。 P-1828	1244	
7-1	96 (P10004)	箇所	深井	II	後期Ia	口縁：浅縁。底部：幅広の上縁と下縁を有する直筒形。肩部を削った口縁。内面には突起部に付いた斜面がある。外縁は直線的で、芯地が強めである。使用痕：ナラ。内面：ナラ。	口縁：22. 0cm。 P-1828	1244		
7-2	96 (P10019)	1層	柱根	相輪芯杯	I	後期Ia	口縁：浅縁。底部：幅広の上縁と下縁を有する直筒形。肩部を削った口縁。内面には突起部に付いた斜面がある。外縁は直線的で、芯地が強めである。使用痕：ナラ。内面：ナラ。	口縁：22. 0cm。 P-1828	1244	
7-3	96 (P10019)	1層	柱根	相輪芯杯	I	後期Ia	口縁：浅縁。底部：幅広の上縁と下縁を有する直筒形。肩部を削った口縁。内面には突起部に付いた斜面がある。外縁は直線的で、芯地が強めである。使用痕：ナラ。内面：ナラ。	口縁：22. 0cm。 P-1828	1244	
7-4	96 (P10019)	2層	柱根	相輪芯杯	I	後期Ia	口縁：浅縁。底部：幅広の上縁と下縁を有する直筒形。肩部を削った口縁。内面には突起部に付いた斜面がある。外縁は直線的で、芯地が強めである。使用痕：ナラ。内面：ナラ。	口縁：22. 0cm。 P-1828	1244	
7-5	96 (P10019)	柱根	深井	II	後期Ia	口縁：浅縁。底部：幅広の上縁と下縁を有する直筒形。肩部を削った口縁。内面には突起部に付いた斜面がある。外縁は直線的で、芯地が強めである。使用痕：ナラ。内面：ナラ。	口縁：22. 0cm。 P-1828	1244		
7-6	96 (P10019)	柱根	深井	II	後期Ia	口縁：浅縁。底部：幅広の上縁と下縁を有する直筒形。肩部を削った口縁。内面には突起部に付いた斜面がある。外縁は直線的で、芯地が強めである。使用痕：ナラ。内面：ナラ。	口縁：22. 0cm。 P-1828	1244		
7-7	96 (P10032)	1層	台付杯	II	後期Ia	口縁：浅縁。底部：幅広の上縁と下縁を有する直筒形。肩部を削った口縁。内面には突起部に付いた斜面がある。外縁は直線的で、芯地が強めである。使用痕：ナラ。内面：ナラ。	口縁：19. 4cm。 P-1828	1244		
7-8	96 (P10033)	1層	深井	II	後期Ia	口縁：浅縁。底部：幅広の上縁と下縁を有する直筒形。肩部を削った口縁。内面には突起部に付いた斜面がある。外縁は直線的で、芯地が強めである。使用痕：ナラ。内面：ナラ。	口縁：19. 4cm。 P-1828	1244		
7-9	96 (P10034)	1層	相輪芯杯	I	後期Ia	口縁：浅縁。底部：幅広の上縁と下縁を有する直筒形。肩部を削った口縁。内面には突起部に付いた斜面がある。外縁は直線的で、芯地が強めである。使用痕：ナラ。内面：ナラ。	口縁：19. 4cm。 P-1828	1244		
7-10	96 (P10063)	1層	壺	II	後期Ib	口縁：浅縁。底部：幅広の上縁と下縁を有する直筒形。肩部を削った口縁。内面には突起部に付いた斜面がある。外縁は直線的で、芯地が強めである。使用痕：ナラ。内面：ナラ。	口縁：19. 4cm。 P-1828	1244		
7-11	96 (P10072)	1層	深井又は 鉢	II	後期Ia	口縁：浅縁。底部：幅広の上縁と下縁を有する直筒形。肩部を削った口縁。内面には突起部に付いた斜面がある。外縁は直線的で、芯地が強めである。使用痕：ナラ。内面：ナラ。	口縁：19. 4cm。 P-1828	1244		
7-12	96 (P10077)	1層	相輪芯杯	II	後期Ia	口縁：浅縁。底部：幅広の上縁と下縁を有する直筒形。肩部を削った口縁。内面には突起部に付いた斜面がある。外縁は直線的で、芯地が強めである。使用痕：ナラ。内面：ナラ。	口縁：19. 4cm。 P-1828	1244		
7-13	96 (P10111)	箇所	深井	I	後期Ia	口縁：浅縁。底部：幅広の上縁と下縁を有する直筒形。肩部を削った口縁。内面には突起部に付いた斜面がある。外縁は直線的で、芯地が強めである。使用痕：ナラ。内面：ナラ。	口縁：19. 4cm。 P-1828	1244		
7-14	96 (P10126)	箇所	深井	I	後期Ia	口縁：浅縁。底部：幅広の上縁と下縁を有する直筒形。肩部を削った口縁。内面には突起部に付いた斜面がある。外縁は直線的で、芯地が強めである。使用痕：ナラ。内面：ナラ。	口縁：19. 4cm。 P-1828	1244		
7-15	96 (P10126)	箇所	深井	I	後期Ia	口縁：浅縁。底部：幅広の上縁と下縁を有する直筒形。肩部を削った口縁。内面には突起部に付いた斜面がある。外縁は直線的で、芯地が強めである。使用痕：ナラ。内面：ナラ。	口縁：19. 4cm。 P-1828	1244		

縄文土器観察表(5)

器番号	出土地点	層位	器種	器形	時期	備考	段上No.	整理No.
7-16 96	P10126	覆土	深杯	中期後期	外面：縄文LR(斜面)。内面：ナガ。使用痕：外スス。		386	386
7-17 96	P10126	覆土	深杯	中期後期	外面：縄文LR(斜面)。内面：ナガ。使用痕：外スス。		387	387
7-18 96	P10126	覆土	深杯	中期後期	外面：縄文LR(斜面)。内面：ナガ。使用痕：不明。		384	384
7-19 97	P10128	覆土	台付浅杯	II世-I	中期後期	外面：縄文LR(斜面)。内面：ナガ。使用痕：外スス。		378
7-20 97	P10129	覆土	深杯	II世-II	後期後期 ～晩期	口唇：斜面。外面：ナガ。内面：ナガ。使用痕：外スス。		379
7-21 97	P10188	覆土	深杯	II世-II	晩期Ia	口唇：斜面。外面：ナガ。内面：ナガ。施上：砂粒。海綿剥離。使用痕：外スス。		377
7-22 97	P10188	覆土	深杯	I	後期後期 ～晩期	口唇：斜面。外面：ナガ。内面：ナガ。施上：砂粒。使用痕：外スス。		377
7-23 97	P10189	覆土	深杯小	II	晩期Ia-b	外面：弦纹。縄文LR。内面：ナガ。施上：海綿剥離。使用痕：外スス。		377
7-24 97	P10536	1層	深杯	II	晩期Ia	小口唇：斜面。外面：縄文LR(斜面)。内面：ナガ。施上：海綿剥離。使用痕：外スス。		237
7-25 97	P10536	柱頭	深杯		晩期Ia	外面：縄文LR(斜面)。内面：ナガ。施上：海綿剥離。使用痕：外スス。		236
7-26 97	P10536	瓶方	注口小		後期Ia	波形口縁か、口唇：弦紋。外面：口唇：斜面肥厚。花瓶。縄文LR。瓶又前部粗いナガ。施上：砂粒(面部)。施上：砂粒。使用痕：外スス。	7-27と同一個体。	234
7-27 97	P10536	瓶方	注口小		後期Ia	一	7-26と同一個体。	233
7-28 97	P10538	覆土	深杯	I	後期後期 ～晩期	口唇：面凹。外面：縄文。内面：ナガ。施上：小窓。使用痕：外スス。		239
7-29 97	P10607	覆土	台付深杯		晩期Ia	外縁：ミカタ。波形、縄文LR。内面：ナガ。施上：砂粒。使用痕：外スス。	外面赤泥(赤)。	234
7-30 97	P11117	覆土	深杯	I	晩期	口唇：斜面。内面：ナガ。外面：縫目又は縫目片。海綿剥離。		232
7-31 97	P11117	覆土	深杯	Ia	晩期Ia	外：光澤。内：縫目。縫目片。内面：ナガ。施上：砂粒。海綿剥離。		233
8-1 97	S801	2層	平底深杯	Iba	晩期Ia	口唇：斜面。外面：縫目。内面：ナガ。施上：回彎。使用痕：外スス。		388-2
8-2 97	S801	2層	深杯		晩期Ia	外縁：ミカタ。内面：ナガ。施上：ナガ。	直径：4.8cm。	388-1
8-3 97	S804		浅杯	I	晩期IIa	外縁：沈縁。内面：ナガ。口縁：砂粒。使用痕：不明。	内外面赤泥。	340
8-4 97	S804	覆土	注口		晩期I～2	外縁：ミカタ。内面：ナガ。		339
8-5 97	S804	1層	平底深杯	II世-I	後期III	口唇：斜面。内面：ナガ。施上：砂粒。内面：ナガ。	口径：10.0cm。 施上：縫目(縫目)。	79
8-6 97	S804	1層	深杯		後期III	外縁：斜面。内面：口縁：斜面。内面：ナガ。施用痕：外スス。	底径：6.7cm。	P-1
8-7 97	S805	覆土	平底盤	II世-II	後期I	口唇：内面：ぎきに面凹。外縁：口縁と底部に半周溝。ナガ。内面：ケダリのちナガ。	外縁：砂粒。使用痕：外スス。	341
							総計1具。	2297

繩文土器観察表(6)

凶番号	字貫	出土位置	施位	器形	時期	特徴	備考	出土No. 細部No.
9-1	97	S901	縦恐面	注口×2 壺	後期7-8	耳口輪に突起、口盤：面取。外面：ナデ。底面：沈底。縦文、内面：ナデ。施土：海苔骨粉各々含む。		395
9-2	97	S901	縦恐面	注口	後期7-8	外側：耳口輪に突起及び高さ：粘液、底面、底面上面に削れ。内面：ナデ。施土：海苔骨粉各々含む。		393
9-3	97	S901	縦恐面	注口	後期7-8	針を多く含む。外面：ナデ。内面：ナデ。底部：高底。施土：海苔骨粉多量。		344
9-4	97	S901	縦恐面	深杯 II	後期8	口盤：面取。外面：縦文による人頭文。縦文LR(摩滅)。内面：ナデ。施土：2mm以下の中の小粒含む。		390
9-5	97	S901	1壺	合口輪か、II壺	後期7-8	小底付口輪。外面：ナデ。使用痕：内コグ。		397
9-7	97	S902	縦恐面	注口	後期7-8	耳口輪に突起。口盤：面取。外面：次起に貼付。北端、肩部、内面：ナデ。施土：海苔骨粉。		392
9-8	97	S902	縦恐面	浅杯 I	後期7-8	口盤：面取。外面：縦文、内面：ナデ。	P-3	394
9-9	97	S902	縦恐面	浅杯 I	後期8	耳口輪に突起。外面：沈底、縦文LR、内面：ナデ。施土：海苔骨粉。使用痕：外スヌ。		390
9-10	97	S902	縦恐面	粗製27cm I	後期8-9 ～後期期	口盤：面取。外面：縦文。内面：ナデ。施土：小底。海苔骨粉。使用痕：外スヌ。	P-2	389
9-11	97	S902II (IV V-32)・ IV-V-31・ IV-V-32	III壺	深杯 II壺	後期7-8	口盤：海苔骨粉する耳口輪(外付位)。山西突起と口盤に耳口輪の外付位が複数ある。外付位は耳口輪が複数して貼付してある。外付位の内面は、八角形。北端、肩部、内面：ナデ。施土：海苔骨粉。		3976
9-12	97	S906	深杯	深杯I	後期8	耳口輪に突起。外面：縦文。内面：ナデ。施土：海苔骨粉。底部ナデ。施土：細粒骨粉。		391
9-13	97	S906	粗製27cm I	後期8	耳口輪に突起。外面：縦文。内面：ナデ。施土：海苔骨粉。		388	
9-15	98	S907	1壺	粗製27cm I	後末～後初	耳口輪に突起。外面：縦文。内面：ナデ。施土：海苔骨粉。2mm程度の小底少量。使用痕：外スヌ。	9-16と同じ個体	35-1
9-16	98	S907	1壺	粗製27cm I	後末～後初	耳口輪に突起。外面：縦文。内面：ナデ。施土：海苔骨粉。	9-15と同じ個体	35-2
9-17	98	S907	1壺	深杯	後期か	耳口輪に突起する耳口輪。内面：ナデ。施土：海苔骨粉多い。使用痕：外スヌ。		346
9-19	98 番399下	S908	2壺	壺 III	後期3	口盤：面取なし。外面：縦文。面部：三輪、体部：横輪。背部：二輪。内面：ナデ。施土：海苔骨粉。	P-2	22
10-1	98	S909	壺上	半精製壺 II壺	後期	口盤：面取なし。	P-2	27
10-2	98	S909	壺上	半精製壺 II壺	後期4	耳口輪に突起。单位はおおむね24位だが形状は不明。内面：ナデ。施土：海苔骨粉。	P-1	342
10-3	98	S909・ IV-V-15	III壺	半精製壺 III	後期3	口盤：面取。外面：沈底。珠底、底面上面に突起。体部縦20cm(頃位)。内面：沈底。ナデ。	P-6, 1405	343
10-4	98	S909・ IV-V-15	III壺	粗製27cm I壺	後期後期	口盤：面取。外面：沈底。珠底、内面：沈底。内面：ナデ。施土：海苔骨粉。内面に黒斑調で丸めた使用痕を有す。	P-7, 843	387

縄文土器観察表(7)

次番号	字貫	出土位置	層位	器種	器形	時期	備考	段上No.	審査年
10-7 99	SQ11場 (W-S-47)	III層	半輪切妻 Ⅲ	後期8	口幅：面取。外側：縄文BR。内側：ナガ。底部：高台。内面：ナガ。施土：小範多く含む。使用痕：なし。外側黒斑。	口径：10.2cm、高さ：29.0cm、底径：8.1cm。	P-1617,	1313	
10-8・9 98	SQ12場 (W-S-47)	III層	粗粒灰土	後期7-8	平口幅：S型足。口幅：面取。口底：面取。底部：高台。内面：ナガ。施土：高台。内面：ナガ。外底面：黒斑。	口径：7.3cm、高さ：16.7cm、底径：3.4cm。	P-1619	1400	
10-10 98	SQ11場 (W-S-47)	III層	深杯	Ⅰ期	口幅：面取。外側：ナガ。底部：高台。内面：ナガ。施土：小範多く含む。使用痕：ナガ。	口径：14.9cm、高さ：5.9cm、底径：8.2cm。	P-1615	1198	
11-1 98	SQ11場 (W-S-47)	III層	注口	Ⅲ	外側：沈像。施土：縄文BR。ミガ合。底部：高台。内面：ナガ。施土：ナガ。海綿骨質。使用痕：なし。内側：黒斑。	口径：7.3cm、高さ：16.7cm、底径：1.7cm。	P-1625	1220	
11-2 98	SQ12場 (W-S-47)	III層	注口	Ⅱ	口幅：面取。外側：ミガ合。底部：高台。内面：ナガ。施土：ナガ。外底面：沈像。縄文BR質の。粘土質の4段区分以外は、列に隙。施土：ナガ。底部：高台。内面：ナガ。施土：少。体部：厚丸。注口部を左左。	口径：8.7cm、高さ：2.0cm、闊高：20.2cm。	P-1614	12	
11-4 99	SQ14	2層	深杯	後期7-4	外側：沈像。施土：外側。外底面：沈像。内面：ナガ。底部：高台。内面：ナガ。施土：ナガ。海綿骨質。使用痕：なし。	口径：7.3cm、高さ：16.7cm、底径：3.4cm。		2296	
11-5 99	SQ14	2層	深杯	後期7-4	外側：沈像。施土：外側。外底面：沈像。内面：ナガ。底部：高台。内面：ナガ。施土：ナガ。海綿骨質。使用痕：外ナス。	口径：8.7cm、高さ：16.7cm、底径：3.4cm。		2295	
11-8 99	SQ16 (W-S-33)	深杯	後期7-4	外側：沈像。施土：外側。外底面：沈像。内面：ナガ。底部：高台。内面：ナガ。施土：少。外底面：外ナス。	口径：8.7cm、高さ：16.7cm、底径：3.4cm。		2279		
11-9 99	F-IV- 333	深杯	後期7-4	外側：面取。外底面：面取する冠目。内面：ナガ。施土：少。外底面：外ナス。	口径：8.7cm、高さ：16.7cm、底径：3.4cm。		2280		
11-10 99	SQ16(SQ17 -33)	粗粒灰土	I	後期後葉 ～地蔵期	口幅：面取。外側：縄文BR。内面：ナガ。施土：少。内側：黒斑。	口径：8.7cm、高さ：16.7cm、底径：3.4cm。		2281	
11-11 99	SQ18 西石 組	慶土上位	深杯	後期7-4	口幅：面取。外側：ナガ。内面：ナガ。施土：少。内側：黒斑。	口径：8.7cm、高さ：16.7cm、底径：3.4cm。		2282	
11-12 99	SQ18	慶土 A層	注口小	後末～地蔵期	外側：沈像。ミガ合。内面：ナガ。施土：外底面。内面：ナガ。施土：少。内側：黒斑。	口径：7.3cm、高さ：16.7cm、底径：3.4cm。	P-2	2283	
11-13 99	SQ18	肥方	深杯	後期7-8	外側：沈像。施土：ナガ。内面：ナガ。施土：少。外底面：外ナス。	口径：8.7cm、高さ：16.7cm、底径：3.4cm。		2287	
11-14 99	SQ18 (W-V- 33)	構築面	深杯	後期7-8	外側：沈像。内面：ナガ。底部：少。施土：少。内面：ナガ。施土：少。内側：黒斑。	口径：8.7cm、高さ：16.7cm、底径：3.4cm。		2277	
11-15 99	SQ18 (W-V- 33)	構築面	深杯	後期後葉	外側：面取。内面：ナガ。施土：少。外底面：外ナス。	口径：8.7cm、高さ：16.7cm、底径：3.4cm。		2276	
11-16 99	SQ18 (W-V- 33)	粗粒灰土	I	後期後葉	外側：面取。内面：ナガ。施土：少。外底面：外ナス。	口径：8.7cm、高さ：16.7cm、底径：3.4cm。		2278	
11-17 99	SQ18 (W-V- 33)	深杯	1.5m	内側上層	外側：面取。内面：ナガ。施土：少。外底面：外ナス。	口径：8.7cm、高さ：16.7cm、底径：3.4cm。		2287	
12-1 100	SQ19	1層	深杯	後期10-9	外側：斜壁は傾く。外側：沈像。内面：ナガ。外底面：外ナス。	口径：8.7cm、高さ：16.7cm、底径：3.4cm。			

繩文土器観察表(8)

図版号	写真	出土位置	層位	器種	器形	時期	備考	頂上No.	整理No.
12-2	190	SQ19	I層	深杯	I式	晩期	小口盤付口縁、外面：輪文地輪文縁。内面：ナメ。輪文：外縁に沿うる入出文。内面の中央部に斜めに走る溝がある。	2265*	2266
12-3	190	SQ19裏 (W-265)	III層	台形深杯	II式	後期	口縁：輪文地輪文縁。内面：ナメ。輪文：外縁に沿うる入出文。内面の中央部に斜めに走る溝がある。	2203	2203
12-4	190	SQ19裏切 (W-265)	III層下	鉢	II式	晩期	口縁：輪文地輪文縁。内面：ナメ。輪文：外縁に沿うる入出文。内面の中央部に斜めに走る溝がある。	2198	2198
12-5	190	W-35	SQ19底下	注口	III	晩期	外縁：ミガニ。口縁：直下円状の條状。内面：ナメ。輪文：外縁付近に輪形がなく、内面に突出した溝がある。	P-2427	P-2427
14-1	101	SR01	層	粗製深杯	I式	後期	口縁：直下円状の條状。内面：ナメ。輪文：外縁付近に輪形がなく、内面に突出した溝がある。	P-2519	2009
14-2	101	SR02	覆土	粗製深杯	I式	後期	口縁：直下円状の條状。内面：ナメ。輪文：外縁付近に輪形がなく、内面に突出した溝がある。	P-1	303
14-3	101	SR03	層	粗製深杯	I式	後期	口縁：直下円状の條状。内面：ナメ。輪文：外縁付近に輪形がなく、内面に突出した溝がある。	土器本体	312
14-4	101	SR04	層	粗製深杯	I式	後期	口縁：直下円状の條状。内面：ナメ。輪文：外縁付近に輪形がなく、内面に突出した溝がある。	埋設土器	315
14-5	101	SR06	層	粗製深杯	I式	後期	口縁：直下円状の條状。内面：ナメ。輪文：外縁付近に輪形がなく、内面に突出した溝がある。	本体	313
14-6	101	SR06	層	粗製深杯	I式	後期	口縁：直下円状の條状。内面：ナメ。輪文：外縁付近に輪形がなく、内面に突出した溝がある。	埋設土器	304-2
14-7	101	SR07	層	粗製深杯	I式	後期	口縁：直下円状の條状。内面：ナメ。輪文：外縁付近に輪形がなく、内面に突出した溝がある。	本体	304-1
14-8	101	SR08	III層	粗製深杯	I式	後期	口縁：直下円状の條状。内面：ナメ。輪文：外縁付近に輪形がなく、内面に突出した溝がある。	埋設土器	323
14-9	101	SR09	III層	粗製深杯	I式	後期	口縁：直下円状の條状。内面：ナメ。輪文：外縁付近に輪形がなく、内面に突出した溝がある。	本体	314
14-10	101	SR10	覆土	粗製深杯	I式	後期	口縁：直下円状の條状。内面：ナメ。輪文：外縁付近に輪形がなく、内面に突出した溝がある。	埋設土器	318-1
14-11	101	SR10	覆土	粗製深杯	I式	後期	口縁：直下円状の條状。内面：ナメ。輪文：外縁付近に輪形がなく、内面に突出した溝がある。	本体	318-2
15-1	101	SR11	覆土	粗製深杯	I式	後期	口縁：直下円状の條状。内面：ナメ。輪文：外縁付近に輪形がなく、内面に突出した溝がある。	埋設土器	316
15-2	101	SR12	粗製深杯	I式	後期	口縁：直下円状の條状。内面：ナメ。輪文：外縁付近に輪形がなく、内面に突出した溝がある。	埋設土器	319	
15-4	101	SR13	粗製深杯	I式	後期	口縁：直下円状の條状。内面：ナメ。輪文：外縁付近に輪形がなく、内面に突出した溝がある。	埋設土器	320	
15-5	102	SR14	粗製深杯	I式	後期	口縁：直下円状の條状。内面：ナメ。輪文：外縁付近に輪形がなく、内面に突出した溝がある。	本体	321	
15-6	102	SR15	粗製深杯	I式	後期	口縁：直下円状の條状。内面：ナメ。輪文：外縁付近に輪形がなく、内面に突出した溝がある。	埋設土器	305	
15-7	102	SR16	粗製深杯	I式	後期	口縁：直下円状の條状。内面：ナメ。輪文：外縁付近に輪形がなく、内面に突出した溝がある。	埋設土器	322	

縄文土器観察表(9)

査定番号	写真	出土位置	層位	形種	器形	時期	備考	取上No.	審査年
井戸状									
15-8	[H2]	SR16・IV-44	覆土・Ⅲ層	深杯	口幅：面直な「」、外腹：北側に施す刻刀、文様部内は全体に織文Bから彌文した痕。底：「」、ツガキ、薄削骨質。使用痕：なし。	晩期3	口径：18.0cm、高さ：5.6cm。 内外面は織文B一面焼。	P-247	205
15-9	[H2]	SR17	相模谷林	相模谷林	外腹：南側に施す刻刀、文様部内は全体に織文Bから彌文した痕。底：「」、ツガキ、薄削骨質。使用痕：外スス、内コガ。	後期後～晩期	口径：18.0cm、高さ：5.6cm。 内外面は織文B一面焼。	埋設土器 本体	323
15-10	[H2]	SR18	相模谷林	相模谷林	外腹：南側に施す刻刀、文様部内は全体に織文Bから彌文した痕。底：「」、ツガキ、薄削骨質。使用痕：外スス、内コガ。	後期後～晩期	口径：18.0cm、高さ：5.6cm。 内外面は織文B一面焼。	埋設土器 本体	324
15-12	[H2]	SR19	Ⅰ層	相模谷林	外腹：南側に施す刻刀、文様部内は全体に織文Bから彌文した痕。底：「」、ツガキ、薄削骨質。使用痕：外スス、内コガ。	後期後～晩期	口径：18.0cm、高さ：5.6cm。 内外面は織文B一面焼。	埋設土器 本体	441
15-13	[H2]	SR20	Ⅲ層	相模谷林	外腹：南側に施す刻刀、文様部内は全体に織文Bから彌文した痕。底：「」、ツガキ、薄削骨質。使用痕：外スス、内コガ。	後期後～晩期	口径：18.0cm、高さ：5.6cm。 内外面は織文B一面焼。	埋設土器 本体	301
16-1	[H2]	SR21	相模谷林	相模谷林	外腹：南側に施す刻刀、文様部内は全体に織文Bから彌文した痕。底：「」、ツガキ、薄削骨質。使用痕：外スス、内コガ。	後期後～晩期	口径：18.0cm、高さ：5.6cm。 内外面は織文B一面焼。	埋設土器 本体	302
16-2	[H2]	SR22	相模谷林	相模谷林	外腹：南側に施す刻刀、文様部内は全体に織文Bから彌文した痕。底：「」、ツガキ、薄削骨質。使用痕：外スス、内コガ。	後期後～晩期	口径：18.0cm、高さ：5.6cm。 内外面は織文B一面焼。	埋設土器 本体	309
16-3	[H2]	SR23	相模谷林	相模谷林	外腹：南側に施す刻刀、文様部内は全体に織文Bから彌文した痕。底：「」、ツガキ、薄削骨質。使用痕：外スス、内コガ。	後期後～晩期	口径：18.0cm、高さ：5.6cm。 内外面は織文B一面焼。	埋設土器 本体	307
16-4	[H2]	SR25	相模谷林	相模谷林	外腹：南側に施す刻刀、文様部内は全体に織文Bから彌文した痕。底：「」、ツガキ、薄削骨質。使用痕：外スス、内コガ。	後期後～晩期	口径：18.0cm、高さ：5.6cm。 内外面は織文B一面焼。	埋設土器 本体	311
16-5	[H2]	SR27	相模谷林	相模谷林	外腹：南側に施す刻刀、文様部内は全体に織文Bから彌文した痕。底：「」、ツガキ、薄削骨質。使用痕：外スス、内コガ。	後期後～晩期	口径：18.0cm、高さ：5.6cm。 内外面は織文B一面焼。	埋設土器 本体	45
16-6	[H3]	SR28	深林	深林	外腹：南側に施す刻刀、文様部内は全体に織文Bから彌文した痕。底：「」、ツガキ、薄削骨質。使用痕：外スス、内コガ。	後期後～晩期	口径：18.0cm、高さ：5.6cm。 内外面は織文B一面焼。	埋設土器 本体	317
16-7	[H3]	SR29	相模谷林	相模谷林	外腹：南側に施す刻刀、文様部内は全体に織文Bから彌文した痕。底：「」、ツガキ、薄削骨質。使用痕：外スス、内コガ。	後期後～晩期	口径：18.0cm、高さ：5.6cm。 内外面は織文B一面焼。	埋設土器 本体	306
16-8	[H3]	SR32	相模谷林	相模谷林	外腹：南側に施す刻刀、文様部内は全体に織文Bから彌文した痕。底：「」、ツガキ、薄削骨質。使用痕：外スス、内コガ。	後期後～晩期	口径：18.0cm、高さ：5.6cm。 内外面は織文B一面焼。	埋設土器 本体	327
16-9	[H3]	SR33	相模谷林	相模谷林	外腹：南側に施す刻刀、文様部内は全体に織文Bから彌文した痕。底：「」、ツガキ、薄削骨質。使用痕：外スス、内コガ。	後期後～晩期	口径：18.0cm、高さ：5.6cm。 内外面は織文B一面焼。	埋設土器 本体	308
16-10	[H3]	SR34	相模谷林	相模谷林	外腹：南側に施す刻刀、文様部内は全体に織文Bから彌文した痕。底：「」、ツガキ、薄削骨質。使用痕：外スス、内コガ。	後期後～晩期	口径：18.0cm、高さ：5.6cm。 内外面は織文B一面焼。	埋設土器 本体	328
16-11	[H3]	SR35	相模谷林	相模谷林	外腹：南側に施す刻刀、文様部内は全体に織文Bから彌文した痕。底：「」、ツガキ、薄削骨質。使用痕：外スス、内コガ。	後期後～晩期	口径：18.0cm、高さ：5.6cm。 内外面は織文B一面焼。	埋設土器 本体	310
16-12	[H3]	7'×7' F (WS-34)	Ⅲ層	台付林	外腹：南側に施す刻刀、文様部内は全体に織文Bから彌文した痕。底：「」、ツガキ、薄削骨質。使用痕：外スス、内コガ。	後期後～晩期	口径：18.0cm、高さ：5.6cm。 内外面は織文B一面焼。	埋設土器 本体	2096
17-1	[H4]	7'×7' F (WS-34)	Ⅲ層	台付林	外腹：南側に施す刻刀、文様部内は全体に織文Bから彌文した痕。底：「」、ツガキ、薄削骨質。使用痕：外スス、内コガ。	後期後～晩期	口径：18.0cm、高さ：5.6cm。 内外面は織文B一面焼。	埋設土器 本体	2166

繩文土器観察表(10)

団番号	文質	出土位置	層位	器形	時期	備考	段上No.	整理No.
特徴								
17-2	[94]	7'×7' F [WT-34]	III層	台付杯	II-A	小口微口縁、平らな口縁を作った後に圓化工藝をして窯火の落としで焼かれた。外縁に斜めの溝がある。内縁は直線的で、外縁より内側に凹む。外縁は直線的で、下部に斜めの溝がある。外縁は直線的で、下部に斜めの溝がある。	口径: 20. 2cm、底径: 8. 8cm、高さ: 30. 6cm、	P-2170 2032
17-3	[94]	7'×7' F [WT-37]	III層	台付杯	I-Ba	施前期 IIa	口径: 20. 2cm、底径: 8. 8cm、高さ: 30. 6cm、	P-2096 2144
17-4	[94]	7'×7' F [WT-34]	III層	台付深杯	II-Ba	施前期 IIa	口径: 20. 2cm、底径: 8. 8cm、高さ: 30. 6cm、	P-2134 2076
17-5	[94]	7'×7' F [WT-34]	III層	粗窓深杯	I	後期 IIa	口径: 20. 2cm、底径: 8. 8cm、高さ: 30. 6cm、	P-2170-2 2302
17-6	[94]	7'×7' F [WT-33]	III層	壺	IV	小口微口縁、外縁・底縁は丸みを帯びる。外縁は斜めの溝がある。内縁は直線的で、下部に斜めの溝がある。内縁は直線的で、下部に斜めの溝がある。外縁は斜めの溝がある。内縁は直線的で、下部に斜めの溝がある。	口径: 12. 1cm、 底径: 8. 5cm、 高さ: 6. 8cm、 内縫文(花縞文→花縞文)。	P-2096 2144
17-7	[94]	7'×7' F [WT-34]	III層	粗窓深杯	II-Ba	施前期 IIa	口径: 20. 2cm、底径: 8. 8cm、高さ: 30. 6cm、	P-2134 2076
17-8	[94]	7'×7' F [WT-34]	III層	粗窓深杯	I-Ba	後期 IIa	口径: 20. 2cm、底径: 8. 8cm、高さ: 30. 6cm、	P-2170-2 2302
17-9	[94]	7'×7' F [WT-34]	III層	粗窓深杯	I-Aa	後期 IIa	口径: 20. 2cm、底径: 8. 8cm、高さ: 30. 6cm、	P-2082, 2088 2057
17-10	[94]	7'×7' F [WT-34]	III層	粗窓深杯	III	後期 IIa	口径: 20. 2cm、底径: 8. 8cm、高さ: 30. 6cm、	P-2096 2236
17-11	[94]	7'×7' F [WT-33]	III層	深杯	II-Ba	後期 IIa	口径: 20. 2cm、底径: 8. 8cm、高さ: 30. 6cm、	P-2173 2103
17-12	[94]	7'×7' F [WT-34]	III層	注口	III	後期 IIa	口径: 20. 2cm、底径: 8. 8cm、高さ: 30. 6cm、	P-2169 2050
17-13	[94]	7'×7' F [WT-34]	III層	粗窓深杯	I-Ba	後期 IIa	口径: 20. 2cm、底径: 8. 8cm、高さ: 30. 6cm、	P-2139 2068
18-1	[95]	7'×7' F [WT-34]	III層	深杯	II-Ba	後期 IIa	口径: 20. 2cm、底径: 8. 8cm、高さ: 30. 6cm、	P-2251 2081

縄文土器観察表(11)

区分番号	写真	出土位置	場所	器種	器形	時期	備考	段上No.	整理No.
半円形に突起(6個付)。周囲がV字形に形成する。底盤は側面がなるべく多くへと変形する。底盤下の支点部を無くす等、構成は、始て文様部下端、次に脚部は側面がなるべく多くへと変形する。底盤下の支点部を無くす等、構成は、始て文様部下端、次に脚部は側面がなるべく多くへと変形する。									
18-2	105 ⑨88F [IV-34]	7 ^a *79 [IV-34]	III層	台付鉢	I型I	後期	口径：21.2cm、底径：8.4cm、高さ：23.7cm、鷹足形。 外側面部には側面がなるべく多くへと変形する。 底盤下の支点部を無くす等、構成は、始て文様部下端、次に脚部は側面がなるべく多くへと変形する。	P-2255, 2256	2025
18-3	105 [IV-34]	7 ^a *79 [IV-34]	III層	鉢	I型I	後期	口径：20.7cm、底径：5.0cm、高さ：19.6cm、鷹足形。 外側面部には側面がなるべく多くへと変形する。 底盤下の支点部を無くす等、構成は、始て文様部下端、次に脚部は側面がなるべく多くへと変形する。	P-2244	2026
18-4	105 [IV-34]	7 ^a *79 [IV-34]	III層	鉢	I型I	後期	口径：20.7cm、底径：5.0cm、高さ：19.6cm、鷹足形。 外側面部には側面がなるべく多くへと変形する。 底盤下の支点部を無くす等、構成は、始て文様部下端、次に脚部は側面がなるべく多くへと変形する。	P-2247	2027
18-5	105 [IV-34]	7 ^a *79 [IV-34]	III層	台付鉢	I型I	後期	口径：26.2cm、底径：16.7cm、高さ：26.7cm、鷹足形。 外側面部には側面がなるべく多くへと変形する。 底盤下の支点部を無くす等、構成は、始て文様部下端、次に脚部は側面がなるべく多くへと変形する。	P-2255, 2193	2028
18-6	105 [IV-34]	7 ^a *79 [IV-34]	III層	瓶	II型I	後期	口径：23.1cm、底径：7.0cm、高さ：13.8cm、鷹足形。 外側面部には側面がなるべく多くへと変形する。 底盤下の支点部を無くす等、構成は、始て文様部下端、次に脚部は側面がなるべく多くへと変形する。	P-2242	2029
18-7	105 卷頭F	7 ^a *79 [IV-34]	III層	粗陶灰鉢	I型II	後期7～8	口径：23.1cm、底径：22.1cm、高さ：9.1cm。 外側面部には側面がなるべく多くへと変形する。 底盤下の支点部を無くす等、構成は、始て文様部下端、次に脚部は側面がなるべく多くへと変形する。	P-2246-1, P-2246-2	2030
19-1	106 [IV-34]	7 ^a *711 [IV-34]	III層	鉢	II型II	後期	口径：22.8cm、底径：8.2cm、高さ：11.6cm、鷹足形。 外側面部には側面がなるべく多くへと変形する。 底盤下の支点部を無くす等、構成は、始て文様部下端、次に脚部は側面がなるべく多くへと変形する。	P-2295	2029
19-2	106 [IV-34]	7 ^a *711 [IV-34]	III層	台付鉢	I型II	後期	口径：14.3cm、底径：8.2cm、高さ：13.3cm、鷹足形。 外側面部には側面がなるべく多くへと変形する。	P-2225	2031
19-3	106 [IV-34]	7 ^a *711 [IV-34]	III層	深鉢	II型I	後期II	口径：21.4cm、底径：8.2cm、高さ：12.6cm、鷹足形。 外側面部には側面がなるべく多くへと変形する。	P-2290	2146
19-4	106 [IV-34]	7 ^a *711 [IV-34]	III層	台付鉢	I型II	後期II～b	口径：20.3cm、底径：8.2cm、高さ：12.5cm、鷹足形。 外側面部には側面がなるべく多くへと変形する。	P-2235	2131
19-5	106 [IV-34]	7 ^a *711 [IV-34]	III層	台付鉢	I型II	後期II～b	口径：20.3cm、底径：8.2cm、高さ：12.5cm、鷹足形。 外側面部には側面がなるべく多くへと変形する。	P-2239	2141
19-6	106 [IV-34]	7 ^a *711 [IV-34]	III層	浅鉢	I型I	後期7～8	口径：24.0cm、底径：6.9cm、高さ：3.3cm、鷹足形。 外側面部には側面がなるべく多くへと変形する。	P-2239	2166
19-7	106 [IV-34]	7 ^a *711 [IV-34]	III層	半割切壺	III	後期	口径：24.0cm、底径：6.9cm、高さ：3.3cm、鷹足形。 外側面部には側面がなるべく多くへと変形する。	P-2232	2162
19-8	106 [IV-34]	7 ^a *711 [IV-34]	III層	注口	II	後期Ia	口径：24.0cm、底径：6.9cm、高さ：3.3cm、鷹足形。 外側面部には側面がなるべく多くへと変形する。	P-2236	2156
19-9	106 [IV-34]	7 ^a *711 [IV-34]	III層	注口	II	後期Ia	口径：24.0cm、底径：6.9cm、高さ：3.3cm、鷹足形。 外側面部には側面がなるべく多くへと変形する。	P-2240	2161
19-10	106 [IV-34]	7 ^a *711 [IV-34]	III層	注口	II	後期Ia	口径：24.0cm、底径：6.9cm、高さ：3.3cm、鷹足形。 外側面部には側面がなるべく多くへと変形する。	P-2258	2002
19-11	106 [IV-34]	7 ^a *711 [IV-34]	III層	注口	III	後期Ia	口径：24.0cm、底径：6.9cm、高さ：3.3cm、鷹足形。 外側面部には側面がなるべく多くへと変形する。	P-2223, 2334	2122

繩文土器観察表(12)

団番号	写真	出土位置	層位	器種	器形	時期	備考	段上No.	整理No.
19-12	106 春頭9上 ア?711 (WS-34)	III層	注口	H4	施割ia	小口盤や口縁、口算、面取、外縁、口横、下端を尖出する。下端に施割。内縁に施割方向と直角の施割。内縁に施割方向と直角の施割。	口径11.5cm、底径10.5cm、高さ16.5cm。 注口部が施割。	P-2322	2022
19-13	106 7'×7'11 (WT-34)	III層	粗削灰陶	I型	施割ia	小口盤や口縁、外縁、口算、面取、外縁、内縁に施割方向と直角の施割。	口径11.5cm、底径10.5cm、高さ16.5cm。 注口部が施割。	P-2329	2012
20-1	107 7'×7'12 (WT-35)	III層	圓体	H8a-t	後期7-4	口算、面取、外縁、内縁に施割方向と直角の施割。	口径25.0cm、底径25.0cm、高さ11.2cm。 内縁に施割方向と直角の施割。	P-2367	2150
20-2	107 7'×7'12 (WS-35)	III層	浅杯	I型	後期1	口算、面取、外縁、内縁に施割方向と直角の施割。	口径21.0cm、底径20.0cm、高さ10.0cm。 内縁に施割方向と直角の施割。	P-2259	2170
20-3	107 7'×7'12 (WT-35)	III層	浅杯	I型	後期1	口算、面取、外縁、内縁に施割方向と直角の施割。	口径16.2cm、底径16.0cm、高さ9.0cm。 内縁に施割方向と直角の施割。	P-2375	2119
20-4	107 7'×7'12 U/W-34)	III層 房層	浅杯	I型	後期1-4	口算、面取、外縁、内縁に施割方向と直角の施割。	口径32.0cm、底径31.0cm、高さ11.0cm。 内縁に施割方向と直角の施割。	P-2366	2108
20-5	107 7'×7'12 (WT-34)	III層	浅杯	I型	後期1~2	口算、面取、外縁、内縁に施割方向と直角の施割。	口径6.5cm、底径6.2cm。 内縁に施割方向と直角の施割。	P-2376	2062
20-6	107 7'×7'12 (WS-35)	III層	合付灰陶	I型	後期1	口算、面取、外縁、内縁に施割方向と直角の施割。	口径22.2cm、底径20.5cm。 内縁に施割方向と直角の施割。	P-2382	2115
20-7	107 春頭8F ア?712 (WT-34)	III層	合付灰陶	I型	後期1	口算、面取、外縁、内縁に施割方向と直角の施割。	口径26.2cm、底径24.5cm。 内縁に施割方向と直角の施割。	P-2389	2019
20-8	107 7'×7'12 (WS-35)	III層	合付灰陶	I型	後期1	口算、面取、外縁、内縁に施割方向と直角の施割。	口径22.0cm、底径20.0cm。 内縁に施割方向と直角の施割。	P-2389	2135
20-9	107 7'×7'12 (WS-35)	III層	浅杯	I型	後期1b	口算、面取、外縁、内縁に施割方向と直角の施割。	口径10.0cm、底径9.0cm。 内縁に施割方向と直角の施割。	P-2399	2301
20-10	107 7'×7'12 (WT-35)	III層	半粗削灰 土	I型	後期1	口算、面取、外縁、内縁に施割方向と直角の施割。	口径12.8cm、底径11.5cm。 内縁に施割方向と直角の施割。	P-2397	2047
20-11	107 7'×7'12 (WT-34)	III層	注口	H5	後期7-4	口算、面取、外縁、内縁に施割方向と直角の施割。	口径10.0cm、底径9.0cm。 内縁に施割方向と直角の施割。	P-2363	2127
20-12	107 7'×7'12 (WS-35)	III層	注口	H1	後期1a	口算、面取、外縁、内縁に施割方向と直角の施割。	口径7.4cm、底径7.0cm、高さ11.0cm。 内縁に施割方向と直角の施割。	P-2398	2129

縄文土器観察表(13)

出番号	写真	出土位置	層位	器種	形態	時間	参考
108	7' n°12	後期8 F 後第10 上	IV-S-35 III-6層 S-35	香炉	外輪：透かし彫りの入組式。刻目1本付う瓶頭。芯頭、體部円形容に刻線で飾る。内面は單面透かし彫り。口盤：耳飾りのうちな円形容部のある突起。円形容の透かし窓。面部に黒漆仕様。面部に黑色漆仕様。外輪：透かし窓がない。外面上に黒漆仕様はない。 孔隙：通透する形的な突起。外輪：縦線。クサリ巻き状の痕跡。外輪の透かし窓にはみだれないと想す。	後期8	アクリル系樹脂で封入。 14年夏V-35、VI-35、VII-35、VIII-35 ロゼ色の陶器の痕跡。 14年夏V-35、VI-35、VII-35、VIII-35 ロゼ色の陶器の痕跡が出土し、候合してい。(2574, 2581 2218)
21-1	後第8 F 後第10 上	IV-S-35 III-6層 S-35	注口	口輪：透かし彫りの入組式を表現。人面は5つ。面部に黑色漆仕様。面部に黑色漆仕様。外輪：内面に透かし窓がある。外面上に透かし窓がない。 単純な思はれ。単純な透かし窓。	後期8	化粧刷毛色漆斜筋の痕跡。 14年夏V-35、VI-35、VII-35、VIII-35 ロゼ色の陶器の痕跡が出土し、候合してい。(2574, 2581 2218)	
198	7' n°12	後期10 下	IV-S-35 III-6層 S-35	香炉	外輪：透かし彫りの入組式。内面：ナガ。断土：砂粒。外輪：透かし窓で透かし窓。	後期8	内面漆斜筋付。
21-2	後第10 下	IV-S-34	粗底深杯	口輪：透かし彫り。外輪：透かし窓。内面：ナガ。断土：砂粒。外輪：透かし窓で透かし窓。	後期8	内外面漆斜筋で透かし窓。	
21-3	107	7' n°12	III-6層 (W-T-34)	粗底深杯	口輪：透かし彫り。外輪：透かし窓。内面：ナガ。断土：砂粒。外輪：透かし窓で透かし窓。	後期8-7 後期7-4	P-2571 2209
22-1	109	7' n°12	HS103	覆土	口輪：透かし彫り。外輪：透かし窓。内面：ナガ。断土：砂粒。外輪：透かし窓で透かし窓。	後期7-4	5555
22-2	109	7' n°12	HS103	覆土	口輪：透かし彫り。外輪：透かし窓。内面：ナガ。断土：砂粒。外輪：透かし窓で透かし窓。	後期7-4	P-61 5522
22-3	109	7' n°12	HS103	覆土	口輪：透かし彫り。外輪：透かし窓。内面：ナガ。断土：砂粒。外輪：透かし窓で透かし窓。	後期7-3	- 83-9・10と同一個体。
22-4	109	7' n°12	HS103	覆土	口輪：透かし彫り。外輪：透かし窓。内面：ナガ。断土：砂粒。外輪：透かし窓で透かし窓。	後期8	22-5と同じ個体。
22-5	109	7' n°12	HS103	覆土	口輪：透かし彫り。外輪：透かし窓。内面：ナガ。断土：砂粒。外輪：透かし窓で透かし窓。	後期8	P-14 546-2
22-6	109	7' n°12	HS103	覆土	口輪：透かし彫り。外輪：透かし窓。内面：ナガ。断土：砂粒。外輪：透かし窓で透かし窓。	後期8	P-14 546-1
22-7	109	7' n°12	HS103	覆土	口輪：透かし彫り。外輪：透かし窓。内面：ナガ。断土：砂粒。外輪：透かし窓で透かし窓。	後期8	P-39 5307
22-8	109	7' n°12	HS103	覆土	口輪：透かし彫り。外輪：透かし窓。内面：ナガ。断土：砂粒。外輪：透かし窓で透かし窓。	後期8	P-36, 38 5755
22-9	109	7' n°12	HS103	IIホット	口輪：透かし彫り。外輪：透かし窓。内面：ナガ。断土：砂粒。外輪：透かし窓で透かし窓。	後期8	P-60 57
22-10	109	7' n°12	HS103 Rg-42	IIホット	口輪：透かし彫り。外輪：透かし窓。内面：ナガ。断土：砂粒。外輪：透かし窓で透かし窓。	後期8	口径：35.4cm。内外面漆斜筋。
22-11	109	7' n°12	HS103	覆土	口輪：透かし彫り。外輪：透かし窓。内面：ナガ。断土：砂粒。外輪：透かし窓で透かし窓。	後期8	口径：35.4cm。内外面漆斜筋。

繩文土器観察表(14)

図版号	写真	出土位置	層位	表面	器形	時期	備考	版上No.	整理No.
22-12	109	H5103・IV9-11・III-7 アコ?	土器	台付皿 口部	碗形 口部	後期Ia	手に縁が丘状の三次元の上面から下側にしていることから実底はつぶくと見られるがそらく4cm位。底面は内面より外側へ凹む。実底の部分が1倍位で約2.0cm。内面。ナデ。底面や外側。ナデ。内面や外側。ナデ。	14径：16.0cm、高さ：5.3cm、底径：7.0cm。	P-44 541-3
22-13	109	H5103 アコ?	土器	注口又は 蓋	口部	後期7-4	手口に大小の突起。どちらも実底頂部のナデ。外縁は内面。ナデ。底面。ナデ。内面や外側。ナデ。	注口又は蓋の内側は底面の幅で縮む。底面はミヤギに染められた。高台の周囲は注口部は基部から欠損。注口部は2.4cm。注口部を洗浄之後。ナデ。内面。ナデ。外縁は内側に穿孔状(アーチカルトホール)付着。外縁の一部に一色焼痕(アーチカルトホール)付着。外縁に対する位置に穿孔状(アーチカルトホール)孔を埋めたと思われる。	534 94
22-14	109	H5103 アコ?	土器	注口	口部	後期7-4	外縁・底面が内腹側の凹溝の内面。ナデ。外縁は内側に拡張する全体の幅で縮む。底面はミヤギに染められた。注口部は2.4cm。注口部を洗浄之後。ナデ。内面。ナデ。外縁は内側に穿孔状(アーチカルトホール)付着。外縁の一部に一色焼痕(アーチカルトホール)付着。外縁に対する位置に穿孔状(アーチカルトホール)孔を埋めたと思われる。	注口部は基部から欠損。ナデ。内面。ナデ。外縁は内側に穿孔状(アーチカルトホール)付着。外縁に対する位置に穿孔状(アーチカルトホール)孔を埋めたと思われる。	P-1 15
22-15	109	H5103 アコ?	土器	注口	口部	後期8	手口に縁が丘状の三次元の上面から下側にしていることから実底はつぶくと見られるがそらく4cm位。底面は内面。ナデ。外縁は内側に穿孔状(アーチカルトホール)付着。外縁に対する位置に穿孔状(アーチカルトホール)孔を埋めたと思われる。	注口部は基部から欠損。ナデ。内面。ナデ。外縁は内側に穿孔状(アーチカルトホール)付着。外縁に対する位置に穿孔状(アーチカルトホール)孔を埋めたと思われる。	P-1 15
23-1	110	7-7-7 H5103	土器	粗製深杯 I	浅脚深杯	後期後期	手口に縁が丘状の三次元の上面から下側にしていることから実底はつぶくと見られるがそらく4cm位。底面は内面。ナデ。外縁は内側に穿孔状(アーチカルトホール)付着。ナデ。内面。ナデ。内面。ナデ。内面。	口径：32.0cm、底径：14.0cm、高さ：10.0cm。	P-67 505
23-2	110	7-7-7 H5103	土器	粗製深杯 I	浅脚深杯	後期後期	手口に縁が丘状の三次元の上面から下側にしていることから実底はつぶくと見られるがそらく4cm位。底面は内面。ナデ。外縁は内側に穿孔状(アーチカルトホール)付着。ナデ。内面。ナデ。内面。ナデ。内面。	口径：32.0cm、底径：14.0cm、高さ：10.0cm。	P-49 504
23-3	110	7-7-7 H5103	土器	粗製深杯 Ia.1	浅脚深杯	後期後期	手口に縁が丘状の三次元の上面から下側にしていることから実底はつぶくと見られるがそらく4cm位。底面は内面。ナデ。外縁は内側に穿孔状(アーチカルトホール)付着。ナデ。内面。ナデ。内面。ナデ。内面。	口径：25.2cm、底径：13.0cm、高さ：9.0cm。	P-61 509
23-4	110	7-7-7 H5103	土器	粗製深杯 Ia.1	浅脚深杯	後期後期	手口に縁が丘状の三次元の上面から下側にしていることから実底はつぶくと見られるがそらく4cm位。底面は内面。ナデ。外縁は内側に穿孔状(アーチカルトホール)付着。ナデ。内面。ナデ。内面。ナデ。内面。	口径：25.2cm、底径：13.0cm、高さ：9.0cm。	P-4 501
23-5	110	7-7-7 H5103	土器	粗製深杯 Ia.1	浅脚深杯	後期後期	手口に縁が丘状の三次元の上面から下側にしていることから実底はつぶくと見られるがそらく4cm位。底面は内面。ナデ。外縁は内側に穿孔状(アーチカルトホール)付着。ナデ。内面。ナデ。内面。ナデ。内面。	口径：32.0cm、底径：14.0cm、高さ：10.0cm。	P-57 511
23-6	110	7-7-7 H5103	土器	粗製深杯 I C1	浅脚深杯	後期後期	手口に縁が丘状の三次元の上面から下側にしていることから実底はつぶくと見られるがそらく4cm位。底面は内面。ナデ。外縁は内側に穿孔状(アーチカルトホール)付着。ナデ。内面。ナデ。内面。ナデ。内面。	口径：31.0cm、底径：13.0cm、高さ：9.0cm。	P-22 510
23-7	110	7-7-7 H5103	土器	粗製深杯 Ia.1	浅脚深杯	後期後期	手口に縁が丘状の三次元の上面から下側にしていることから実底はつぶくと見られるがそらく4cm位。底面は内面。ナデ。外縁は内側に穿孔状(アーチカルトホール)付着。ナデ。内面。ナデ。内面。ナデ。内面。	口径：31.0cm、底径：13.0cm、高さ：9.0cm。	P-4 612
23-8	110	7-7-7 H5103	土器	粗製深杯 Ia.1	浅脚深杯	後期後期	手口に縊が丘状の三次元の上面から下側にしていることから実底はつぶくと見られるがそらく4cm位。底面は内面。ナデ。外縊は内側に穿孔状(アーチカルトホール)付着。ナデ。内面。ナデ。内面。ナデ。内面。	口径：31.0cm、底径：13.0cm、高さ：9.0cm。	P-53 606
23-9	110	7-7-7 H5103	土器	粗製深杯 II	粗製深杯	後期後期	手口に縊が丘状の三次元の上面から下側にしていることから実底はつぶくと見られるがそらく4cm位。底面は内面。ナデ。外縊は内側に穿孔状(アーチカルトホール)付着。ナデ。内面。ナデ。内面。ナデ。内面。	口径：30.0cm、底径：12.0cm、高さ：8.0cm。	P-19 506
24-1	110	7-7-7 H5103	土器200目	深杯	後期7-4	手口に縊が丘状の三次元の上面から下側にしていることから実底はつぶくと見られるがそらく4cm位。底面は内面。ナデ。外縊は内側に穿孔状(アーチカルトホール)付着。ナデ。内面。ナデ。内面。ナデ。内面。	口径：28.0cm、底径：11.0cm、高さ：7.0cm。	533 550	
24-2	110	7-7-7 H5103	土器200目	深杯	後期7-~8	手口に縊が丘状の三次元の上面から下側にしていることから実底はつぶくと見られるがそらく4cm位。底面は内面。ナデ。外縊は内側に穿孔状(アーチカルトホール)付着。ナデ。内面。ナデ。内面。ナデ。内面。	口径：28.0cm、底径：11.0cm、高さ：7.0cm。	574 573	
24-3	110	7-7-7 H5103	土器200目	深杯	後期8	手口に縊が丘状の三次元の上面から下側にしていることから実底はつぶくと見られるがそらく4cm位。底面は内面。ナデ。外縊は内側に穿孔状(アーチカルトホール)付着。ナデ。内面。ナデ。内面。ナデ。内面。	口径：28.0cm、底径：11.0cm、高さ：7.0cm。	594 602	
24-4	110	7-7-7 H5103	土器200目	深杯	後期8	手口に縊が丘状の三次元の上面から下側にしていることから実底はつぶくと見られるがそらく4cm位。底面は内面。ナデ。外縊は内側に穿孔状(アーチカルトホール)付着。ナデ。内面。ナデ。内面。ナデ。内面。	口径：28.0cm、底径：11.0cm、高さ：7.0cm。	594 602	
24-5	110	7-7-7 H5103	土器200目	深杯	後期7-~8	手口に縊が丘状の三次元の上面から下側にしていることから実底はつぶくと見られるがそらく4cm位。底面は内面。ナデ。外縊は内側に穿孔状(アーチカルトホール)付着。ナデ。内面。ナデ。内面。ナデ。内面。	口径：28.0cm、底径：11.0cm、高さ：7.0cm。	594 602	
24-6	110	7-7-7 H5103	土器200目	台付杯	後末~地切	手口に縊が丘状の三次元の上面から下側にしていることから実底はつぶくと見られるがそらく4cm位。底面は内面。ナデ。内面。ナデ。内面。ナデ。内面。	口径：28.0cm、底径：11.0cm、高さ：7.0cm。	P-64 602	

縄文土器観察表(15)

器番号	出土位置	部位	器種	形態	時間	備考	段上No.	基準	
24-7 110	7' 7"	覆土20cm	粗陶	外縁 後期後期 ～後期	口唇：縦文L。底面部には鱗文など。 底部：内コロ。底面骨質。使用痕：外スス。	底径：10.4cm。	P-68	603	
24-8 110	7' 7"	覆土20cm	粗陶芯杯	1.1a)	口唇：面取。 底面部には鱗文など。 底面骨質。使用痕：外スス。	底径：10.4cm。	P-69	512	
24-9 110	7' 7"	覆土20cm	粗陶芯杯	1.1a)	口唇：面取。 底面部には鱗文など。 底面骨質。使用痕：外スス。	底径：10.4cm。	P-63	515	
24-10 111	7' 7"	覆土20cm	芯杯	2-3	外縁：縦目状の粘土塊。 底面部には鱗文など。 底面骨質。使用痕：外スス。	底径：10.4cm。	P-72	567	
24-11 111	7' 7"	HS103	覆土20cm	芯杯	2-3	外縁：縦目状の粘土塊。 底面部には鱗文など。 底面骨質。使用痕：外スス。	底径：10.4cm。	P-71	567
24-12 111	7' 7"	HS103	覆土20cm	壺	III	後末～後期 外縁：面取。	口径：10.1cm。	P-69	597
24-13 111	7' 7"	HS103	覆土20cm	注口	IV	後期 外縁：面取。 底面部には鱗文など。 底面骨質。使用痕：外スス。	底径：2.8cm。 底面部には基部から欠損。	P-201	92
24-14 111	7' 7"	HS103	覆土20cm	注口	V	後期か 内縁：ナデ。 底面部には鱗文など。 底面骨質。使用痕：外スス。	底径：2.6cm。 底面部には基部から欠損。	P-205	295
26-1 114	36' 3"	IV-3層	芯杯	II	平口部に海綿する突起。 口唇：面取。 底面部には鱗文など。 底面骨質。使用痕：外スス。	口径：7.2cm。 底径：2.6cm。 底高：11.6cm。 底面部には基部から欠損。	P-749	1027	
26-2 114	36' 3"	IV-3層	芯杯	II	後期か 内縁：ナデ。 底面部には鱗文など。 底面骨質。使用痕：外スス。	口径：7.2cm。 底径：2.6cm。 底高：12.0cm。 底面部には基部から欠損。	P-819	62	
26-3 114	36' 3"	IV-3層	芯杯	II	後期 内縁：ナデ。 底面部には鱗文など。 底面骨質。使用痕：外スス。	口径：7.2cm。 底径：2.6cm。 底高：12.1cm。 底面部には基部から欠損。	P-748	29	
26-4 114	WK-35	Seel I-IV-3	注口	II	後期7-4 内縁：ナデ。 底面部には鱗文など。 底面骨質。使用痕：外スス。	口径：7.4cm。 底径：2.6cm。 底高：11.6cm。 底面部には基部から欠損。	P-741	299	
26-5 114	WK-36	Seel I-IV-3	注口	II	後期7-4 内縁：ナデ。 底面部には鱗文など。 底面骨質。使用痕：外スス。	口径：7.4cm。 底径：2.6cm。 底高：11.6cm。 底面部には基部から欠損。	P-741	299	
26-6 114	WK-36	Seel I-IV-3	台付芯杯	1.1a)	後期7-8 内縁：面取。 底面部には鱗文など。 底面骨質。使用痕：外スス。	口径：19.4cm。 底径：10.6cm。 底高：9.3cm。	P-741	299	
26-7 114	Seel I-IV-3層	粗陶芯杯	1.0a)	後期後期 ～後期	平口部に山形突起。 内縁：ナデ。 底面部には鱗文など。 底面骨質。使用痕：外スス。	口径：20.0cm。	P-199, 216	69	
26-8 114	Seel I-IV-3層	粗陶芯杯	I	後期後期 ～後期	平口部に山形突起。 内縁：ナデ。 底面部には鱗文など。 底面骨質。使用痕：外スス。	口径：16.2cm。 底径：6.9cm。 底高：18.2cm。	P-751	1018	
26-9 114	WK-36	Seel I-IV-3	粗陶芯杯	II 1.0a)	後期7-8 内縁：面取。 底面部には鱗文など。 底面骨質。使用痕：外スス。	器形及び内部形状が後期の土器と判別。 口径：16.2cm。 底径：6.9cm。 底高：18.2cm。 底面部には基部から欠損。	P-364	61	
26-10 114	WK-36	Seel I-IV-3層	芯杯	II	後期7-4 内縁：面取。 底面部には鱗文など。 底面骨質。使用痕：外スス。	底径：10.4cm。 底面部には基部から欠損。	P-571	1003	

繩文土器観察表(16)

図版号	写真	出土位置	層位	器種	器形	時期	備考	版上No.	整理No.
26-11	114	Sec1 IV- III-2層	深井		後期口縁、底面原形に突起、口唇・面部吹き出し、外腹・底腹吹き出し等。内腹・内底・内側・内縁等。海綿骨質。施土：ナメル。	後期-4		1021	
26-12	114	Sec1 IV- III-2層	深井		小底部に突出、口唇・面部吹き出し等。内腹・内底・内側・内縁等。海綿骨質。施土：ナメル。	後期-3		1004	
26-13	114	Sec1 IV- III-2層	深井		平面に二山字形突起。内腹・外腹・底腹吹き出し等。内底・内側・内縁等。海綿骨質。施土：ナメル。	後期		1023	
26-14	114	Sec1 IV- III-2層	深井		平面に二山字形突起。内腹・外腹・底腹吹き出し等。内底・内側・内縁等。海綿骨質。施土：ナメル。	後期	P-592	1011	
26-15	114	Sec1 IV- III-2層	深井		平面に二山字形突起。内腹・外腹・底腹吹き出し等。内底・内側・内縁等。海綿骨質。施土：ナメル。	後期		1007	
26-16	114	37・ 36	Sec1 IV- III-2層		平面に二山字形突起。内腹・外腹・底腹吹き出し等。内底・内側・内縁等。海綿骨質。施土：ナメル。	後期	P-92	1009	
26-17	114	Sec1 IV- III-2層	深井		平面に二山字形突起。内腹・外腹・底腹吹き出し等。内底・内側・内縁等。海綿骨質。施土：ナメル。	後期	P-580	1006	
26-18	114	Sec1 IV- III-2層	深井		平面に突起、口唇・面部吹き出し等。内腹・外腹・底腹吹き出し等。内底・内側・内縁等。海綿骨質。施土：ナメル。	後期	P-703	1005	
27-1	115 参考99上	Sec1 IV- III-2層	台付井		平面に突起、口唇・面部吹き出し等。内腹・外腹・底腹吹き出し等。内底・内側・内縁等。海綿骨質。施土：ナメル。	後期Ia	P-94, 70	44	
27-2	115	Sec1 IV- III-2層	台付井		平面に突起、口唇・面部吹き出し等。内腹・外腹・底腹吹き出し等。内底・内側・内縁等。海綿骨質。施土：ナメル。	後期Ia			
27-3	115	IV-30・ IV-35 層	台付井		平面に突起、口唇・面部吹き出し等。内腹・外腹・底腹吹き出し等。内底・内側・内縁等。海綿骨質。施土：ナメル。	後期Ia	P-167, 166	1008	
27-4	115	Sec1 IV- III-2層	台付井		平面に突起、口唇・面部吹き出し等。内腹・外腹・底腹吹き出し等。内底・内側・内縁等。海綿骨質。施土：ナメル。	後期Ia	P-594	1024	
27-5	115	Sec1 IV- III-2層	深井		平面に突起、口唇・面部吹き出し等。内腹・外腹・底腹吹き出し等。内底・内側・内縁等。海綿骨質。施土：ナメル。	後期Ia			
27-6	115	Sec1 IV- III-2層	台付井		平面に突起、口唇・面部吹き出し等。内腹・外腹・底腹吹き出し等。内底・内側・内縁等。海綿骨質。施土：ナメル。	後期Ia	P-110	1015	
27-7	115	Sec1 IV- III-2層	台付井		平面に突起、口唇・面部吹き出し等。内腹・外腹・底腹吹き出し等。内底・内側・内縁等。海綿骨質。施土：ナメル。	後期Ia	P-168	1013	
27-8	115	Sec1 IV- III-2層	深井		平面に突起、口唇・面部吹き出し等。内腹・外腹・底腹吹き出し等。内底・内側・内縁等。海綿骨質。施土：ナメル。	後期Ia	P-143	1002	

縄文土器観察表(17)

次番号	出土地点	層位	形態	器形	時期	備考	段上No.	審査官
27-9	115 IW-36 層	Sec-1 IV- III-2層	台付壺	口縁：面取。内外面：ミガキ。施土：砂粒。直筒骨付。使用痕：なし。	後末～始期	口径：10.7cm。 直筒骨付合。	P-659	207
27-10	115 36・10- III層	Sec-1 IV- III-2層	粗製壺	外縁：体側彫文R。内面：ナデ。施土：粒子がく積目。	後末～始期	全底に仕上げ済(銀色)。施科がはじついてるかどうか不明。 底径：6.0cm。	P-692, 957	1016
27-11	115 36-1 III層	Sec-1 IV- III-2層	壺	外縁：彫文R。底部：底平な高台。内面：ナデ。施土：小穂多く含む。	後末～始期	口径：6.2cm。底径：5.5cm。高さ： 11.2cm。 外縁：面取。(底)	P-577, 239	247
27-12	115 36 IW-36 層	Sec-1 IV- III-2層	壺	口縁：面取なし。外縁：ミガキ。直筒骨付。3周の弦目。施土：砂粒。施文：LR。直筒。	後末～始期	口径：6.2cm。底径：5.5cm。高さ： 11.2cm。 外縁：面取。(底)	P-146	70
27-13	115 36 IW-36 層	Sec-1 IV- III-2層	壺	口縁：面取なし。外縁：ミガキ。直筒骨付。3周の弦目。施土：砂粒。施文：LR。直筒。	後末～始期	口径：6.4cm。底径：5.5cm。高さ： 11.4cm。 外縁：面取。(底)	P-566	1017
28-1	116 Q-36 層	Sec-1 IV- III-2層	注口	口縁：面取なし。外縁：ミガキ。直筒骨付。3周の弦目。施土：砂粒。施文：LR。直筒。	後期Ia	口径：7.9cm。底径：12.9cm。 注口部底から5.6cm。	P-156	59
28-2	116 IW-36 層	Sec-1 IV- III-2層	注口	口縁：面取なし。外縁：ミガキ。直筒骨付。3周の弦目。施土：砂粒。施文：LR。直筒。	後期Ia	口径：8.4cm。底径：13.6cm。 注口部底から5.5cm。	P-584	58
28-3	116 36 IW-36 層	Sec-1 IV- III-2層	注口	口縁：面取なし。外縁：ミガキ。直筒骨付。3周の弦目。施土：砂粒。施文：LR。直筒。	後期Ib	口径：8.9cm。底径：16.8cm。 注口部底から5.6cm。	P-145	19
28-4	116 36-1 II-2層	Sec-1 IV- III層・ II-2層	注口	口縁：面取なし。外縁：ミガキ。直筒骨付。3周の弦目。施土：砂粒。施文：LR。直筒。	後期Ia	口径：7.9cm。底径：12.9cm。 注口部底から5.6cm。	P-686	1371
28-5	116 36 II-2層	Sec-1 IV- III層	注口	口縁：面取なし。外縁：ミガキ。直筒骨付。3周の弦目。施土：砂粒。施文：LR。直筒。	後期Ia	口径：8.4cm。底径：13.6cm。 注口部底から5.5cm。	P-584	58
28-6	116 36 IW-36 層	Sec-1 IV- III-2層	粗製壺	口縁：面取なし。外縁：ミガキ。直筒骨付。3周の弦目。施土：砂粒。施文：LR。直筒。	後期後期	口径：8.9cm。底径：16.8cm。 注口部付近には墨文なし。	P-157	211
28-7	116 36-1 37 IW-36 層	Sec-1 IV- III-2層	粗製壺	口縁：面取なし。外縁：ミガキ。直筒骨付。3周の弦目。施土：砂粒。施文：LR。直筒。	後期後期	口径：10.2cm。底径：8.5cm。高さ： 12.6cm。 外縁：面取。(底)	P-98	1025
29-1	117 36 IW-36 層	Sec-1 IV- III-2層	粗製壺	口縁：面取。外縁：彫文R。底底：面台。底面ナデ。施土：砂粒。使用痕：なしだ。	後期後期	口径：29.0cm。底径：7.5cm。高さ： 41.0cm。底部は凹凸する。	P-592, 593, 153	1020
29-2	117 36 IW-36 層	Sec-1 IV- III-2層	粗製壺	口縁：面取。外縁：彫文R。内面：ナデ。施土：砂粒。使用痕：なしだ。	後期後期	口径：29.0cm。	P-687	1001
29-3	117 36 IW-36 層	Sec-1 IV- III-2層	粗製壺	口縁：面取。外縁：彫文R。内面：ナデ。施土：砂粒。使用痕：外スス。	後期後期	口径：36.5cm。	P-568	1028
29-4	117 36 IW-36 層	Sec-1 IV- III-2層	粗製壺	口縁：面取。外縁：彫文R。内面：ナデ。施土：砂粒。使用痕：外スス。	後期後期	口径：41.5cm。	P-703	1029
30-1	117 37 IW-36 層	Sec-1 IV- III-2層	粗製壺	口縁：面取。外縁：彫文R。内面：ナデ。施土：砂粒。使用痕：外スス。	後期後期	口径：29.0cm。底径：7.5cm。高さ： 41.0cm。	P-58	1010

繩文土器観察表(18)

図版番号	写真	出土位置	施位	器形	時期	後期後 ~後期	後期後 ~後期	備考	出土No.	整理No.		
30-2	116	Sec1 IV- III-2層	相模谷本 1.5m	相模谷本 1.5m	後期後 ~後期	口縁に突起。口縁：面取。外縁：織文R。底面：ナデ。施位：海綿骨質。柄粒。使用 痕。外縁スコップ。	口縁後要 後期後要 ~後期	口縁後要 後期後要 ~後期	11往・30.4cm、底辺：8.9cm、深高： 12.6cm	P-699, 241	1012	
30-3	117	IV-36 - 尾67F下部	Sec1-III-2 層・Ⅲ層	相模谷本 1.5m	後期後 ~後期	口縁後要 後期後要 ~後期	口縁後要 後期後要 ~後期	口縁後要 後期後要 ~後期	11往・30.4cm、底辺：8.9cm、深高： 12.6cm	P-696	1019	
30-4	116	36	Sec1 IV- III-2層	相模谷本 1.5m	後期後 ~後期	外縁：織文R。底面付近には構造なし。底部：ナデ。内面：ナデ。施位：砂 粒。外縁スコップ。	外縁後 ~後期	外縁後 ~後期	底辺・9.0cm 底辺・6.8cm	P-572	1014	
30-5	36	Sec1 IV- III-2層	相模谷本 1.5m	後期後 ~後期	外縁後要 後期後要 ~後期	外縁後要 後期後要 ~後期	外縁後要 後期後要 ~後期	外縁後要 後期後要 ~後期	底辺・6.8cm 底辺・9.0cm	P-118	1030	
30-6	116	Sec1 IV- IVN-44	III-2層・ III-1層・ III層	相模谷本 1.5m	後期後 ~後期	外縁後要 後期後要 ~後期	外縁後要 後期後要 ~後期	外縁後要 後期後要 ~後期	外縁後要 後期後要 ~後期	P-18	702	
30-7	118	Sec2 IV- IVN-44	III-2層・ III-3層・ III層	相模谷本 1.5m	後期後 ~後期	外縁後要 後期後要 ~後期	外縁後要 後期後要 ~後期	外縁後要 後期後要 ~後期	外縁後要 後期後要 ~後期	P-18	702	
31-1	118	Sec2 IV- IVN-44	III-3層	深杯	後期	口縁・高い方の前縁に削り目。口縁・面取。体部無地。使用痕：外ス コップ。織文R。外縁スコップ。	口縁後 ~後期	口縁後 ~後期	口縁後要 後期後要 ~後期	口縁・24.1cm、 底辺・10.2cm、 深高・7.5cm。 底面：北側面裏文。	P-20	719
31-2	118	44	Sec2 IV- IVN-44	III-6層	深杯	後期	口縁後要 後期後要 ~後期	口縁後要 後期後要 ~後期	口縁後要 後期後要 ~後期	口縁・17.8cm、 底辺・10.2cm、 深高・7.5cm。 底面：北側面裏文。	P-2	712
31-3	118	Sec2 IV- IVN-44	III-6層	相模谷本 1.5m	後期後 ~後期	外縁後要 後期後要 ~後期	外縁後要 後期後要 ~後期	外縁後要 後期後要 ~後期	外縁後要 後期後要 ~後期	P-14	714	
31-4	118	44	Sec2 IV- IVN-44	III-6層	口付浅杯	後期	外縁後要 後期後要 ~後期	外縁後要 後期後要 ~後期	外縁後要 後期後要 ~後期	外縁後要 後期後要 ~後期	P-2	136
31-5	參99	44	Sec2 IV- IVN-44	III-7層	合付皿	後期	外縁後要 後期後要 ~後期	外縁後要 後期後要 ~後期	外縁後要 後期後要 ~後期	外縁後要 後期後要 ~後期	P-2	1112
31-6	118	44	Sec2 IV- IVN-44	III-7層	浅杯	後期	外縁後要 後期後要 ~後期	外縁後要 後期後要 ~後期	外縁後要 後期後要 ~後期	外縁後要 後期後要 ~後期	P-2	1115
31-7	118	45	Sec2 IV- IVN-44	III-7層	浅杯	後期	外縁後要 後期後要 ~後期	外縁後要 後期後要 ~後期	外縁後要 後期後要 ~後期	外縁後要 後期後要 ~後期	P-2	134
31-8	118	44 - IVN-44	III-7層	浅杯	後期	外縁後要 後期後要 ~後期	外縁後要 後期後要 ~後期	外縁後要 後期後要 ~後期	外縁後要 後期後要 ~後期	P-2	131	
31-9	118	44	III-7層	浅杯	後期	外縁後要 後期後要 ~後期	外縁後要 後期後要 ~後期	外縁後要 後期後要 ~後期	外縁後要 後期後要 ~後期	P-2	135	
32-1	118	參99 F- 44	III-7層	浅杯	後期	外縁後要 後期後要 ~後期	外縁後要 後期後要 ~後期	外縁後要 後期後要 ~後期	外縁後要 後期後要 ~後期	P-9	78	
32-2	118	參99	III-7層	浅杯	後期	外縁後要 後期後要 ~後期	外縁後要 後期後要 ~後期	外縁後要 後期後要 ~後期	外縁後要 後期後要 ~後期	P-9	701	

縄文土器観察表(19)

器番号	出土位置	層位	器種	器形	時期	備考	段上No.	筆記
32-3	118	Sec2 IV- III-7層	半圓鋤形	Ia5	晚期3	半山腰に三叉状の取りを施し、抜り間に口部にヨコサナギを施すなどで装飾した実用器の代表。外側に内面文。底部は下に膨らむ形状。底部は下に膨らむ形状。底部は下に膨らむ形状。	14~4m.	715
32-4	119	Sec2 IV- III-6層	浅杯	II b5	晚期3	外側に内面文。内面に内面文。底部は下に膨らむ形状。底部は下に膨らむ形状。底部は下に膨らむ形状。	16~6cm. 器厚は4mm程度と薄い。	720
32-5	119	Sec2 IV- III-6層	浅杯	II b5	晚期3	外側に内面文。内面に内面文。底部は下に膨らむ形状。底部は下に膨らむ形状。底部は下に膨らむ形状。	16~6cm. 器厚は4mm程度と薄い。	711
32-6	119	Sec2 IV- III-6層	半圓鋤形	Ib5	晚期3	外側に内面文。内面に内面文。底部は下に膨らむ形状。底部は下に膨らむ形状。底部は下に膨らむ形状。	10~10.5cm. 高さ6.2cm.	703
32-7	119	Sec2 IV- III-6層	浅杯	I b1	晚期3	外側に内面文。内面に内面文。底部は下に膨らむ形状。底部は下に膨らむ形状。底部は下に膨らむ形状。	10~10.5cm. 高さ6.2cm.	102
32-8	119	Sec2 IV- III-6層	粗製壺	1.1	晚期から 後期にかけて	口縁に三叉状の取りを施し、通じた穴を作り、外側に内面文。内面に内面文。底部は下に膨らむ形状。底部は下に膨らむ形状。底部は下に膨らむ形状。	10~10.5cm. 高さ6.2cm.	215
32-9	119	Sec2 IV- III-6層	粗製壺	II b5.1	後期後葉 ～後期	外側に内面文。内面に内面文。底部は下に膨らむ形状。底部は下に膨らむ形状。底部は下に膨らむ形状。	10~10.5cm. 高さ6.2cm.	707
32-10	119	Sec2 IV- III-6層	浅杯	I b5	後期 ～後期	口縁に三叉状の取りを施し、底部は下に膨らむ形状。底部は下に膨らむ形状。底部は下に膨らむ形状。	10~10.5cm. 高さ6.2cm.	708
32-11	119	Sec2 IV- III-5層	半圓鋤形 台付杯	I b2.1	晚期3	外側に内面文。内面に内面文。底部は下に膨らむ形状。底部は下に膨らむ形状。底部は下に膨らむ形状。	10~10.5cm. 高さ6.2cm.	109
32-12	119	Sec2 IV- III-5層	浅杯	I b1	晚期3	外側に内面文。内面に内面文。底部は下に膨らむ形状。底部は下に膨らむ形状。底部は下に膨らむ形状。	10~10.5cm. 高さ6.2cm.	74
32-13	119	Sec2 IV- III-5層	注口	I a1	晚期2	外側に内面文。底部は下に膨らむ形状。底部は下に膨らむ形状。底部は下に膨らむ形状。	10~10.5cm. 高さ6.2cm.	706
32-14	119	Sec2 IV- III-1層	杯	II b5	晚期3	外側に内面文。内面に内面文。底部は下に膨らむ形状。底部は下に膨らむ形状。底部は下に膨らむ形状。	10~10.5cm. 高さ6.2cm.	716
32-15	119	Sec2 IV- III-1層	半圓鋤形	I b5.1	晚期5	外側に内面文。内面に内面文。底部は下に膨らむ形状。底部は下に膨らむ形状。底部は下に膨らむ形状。	11~11.5cm. 高さ7.5cm. 底径5.2cm.	216
32-16	119	Sec2 IV- III-1層	半圓鋤形	I a1	晚期4	外側に内面文。内面に内面文。底部は下に膨らむ形状。底部は下に膨らむ形状。底部は下に膨らむ形状。	11~11.5cm. 高さ7.5cm. 底径5.2cm.	710
32-17	119	Sec2 IV- III-1層	浅杯	I b5	後期後葉 ～後期	外側に内面文。内面に内面文。底部は下に膨らむ形状。底部は下に膨らむ形状。底部は下に膨らむ形状。	7.0cm.	721
32-18	119	Sec2 IV- III-1層	粗製壺	1.05	後期 ～後期	外側に内面文。内面に内面文。底部は下に膨らむ形状。底部は下に膨らむ形状。底部は下に膨らむ形状。	13~13.5cm.	704
33-1	120	44* IV-45	III層	III層	後期7~8	外側に内面文。内面に内面文。底部は下に膨らむ形状。底部は下に膨らむ形状。底部は下に膨らむ形状。	28.5cm. 内面に内面文。底部は下に膨らむ形状。底部は下に膨らむ形状。底部は下に膨らむ形状。	P-18, 19.1481 259

繩文土器觀察表(20)

図版号	写真	出土位置	層位	器種	器形	時期	備考	出土No. 種類No.
33-2	120	Sec3 IVq- III-1層	香田	平縫製 注口	口縫 外縫	後期～8	右管：面部、貫通式面部。左右側面に内縫軋突(右側3周)。左側1周)。燒成良好。胎土：砂 骨質。面部骨質。	1515
33-3	120	Sec3 IVq- III-8層		平縫製	II 1	後期	口縫。面部骨質。外面：ナメ。縄文(直彌)。注口開刃(側面)。注口直下に、面部に割目のある 尾部。底部：高台。内面：ナメ。胎土：小塊。使用痕：なし。外縫黒斑。	P-17
33-4	120	Sec3 IVq- III-6層		深杯		後期7-4	横縫口縫。板面粗びく。底部に突起。底部に大穴を有する。口管：面部。外縫：弦文(直彌)。内縫骨質。内縫 底。内面：ナメ。胎土：小塊。使用痕：外スム、内コガ。	904
34-1	120	Sec3 IVs- III-4層		半縫製 瓦付体	II 8-2	晚期4	口縫。面部骨質。ナメ。大穴を有する。縄文(直彌)。外縫痕。内縫骨質。外スム、内コガ。 口管：面部。ナメ。胎土：小塊。使用痕：外スム、内コガ。	P-12
34-2	120	Sec3 IVs- III-4-d層		半縫製 瓦付体	I C2	後期か 後期7-5	口縫。面部骨質。内縫骨質。ナメ。胎土：小塊。カナリ縫。内縫骨質。使用痕：外 スム、内コガ。	122
34-3	120	Sec3 IVs- III-4-d層		粗陶瓦付体	I A1	後期後期 ～後期	口縫。面部骨質。内縫骨質。ナメ。胎土：小塊。面部骨質。使用痕：外スム、内コガ。 口管：面部。ナメ。胎土：小塊。使用痕：外スム、内コガ。	213
34-4	120	Sec3 IVs- III-4-b層		粗陶瓦付体	I A1	後期後期 ～後期	口縫。面部骨質。内縫骨質。ナメ。胎土：小塊。面部骨質。使用痕：外スム、内コガ。 口管：面部。ナメ。胎土：小塊。使用痕：外スム、内コガ。	902
34-5	120	Sec3 IVs- III-4-b層		粗陶瓦付体	I A1	後期後期 ～後期	口縫。面部骨質。内縫骨質。ナメ。胎土：小塊。面部骨質。使用痕：外スム、内コガ。 口管：面部。ナメ。胎土：小塊。使用痕：外スム、内コガ。	906
34-6	120	Sec3 IVs- III-4-c層		粗陶瓦付体	I C1	後期後期 ～後期	口縫。面部骨質。内縫骨質。ナメ。胎土：小塊。面部骨質。内縫骨質。ナメ。胎土：小塊。 口管：面部骨質。内縫骨質。ナメ。胎土：小塊。面部骨質。内縫骨質。ナメ。胎土：小塊。	P-11
34-7	120	Sec3 IVs- III-4-d層		深杯		後期後期 ～後期	口縫。面部骨質。内縫骨質。ナメ。胎土：小塊。面部骨質。内縫骨質。ナメ。胎土：小塊。 口管：面部骨質。内縫骨質。ナメ。胎土：小塊。面部骨質。内縫骨質。ナメ。胎土：小塊。	214
34-8	120	Sec3 IVs- III-4-f層		深杯		後期後期 ～後期	口縫。面部骨質。内縫骨質。ナメ。胎土：小塊。面部骨質。内縫骨質。ナメ。胎土：小塊。 口管：面部骨質。内縫骨質。ナメ。胎土：小塊。面部骨質。内縫骨質。ナメ。胎土：小塊。	189
34-9	120	44* IV- III-2層		深杯	II	後期7-3	口縫。面部骨質。内縫骨質。ナメ。胎土：小塊。面部骨質。内縫骨質。ナメ。胎土：小塊。 口管：面部骨質。内縫骨質。ナメ。胎土：小塊。面部骨質。内縫骨質。ナメ。胎土：小塊。	P-19
35-1	[21]	Sec5 IVs- III-8-9層・ IV-3層		粗陶 瓦付	II 35	後期8	口縫。板状工具によるナメ。使用痕：外スム、内コガ。胎土：砂粒。面部骨質。内縫骨質。ナメ。 内面：面部。板状工具によるナメ。使用痕：外スム、内コガ。胎土：砂粒。面部骨質。内縫骨質。ナメ。	3199
35-2	[21]	Sec5 IVs- III-8層		粗陶體	I A1	後期後期 ～後期	口縫。面部骨質。内縫骨質。ナメ。胎土：小塊。面部骨質。内縫骨質。ナメ。胎土：小塊。 内面：面部。板状工具によるナメ。使用痕：外スム、内コガ。面部骨質。内縫骨質。ナメ。胎土：小塊。 内面：面部。板状工具によるナメ。使用痕：外スム、内コガ。面部骨質。内縫骨質。ナメ。胎土：小塊。	2162
35-3	[21]	Sec5 IVs- III-7-8層		深杯	II B1-t	後期7-4	口縫。面部骨質。内縫骨質。ナメ。胎土：小塊。面部骨質。内縫骨質。ナメ。胎土：小塊。 内面：面部。板状工具によるナメ。使用痕：外スム、内コガ。面部骨質。内縫骨質。ナメ。胎土：小塊。 内面：面部。板状工具によるナメ。使用痕：外スム、内コガ。面部骨質。内縫骨質。ナメ。胎土：小塊。	2210
35-4	[21]	Sec5 IVs- III-7層		注口	III 1	後期Ia	口縫。面部。内縫：ミガキ。注口先端骨質。内面：ナメ。胎土：砂粒。面部骨質。内縫 骨質。内面：面部骨質。内縫骨質。ナメ。胎土：砂粒。面部骨質。内縫骨質。ナメ。胎土：砂粒。	2015
35-5	[21]	Sec5 IVs- III-7層		壺		後期Ia-b	口縫。面部。内縫骨質。内面：ナメ。胎土：砂粒。面部骨質。内縫骨質。ナメ。胎土：砂粒。 内面：面部骨質。内縫骨質。ナメ。胎土：砂粒。面部骨質。内縫骨質。ナメ。胎土：砂粒。	2197

縄文土器観察表(21)

区分番号	写真	出土位置	層位	器種	器形	時期	備考	取上No.	整理番号
特殊 小鉢状口縁、口唇面、外面、口縁部文様等に輪の裏い裏文等を有する。前面文様等の上部に1条の横筋を有す。前面文様等は「三文式」、背面文様等には「三文式」が主生ずる點等。									
35-6	[21]	Se5 IV-S-35	III-5層	台付鉢	II段a	前期Ia	口径：19.2cm、底径：4.6cm。 外縁部に1条の横筋を有す。前面文様等の上部に1条の横筋を有す。前面文様等は「三文式」、背面文様等には「三文式」が主生ずる點等。	2101	2061
35-7	[21]	Se5 IV-S-34	III-5層・ (R'S-34)	深鉢	II段b	後期Ia	口縁部高い二重山形突起と低い山形突起が交互に連続。低い突起の間に海蛇・口・口唇部・外縁部に繋がる幅の広い、細長い、複数の、輪の裏い裏文等を有す。前面文様等は「三文式」、背面文様等には「三文式」が主生ずる點等。	2100	P-2005
35-8	[21]	Se5 IV-S-34	III-5層	深鉢	III	後期Ia～ II	口縁部高い二重山形突起と低い山形突起が交互に連続。前面文様等は「三文式」、背面文様等には「三文式」が主生ずる點等。	2121	2060
35-9	[21] 卷頭9-35	Se5 IV-S-35	III-5層	粗製深鉢	I段b	後期Ia～ II	口縁部高い二重山形突起と低い山形突起が交互に連続。前面文様等は「三文式」、背面文様等には「三文式」が主生ずる點等。	2011	2061
36-1	[22]	Se5 IV-S-35	III-4層	深鉢	I-C4	後期Ib	小鉢状口縁、外面に縄文様等を有し、内面に「三文式」文様等。外縁部に1条の横筋を有す。前面文様等は「三文式」、背面文様等には「三文式」が主生ずる點等。	2018	2060
36-2	[21]	Se5 IV-S-34	III-4層・ III層下	台付鉢	II	後期Ia	口縁部高い二重山形突起と低い山形突起が交互に連続。前面文様等は「三文式」、背面文様等には「三文式」が主生ずる點等。	2103	P-2431
36-3	[22]	Se5 IV-S-34	III-4層	台付鉢	II	後期Ia～b	口縁部高い二重山形突起と低い山形突起が交互に連続。前面文様等は「三文式」、背面文様等には「三文式」が主生ずる點等。	2147	2060
36-4	[22]	Se5 IV-S-34	III-4層	台付鉢	II-S5	後期Ia	口縁部高い二重山形突起と低い山形突起が交互に連続。前面文様等は「三文式」、背面文様等には「三文式」が主生ずる點等。	2139	2060
36-5	[22]	Se5 IV-S-34	III-4層	注口	III	後期Ia	口縁部高い二重山形突起と低い山形突起が交互に連続。前面文様等は「三文式」、背面文様等には「三文式」が主生ずる點等。	2066	P-2450
37-1	[22] 卷頭8-35	Se7 IV-S-35	III層中・ III層下	台付鉢	II段a	後期Ia	口縁部高い二重山形突起と低い山形突起が交互に連続。前面文様等は「三文式」、背面文様等には「三文式」が主生ずる點等。	2053	2060
37-2	[22]	Se7 IV-S-34	III-2層・ III-3層・ III-4層	台付鉢	II段b	後期Ia	口縁部高い二重山形突起と低い山形突起が交互に連続。前面文様等は「三文式」、背面文様等には「三文式」が主生ずる點等。	2069	2060
37-3	[22]	Se7 IV-S-35	III-4層	注口	III	後期Ia	口縁部高い二重山形突起と低い山形突起が交互に連続。前面文様等は「三文式」、背面文様等には「三文式」が主生ずる點等。	2052	P-2496
37-4	[22]	Se7 IV-S-34	III-4層	注口a	III	後期Ia	口縁部高い二重山形突起と低い山形突起が交互に連続。前面文様等は「三文式」、背面文様等には「三文式」が主生ずる點等。	2051	P-2272, 2100

繩文土器観察表(22)

因番号	写真	出土位置	層位	器種	器形	時期	備考	段上No.	整理No.
37-5		7'×11 〔W-S-34〕 ・III層 n+11 〔W-S-35〕	深井	1段井	後期7-4	口径35.7m、底径45.2m、高さ10.3m、底面35.8m、高さ8.8m。器高：239cm、239.4cm。	P-2392	2027	
37-6		123 Se7 IV-S- 34	III-10層 ・Ⅲ層	粗製泥井	1段井	後期後期 ～後期	口縁：面鏡。外縁：面鏡文。底面には繩文な。内面：ナガ。底面：高台。施土：小窓。 使用目的：外スス。内コガ。	P-2392	2027
37-7		122 Se7 IV-S- 34	III-9層 ・Ⅲ層	台付井	II段井	後期7-8	小窓井口縁。口縁と下鉢点と底石が並ぶ。外縁：面鏡文。底面には繩文が施して、八字状の面鏡文を形成する。底部は圓筒形で覆われて居る。体部は直井で、施土：小窓。内面：ナガ。底面：高台。施土：小窓。内コガ。	P-2392	2028
38-1		123 Se7 IV-S- 35	III-9層 ・Ⅲ層	深井	1段井	後期7-8	小窓井口縁。口縁と下鉢点と底石が並ぶ。外縁：面鏡文。底面には繩文が施して、八字状の面鏡文を形成する。底部は圓筒形で覆われて居る。体部は直井で、施土：小窓。内面：ナガ。底面：高台。施土：小窓。内コガ。	P-2392	2028
38-2		123 Se7 IV-S- 35	III-9層 ・Ⅲ層	台付泥井	1段井	後期7-8	口縁：面鏡。外縁：面鏡文。底面には繩文が施して、八字状の面鏡文を形成する。底部は圓筒形で覆われて居る。施土：小窓。内面：ナガ。底面：高台。施土：小窓。内コガ。	P-2392	2028
38-3		123 Se7 IV-S- 35	III-9層	井	IV	後期7-8	外縁：ミガキ。内面：ナガ。底面：平井。ナガ。施土：小窓。面鏡条件。施土：なし。外縁：有孔。外縁：面鏡文。底面：高台。内面：ナガ。底面：高台。施土：小窓。内コガ。	P-2392	2028
38-4		123 Se7 IV-S- 35	7'×11 〔W-S-35〕 ・III層 ・S-35 Se7 IV-S- 36 〔W-S-35〕	粗製泥井	1段井 上	後期	粗製泥井の全体と、S-35の施土が施されている。文様の要素は見られない。口縁：面鏡文。底面：高台。内面：ナガ。底面：高台。施土：小窓。内コガ。	P-2392	2028
38-5		123 Se7 IV-S- 35	III-9層	粗製泥井	1段井	後期後期 ～後期	粗製泥井の全体と、S-35の施土が施されている。文様の要素は見られない。口縁：面鏡文。底面：高台。内面：ナガ。底面：高台。施土：小窓。内コガ。	P-2392	2028
38-6		123 Se7 IV-S- 35	III-9層	粗製井	1段井	後期後期 ～後期	粗製泥井の全体と、S-35の施土が施されている。文様の要素は見られない。口縁：面鏡文。底面：高台。内面：ナガ。底面：高台。施土：小窓。内コガ。	P-2392	2028
38-7		123 Se7 IV-S- 35	III-9層	粗製泥井	1段井	後期後期 ～後期	粗製泥井の全体と、S-35の施土が施されている。文様の要素は見られない。口縁：面鏡文。底面：高台。内面：ナガ。底面：高台。施土：小窓。内コガ。	P-2392	2028
38-8		124 Se7 IV-S- 35	III-7層 ・Ⅲ層	深井	II	後期	口縁：有孔。外縁：面鏡文。底面：高台。内面：ナガ。底面：高台。施土：小窓。内コガ。	P-2392	2028
38-9		124 Se6 IV-S- 36	III-7層 ・Ⅲ層	深井	II	後期	口縁：有孔。外縁：面鏡文。底面：高台。内面：ナガ。底面：高台。施土：小窓。内コガ。	P-2392	2028
38-10		124 Se6 IV-S- 36	III-7層 ・Ⅲ層	深井	II	後期	口縁：有孔。外縁：面鏡文。底面：高台。内面：ナガ。底面：高台。施土：小窓。内コガ。	P-2392	2028

縄文土器観察表(23)

区番号	写真	出土位置	層位	器種	器形	時期	備考	版上No.	整理No.
38-11	124	Sei7 IV-S-36	III-7層	深杯	II	後期7~8	外縁:くぼみ部に円形の彫刻と横内彫の突起が交互に施されている。柄円筒の突起は上部から下部まで、内面にナデ。施土:小粒。表面:滑擦性好。	2222	2223
39-1	124	Sei7 IV-S-35・IV-T35	III-6層・III層	台付杯	IIbs5	晚期Ia	外縁:山形文彫記と横内彫が交互に施されている。台付杯の頂部に溝がある。口折:直角。外縁:各突起下にU字彫。文様は上・三段文、文様断上・下文。外縁間に施された短い輪郭線。人組文内に本の根元を施す。内面:人組文の曲線。人組文の曲線を引き直した所であり。使用痕:外・スス、内コロ。施土:滑擦性好。	2110	
39-2	124	Sei7 IV-S-35	III-6層	注口	II1	晚期Ia	外縁:山形文彫記と横内彫が交互に施されている。外縁:山形文彫。内面:ナデ。施土:滑擦性好。	2016	
39-3	124	Sei7 IV-S-35	III-2層	盤	III1	晚期Ib	外縁:山形文彫。体部下半横内彫。外縁:直角。内面:ナデ。施土:滑擦性好。	P-249	2017
39-4	124	Sei7 IV-S-35・III-2層・III-3層	III層	壺	III1	晚期Ia	外縁:直角。内面:山形文彫。施土:滑擦性好。使用痕:なし。外面部:滑擦性好。	2017	
39-5	124	Sei7 IV-S-35・III-3層	III層	壺	III1	晚期Ia	外縁:山形文彫記と横内彫。内面:ナデ。施土:滑擦性好。	2017	
40-1	125	IVW-29	III層	深杯	IIbs5	地期Ib	口縁:山形文彫(底面不明)。口折:直角。外縁:山形文彫。施土:タリ粒。表面:滑擦性好。	2019-2	1151
40-2	125	IVW-29	III層	台付杯	IIbs2	地期Ib	外縁:山形文彫記と横内彫。内面:内コロ。施土:滑擦性好。	2019-2	1152
40-3	125	IVW-29	III層	杯	IIbs1t	地期Ib	外縁:山形文彫(底面不明)。口折:直角。内面:山形文彫記と横内彫。内面:内コロ。施土:滑擦性好。	2019-2	1113
40-4	125	IVW-29	III層	深杯	IAs1	後期後窓	外縁:山形文彫記と横内彫。内面:ナデ。施土:滑擦性好。	P-437	283
40-5	125	IVW-29	III層	粗製深杯	IAs1	後期後窓	外縁:山形文彫記と横内彫。内面:ナデ。施土:滑擦性好。	P-680	273
40-6	125	IVW-29	III層	粗製深杯	IAs1	後期後窓	外縁:山形文彫記と横内彫。内面:ナデ。施土:滑擦性好。	P-682, 683	614
40-7	125	IVW-29	III層	深杯	IIbs1t	後期後-4	外縁:山形文彫記と横内彫。内面:ナデ。施土:滑擦性好。	P-483	266
40-8	125	IVW-29	III層	台付杯	IIbs1	後期後-4	外縁:山形文彫記と横内彫。内面:ナデ。施土:滑擦性好。	P-484	1119
40-9	125	IVW-29	III層	深杯	IIbs1	後期後か	外縁:山形文彫記と横内彫。内面:ナデ。施土:滑擦性好。	P-528	280
40-10	125	IVW-40	III層	注口	II5	後期後-8	外縁:山形文彫記と横内彫。内面:ナデ。施土:滑擦性好。	P-432	1073

繩文土器観察表(24)

番号	字貫	出土位置	施位	器種	器形	時期	特徵	備考	出土No.	整理No.
40-11	Wv-40	III層	合付灰土	I Bii	後期7-4	手平・小縫 底部:口縫(引出)。上唇:圓弧。外腹:「彌文」直模。内腹:ナデ。	口径:23.7cm、底径:11.5cm。とこ通するた 突起付。内縫:「彌文」(北縫一場文)。	P-652,	167	
41-1	126	IVv-40	III層・ II層	漆杯	II Bii	後期7-4	後期7-4 底部:直縫(引出)。内縫:「彌文」(北縫一場文)。(A)の字形。口唇:一面敷。外面:「彌文」に突出する肩部。裏面:内縫付。底面:横幅約4.4cm。外縫付。内コダ。漆器	9.5cm。底径:25.3cm。 内縫:「彌文」(北縫一場文)。	P- 431,465, 466,467	1078
41-2	126	IVv-40	III層	粗製灰土	I Aii	後期後葉 上期	上:小縫多く含む。 下:外縫付。内縫付。外縫付。	口径:17.8cm、器高:13.9cm。底径: 8.0cm。	P-432	1082
41-3	126	IVv-40	III層	鉢	後期8 文	外縫付。内縫付。外縫付。内コダ。漆器	後期後葉(引出)。 底部:直縫(引出)。内縫付。外縫付。漆器	上部:「彌文」(北縫一場文)。 上部:「彌文」(北縫一場文)。	P-504	276
41-4	126	IVv-44	III層	半周灰 灰土	I Bii	後期5 前	外縫付。内縫付。外縫付。内コダ。	口径:19.2cm、底径:19.1cm。底径: 8.0cm。	P-945	139
41-5	126	IVv-42	III層	浅杯	I Cl	後期Ia	外縫付。内縫付。外縫付。内コダ。	輪状の文様の中心に輪 状の文様。		1456
41-6	126	IVv-43	III層	注口	III	後期Ib	外縫付。内縫付。外縫付。内コダ。	口径:16.7cm、底径:9.5cm。 注口:直角。	P-1077	169
41-7	127	IVv-43	III層	合付灰土	II Bii	後期Ib-2	外縫付。内縫付。外縫付。内コダ。	口径:32.8cm。 内縫:「彌文」(北縫一場文)。	P-944	104
41-8	126	IVv-43	III層	粗製灰土	I Aii	後期Ia~2	外縫付。内縫付。外縫付。内コダ。	口径:8.5cm、底径:8.4cm。 内縫:「彌文」(北縫一場文)。	P-895	261
41-9	126	IVv-43	III層	粗製灰土	I Bii	後期後葉 後期	外縫付。内縫付。外縫付。内コダ。	口径:24.1cm。 内縫:「彌文」(北縫一場文)。		297
41-10	126	IVv-43	III層	粗製灰土	I Aii	後期後葉 後期	外縫付。内縫付。外縫付。内コダ。	口径:22.2cm、底径:32.8cm。底径: 9.0cm。		267
42-1	127	IVv-38	III層	漆杯	II Bii	後期7-4	外縫付。内縫付。外縫付。内コダ。	口径:21.6cm。 内縫:「彌文」(北縫一場文)。		1098
42-2	127	IVv-38	III層	合付灰土	I Bii	後期8	外縫付。内縫付。外縫付。内コダ。	口径:23.8cm。 内縫:「彌文」(北縫一場文)。		1129
42-3	127	IVv-39	III層	漆杯	II Bii	後期7-4	外縫付。内縫付。外縫付。内コダ。	口径:30.6cm、底径:8.5cm。底径: 32.2cm。	P-286	185
42-4	127	IVv-39	III層	漆杯	II Bii	後期7-4	外縫付。内縫付。外縫付。内コダ。	口径:22.3cm。 内縫:「彌文」(北縫一場文)。	P-167, 362	1110
42-5	127	IVv-39	III層	漆杯	II Bii	後期7-4	外縫付。内縫付。外縫付。内コダ。	口径:30.6cm、底径:8.5cm。底径: 32.2cm。		1091

縄文土器観察表(25)

出番号	出土位置	層位	器種	器形	時間	参考
42-6	IW-39	III層	深杯	IIb1t	早期-4	平面に突起、口盤：平面。外壁：突出部直下で対応する、口縁以下、唇折部まで斜面状と無文部を付し、唇部は小さな凹部を有する。口径：23.7cm、高さ：4mm前後と薄い。 斜め前方から等間隔に筋状の突起部を有する。外壁の質は比較的硬い。他の質では削除される。 本文：施土：微細で適度な、粘土質の量は比較的多く、他の質では削除される。 他用質：外壁ス。
42-7	IW-39	III層	觀型合竹林	Ia1t	後期後～後期後-4	平面に突起、口盤：平面。外壁：ナデ。内面：ナデ。内面：ナデ。施土：小穀、施脂膏料。 本文：施土：外壁ス、内面：陶膏。内面：陶膏。内面：ナデ。他用質：外壁、内面：ナデ。他用質：外壁ス。
42-8	IW-40	III層	粗乳突杯	Ia1t	後期後～後期後-4	平面に突起、口盤：平面。外壁：ナデ。施土：小穀。クチ。施脂膏料。 本文：施土：外壁ス。
43-1	IW-41	III層	深杯	IIb2t	後期後-4～後期後-2	平面に突起、口盤：平面。外壁：ナデ。施土：小穀。内面：ナデ。他用質：外壁ス。 本文：施土：外壁ス。外壁は斜面状で、その上に筋状の突起部を有する。外壁の質は比較的硬い。口盤：直角としない。外壁：直角。 本文：施脂膏料。内面：ナデ。施土：ナデ。他用質：外壁ス。
43-2	IW-41	III層	深杯	IIb5t	後期後-4	平面に突起、口盤：平面。外壁：ナデ。施土：ナデ。他用質：外壁ス、外壁ス。
43-3～8	IW-41	III層	合竹林	施脂3	後期3	平面に突起、口盤：平面。外壁：ナデ。施脂膏料。内面：ナデ。施土：砂粒。施脂膏料：なし。 本文：ミガキ。Bc。口縁の締合部を残す。注口部が残る。
43-9	IW-42	III層	口	I1	後期4a	平面に突起、口盤：平面。外壁：ナデ。施脂膏料。内面：ナデ。施土：砂粒。施脂膏料：なし。 本文：口盤。外壁：ナデ。施脂膏料：なし。外壁：直角。
43-10	IW-42	III層	半柄鉢	III	後期4a	平面に突起、口盤：平面。外壁：ナデ。施脂膏料：なし。外壁：直角。 本文：陶膏。内面：ナデ。施土：小穀。施脂膏料：なし。
K3-11	IW-42・IW-42	III層	粗乳突	III	後期4	平面に突起、口盤：平面。外壁：ナデ。施脂膏料：なし。外壁：直角。 本文：陶膏。内面：ナデ。施脂膏料：なし。外壁：直角。
K3-12	IW-42	III層	深杯	Ib6t1	後期-4	平面に突起、口盤：平面。外壁：ナデ。施脂膏料：なし。外壁：直角。 本文：陶膏。内面：ナデ。施脂膏料：なし。外壁：直角。
43-13	IW-42	III層	深杯	IIb1t	後期-4	平面に突起、口盤：平面。外壁：ナデ。施脂膏料：なし。外壁：直角。
43-14	IW-42	III層	深杯	IIb1t	後期-4	平面に突起、口盤：平面。外壁：ナデ。施脂膏料：なし。外壁：直角。

埴土器觀察表(26)

図版号	写真	出土位置	層位	表面	器形	時期	備考	版上No.	整理No.	
44-1	129	IIV-42	III層	深林	1.65t	後期	半円形に突起した鍋の底。表面は陶質で、北側に「内面」、「外側」と「北側」に「南側」に分かれ、表面は土色で、底面は白色で、底面が白い部分が少しある。表面には「内面」、「外側」と「北側」に「南側」に分かれ、底面は土色で、底面が白い部分が少しある。	11径：18.6cm、外周径：29.0cm、高さ：10.9cm。	1099	
44-2	129	卷頭8F	IV-42	III層	注口	II 14	後期8	半円形に突起した鍋の底。表面は陶質で、底面が白い部分が少しある。表面には「内面」、「外側」と「北側」に「南側」に分かれ、底面は土色で、底面が白い部分が少しある。	口径：11.0cm、底径：4.0cm、高さ：20.3cm。内面全体に断続状存するな。	108
44-3	129	IV-42	III層	蓋又は 注口	P-1458	後期7~8	口部を外側へ一部欠損。口部に男性器と女性器を合わせたような表現。	外、底径：3.5cm。	272	
44-4	129	IV-42	III層	注口	P-912	後期Ila	口部を外側へ一部欠損。口部に男性器と女性器を合わせたような表現。	外、底径：3.5cm。	1384	
44-5	129	IV-42	III層	深林	P-551	後期末~ 後期初頭	口部を外側へ一部欠損。口部に男性器と女性器を合わせたような表現。	外、底径：3.5cm。	1452	
44-6	129	卷頭8F	IV-42	III層	P-551	後期8	口部を外側へ一部欠損。口部に男性器と女性器を合わせたような表現。	外、底径：3.5cm。	1213	
44-7	129	IV-42	III層	深林	H 1.65	後期	外側に口縁を設けた山形の底。表面は白色で、底面は土色である。表面は白色で、底面は土色である。表面は白色で、底面は土色である。表面は白色で、底面は土色である。表面は白色で、底面は土色である。表面は白色で、底面は土色である。	口径：9.6cm。 存耳1/2。	1453	
44-8	129	IV-42	III層	合掌深林	P-610,	後末~後期	口縁を設けた山形の底。表面は白色で、底面は土色である。表面は白色で、底面は土色である。表面は白色で、底面は土色である。表面は白色で、底面は土色である。表面は白色で、底面は土色である。表面は白色で、底面は土色である。	底径：9.6cm。 存耳1/2。	250	
45-1	130	IIV-39	III層	深林	H 0.63	後期7~4	口縁を設けた山形の底。表面は白色で、底面は土色である。表面は白色で、底面は土色である。表面は白色で、底面は土色である。表面は白色で、底面は土色である。表面は白色で、底面は土色である。	口径：27.9cm。 存耳1/2。	1095	
45-2	130	IIV-40	III層	合掌深林	P-400,	後期	口縁を設けた山形の底。表面は白色で、底面は土色である。表面は白色で、底面は土色である。表面は白色で、底面は土色である。表面は白色で、底面は土色である。表面は白色で、底面は土色である。	口径：25.6cm。 存耳1/2。	161	
45-3	130	IIV-40	III層	林	1.65t	後期7~4	口縁を設けた山形の底。表面は白色で、底面は土色である。表面は白色で、底面は土色である。表面は白色で、底面は土色である。表面は白色で、底面は土色である。	口径：27.6cm、底径：7.0cm、高さ：23.1cm。 存耳1/2。	65	
45-4	130	IIV-42	III層	深林	1.65	後期Ila	口縁を設けた山形の底。表面は白色で、底面は土色である。表面は白色で、底面は土色である。表面は白色で、底面は土色である。表面は白色で、底面は土色である。	口径：27.6cm、底径：7.0cm、高さ：23.1cm。 存耳1/2。	904, 935, 907	
45-5	130	IIV-42	III層	蓋	P-702	後期2	口縁を設けた山形の底。表面は白色で、底面は土色である。表面は白色で、底面は土色である。表面は白色で、底面は土色である。表面は白色で、底面は土色である。	口径：14.3cm、底径：7.0cm、高さ：25.6cm。内外面赤茶色(底)。	294	
45-6	130	IIV-42	III層	船型 合掌林	P-924	後期後期	口縁を設けた山形の底。表面は白色で、底面は土色である。表面は白色で、底面は土色である。表面は白色で、底面は土色である。表面は白色で、底面は土色である。	口径：16.6cm、底径：16.3cm、高さ：8.3cm。	174	

縄文土器観察表(27)

次番号	写真	出土位置	層位	形態	器形	時期	備考	段上No.	審査官
45-7	130	IVp-42	III層	注口	II	後期Ⅱa	口唇：面有々なし。外腹：丸地。底有々なし。縄文：三叉文。注口先端穿孔。底口部下に「」字形の痕から、底内側面底部が薄いて文理、縄文文様が剥がれ、底内側面底部が薄いて文理、底内側ナダ。底部：前口部底孔。	P-714	176
45-8	130	IVp-42	III層	粗製灰陶	Ia	後期後期～晩期	口唇：面有々なし。外腹：丸地。底有々なし。縄文：三叉文。底部下部には底文が確認できない部分から、底内側面底部が薄いて文理、底内側ナダ。底上：小切を多く含む。タッタリ縁。使用前：外スズ。内面黒。小縫多く含む所は底上後縁に多く、7段では約8割近くだが、前縁の時間の可	P-720, 721,736	179
46-1	131	IVp-43	III層	深井	IIb+I	後期7-4	口唇：面有々なし。外腹：丸地。底有々なし。縄文：三叉文。底部下部には底文が確認できない部分から、底内側面底部が薄いて文理、底内側ナダ。底上：小切を多く含む。タッタリ縁。使用前：外スズ。内面黒。底内側面底部が薄いて文理、底内側ナダ。	P-1003, 1037	163
46-2	131	IVp-43・ 番頭8上	IVp-43	台付灰陶	IIb+I	後期7-4	口唇：面有々なし。外腹：丸地。底有々なし。縄文：三叉文。底部下部には底文が確認できない部分から、底内側面底部が薄いて文理、底内側ナダ。底上：小切を多く含む。タッタリ縁。使用前：外スズ。内面黒。底内側面底部が薄いて文理、底内側ナダ。	P-1027, 1038	166
46-3	131	IVp-43	III層	深井	IIb+I	後期8	口唇：面有々なし。外腹：丸地。底有々なし。縄文：三叉文。底部下部には底文が確認できない部分から、底内側面底部が薄いて文理、底内側ナダ。底上：小切を多く含む。タッタリ縁。使用前：外スズ。内面黒。底内側面底部が薄いて文理、底内側ナダ。	P-782	1443
46-4	131	IVp-43	III層	深井	IIb+I	後期8	口唇：面有々なし。外腹：丸地。底有々なし。縄文：三叉文。底部下部には底文が確認できない部分から、底内側面底部が薄いて文理、底内側ナダ。内面黒。底内側面底部が薄いて文理、底内側ナダ。	P-999	1437
46-5	131	IVp-43	III層	深井	IIb+I	後期8	口唇：面有々なし。外腹：丸地。底有々なし。縄文：三叉文。底部下部には底文が確認できない部分から、底内側面底部が薄いて文理、底内側ナダ。内面黒。底内側面底部が薄いて文理、底内側ナダ。	P-996	1445
46-6	131	IVp-43	III層	深井	IIb+I	後期8	口唇：面有々なし。外腹：丸地。底有々なし。縄文：三叉文。底部下部には底文が確認できない部分から、底内側面底部が薄いて文理、底内側ナダ。内面黒。底内側面底部が薄いて文理、底内側ナダ。	P-978,973	1439・ 1438
46-7	131	IVp-43	III層	台付灰陶	Ia	後期7-8	口唇：面有々なし。外腹：丸地。底有々なし。縄文：三叉文。底部下部には底文が確認できない部分から、底内側面底部が薄いて文理、底内側ナダ。底上：小切。内面タマリツカナダ。底上：小切。内面タマリツカナダ。	P-926,978	184
46-8	131	IVp-43	III層	注口	II	後期7-4	口唇：面有々なし。外腹：丸地。底有々なし。縄文：三叉文。底部下部には底文が確認できない部分から、底内側面底部が薄いて文理、底内側ナダ。内面：ナダ。底部：高台。底上：ナダ。外面黑。底内側面底部が薄いて文理、底内側ナダ。	P-1072	1079
46-9	131	IVp-43	III層	注口	II	後期7-8	口唇：面有々なし。外腹：丸地。底有々なし。縄文：三叉文。底部下部には底文が確認できない部分から、底内側面底部が薄いて文理、底内側ナダ。内面：ナダ。底上：ナダ。外面黑。底内側面底部が薄いて文理、底内側ナダ。	P-1068	1125
46-10	131	IVp-43	III層	注口	I	後期7-4	2本の粘土棒をそれぞれの頂部にし約手前から後方に斜めに配置した複合土器。底端上部突起を竹管と見よる。底端。底内側面底部が薄いて文理、底内側ナダ。	P-1004	1072
46-11	131	IVp-43	III層	粗製灰陶	I	後期後期	口唇：面有々なし。外腹：丸地。底有々なし。縄文：三叉文。底部下部には底文が確認できない部分から、底内側面底部が薄いて文理、底内側ナダ。内面：ナダ。底上：ナダ。外面黑。底内側面底部が薄いて文理、底内側ナダ。底上：ナダ。外面黑。底内側面底部が薄いて文理、底内側ナダ。	P-984	1440
46-12	131	IVp-43	III層	粗製灰陶	Ia	後期後期	口唇：面有々なし。外腹：丸地。底有々なし。縄文：三叉文。底部下部には底文が確認できない部分から、底内側面底部が薄いて文理、底内側ナダ。底上：ナダ。外面黑。底内側面底部が薄いて文理、底内側ナダ。	P-1063	1441
47-1	132	IVp-43	III層	粗製灰陶	Ia	後期後期	口唇：面有々なし。外腹：丸地。底有々なし。縄文：三叉文。底部下部には底文が確認できない部分から、底内側面底部が薄いて文理、底内側ナダ。	P-973	205

繩文土器観察表(28)

団番号	支高	出土位置	層位	芯種	芯形	時期	備考	段上No.	整地No.
47-2	132	Rv-43	Ⅲ層	粗製芯棒	I型1	後期後葉 ～地期	口盤：一面削、底盤：一面削。外腹：縦文。内面：ナデ。施土：小塊。クサリ痕。口径：32.0cm。	P-963 1063	1449
47-3	132	Rv-43	Ⅲ層	粗製芯棒	I型1	後期後葉 ～地期	口盤：一面削、外腹：縦文。内面：ナデ。施土：小塊。クサリ痕。口径：32.0cm。	P-966 291	1476
47-4	132	Rv-43	Ⅲ層	粗製芯棒	I型1	後期後葉 ～地期	口盤：一面削、外腹：縦文。内面：ナデ。施土：小塊。クサリ痕。口径：32.0cm。	P-1037 1063	1476
47-5	132	Rv-43	Ⅲ層	粗製芯棒	I型1	後期後葉 ～地期	口盤：一面削、外腹：縦文。内面：ナデ。施土：小塊多く含む。他。口径：25.2cm。	P-977 249	1446
47-6	132	Rv-43	Ⅲ層	芯棒	～地期	口盤：一面削、底盤：低平な底面。内面：ナデ。施土：小塊。長用鉢：導頭。底径：8.0cm。	P-780 138	1446	
47-7	132	Rv-43	Ⅲ層	芯棒	～地期	口盤：一面削、底盤：低平な底面。内面：ナデ。施土：小塊。板状工具鉢。	P-960下 137	1447	
47-8	-	Rv-43	Ⅲ層	芯棒	～地期	口盤：一面削、底盤：高台。内面：ナデ。施土：小塊多く含む。他。用鉢：外スズ。	P-960上 137	1446	
47-9	-	Rv-43	Ⅲ層	芯棒	～地期	口盤：一面削、底盤：高台。内面：ナデ。施土：小塊。施削鉢。他用鉢：外スズ、内ス	P-1006 137	1446	
47-10	-	Rv-43	Ⅲ層	芯棒	～地期	口盤：一面削が施された部。底盤：高台。内面：ナデ。施土：高台。内面：ナデ。施削鉢。他用鉢：外スズ、内スズ。	P-1002 1448	1448	
48-1	132	Rv-43	Ⅲ層	芯棒	～地期	口盤：一面削が施された部。底盤：高台。内面：ナデ。施土：高台。内面：ナデ。施削鉢。他用鉢：外スズ、内スズ。	P-1011 1449	1449	
48-2	133	Rv9上	Ⅲ層	合付棒	I型5	後期後葉 ～地期	口盤：一面削が施された部。底盤：高台。内面：ナデ。施土：高台。内面：ナデ。施削鉢。他用鉢：外スズ、内スズ。	P-967 180	1446
48-3	132	Rv-43	Ⅲ層	棒	I型5	後期後葉 ～地期	口盤：一面削が施された部。底盤：高台。内面：ナデ。施土：高台。内面：ナデ。施削鉢。他用鉢：外スズ、内スズ。	P-1010 1163	1446
48-4	133	Rv-43	Ⅲ層	合付棒	II型4	後期後葉 ～地期	口盤：一面削が施された部。底盤：高台。内面：ナデ。施土：高台。内面：ナデ。施削鉢。他用鉢：外スズ、内スズ。	P-777 1075	1446
48-5	133	Rv-43	Ⅲ層	棒	II型2	後期後葉 ～地期	口盤：一面削が施された部。底盤：高台。内面：ナデ。施土：高台。内面：ナデ。施削鉢。他用鉢：外スズ、内スズ。	P-776 262	1446
48-6	132	Rv-43	Ⅲ層	芯棒	I型1	後期後葉 ～地期	口盤：一面削が施された部。底盤：高台。内面：ナデ。施土：高台。内面：ナデ。施削鉢。他用鉢：外スズ、内スズ。	P-968 1137	1446
48-7	133	Rv-43	Ⅲ層	注口	II型1	後期後葉 ～地期	口盤：一面削が施された部。底盤：高台。内面：ナデ。施土：高台。内面：ナデ。施削鉢。他用鉢：外スズ、内スズ。	P-947 109	1446
48-8	133	Rv-43	Ⅲ層	半精製 合付棒	I型1	後期後葉 ～地期	口盤：一面削が施された部。底盤：高台。内面：ナデ。施土：高台。内面：ナデ。施削鉢。他用鉢：外スズ、内スズ。	P-1069 155	1446

繩文土器觀察表(29)

繩文土器観察表(30)

図版号	写真	出土位置	層位	器種	器形	時期	備考	版上No.	整理No.
49-13	IW-44	III層	相製壺	III	蛇形3	後期3	外縁：口周部にガラス。底縁：体部繊文。内面：口縁比較。底面：なじみ。外縁直。 外縁：口周部の直線。長用角：なし。	11往：9.0cm、底径：5.3cm、器高：15.4cm。 外縁の一帯に赤色顕著付着。	P-1023-2a, 1023-1, 1023-2
50-1	IW-44	III層	浅杯	IA1	蛇形3	後期3	口管：直管。外縁：口部の凹曲。内面：ミガキ。底面：カッコ。タリ模。	口径：17.0cm、器高：7.4cm。 外縁：なじみ。	P-1078
50-2	⑤99-F	IW-44	III層	浅杯	IA1	蛇形3	口管：直管。外縁：花瓶。通達する刻目。底面：ミガキ。底土：砂土。使用痕：なし。内面直底。	口径：19.0cm、底径：5.3cm、器高：7.1cm。 外縁：なじみ。	P-901
50-3	IW-44	III層	浅杯	IA1	蛇形3	後期3	口管：直管。外縁：ミガキ。底面：なじみ。外縁直。 底面：ミガキ。底土：砂土。使用痕：なし。外縁直。	口径：17.0cm、底径：4.3cm、器高：6.5cm。 外縁：なじみ。	P-1122
50-4	IW-44	III層	浅杯	IB5	蛇形3	後期3	平口縁を直線とすることで複数した突起様の施錠を有する。口管：直管。底面：花瓶。最上：内面に花瓶文。底面：6.2cm。 底面はガラス。底土：花瓶。回底。内面：ミガキ。底面：陶骨質。使用痕：なし。	口径：21.8cm、底径：5.0cm、器高：6.2cm。 内面に花瓶文。	P-941
50-5	IW-44	III層	浅杯	II5	蛇形3	後期3	底面：花瓶。口管：直角。内面：花瓶文。底面：花瓶。外縁：なじみ。 底面はガラス。底土：花瓶。回底。内面：ミガキ。底面：陶骨質。底面に印形の施錠。内面：ミガキ。底土：花瓶。	口径：16.2cm、底径：5.1cm。 内面に花瓶文。	P-1020
50-6	IW-44	III層	浅杯	IB1	蛇形3	後期3	口管：直角。外縁：花瓶。底面：花瓶。内面：花瓶文。底面：花瓶。外縁：なじみ。 底面はガラス。底土：花瓶。回底。内面：ミガキ。底面：陶骨質。	口径：20.0cm、底径：5.9cm、器高：8.8cm。 内面に花瓶文。	133
50-7	IW-44	III層	相製壺	III	蛇形3	後期3	口管：直角。外縁：花瓶。底面：花瓶。内面：花瓶文。外縁は全周に亘り。外縁：なじみ。	口径：14.0cm。 内面に花瓶文。	1060
50-8	⑤99-F	IW-44	III層	相製壺	III	蛇形3	口管：直角。外縁：花瓶。底面：花瓶。内面：花瓶。外縁は全周に亘る。底面：花瓶。内面：花瓶。外縁は二段階で付着。一次側の施錠がある。	口径：16.0cm、底径：30.0cm。 底面がまとうところ。外縁：なじみ。	P-952
50-9	IW-44	III層	相製壺	III	蛇形3	後期3	口管：直角。外縁：花瓶。底面：花瓶。内面：花瓶。外縁は二段階で付着。一次側の施錠がある。	口径：24.0cm、底径：11.0cm。 外縁：なじみ。	1033
50-10	IW-44	III層	半精製	III-1	蛇形3	後期3	口管：直角。外縁：花瓶。底面：花瓶。内面：花瓶。外縁は二段階で付着。一次側の施錠がある。	口径：8.4cm、底径：11.1cm、底径：	196
50-11	IW-44	III層	半精製	II-2	蛇形3	後期3	口管：直角。外縁：花瓶。底面：花瓶。内面：花瓶。外縁は二段階で付着。一次側の施錠がある。	口径：10.0cm。 底面：花瓶。	1039
50-12	IW-44	III層	半精製	II-2	蛇形3	後期3	口管：直角。外縁：花瓶。底面：花瓶。内面：花瓶。外縁は二段階で付着。一次側の施錠がある。	口径：14.0cm。 外縁に花瓶文。	P-900,
50-13	⑤99-F	IW-44	III層	半精製	II-2	蛇形3	口管：直角。外縁：花瓶。底面：花瓶。内面：花瓶。外縁は二段階で付着。一次側の施錠がある。	口径：12.5cm、底径：7.2cm、器高：13.0cm。 外縁に花瓶文。	901
50-14	IW-44	III層	半精製	II-2	蛇形3	後期3	口管：直角。外縁：花瓶。底面：花瓶。内面：花瓶。外縁は二段階で付着。一次側の施錠がある。	口径：13.0cm、底径：8.0cm、器高：13.2cm。 外縁：なじみ。	143

縄文土器観察表(31)

次番号	字貫	出土位置	層位	器種	器形	時期	備考	段上No.	審査官
井口部に沿筋が3周巻取して付される。外面：白質、内面：茶色。施田用：外スズ、内コダ。									
50-15	番399 F	IV-44	III層	粗製器盤	1孔11	後期後 ～晩期	焼成率がまだ7割弱で出 土しているため、7段は施筋3段とし た。	120	審査官
51-1	134	IV-44	III層	注口	施筋3	外面：白質で施筋を廻す。施上：粗質、クサ目。施田用：外スズ、内コダ。	口径：25.0cm、高さ：27.0cm、底高：	221	
51-2	136	IV-44	III層	注口	施筋3	外面：白質で施筋を廻す。施上：粗質、クサ目。施田用：外スズ、内コダ。	口径：21.5cm、底径：5.6cm、高さ：	101	
51-3	134	IV-44	III層	注口	施筋3	外面：白質で施筋を廻す。施上：粗質、クサ目。施田用：外スズ、内コダ。	口径：21.0cm、底径：5.5cm、高さ：	212	
52-1	137	IV-45	III層	壺	施筋3	外面：白質で施筋を廻す。施上：粗質、クサ目。施田用：外スズ、内コダ。	口径：17.4cm、高さ：5.2cm、 底高：1.0cm、底面：施筋2段。	192	
52-2	137	IV-45	III層	浅杯	施筋5	外面：白質で施筋を廻す。施上：粗質、クサ目。施田用：外スズ、内コダ。	口径：17.2cm、底径：6.8cm、高さ：	1034	
52-3	137	IV-45	III層	壺	施筋3	外面：白質で施筋を廻す。施上：粗質、クサ目。施田用：外スズ、内コダ。	口径：7.5cm、底径：16.9cm、 底高：1.0cm、底面：施筋2段。	127	P-1247
52-4	137	IV-46	III層	浅杯	施筋3	外面：白質で施筋を廻す。施上：粗質、クサ目。施田用：外スズ、内コダ。	口径：17.7cm、 底径：5.4cm、底高：1.0cm、底面：	1181	P-1218
52-5	137	IV-46	III層	浅杯	施筋3	外面：白質で施筋を廻す。施上：粗質、クサ目。施田用：外スズ、内コダ。	口径：19.5cm、底径：7.0cm、 底高：1.0cm、底面：施筋2段。	1373	P-1218,
52-6	137	番399 F	IV-45	III層	浅杯	外面：白質で施筋を廻す。施上：粗質、クサ目。施田用：外スズ、内コダ。	口径：19.5cm、底径：4.6cm、高さ：	8	P-1248
52-7	137	番399 F	IV-45	III層	台付皿	外面：白質で施筋を廻す。施上：粗質、クサ目。施田用：外スズ、内コダ。	口径：21.5cm、底径：10.6cm、高さ：	1111	P-1431
52-8	137	IV-45	III層	台付杯	1孔11	施筋的な外縁、部質：黄土による第3形文、織文(UR側面)。施酒部：ガタ穴。施田用：外スズ、内コダ。	口径：19.8cm、底径：8.0cm、 底高：1.0cm、底面：施筋2段。	123	P-1248
52-9	137	IV-46	III層	半精製	1孔5	外口部：施筋2段の外縁、部質：白質、内面：粗質。施田用：外スズ、内コダ。	口径：20.4cm、全形：	1192	P-1266
52-10	137	IV-46	III層	半精製	1孔2-1	外口部：施筋2段の外縁、部質：白質、内面：粗質。施田用：外スズ、内コダ。	口径：12.2cm、 底径：5.0cm、底高：1.0cm、底面：施筋2段。	1193	P-1319

繩文土器観察表(32)

図版番号	写真	出土位置	施位	器種	器形	時期	備考	版上No.	整理No.
53-11	137	IW-45	1層	和葉台付 深杯	II式2	後期後 ~晩期	口縁：斜り。外面：口縁に餘地無いヨコナギ。内部：口縁に強引張り出し。ナガ。	11.4cm、器高：13.0cm、器底： 9.0cm。内面に餘地無し。外縁に餘地有り。器底が49.5から通 するところ。所で、所では餘地無しとされている。	1016
52-12	137	IW-46	III層	粗製灰茶 土器	II式1	後期後 ~晩期	口等：面付。外面：縦縞文。内面：縦縞文。P壁：ナガ。施土：外ヌス、内コガ。	口径：24.0cm、器高：35.7cm、器底： 8.0cm。内面：縦縞文が強め。人頭部の中央に位する沈次縫を形成 する。外縁に強引張り出し。内縫は人頭部に口縁から面部への移行部 である。外縁に強引張り出しがある。強引張り出しの外縁は、外縁と 内縫との間に強引張り出しがある。強引張り出しがある。強引張り出 しがある。	1333 1373
53-1	138 参頭9上	IW-44	III層	台付杯	II式1t	晚期	口等：面付。外面：口縁に強引張り出しがある。強引張り出しがある。 内面：縦縞文。外縫は下縫であり、台付強引張り出しがある。縫縞文 の縫縞が高く、縫縞幅が狭い。	口径：25.0cm、器高：9.6cm、器底： 8.0cm。内面：縫縞が1mm程度と薄い。 外縁、強引張り出しがある。	P-1329, 802, 804, 925
53-2	138	IW-44	III層	台付杯	II式2	晚期	口等：面付。外面：口縁に強引張り出しがある。強引張り出しがある。 内面：縦縞文。外縫は下縫であり、台付強引張り出しがある。縫縞文 の縫縞が高く、縫縞幅が狭い。	口径：15.0cm、器高：7.9cm、器底： 16.5cm。内面：ナデ。施土：ナデ。	P-803 118
53-3	138	IW-44	III層	深杯	II式1	晚期	口等：面付。外面：口縁に強引張り出しがある。強引張り出しがある。 内面：縦縞文。外縫は下縫であり、台付強引張り出しがある。縫縞文 の縫縞が高く、縫縞幅が狭い。	口径：12.0cm、器高：6.6cm、 器底：ナデ。	P-802 125
53-4	138	IW-44	III層	注口	III	晚期	口等：面付。外面：口縁に強引張り出しがある。強引張り出しがある。 内面：縦縞文。外縫は下縫であり、台付強引張り出しがある。縫縞文 の縫縞が高く、縫縞幅が狭い。	口径：8.5cm、器高：12.8cm、 器底：ナデ。	P-924 124
53-5	138	IW-44	III層	台付杯	II式1a	後期	口等：面付。外面：口縁に強引張り出しがある。強引張り出しがある。 内面：ナデ。施土：ナデ。	口径：14.8cm、 器高：14.8cm。内面：ナデ。施土：ナデ。	P-803, 804, 805 240
53-6	138	IW-44	III層	粗製灰茶 土器	I式1	後期後 ~晩期	口等：面付。外面：口縁に強引張り出しがある。強引張り出しがある。 内面：ナデ。施土：ナデ。	口径：26.0cm、 器高：16.8cm。内面：ナデ。	P-802 1327
54-1	138	IW-44	III層	深杯	I式5	後期	口等：強引張り出しがある。強引張り出しがある。強引張り出しがある。 内面：ナデ。施土：ナデ。	口径：23.0cm、器高：8.3cm、器底： 35.4cm。完底。	P-1079 282
54-2	138 参頭9下	IW-44	III層	深杯	I式1t	後期	口等：強引張り出しがある。強引張り出しがある。強引張り出しがある。 内面：ナデ。施土：ナデ。	口径：20.0cm、器高：8.3cm、器底： 35.4cm。完底。	P-1114 144
54-3	138	IW-44	III層	深杯	II式1	後期	口等：強引張り出しがある。強引張り出しがある。強引張り出しがある。 内面：ナデ。施土：ナデ。	口径：23.0cm、器高：8.3cm、器底： 35.4cm。完底。	P-1114 75
54-4	138	IW-44	III層	台付杯	I式5	後期	口等：強引張り出しがある。強引張り出しがある。強引張り出しがある。 内面：ナデ。施土：ナデ。	口縁部が半平行線状で2条の平行線を 示す。外縁の異なる点上で理解する。外縁の異なる点上で理解する。 外縁の異なる点上で理解する。	P-1047 77

縄文土器観察表(33)

出番号	出土位置	場所	器種	形態	時期	備考	段上No.	基盤No.	
54-5	IIV-44	III層	台付杯	II式I	前期II	小底付口縁。三山の突起(1単位)。口唇・面版。外面部・口縁部は厚芯で、そのぞれに内側の細いハラ場で構成される。内部は他の細いハラ場で構成される。口縁部の内側にはコダが付する。肩部・内底付近2cm。器底が5段程度に構成される。	口径：18.1cm、底径：8.3cm、高さ：21.6cm。 内底付近2cm。器底が5段程度に構成される。	P-1019	1131
54-6	IIV-44	III層	深杯	II式I	中期II	小底付口縁。外面部・口縁部と他の内側にはスコダが付する。底板付。重量：100g。微量：100g。	口径：24.0cm。 外面部厚芯。内底付近2cm。器底が5段程度に構成される。	P-987	1117
54-7	IIV-44	III層	壺	II	後期II	外面部・口縁部間に突出部の軸突2つ。内側は直線状で、底部：強引出しの脚が4脚。底面：扁平形の凹凸。	外面部厚芯。内底付近2cm。器底が5段程度に構成される。	P-785	40
54-8	IIV-44	III層	浅杯	I式I	後期II～8	口唇・面版。外面部：ナデ。底部：3段以下の中縁・タリ縁。薄削骨。使用痕：な	口径：18.1cm、底径：7.9cm、高さ：7.2cm。	P-1042	203
54-9	IIV-44	III層	注口	II	後期II～4	口唇・面版。外面部厚芯3单位。底部：強引出し。底部：高台。脚	口径：9.2cm、底径：3.2cm、高さ：18.2cm。 注口部：基部から大根。	P-1017	286
54-10	IIV-44	III層	注口	I式Ia	後期II～8	注口：注口断面に三叉状開口。	口径：外径：9.2cm。 注口部：大根。	P-1048	88
55-1	IIV-44	III層	粗製杯	Ia式I	後期後期～出来	口唇・面版。外面部：ナス。内部：ナデ。底部：長平等高台。内底：ナデ。	口径：9.7cm、底径：4.8cm、高さ：10.1cm。 外面部ごく僅かに外側削骨付着。	P-1127	51
55-2	IIV-44	III層	粗製Z字杯	II式I	後期後期～出来	口唇・面版。外面部：ナス。内底：ナデ。底部：長平等高台。外面部：強引出し。強引部に附する突起あり。ナデ。	口径：18.1cm、底径：7.6cm、高さ：19.0cm。	P-796	89
55-3	IIV-44	III層	粗製Z字杯	Ia式I	後期後期～出来	口唇・面版。外面部：ナス。内底：ナデ。底部：長平等高台。内底：ナデ。	口径：23.0cm、底径：11.8cm。 内底付近には繩文なし。底部：長平等高台。	P-1047	1374
55-4	IIV-44	III層	粗製Z字杯	I式I	後期後期～出来	口唇・面版。外面部：ナス。内底：ナデ。	口径：29.5cm、底径：34.2cm、高さ：8.4cm。	P-1079	232
55-5	IIV-44	III層	粗製Z字杯	Ia式I	後期後期～出来	口唇・面版。外面部：ナス。内底：ナデ。	口径：36.0cm、底径：46.7cm、高さ：8.2cm。	P-1112, 112	103
56-1	IIV-44	III層	口縁付杯	I式I	後期II～4	口唇・面版する山形突起。内コダ。底部：長平等高台。内底：ナデ。脚：小根。使用痕：ナス。	底径：6.3cm。	P-1156	223
56-2	IIV-44	III層	口縁付杯	Ia式I	後期II～2	口唇・面版。外面部：ナス。内底：ナデ。底部：ナス。	口径：24.8cm、底径：9.0cm。 内底付近正面、機械削痕。	P-1158	140
56-3	IIV-44	III層	口縁付杯	II式I	後期II	口唇・面版する突起(10単位)。口唇・面版。外面部：ナス。内底：ナデ。脚：小根多く付す。使用痕：ナス、内底：ナス。	口径：16.0cm、底径：6.8cm、高さ：10.2cm。 内底付近正面に複数の凹窓。	P-1165	24
56-4	IIV-44	III層	注口	III式I	後期II～4	口唇・面版する突起(10単位)。口唇・面版。外面部：ナス。内底：ナデ。脚：小根。内底付近正面に複数の凹窓。	口径：8.6cm、底径：2.7cm、高さ：15.8cm。 内底付近正面に複数の凹窓。	P-1154, 1155	16
56-5	IIV-44	III層	粗製Z字杯	I式I	後期後期～出来	口唇・面版。外面部：ナス。内底：ナデ。脚：小根。内底付近正面に複数の凹窓。	口径：13.5cm、底径：15.0cm、高さ：15.0cm。 内底付近正面に複数の凹窓。	P-1166	213
56-6	IIV-44	III層	粗製Z字杯	Ia式I	後期後期～出来	口唇・面版。外面部：ナス。内底：ナデ。内底付近正面に複数の凹窓。	口径：13.0cm、底径：13.0cm、高さ：13.0cm。	P-1123	234

繩文土器観察表(34)

団番号	写真	出土位置	層位	芯地	芯地	芯形	時期	後期後	特徴	備考	段上No.	整理No.
56-7	140	IVb-44	III層	粗製2年	Ia1t	後期後	口唇：面取、外腹：縫文丸。内面：ナデ。底上：小頸多く含む。使用痕：外スス。内コ	口径：29.6cm。	P-1158	1036	1156, 1162	
57-1	140	IVb-44	III層	深井	IIa1t	後期	口唇：面取、外腹：縫文丸。内面：ナデ。底上：小頸。縫文丸。13.5cmほど骨柱のない縫文丸。空腹部下端ナデ。外腹：口唇：ナデ。底上：小頸。タサリ。縫文丸。	口径：18.4cm。	P-1465	1469		
57-2	140	IVb-44	III層	深井	Ib1t	後期Ib	口唇：面取（山字型）。外腹：口唇：沈縫。三文。体縫線又は横。底部中位に直縫線が入る。底上：ナデ。外腹：直縫。内面：ナデ。底上：小頸。タサリ。縫文丸。	口径：8.8cm。	P-890,	148	991	
57-3	140	IVb-44	III層	底	III	後期	外腹：口縫と肩部に平行七縫文。ミガキ。底部：円形の凹部。内面：ナデ。底上：砂	口径：8.1cm。底径：4.1cm。高さ：9.1cm。		235		
57-4	141	IVb-45	III層	底	III	後期I	外腹：口縫と肩部に平行七縫文。ミガキ。底部：円形の凹部。内面：ナデ。底上：砂	口径：9.4cm。底径：4.1cm。高さ：10.4cm。脚部下4/7。内面：高部が、内面で脚部まで縮む付着。	P-1277	87		
57-5	141	IVb-45	III層	底	III	後期I	外腹：口縫と肩部に平行七縫文。ミガキ。底部：円形の凹部。内面：ナデ。底上：砂	口径：6.8cm。底径：4.1cm。高さ：9.8cm。	P-1273	85		
57-6	141	Ⅴb9下	IVb-45	III層	半周直済	III	後期I	口唇：2周一組の突起（口唇部）。外腹：直縫。内面：直縫。底部XLR（傾位）。	外腹：突起一組一文一化粧。	P-1288	60	
57-7	141	IVb-45	III層	粗製直	III	後期I	口唇：直縫。体縫線XLR。内面：タグ。口唇：直縫。外腹：直縫。内面：ナデ。	口径：9.6cm。	P-1289	1018		
57-8	141	IVb-45	III層	粗製密	I	後期I	口唇：直縫。外腹：直縫。内面：直縫。底部XLR。直縫。内面下部を主として用いてて、直縫と想われる。内面部にコリガタ。	口径：9.4cm。底径：20.9cm。高さ：8.5cm。	P-1283	218		
57-9	141	IVb-45	III層	半精製 直付斜	IIb2t	後期I	口唇：直縫。直縫突起（直縫の2倍）。外腹：直縫。内面：直縫。底部XLR。直縫。内面：直縫。	口径：15.2cm。底径：9.0cm。高さ：15.6cm。	P-1279	197		
57-10	141	IVb-45	III層	浅井	Ia1	後期I	口唇：直縫。内面：直縫。直縫突起（直縫の2倍）。外腹：直縫。内面：直縫。底部XLR。直縫。内面：直縫。	口径：14.8cm。底径：4.1cm。高さ：16.1cm。	P-1274	81		
57-11	141	IVb-45	III層	底	IIa1	後期I	口唇：直縫。直縫突起（直縫の2倍）。外腹：直縫。内面：直縫。底部XLR。直縫。内面：直縫。	口径：15.2cm。底径：3.4cm。高さ：8.1cm。	P-1286	129		
57-12	141	IVb-45	III層	半精製 直付斜	IIb2t	後期I	口唇：直縫。直縫突起（直縫の2倍）。外腹：直縫。内面：直縫。底部XLR。直縫。内面：直縫。	口径：32.4cm。底径：15.0cm。高さ：9.8cm。	P-1281	107		
58-1	141	IVb-45	III層	粗製直	Ia1t	後期後	口唇：直縫。直縫突起（直縫の2倍）。外腹：直縫。内面：直縫。底部XLR。直縫。内面：直縫。	口径：20.2cm。底径：24.5cm。高さ：7.6cm。	P-1272	198		
58-2	141	IVb-45	III層	粗製直	Ia1t	後期後	口唇：直縫。直縫突起（直縫の2倍）。外腹：直縫。内面：ナデ。底上：小頸。タサリ。縫文丸。	口径：27.3cm。	P-1279	1037		
58-3	141	IVb-45	III層	粗製斜	Ia1t	後期後	口唇：直縫。外腹：内面：縫文丸。	口径：13.5cm。底径：12.0cm。高さ：5.8cm。	P-1289	224		
58-4	142	IVb-45	III層	粗製直	Ia1t	後期後	口唇：直縫。内面：ナデ。底上：小頸。タサリ。縫文丸。	口径：21.4cm。底径：25.5cm。高さ：8.2cm。	P-1284	1044		

縄文土器観察表(35)

区分号	写真	出土位置	場所	器形	時期	備考
59-5	142	IV-45	Ⅲ層	粗製灰陶	後期後期～後期	口幅：前面、外面。口径に前面底の無い上段のケルリの手が付いたためか不規則。裏文は全体的に口幅：前面、外面。施主：砂利。タリサリ。他施主：外スス。内面：十文字文。底部：砂利。また器表面が洗らしくから施文されたためか不規則。
59-6	142 色見9F	IV-45	Ⅲ層	粗製灰陶	後期後期～後期	口幅：前面、外面。裏文：十文字文。底部：砂利。施主：砂利。他施用：外スス。内コガ。外面部に凹1cm。
59-7	142	IV-45	Ⅲ層	粗製灰陶	後期後期～後期	口幅：前面。裏文：十文字文。底部：砂利。施主：砂利。他施用：外スス。内コガ。
59-1	143	IV-45	Ⅲ層	注口	後期7-4	口幅：前面。裏文：十文字文。底部：砂利。施主：砂利。他施用：外スス。内面：十文字文。施文は「山形文」。
59-2	142	IV-45	Ⅲ層	深杯	後期8	平底に低い突起は小筋状。口幅：前面。施主：砂利。他施用：外スス。内面：十文字文。底部：砂利。施文は「山形文」と「十文字文」。
59-3	143	IV-45	Ⅲ層	杯	後期8	平底に低い突起は小筋状。口幅：前面。裏文：十文字文。底部：砂利。施主：砂利。他施用：外スス。内面：十文字文。底部：砂利。施文は「山形文」と「十文字文」。
59-4	143	IV-45	Ⅲ層	深杯	後期8	平底に低い突起は小筋状。口幅：前面。裏文：十文字文。底部：砂利。施主：砂利。他施用：外スス。内面：十文字文。底部：砂利。施文は「山形文」と「十文字文」。
59-5	142	IV-45	Ⅲ層	深杯	後期	口幅：前面。裏文：十文字文。底部：砂利。施主：砂利。他施用：外スス。内面：十文字文。底部：砂利。施文は「山形文」と「十文字文」。
59-6	142	IV-45	Ⅲ層	深杯	後期	口幅：前面。裏文：十文字文。底部：砂利。施主：砂利。他施用：外スス。内面：十文字文。底部：砂利。施文は「山形文」と「十文字文」。
59-7	142	IV-45	Ⅲ層	深杯	後期	口幅：前面。裏文：十文字文。底部：砂利。施主：砂利。他施用：外スス。内面：十文字文。底部：砂利。施文は「山形文」と「十文字文」。
59-8	142	IV-45	Ⅲ層	半切妻鉢	後期	口幅：前面。裏文：十文字文。底部：砂利。施主：砂利。他施用：外スス。内面：十文字文。底部：砂利。施文は「山形文」と「十文字文」。
59-9	143	IV-45	1層	半切妻鉢	後期	口幅：前面。裏文：十文字文。底部：砂利。施主：砂利。他施用：外スス。内面：十文字文。底部：砂利。施文は「山形文」と「十文字文」。

繩文土器觀察表(36)

縄文土器観察表(37)

登番号	写真	出土位置	層位	芯種	透視	透視	時期	備考		段上No.	筆者名	
								口縁: 面致、外縁: 織文IR(側面)。底部下半: 織文IR(側面)。底部: 高台。	口縁: 31.0cm、底径: 10.5cm、高さ: 35.0cm、焼修孔21。焼修孔は縫隙に穿孔途			
61-3	144 卷頭8上	IV-0-45	III層	粗窓芯柱	I型I		後期後 ～後期	中の人が焼修。 骨頭等が焼修。 火候不足が7-8割の有文縄 縁と互通するため、7章では7-4期とし た。	P-1454	76		
61-4	145	IVP-45・ IV-45	III層	深柱	I型I		後期7-4	口縁: 32.2cm、 底径: 10.5cm、 高さ: 35.0cm、 焼修孔32。 骨頭等が焼修。 火候不足が7-8割の有文縄 縁と互通するため、7章では7-4期とし た。	P-1454	293		
61-5	145	IVP-45	III層	香炉			後期7-8	香炉部高突起。 外縁: 貝海沿・織文IR。	P-1454	380		
61-6	145	IVP-45	III層	壺			後期7-8	外縁: 織文IR、底部: 高台、底部2mm以下焼。 海綿骨料。	P-1454	237		
61-7	145 卷頭9下	IVP-45	III層	壺	III型	後期3	口縁: ミガキ、海綿骨料(4年目)。平行縫文3条。ミガキ、外縁: ナメ。底部: 小窓、海綿骨料。他用紙: な。	口縁: 34.5cm、底径: 3.2cm、高さ: 14.2cm、 露面剥落多く。 外縁3.5cm口縫3.5cm(底)。	P-1286	82		
61-8	145	IVP-45	III層	壺	III型	後期2	口縁: 面致、外縁: ミガキ、火候と当目による手術状況。汎用、海綿骨料。他用紙: な。	口縁: 35.0cm、底径: 5.0cm、高さ: 11.5cm。 外縁: 縞文織文2。(後一削一削)。	P-1424	41		
62-1	145 卷頭8下	IVP-45	III層	台付柱	II型S		後期	口縁部に大小2段位の突起が現れる。 縄文部には突起部の下縁が斜めで、 縄文部には水平に突出し、 火候を施す。 火候等が焼修。 火候等が焼修。	口縁: 2個の小突起を付す。 底部: 2個の小突起を付す。 その下の無文部: 26.7cm、 底径: 10.4cm、高さ: 11.5cm。	P-1579	117	
62-2	145	IVP-45	III層	台付柱	I型I		後期7-4	火候を施す。 火候等が焼修。 火候等が焼修。	口縁: 24.5cm、 底径: 10.5cm、 高さ: 15.0cm。 火候等が焼修。	P-1566, 1570, 1571, 1588	141	
62-3	145	IVP-45	III層	台付柱	II型S		後期	口縁部に突起が現れる。 火候を施す。 火候等が焼修。	口縁: 17.4cm、 底径: 10.5cm、 高さ: 14.0cm。 火候等が焼修。	P-1583	142	

繩文土器観察表 (38)

図版番号	写真	出土位置	施位	芯種	器形	時期	備考	版上No.	整理No.
62-4	IVP-45	III層	鉢	1.665	後期	口径：21.1cm、底径：7.3cm、器高：		P-1580, 1635	126
62-5	IVP-45	III層	鉢	1.1	後期Ia	口径：18.2cm、器高：17.0cm、底径：		P-1643	214
62-6	IVP-45	III層	古付深鉢	IIb&I	後期	口径：33.0cm、深さ：17.2cm。 内面：口縁：面取。外縁：斜面。底部：平底。内面：ナデ。底：		P-1639	146
62-7	IVP-45	III層	深鉢	II	後期Ia	口径：25.0cm、底径：8.0cm、器高：		P-1641	1473
62-8	IVP-45	III層	深鉢	IIb&I	後期Ia	口径：29.1cm、底径：8.0cm、器高：		P-1572, 1641, 1642	1572,
62-9	-	IVP-45	III層	鉢	後期Ia～9.5	口径：34.0cm、底径：8.0cm、器高：		P-1583	1474
62-10	IVP-45	III層	浅鉢	I	後期Ia～8	口径：34.0cm、底径：8.0cm、器高：		P-1659	193
62-11	IVP-45	III層	粗底深鉢	Ia&I	後期Ia～8	口径：34.0cm、底径：8.0cm、器高：		P-1587, 1637	1471
62-12	IVP-45	III層	粗底深鉢	Ia&I	後期Ia～8	口径：34.0cm、底径：8.0cm、器高：		P-1587, 1636	1038
65-1	IVP-46	III層	浅鉢	II&I	後期Ib	口径：34.0cm、底径：8.0cm、器高：		P-1315	1231
65-2	IVP-46	III層	注口	III	後期II	口径：34.0cm、底径：8.0cm、器高：		P-1268	6
65-3	IVP-46	III層	平付鉢	IIb&I	後期II	口径：34.0cm、底径：8.0cm、器高：		P-1269	50
65-4	IVP-46	III層	浅鉢	I A	後期II	口径：34.0cm、底径：8.0cm、器高：		P-1314	1187
65-5	IVP-46	III層	浅鉢	I A	後期II	口径：34.0cm、底径：8.0cm、器高：		P-1314	1187
65-6	IVP-46	III層	粗製鉢	III	後期II	口径：34.0cm、底径：8.0cm、器高：		P-1306	1306

縄文土器観察表(39)

出番号	出土位置	層位	器種	器形	時期	参考	段上No.	基準年
65-7	I-6	III層	粗製壺	口幅：面段なし。外面：ナデ。底盤：高台。表面：ナデ。瓶身：小壺。カラリ縫。瓶脚：骨質。高さ：7.0cm。底径：5.0cm。	P-1419	1200		
65-8	VII-46	III層	浅杯	口幅3 底盤3 側面：口筋部に第2の縫合。外腹：面段。底盤：ナラ。縫合部：内腹から外腹へと斜めで、底盤部に2つ穴。外腹縫：6.6cm。高さ：18.4cm。 内腹縫：6.6cm。高さ：18.4cm。	P-1418	1170		
64-1	147	VII-35	III・IV層	注口	後期I～8 外腹：面段。内腹：ナラ。瓶身：小壺。底盤：ナラ。	注口は基部から大壺。注口欠損部に黒物質（アスファルト）が付着。	406	
64-2	147	VII-35	III・IV層	注口	外腹：面段。底盤：ナラ。瓶身：小壺。内腹：ナラ。瓶脚：骨質。底盤：ナラ。	外腹縫にナラく形容される。	437	
64-3	147	VII-35	III層	浅杯	早期II 外腹：口部：口筋部に下腹吹き。外腹縫：6.5cm。外腹：面段。内腹：ナラ。	外腹縫に下腹吹き。外腹縫：6.5cm。外腹：面段。内腹：ナラ。	438	
64-4	147	VII-35	III層	浅杯	早期II 外腹：口部：下腹吹き。外腹縫：6.5cm。外腹：面段。内腹：ナラ。	下腹吹き。外腹縫：6.5cm。外腹：面段。内腹：ナラ。	439	
64-5	147	VII-35	III層	粗製深井	後期II～後期I 口：面段。外腹：面段。内腹：ナラ。	後期II～後期I 口：面段。外腹：面段。内腹：ナラ。	427	
64-6	147	VII-35	III層	粗製壺	口：面段。外面：足底部：足底部からその間。内腹：ナラ。外腹：足底部からその間。足底部：足底部。	口：面段。足底部：足底部からその間。足底部：足底部。	408	
64-7	147	VII-36	III層	粗製壺	後期I 外腹：足底部：足底部からその下に横文。足底部：足底部。内腹：ナラ。	足底部：足底部からその下に横文。足底部：足底部。内腹：ナラ。	P-185	210
64-8	-	VII-36	III層	台状深井	後期I～8 外腹：面段。内腹：ナラ。	後期I～8 外腹：面段。内腹：ナラ。	412	
64-9	147	VII-36	III層	香斗	後期I～8 外腹：面段。内腹：ナラ。	後期I～8 外腹：面段。内腹：ナラ。	1026	
64-10	147	VII-36	III層	深杯	後期I～7 外腹：面段。内腹：ナラ。	後期I～7 外腹：面段。内腹：ナラ。	三又文鏡以南。	399
64-11	147	VII-36	III層	台状深井	後期I～8 外腹：面段。内腹：ナラ。	後期I～8 外腹：面段。内腹：ナラ。	P-184	419-1
64-12	147	VII-37	III層	浅杯	後期 外腹：面段。内腹：ナラ。底盤：ナラ。外腹縫：2.1cm。外腹：面段。	後期 外腹：面段。内腹：ナラ。底盤：ナラ。外腹縫：2.1cm。外腹：面段。	1377	
64-13	147	VII-37	III層	浅杯	後期II 外腹：足底部：足底部からその下に横文。足底部：足底部。内腹：ナラ。	後期II 外腹：足底部：足底部からその下に横文。足底部：足底部。内腹：ナラ。	80	
64-14	147	VII-37	III層	注口	後期II 外腹：足底部：足底部からその下に横文。足底部：足底部。内腹：ナラ。	後期II 外腹：足底部：足底部からその下に横文。足底部：足底部。内腹：ナラ。	413	
64-15	147	VII-37	III層	深杯	後期I～8 外腹：面段。内腹：ナラ。	後期I～8 外腹：面段。内腹：ナラ。	P-180	423
64-16	147	VII-37	III層	深杯	後期I～8 外腹：面段。内腹：ナラ。	後期I～8 外腹：面段。内腹：ナラ。	P-173	429
65-1	148	VII-34	III層	杯	後期II 外腹：足底部：足底部からその下に横文。外腹：面段。内腹：足底部：足底部。内腹：ナラ。	後期II 外腹：足底部：足底部からその下に横文。外腹：面段。内腹：足底部：足底部。内腹：ナラ。	2181	

埴文土器観察表(40)

図版番号	字貫	出土位置	施位	器種	器形	時期	備考	版上No.	整理No.
特徴									
65-2	148	IW-34	III層下	注口	III	晩期Ia	148. 壁面、外側：「ヨガキ」。底面：「ヨガキ」。表面：「ヨガキ」。施位：「ヨガキ」。外側：「ヨガキ」。内側：「ヨガキ」。外側可能有孔性がある。外側窓。	148. 9. 0cm. 厚さ：1.4. 6cm. 既述 P-2430	2190
65-3	148	IW-34	III層	香炉	香炉	後期か	香炉の上半部が、外側：「ヨガキ」。底面：「ヨガキ」。施位：「ヨガキ」。外側：「ヨガキ」。内側：「ヨガキ」。外側可能有孔性がある。外側窓。	P-2430	2235
65-4	148	IW-34	III層	香炉	香炉	後期か	外側：「ヨガキ」。底面：「ヨガキ」。施位：「ヨガキ」。外側：「ヨガキ」。内側：「ヨガキ」。外側可能有孔性がある。外側窓。	P-2430	2232
65-5	148	IW-36	III層	香炉	香炉	後期か	外側：「ヨガキ」。底面：「ヨガキ」。施位：「ヨガキ」。外側：「ヨガキ」。内側：「ヨガキ」。外側可能有孔性がある。外側窓。	P-2430	2231
65-6	148	IW-36	III層	香炉	香炉	後期か	外側：「ヨガキ」。底面：「ヨガキ」。施位：「ヨガキ」。外側：「ヨガキ」。内側：「ヨガキ」。外側可能有孔性がある。外側窓。	P-2430	2233
65-7	149	IW-35	III層下 (底石下)	注口	II	晩期Ia	口縁：白釉。底面：「ヨガキ」。施位：「ヨガキ」。外側：「ヨガキ」。内側：「ヨガキ」。外側可能有孔性がある。外側窓。	P-2425, 2179	2199
65-8	149	IW-35	III層下 (底石下)	注口	III	晩期Ia	口縁：白釉。底面：「ヨガキ」。施位：「ヨガキ」。外側：「ヨガキ」。内側：「ヨガキ」。外側可能有孔性がある。外側窓。	P-2426	2198
65-9	149	IW-35	III層下 (底石下)	注口	II	後期I-4	口縁：白釉。底面：「ヨガキ」。施位：「ヨガキ」。外側：「ヨガキ」。内側：「ヨガキ」。外側可能有孔性がある。外側窓。	P-2425, 2179	2197
65-10	149	IW-35	III層下 (底石下)	注口	II	後期I-4	口縁：白釉。底面：「ヨガキ」。施位：「ヨガキ」。外側：「ヨガキ」。内側：「ヨガキ」。外側可能有孔性がある。外側窓。	P-2425, 2179	2196
65-11	149	IW-35	III層下 (底石下)	注口	II	後期I-4	口縁：白釉。底面：「ヨガキ」。施位：「ヨガキ」。外側：「ヨガキ」。内側：「ヨガキ」。外側可能有孔性がある。外側窓。	P-2425, 2179	2195
65-12	149	IW-35	III層下 (底石下)	注口	II	後期I-4	口縁：白釉。底面：「ヨガキ」。施位：「ヨガキ」。外側：「ヨガキ」。内側：「ヨガキ」。外側可能有孔性がある。外側窓。	P-2425, 2179	2194
特殊									
66-1	148	IW-35	III層下 (底石下)	林	II	晩期Ia	外側：「ヨガキ」。内側：「ヨガキ」。施位：「ヨガキ」。外側可能有孔性がある。外側窓。	P-2425, 2179	2179
66-2	149	IW-35	III層下 (底石下)	林	II	晩期Ia	口縁：白釉。底面：「ヨガキ」。施位：「ヨガキ」。外側：「ヨガキ」。内側：「ヨガキ」。外側可能有孔性がある。外側窓。	P-2425, 2179	2178
66-3	149	IW-35	III層下 (底石下)	注口	III	後期I-4	口縁：白釉。底面：「ヨガキ」。施位：「ヨガキ」。外側：「ヨガキ」。内側：「ヨガキ」。外側可能有孔性がある。外側窓。	P-2425, 2179	2177
66-4	149	IW-35	III層下 (底石下)	注口	II	後期I-4	口縁：白釉。底面：「ヨガキ」。施位：「ヨガキ」。外側：「ヨガキ」。内側：「ヨガキ」。外側可能有孔性がある。外側窓。	P-2425, 2179	2176
66-5	149	IW-35	III層下 (底石下)	注口	II	後期I-4	口縁：白釉。底面：「ヨガキ」。施位：「ヨガキ」。外側：「ヨガキ」。内側：「ヨガキ」。外側可能有孔性がある。外側窓。	P-2425, 2179	2175
66-6	149	IW-35	III層下 (底石下)	注口	II	後期Ia	口縁：白釉。底面：「ヨガキ」。施位：「ヨガキ」。外側：「ヨガキ」。内側：「ヨガキ」。外側可能有孔性がある。外側窓。	P-2425, 2179	2174
66-7	149	IW-35	III層下 (底石下)	粗製茶碗	I (a)	後期I-4	口縁：白釉。底面：「ヨガキ」。施位：「ヨガキ」。外側：「ヨガキ」。内側：「ヨガキ」。外側可能有孔性がある。外側窓。	P-2425, 2179	2173
66-8	149	IW-35	III層下 (底石下)	粗製茶碗	I (a)	後期I-4	口縁：白釉。底面：「ヨガキ」。施位：「ヨガキ」。外側：「ヨガキ」。内側：「ヨガキ」。外側可能有孔性がある。外側窓。	P-2425, 2179	2172
67-1	149	IW-35	III層下	粗製茶碗	I	後期I-4	口縁：白釉。底面：「ヨガキ」。施位：「ヨガキ」。外側：「ヨガキ」。内側：「ヨガキ」。外側可能有孔性がある。外側窓。	P-2416	2200
67-2	149	IW-35	III層下 (底石下)	粗製茶碗	I (b)	後期I-4	口縁：白釉。底面：「ヨガキ」。施位：「ヨガキ」。外側：「ヨガキ」。内側：「ヨガキ」。外側可能有孔性がある。外側窓。	P-2416	2201
67-3	150	IW-35	III層下 (底石下)	粗製茶碗	I (a)	後期I-4	口縁：白釉。底面：「ヨガキ」。施位：「ヨガキ」。外側：「ヨガキ」。内側：「ヨガキ」。外側可能有孔性がある。外側窓。	P-2416	2202

縄文土器観察表(41)

器番号	写真	出土位置	層位	器種	形態	時期	参考	段上No.	基準No.
67-4	150	IVB-35	III層	深杯	II	後期8	小器小口縁で直面部に肩。口縁:外腹。外縁:口縁(骨文)。下唇を外側へ折り切られた丸く緩やかな中口縁による入組文。縦彫部斜長。強弱部斜長。内コス。内ス。外ス。	P-1834	424
67-5	150	IVB-35	III層	深杯	II	後期8	小器小口縁。外腹:波線文。縦彺文。外縁:外ス。内コス。	P-1834	401
67-6	150	IVB-35	III層	深杯	II	後期8	小器小口縁。外腹:波線文。縦彺文。外縁:外ス。内コス。内ス。内ス。内コス。	P-1834	402
67-7	150	IVB-35	III層	深杯	II	後期8	小器小口縁。外腹:波線文。縦彺文。外縁:外ス。内コス。	P-1834	400
67-8	150	IVB-35	III層	深杯	II	後期8	小器小口縁。外腹:波線文。縦彺文。外縁:外ス。内コス。	P-244	432
67-9	151	IVB-35	III層	深杯	II	後期8	小器小口縁。外腹:波線文。縦彺文。外縁:外ス。内コス。	P-240	91
67-10	151	IVB-35	III層	浅杯	II	後期8	小器小口縁。外腹:波線文。縦彺文。外縁:外ス。内コス。	P-240	48
68-1	151	IVB-35	III層	深杯	II	後期8	小器小口縁。外腹:波線文。縦彺文。外縁:外ス。内コス。	P-240	414
68-2	150	IVB-35	III層	粗底深杯	II	後期8	小器小口縁。外腹:波線文。縦彺文。外縁:外ス。	P-1834	440
68-3	150	IVB-35	III層	粗底深杯	II	後期8	小器小口縁。外腹:波線文。縦彺文。外縁:外ス。	P-243	428
68-4	150	IVB-35	III層	粗底深杯	II	後期8	小器小口縁。外腹:波線文。縦彺文。外縁:外ス。	P-244	67
68-5	150	IVB-35	III層	粗底深杯	II	後期8	小器小口縁。外腹:波線文。縦彺文。外縁:外ス。	P-242	409
68-6	150	IVB-35	III層	粗底深杯	II	後期8	小器小口縁。外腹:波線文。縦彺文。外縁:外ス。	P-242	416
69-1 参考8-1	151 参考8-1	IVB-36	III層	合付杯	II	後期7-4	平口縁に突起(約1mm)。突起部は十字状吹抜。口唇:直腹。口縁:口縁(骨文)。突起部は口縁(骨文)。底:ターン状水部を含む。口縁:35.8mm。底径:11.6mm。底高:38.5mm。	P-229, 230	3
							参考文献(因井義文)。縦彺文底部下唇折部は断面が扇形を示す。参考文献(因井義文)。縦彺文底部下唇折部は断面が扇形を示す。参考文献(因井義文)。縦彺文底部下唇折部は断面が扇形を示す。	P-233	54
69-2	151	IVB-36	III層	深杯	II	後期7-4	小器小口縁。外腹:波線文。縦彺文。外縁:外ス。内コス。	P-236	431
69-3	151	IVB-36	III層	深杯	II	後期	小器小口縁。外腹:波線文。縦彺文。外縁:外ス。	P-236	431

繩文土器観察表(42)

図版号	写真	出土位置	施位	基形	縦形	横形	時期	備考	版上No.	整理No.
69-4	[15]	IW-36	III層	深杯	II	後期	「U」字縫に大小の山形突起。大尖底の面には前面に挖く刈田。口縁：唇形。外側：縫文。内側：外縫。使用痕：内外ス。	P-228	402	
69-5	[15]	IW-36	III層	粗製杯	I CL	後期後葉	「U」字縫に山形突起。縫文を解消。内面：ナ。外縫：内外ス。	P-228	411	
69-6	[15]	IW-36	III層	粗製杯	I Aa1	後期後葉	「U」字縫に山形突起。内面：ナ。外縫：内外ス。	P-226	425	
69-7	[15]	IW-36	III層	粗製杯	I Aa1	後期後葉	「U」字縫に山形突起。内面：ナ。外縫：内外ス。	P-228	410	
70-1	[15]	IW-36	III層	瓶	III	後期	口縁：唇形。底部：高台。瓶身：小底。外縁：外縫。内縫：内縫。外側：縫文。内側：ナ。底：内縫。外縫：内外ス。	P-319	63	
70-2	[15]	IW-36	III層	粗製杯	I Aa1t	後期後葉	「U」字縫に山形突起。内面：ナ。外縫：内外ス。	P-261	66	
70-3	[15]	IW-36	III層	注口か		後期	「U」字縫に山形突起。内面：ナ。外縫：内外ス。	P-261	433	
70-4	[15]	IW-36	III層	深杯		後期	口縁：唇形。底部：高台。瓶身：小底。外縫：外縫。内縫：内縫。外側：縫文。内側：ナ。底：内縫。外縫：内外ス。	P-319	430	
70-5	[15]	IW-36	III層	注口		後期後葉	「U」字縫に山形突起。内面：ナ。外縫：内縫。外側：縫文。内側：ナ。底：内縫。外縫：内外ス。	P-261	2227	
70-6	[15]	IW-37	III層	台付杯	II Bb1	後期	「U」字縫に山形突起。内面：ナ。外縫：内縫。外側：縫文。内側：ナ。底：内縫。外縫：内外ス。	P-226	46	
70-7	[15]	IW-37	III層	粗製杯	I Aa1	後期	「U」字縫に山形突起。内面：ナ。外縫：内縫。外側：縫文。内側：ナ。底：内縫。外縫：内外ス。	P-251	23	
71-1	[15]	IW-37	III層	深杯		後期後葉～後期	「U」字縫に山形突起。内面：ナ。外縫：内縫。外側：縫文。内側：ナ。底：内縫。外縫：内外ス。	P-251	434	
71-2	[15]	IW-37	III層	深杯	I Bb1	後期後葉	「U」字縫に山形突起。内面：ナ。外縫：内縫。外側：縫文。内側：ナ。底：内縫。外縫：内外ス。	P-251	405	
71-3	[15]	IW-37	III層	浅杯	I A1	後期後葉	「U」字縫に山形突起。内面：ナ。外縫：内縫。内側：ナ。底：内縫。外縫：内外ス。	P-251	404	
71-4	[15]	IW-37	III層	注口		後期	「U」字縫に山形突起。内面：ナ。外縫：内縫。内側：ナ。底：内縫。外縫：内外ス。	P-251	439	
71-5	[15]	IW-37	III層	浅杯	I B2	後期	「U」字縫に山形突起。内面：ナ。外縫：内縫。内側：ナ。底：内縫。外縫：内外ス。	P-251	208	

縄文土器観察表(43)

器番号	出土位置	層位	器種	器形	時期	備考	段上No.	筆記
71-6	IV-37	III層	釜小、	III	後期	口径：9.2cm。裏面に火炎。外面：口周部ミガキ。伝承縄文BL構造。内面：ナデ。施土：小 量。使用痕：なし。	p-245	72
71-7	IV-37	III層	浅林	III	後期	外腹：火炎や、縄文か。施土付近には火炎がなしだ。内面：ナデ。施土：ナデ。施土： 外腹：黒色物質(アスファルトか)付着。	p-225	415
71-8	IV-34	III層	釜	IV	後期Ib	外腹：口外縁肥厚。全体上半に火炎と二三次の吹きにより火炎三文式の入縁文。端 部L型。施土：砂粒。施土痕。	p-2162	2295
71-9	IV-34	III層	釜	Ia	後期Ia	外腹：火炎。ミガキ。注口も唇肥厚。内面：ナデ。施土：ナデ。サリギ。施土： 外腹：火炎と火炎による半重状。肩：目。ミガキ。注口部は火炎と突堤。注口：10.2cm。底高：7.8cm。 注口部左耳。	p-2196	2067
71-10	IV-34	III層	釜	I	後期I	口周：面部。外面：口外縁肥厚。内面：火炎。施土痕。	p-2164	2168
71-11	IV-34	III層	台付林	Ia-b	後期Ia-b	口周：火炎。外腹：口外縁肥厚。内面：火炎。施土痕。	p-2165	2067
71-12	IV-35	III層下	林	Ib	後期	口周：火炎。外腹：口外縁肥厚。内面：火炎。施土痕。	p-2420	2120
71-13	IV-35	III層中	釜林	II	後期I-4	口周：面部。外面：火炎。施土：唇肥厚。内面：火炎。施土痕。	p-2420	2120
72-1	IV-35	III層	香炉小、	III	後期未定	口周：火炎。外腹：火炎。施土：唇肥厚。内面：火炎。施土痕。	p-2143	2246
72-2	IV-35	III層	香炉小、	III	後期	口周：火炎。外腹：火炎。施土：唇肥厚。内面：ナデ。施土：砂粒。テラ繩。施土痕。	p-2557	2011
72-3	IV-35	III層	香炉	III	後期Ia-b	口周：火炎。外腹：火炎。施土：砂粒。テラ繩。施土痕。	p-2019	2014
72-4	IV-35	III層	釜	III	後期Ia-b	口周：火炎。外腹：火炎。施土：砂粒。テラ繩。施土痕。	p-2019	2176
72-5	IV-36	III層	釜	IV	後期Ib	口周：火炎。外腹：火炎。施土：砂粒。テラ繩。施土痕。	p-2022	2175
72-6	IV-36	III層	釜	III	後期Ib	外腹：火炎。内面：火炎。施土痕。	p-2022	2175
72-7	IV-36	III層	浅林	IV	後期I-4	外腹：火炎。内面：火炎。施土痕。	p-2037	2118
72-8	IV-36	III層	浅林	I	後期7~8	外腹：火炎。内面：火炎。施土痕。	p-2037	2118
72-9	IV-36	III層	浅林	II	後期7~8	外腹：火炎。内面：火炎。施土痕。	p-2037	2118
72-10	IV-36	III層	浅林	II	後期Ia	外腹：火炎。内面：火炎。施土痕。	p-2111	2230

繩文土器観察表(44)

団番号	写真	出土位置	層位	器種	器形	時期	備考		段上No.	整理No.
							特徴	底径		
72-11	153	SN-6818	III層	土器	土器	後期か ~後期	72-10と同一層位。	5.0cm.	2231	
72-12	154	IV-T-37	III層	深杯	一	後期後期 ~後期	外腹：縫合部、内面：ナデ。底部：平底。直壁。外腹：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。 口盤：面鏡。外腹：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。 内面：ナデ。外腹：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。 底盤：外腹：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。 縫合部：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。 底部：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。	5.0cm.	263	
72-1	154	IV-T-33・ IV-T-33	III層	深杯	II式Ia	後期Ia	口盤：面鏡。外腹：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。 内面：ナデ。外腹：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。 縫合部：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。 底部：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。	19.8cm.	P- 2071, 2020	2306・ 2304
72-2	154	IV-T-33	III層	台付杯	II式Ia	後期Ia	口盤：面鏡。外腹：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。 内面：ナデ。外腹：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。 縫合部：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。 底部：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。	19.8cm.	P- 2070, 2071	2078
72-3	154	IV-T-33	III層	台付杯	II	後期Ia	口盤：面鏡。外腹：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。 内面：ナデ。外腹：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。 縫合部：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。 底部：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。	13.0cm.	P- 2069	2104
72-4	154	IV-T-33	III層	粗製杯	I式I	後期後期 ~後期	口盤：面鏡。外腹：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。 内面：ナデ。外腹：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。 縫合部：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。 底部：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。	7.2cm.	P- 2070	2072
72-5	154	IV-T-33	III層	深杯	II	後期	口盤：面鏡。外腹：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。 内面：ナデ。外腹：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。 縫合部：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。 底部：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。	8.2cm.	P- 2067	2311
72-6	154	IV-T-33	III層	杯	II式Ia	後期Ia	口盤：面鏡。外腹：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。 内面：ナデ。外腹：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。 縫合部：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。 底部：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。	8.2cm.	P- 2224	2105
72-7	154	IV-T-33	III層	台付杯	II	後期Ia	口盤：面鏡。外腹：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。 内面：ナデ。外腹：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。 縫合部：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。 底部：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。	8.2cm.	P- 2078	2078
72-8	154	IV-T-33	III層	深杯	I式Ib	後期Ia	口盤：面鏡。外腹：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。 内面：ナデ。外腹：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。 縫合部：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。 底部：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。	8.2cm.	P- 2078	2305
72-9	154	IV-T-33	III層	粗製杯	Ia式I	後期後期 ~後期	口盤：面鏡。外腹：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。 内面：ナデ。外腹：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。 縫合部：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。 底部：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。	6.0cm.	P- 2078	2015
73-0	154	IV-T-33	III層	半精制 台付杯	Ia式I	後期II	口盤：面鏡。外腹：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。 内面：ナデ。外腹：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。 縫合部：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。 底部：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。	10.0cm.	P- 2078	2028
74-1	155	卷頭8F	III層	杯	II式Ia	後期Ia	口盤：面鏡。外腹：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。 内面：ナデ。外腹：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。 縫合部：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。 底部：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。	19.9cm.	P- 2131, 2132	2011
74-2	155	IV-T-34	III層	注口	II	後期Ia	口盤：面鏡。外腹：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。 内面：ナデ。外腹：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。 縫合部：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。 底部：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。	7.1cm.	P- 2131	2010
74-3	155	IV-T-34	III層	深杯	II	後期Ia	口盤：面鏡。外腹：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。 内面：ナデ。外腹：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。 縫合部：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。 底部：縫合部の跡(「こ」は山状、もう一つは火打の跡)が見えたか。	11.7cm.	P- 2131	2244

縄文土器観察表(45)

遺物番号	写真	出土位置	層位	器種	器形	時期	参考	段上No.	基準No.
74-4	155	WT-34	III層	深杯	1.5L	後期8	小柄付口縁。外面：縄文陶(縄200)に光沢。背面：縄文陶(縄200)に光沢。背面：縫合部付。施釉：なし。セガーフ不規。内面：口径：15.6cm。口幅：ナデ。施土：小穂。	2247	2247
74-5	155	WT-34	III層	台付杯	1.5L	後期8	平面に台所跡を有する。口部：口径：15.6cm。背面：縫合部付。施釉：なし。内面：ナデ。施土：小穂。施釉付。使用痕：なし。外側：内スズ、内コダ。	2035	2035
74-6	155	WT-34	III層	台付杯	1.5L	後期8	平面に縦の山形突起と横の窓状の突起を有する。口部：口径：15.6cm。背面：縫合部付。施釉：なし。下に所々削痕：ナデ。施土：小穂。施釉付。内コダ。	P-2181	2004
74-7	155 番99上	WT-34	III層	台付杯	1.5L	後期8	口部：縦の山形突起と横の窓状の突起を有する。口部：口径：15.6cm。背面：縫合部付。施釉：なし。内面：ナデ。施土：小穂。施釉付。内コダ。	2040	2040
74-8	155 番98下	WT-34	III層	台付杯	1.5L	後期8	平面に縦の山形突起と横の窓状の突起を有する。口部：口径：15.6cm。背面：縫合部付。施釉：なし。内面：ナデ。施土：小穂。施釉付。内コダ。	P-2231	2034
74-9	155	WT-34	III層	台付杯	1.5L	後期8	平面に縦の山形突起と横の窓状の突起を有する。口部：口径：15.6cm。背面：縫合部付。施釉：なし。内面：ナデ。施土：小穂。施釉付。内コダ。	P-2276	2094
74-10	155	WT-34	III層	深杯	II.5L	後期8	平面に大小の窓状の突起を有する。口部：口径：15.6cm。背面：縫合部付。施釉：なし。内面：ナデ。施土：小穂。施釉付。内コダ。	2238	2238
74-11	155	WT-34	III層	深杯	II.5L	後期8	平面に縦の山形突起と横の窓状の突起を有する。口部：口径：15.6cm。背面：縫合部付。施釉：なし。内面：ナデ。施土：小穂。施釉付。内コダ。	P-2191	2312
74-12	155	WT-34	III層	深杯	II.5L	後期8	平面に縦の山形突起と横の窓状の突起を有する。口部：口径：15.6cm。背面：縫合部付。施釉：なし。内面：ナデ。施土：小穂。施釉付。内コダ。	P-2276	2145
75-1	156	WT-34	III層	深杯	1.5L	後期8	平面に縦の山形突起と横の窓状の突起を有する。口部：口径：15.6cm。背面：縫合部付。施釉：なし。内面：ナデ。施土：小穂。施釉付。内コダ。	2114	2114
75-2	156	WT-34	III層	深杯	1.5L	後期8	平面に縦の山形突起と横の窓状の突起を有する。口部：口径：15.6cm。背面：縫合部付。施釉：なし。内面：ナデ。施土：小穂。施釉付。内コダ。	P-2336	2123
75-3	156	WT-34	III層	粗製深杯	1.5L	後期8	口部：縫合部付。施釉：なし。内面：口幅：15.6cm。背面：縫合部付。施釉：なし。内面：ナデ。施土：小穂。施釉付。内コダ。	P-2240	2140
75-4	156	WT-34	III層	深杯	1.5L	後期8	口部：縫合部付。施釉：なし。内面：口幅：15.6cm。背面：縫合部付。施釉：なし。内面：ナデ。施土：小穂。施釉付。内コダ。	2250	2250
75-5	156	WT-34	III層	台付杯	1.5L	後末～地獄	平面に縦の山形突起と横の窓状の突起を有する。口部：口径：15.6cm。背面：縫合部付。施釉：なし。内面：ナデ。施土：小穂。	P-2337	2130

繩文土器観察表(46)

逐号	写真	出土位置	層位	基形	縦形	横形	時期	備考	版上No.
75-6	156	WT-34	III層	深杯	外腹：赤陶、内腹：白色。口径：ナロー。底面：ナロー。外腹に斜めの溝がある。口部：小底。脚部：小底。脚部が施用所用である。	後期Ia-b	底径：5.2cm。口径：6.2cm。高さ：11.9cm。底径：4.7cm。	P-2198	2036
75-7	156	WT-34	III層	粗質壺	口部：全体を丸い方で覆う。底部は圓錐形の底。底面：斜め。底面：内腹：ナロー。外腹：外腹に斜めの溝がある。	後末～始初	底径：6.2cm。口径：4.7cm。	P-2306	2152
75-8	157	WT-34	III層	壺	口部：全表面。外腹：全体を丸い方で覆う。底部は圓錐形の底。底面：斜め。底面：内腹：ナロー。外腹：外腹に斜めの溝がある。	後末～始初	口径：2.7cm。底径：4.3cm。高さ：10.1cm。外腹：内腹：ナロー。(底)。所々焼失している。内部は黒色物質(分析中)。	P-2087	2063
75-9	156	WT-34	III層	壺	口部：全表面。外腹：全体を丸い方で覆う。底部は圓錐形の底。底面：斜め。底面：内腹：ナロー。外腹：外腹に斜めの溝がある。	後末～始初	口径：2.7cm。底径：4.3cm。高さ：10.1cm。外腹：内腹：ナロー。(底)。所々焼失している。内部は黒色物質(分析中)。	P-2170	2089
75-10	157	WT-34	III層	壺	口部：全表面。外腹：全体を丸い方で覆う。底部は圓錐形の底。底面：斜め。底面：内腹：ナロー。外腹：外腹に斜めの溝がある。	後期Ia	口径：2.7cm。底径：4.3cm。高さ：10.1cm。外腹：内腹：ナロー。(底)。	P-2174	2094
75-11	157	WT-34	III層	壺	外腹：斜め貼付の5面の窓。3面位が保存。底部の窓と外底面にナロー。底部：斜面。外腹：外腹に斜めの溝がある。	後期Ia	口径：2.7cm。底径：4.3cm。高さ：10.1cm。外腹：内腹：ナロー。(底)。	P-2270	2033
75-12	157	WT-34	III層	壺	口部：外腹：ナロー。外底：ナロー。外腹：外腹に斜めの溝がある。	後期Ia	口径：2.7cm。底径：4.3cm。高さ：10.1cm。外腹：内腹：ナロー。(底)。	P-2271	2138
75-13	157	WT-34	III層	壺	口部：外腹：ナロー。外底：ナロー。外腹：外腹に斜めの溝がある。	後期Ia	口径：2.7cm。底径：4.3cm。高さ：10.1cm。外腹：内腹：ナロー。(底)。	P-2272	2095
76-1	157	WT-34	III層	壺	外腹：外腹に斜めの溝がある。外底：ナロー。外腹：外腹に斜めの溝がある。	後末～始初	口径：2.7cm。底径：4.3cm。高さ：10.1cm。外腹：内腹：ナロー。(底)。	P-2183	2048
76-2	157	WT-34	III層	壺	外腹：外腹に斜めの溝がある。外底：ナロー。外腹：外腹に斜めの溝がある。	後末～始初	口径：2.7cm。底径：4.3cm。高さ：10.1cm。外腹：内腹：ナロー。(底)。	P-2184	2117
76-3	157	WT-34	III層	壺	外腹：外腹に斜めの溝がある。外底：ナロー。外腹：外腹に斜めの溝がある。	後末～始初	口径：2.7cm。底径：4.3cm。高さ：10.1cm。外腹：内腹：ナロー。(底)。	P-2084	2097
76-4	157	WT-34	III層	壺	外腹：外腹に斜めの溝がある。外底：ナロー。外腹：外腹に斜めの溝がある。	後末～始初	口径：2.7cm。底径：4.3cm。高さ：10.1cm。外腹：内腹：ナロー。(底)。	P-2191	2013
76-5	157 前部上	WT-34	III層	壺	外腹：外腹に斜めの溝がある。外底：ナロー。外腹：外腹に斜めの溝がある。	後末～始初	口径：2.7cm。底径：4.3cm。高さ：10.1cm。外腹：内腹：ナロー。(底)。	P-2188	2117
76-6	157	WT-34	III層	壺	外腹：外腹に斜めの溝がある。外底：ナロー。外腹：外腹に斜めの溝がある。	後末～始初	口径：2.7cm。底径：4.3cm。高さ：10.1cm。外腹：内腹：ナロー。(底)。	P-2269	2115
76-7	157	WT-34	III層	壺	外腹：外腹に斜めの溝がある。外底：ナロー。外腹：外腹に斜めの溝がある。	後末～始初	口径：2.7cm。底径：4.3cm。高さ：10.1cm。外腹：内腹：ナロー。(底)。	P-2236	2091
76-8	157	WT-34	III層	壺	外腹：外腹に斜めの溝がある。外底：ナロー。外腹：外腹に斜めの溝がある。	後末～始初	口径：2.7cm。底径：4.3cm。高さ：10.1cm。外腹：内腹：ナロー。(底)。	P-2290	2048
76-9	157	WT-34	III層	壺	外腹：外腹に斜めの溝がある。外底：ナロー。外腹：外腹に斜めの溝がある。	後末～始初	口径：2.7cm。底径：4.3cm。高さ：10.1cm。外腹：内腹：ナロー。(底)。	P-2168	2118

縄文土器観察表(47)

器番号	出土位置	層位	器種	器形	時期	備考	段上No.	筆者No.	
77-1	156	IV-34	III層	粗製杯	後期後樂 ～後期 後樂後要 ～後期	口縁：面取。外腹：口縁ヶケリのち、ミガキにないナダ。底部：圓文。内面：ナダ。底部：具足。施土：小塊。タラリ襷。使用：7.8cm。	口径：21.6cm。器高：17.0cm。底高：1.6cm。底径：1.6cm。	P-2559 2095	
77-2	156	IV-34	III層	粗製杯	後樂後要 ～後期 後樂後要 ～後期	口縁：面取。外腹：口縁ヶケリのち、ミガキにないナダ。内底：外ヨコ。内面：ナダ。底部：圓文。内面：ナダ。施土：小塊。タラリ襷。使用：7.8cm。	口径：18.7cm。器高：18.6cm。底径：6.4cm。	2077	
77-3	156	IV-34・ IV-38	III層	粗製碗杯	後樂後要 ～後期 後樂後要 ～後期	口縁：面取。外腹：口縁ヶケリのち、ミガキにないナダ。内底：外ヨコ。内面：ナダ。施土：小塊を多く含む。底部：圓文。内面：ナダ。施土：小塊。色調は灰褐色部分が多く、底質は他の土器に比べて重い。	燒成失敗品か。 小縁をよく含む。 施土から後樂後要間に属 する可能性。	口径：21.6cm。器高：18.6cm。底径：8.2cm。	2298
77-4	156	IV-34	III層	粗製碗杯	後樂後要 ～後期 後樂後要 ～後期	口縁：面取。外腹：口縁ヶケリのち、ミガキ。内底：外ヨコ。内面：ナダ。底部：圓文。内面：ナダ。施土：小塊。タラリ襷。使用：7.8cm。	口径：22.3cm。	2075	
77-5	158	IV-34	III層	粗製碗杯	後樂後要 ～後期 後樂後要 ～後期	口縁：面取。外腹：口縁ヶケリのち、ミガキ。内底：外ヨコ。内面：ナダ。底部：圓文。内面：ナダ。施土：小塊。タラリ襷。使用：7.8cm。	口径：29.2cm。器高：38.2cm。底径：8.2cm。	2238	
77-6	158	Ⅳ-39上	III層	粗製碗杯	後樂後要 ～後期	口縁：面取。外腹：口縁ヶケリのち、ミガキ。内底：外ヨコ。内面：ナダ。底部：圓文。内面：ナダ。施土：小塊。使用：外スヌ、内コゲ。 ナダ。外面里。	口径：29.2cm。器高：38.2cm。底径：8.2cm。	P-2096 2015	
77-7	156	IV-34	III層	粗製碗杯	後樂後要 ～後期 後樂後要 ～後期	口縁：面取。外腹：口縁ヶケリのち、ミガキ。内底：外ヨコ。内面：ナダ。底部：圓文。内面：ナダ。施土：小塊。タラリ襷。使用：7.8cm。	口径：45.2cm。	P-2190 2106	
77-8	156	IV-34	III層	浅杯	後樂後要 ～後期	口縁：面取。外腹：口縁ヶケリのち、ミガキ。内底：外ヨコ。内面：ナダ。底部：圓文。内面：ナダ。施土：小塊。タラリ襷。使用：7.8cm。	口径：34.7cm。底径：10.0cm。	2219	
78-1	158	IV-35	III層中	台付杯	後樂後要 ～後期 後樂後要 ～後期	口縁：面取。外腹：口縁ヶケリのち、ミガキ。内底：外ヨコ。内面：ナダ。底部：圓文。内面：ナダ。施土：小塊。タラリ襷。使用：7.8cm。	口径：36.0cm。底径：10.0cm。	2026	
78-2	158	IV-35	III層	平横置 台付杯	後樂後要 ～後期 後樂後要 ～後期	口縁：面取。外腹：口縁ヶケリのち、ミガキ。内底：外ヨコ。内面：ナダ。底部：圓文。内面：ナダ。施土：小塊。タラリ襷。使用：7.8cm。	口径：34.7cm。底径：10.0cm。	2123	
78-3	158	IV-35	III層	台付杯	後樂後要 ～後期 後樂後要 ～後期	口縁：面取。外腹：口縁ヶケリのち、ミガキ。内底：外ヨコ。内面：ナダ。底部：圓文。内面：ナダ。施土：小塊。タラリ襷。使用：7.8cm。	口径：34.7cm。底径：10.0cm。	2240	
78-4	158	IV-35	III層上	粗製杯	後樂後要 ～後期 後樂後要 ～後期	口縁：面取。外腹：口縁ヶケリのち、ミガキ。内底：外ヨコ。内面：ナダ。底部：圓文。内面：ナダ。施土：小塊。タラリ襷。使用：7.8cm。	口径：34.7cm。底径：10.0cm。	2137	
78-5	158	IV-35	III層	平横置	後樂後要 ～後期 後樂後要 ～後期	口縁：面取。外腹：口縁ヶケリのち、ミガキ。内底：外ヨコ。内面：ナダ。底部：圓文。内面：ナダ。施土：小塊。タラリ襷。使用：7.8cm。	口径：34.7cm。底径：10.0cm。	P-2021 2096	
78-6	158	IV-36	III層	浅杯	後樂後要 ～後期 後樂後要 ～後期	口縁：面取。外腹：口縁ヶケリのち、ミガキ。内底：外ヨコ。内面：ナダ。底部：圓文。内面：ナダ。施土：小塊。タラリ襷。使用：7.8cm。	口径：34.7cm。底径：10.0cm。	2226	
78-7	158	Ⅳ-33	III層	杯	後樂後要 ～後期 後樂後要 ～後期	口縁：面取。外腹：口縁ヶケリのち、ミガキ。内底：外ヨコ。内面：ナダ。底部：圓文。内面：ナダ。施土：小塊。タラリ襷。使用：7.8cm。	口径：34.7cm。底径：10.0cm。	P-2074 2014	

繩文土器観察表(48)

図版番号	写真	出土位置	施位	芯種	器形	時期	特徴	備考	版上No.	整理No.
78-8	158 巻頭9上	IVU-33	III層	台付林	H 44	晚期Ia	小筒状は後、口部正面面。外縁と口縁間に溝。底部を形成し、下端を丸めた状態で削す。底面は斜めに削られ、外縁を形成する。内縁は斜めに削られ、外縁と底面が接する。外縁は内縁より高く削られる。内縁は外縁より高く削られる。内縁は外縁より高く削られる。	口径：27.0cm、底径：12.8cm、高さ：11.6cm、27.0cm、底径：12.8cm、高さ：11.6cm	P-2060	2021
78-9	158 巻頭9上	IVU-33	III層	台付林	H 44	晚期Ia	小筒状は後、口部正面面。外縁と口縁間に溝。底部を形成し、下端を丸めた状態で削す。底面は斜めに削られ、外縁を形成する。内縁は斜めに削られ、外縁と底面が接する。内縁は外縁より高く削られる。外縁は内縁より高く削られる。内縁は外縁より高く削られる。	口径：27.0cm、底径：12.8cm、高さ：11.6cm、27.0cm、底径：12.8cm、高さ：11.6cm	P-2061	2021
78-10	159 IVU-33	III層	台付林	H 44	後期Ia	方盤。輪郭は2段で構成(4重巻き)。口部：面取。外縁：輪文(文様)。底部：面取。内縁：ミガニ。内面：ミガニ。外縁は内縁より高く削られる。内縁は外縁より高く削られる。	口径：4.0cm、底径：3.5cm、高さ：8.7cm、底径：7.5cm、高さ：8.7cm、底径：7.5cm、高さ：8.7cm	P-2062	2021	
78-11	159 IVU-34	III層	台付林	H 44	後期Ia	方盤。輪郭は2段で構成(4重巻き)。口部：面取。外縁：輪文(文様)。底部：面取。内縁：ミガニ。内面：ミガニ。外縁は内縁より高く削られる。内縁は外縁より高く削られる。	口径：4.0cm、底径：3.5cm、高さ：8.7cm、底径：7.5cm、高さ：8.7cm、底径：7.5cm、高さ：8.7cm	P-2063	2021	
78-12	159 IVU-33	III層	台付林	H 44	後期Ia	方盤。輪郭は2段で構成(4重巻き)。口部：面取。外縁：輪文(文様)。底部：面取。内縁：ミガニ。内面：ミガニ。外縁は内縁より高く削られる。内縁は外縁より高く削られる。	口径：4.0cm、底径：3.5cm、高さ：8.7cm、底径：7.5cm、高さ：8.7cm、底径：7.5cm、高さ：8.7cm	P-2064	2021	
79-1	159 IVU-33	III層	注口	IV	後期Ia	方盤。輪郭は2段で構成(4重巻き)。口部：面取。外縁：輪文(文様)。底部：面取。内縁：ミガニ。内面：ミガニ。外縁は内縁より高く削られる。内縁は外縁より高く削られる。	口径：11.1cm、底径：17.2cm、高さ：12.5cm、底径：11.1cm、高さ：17.2cm、底径：12.5cm、底径：11.1cm、高さ：17.2cm、底径：12.5cm	P-2065	2021	
79-2	159 IVU-33	III層	注口	II	後期Ia	方盤。輪郭は2段で構成(4重巻き)。口部：面取。外縁：輪文(文様)。底部：面取。内縁：ミガニ。内面：ミガニ。外縁は内縁より高く削られる。内縁は外縁より高く削られる。	口径：6.5cm、底径：10.5cm、高さ：9.8cm、底径：6.5cm、底径：10.5cm、高さ：9.8cm、底径：6.5cm、底径：10.5cm、高さ：9.8cm	P-2066	2021	
79-3	159 IVU-33	III層	注口	III	後末～後期Ia	方盤。輪郭は2段で構成(4重巻き)。口部：面取。外縁：輪文(文様)。底部：面取。内縁：ミガニ。内面：ミガニ。外縁は内縁より高く削られる。内縁は外縁より高く削られる。	口径：9.8cm、底径：11.5cm、高さ：10.5cm、底径：9.8cm、底径：11.5cm、高さ：10.5cm、底径：9.8cm、底径：11.5cm、高さ：10.5cm	P-2067	2021	
79-4	159 IVU-33	III層	注口	III	後期Ia	方盤。輪郭は2段で構成(4重巻き)。口部：面取。外縁：輪文(文様)。底部：面取。内縁：ミガニ。内面：ミガニ。外縁は内縁より高く削られる。内縁は外縁より高く削られる。	口径：11.1cm、底径：17.2cm、高さ：12.5cm、底径：11.1cm、高さ：17.2cm、底径：12.5cm、底径：11.1cm、高さ：17.2cm、底径：12.5cm	P-2068	2021	
79-5	159 IVU-33	III層	深林	H 55	後期Ia	方盤。輪郭は2段で構成(4重巻き)。口部：面取。外縁：輪文(文様)。底部：面取。内縁：ミガニ。内面：ミガニ。外縁は内縁より高く削られる。内縁は外縁より高く削られる。	口径：11.1cm、底径：17.2cm、高さ：12.5cm、底径：11.1cm、高さ：17.2cm、底径：12.5cm、底径：11.1cm、高さ：17.2cm、底径：12.5cm	P-2069	2021	
79-6	159 IVU-33	III層	深林	H 55	後期Ia	方盤。輪郭は2段で構成(4重巻き)。口部：面取。外縁：輪文(文様)。底部：面取。内縁：ミガニ。内面：ミガニ。外縁は内縁より高く削られる。内縁は外縁より高く削られる。	口径：11.1cm、底径：17.2cm、高さ：12.5cm、底径：11.1cm、高さ：17.2cm、底径：12.5cm、底径：11.1cm、高さ：17.2cm、底径：12.5cm	P-2070	2021	
79-7	159 巻頭9上	IVU-33	III層	台付林	H 60	晚期Ia	方盤。輪郭は2段で構成(4重巻き)。口部：面取。外縁：輪文(文様)。底部：面取。内縁：ミガニ。内面：ミガニ。外縁は内縁より高く削られる。内縁は外縁より高く削られる。	口径：11.1cm、底径：17.2cm、高さ：12.5cm、底径：11.1cm、高さ：17.2cm、底径：12.5cm、底径：11.1cm、高さ：17.2cm、底径：12.5cm	P-2071	2021
79-8	159 IVU-33	III層	深林	H 55	後期Ia	方盤。輪郭は2段で構成(4重巻き)。口部：面取。外縁：輪文(文様)。底部：面取。内縁：ミガニ。内面：ミガニ。外縁は内縁より高く削られる。内縁は外縁より高く削られる。	口径：11.1cm、底径：17.2cm、高さ：12.5cm、底径：11.1cm、高さ：17.2cm、底径：12.5cm	P-2072	2021	
79-9	159 巻頭9上	IVU-33	III層	深林	H 55	後期Ia	方盤。輪郭は2段で構成(4重巻き)。口部：面取。外縁：輪文(文様)。底部：面取。内縁：ミガニ。内面：ミガニ。外縁は内縁より高く削られる。内縁は外縁より高く削られる。	口径：11.1cm、底径：17.2cm、高さ：12.5cm、底径：11.1cm、高さ：17.2cm、底径：12.5cm	P-2073	2021
79-10	159 IVU-33	III層	相美台付	I A	後期Ia	方盤。輪郭は2段で構成(4重巻き)。口部：面取。外縁：輪文(文様)。底部：面取。内縁：ミガニ。内面：ミガニ。外縁は内縁より高く削られる。内縁は外縁より高く削られる。	口径：11.1cm、底径：17.2cm、高さ：12.5cm、底径：11.1cm、高さ：17.2cm、底径：12.5cm	P-2074	2021	
79-11	159 IVU-33	III層	相美台付	I A	後期Ia	方盤。輪郭は2段で構成(4重巻き)。口部：面取。外縁：輪文(文様)。底部：面取。内縁：ミガニ。内面：ミガニ。外縁は内縁より高く削られる。内縁は外縁より高く削られる。	口径：11.1cm、底径：17.2cm、高さ：12.5cm、底径：11.1cm、高さ：17.2cm、底径：12.5cm	P-2075	2021	

縄文土器観察表(49)

区分号	字貫	出土位置	場所	器形	時期	備考	取上No.	整理番号				
79-12	160	IV-34	III層	台付杯	I期I	早期か 外: 化粧刷毛、底部: 台付。底部: 台付とよく思われるが鉢形。内面: ナデ。施土: 施土。	口径: 10.3cm. 小瓶。使用痕: 外スス。口唇: 面取。外腹: 制目。施土: 粘土。内面: ナデ。施土: 施土。	2029				
79-13	160	IV-34	III層	深杯	後期か 後期か 後期か	早期か 外: 化粧刷毛、底部: 台付。底部: 台付。内面: 制目。施土: 粘土。内面: ナデ。施土: 施土。	口径: 10.3cm. 小瓶。使用痕: 外スス。口唇: 面取。外腹: 制目。施土: 粘土。内面: ナデ。施土: 施土。	2231				
79-14	160	IV-34	III層	深杯	後期か	後期か 後期か 後期か	早期か 外: 化粧刷毛、底部: 台付。底部: 台付。内面: 口唇: 面取。外腹: 制目。施土: 粘土。内面: ナデ。施土: 施土。	口径: 10.3cm. 小瓶。使用痕: 外スス。口唇: 面取。外腹: 制目。施土: 粘土。内面: ナデ。施土: 施土。	2224			
80-1	160	IV-34	III層	香炉	後期7-4	後期7-4 後期7-4 後期7-4	後期7-4 後期7-4 後期7-4	口径: 7.2cm. 器底径: 1.6.0cm. 内底付近中央に5.5cm幅の窪部がある。外腹: 制目。施土: 粘土。内面: ナデ。施土: 施土。	p-2273	2119		
80-2	160	IV-34	III層	香炉	後期か	後期か 後期か 後期か	後期か 後期か 後期か	後期か 後期か 後期か	口径: 7.2cm. 器底径: 1.6.0cm. 内底付近中央に5.5cm幅の窪部がある。外腹: 制目。施土: 粘土。内面: ナデ。施土: 施土。	p-2273	2245	
80-3	160	IV-34	III層	香炉	後期7-4	後期7-4 後期7-4 後期7-4	後期7-4 後期7-4 後期7-4	後期7-4 後期7-4 後期7-4	口径: 7.1cm. 器底径: 1.4cm. 壁厚: 0.5cm. 内底付近中央に5.5cm幅の窪部がある。外腹: 制目。施土: 粘土。内面: ナデ。施土: 施土。	p-2273	2164	
80-4	160	IV-34	III層	注口	III	後期7-8 後期7-8 後期7-8	後期7-8 後期7-8 後期7-8	口径: 5.2cm. 器底: 11.6cm. 施土: 1.0cm. 口唇: 面取。外腹: 制目。施土: ナデ。施土: 小. 口唇: 面取。外腹: 制目。施土: ナデ。施土: 小. 口唇: 面取。外腹: 制目。施土: ナデ。施土: 小.	p-2286	2158		
80-5	160	IV-34	III層	注口	II	後期7-4	後期7-4 後期7-4 後期7-4	後期7-4 後期7-4 後期7-4	口径: 5.2cm. 器底: 11.6cm. 施土: 1.0cm. 口唇: 面取。外腹: 制目。施土: ナデ。施土: 小. 口唇: 面取。外腹: 制目。施土: ナデ。施土: 小. 口唇: 面取。外腹: 制目。施土: ナデ。施土: 小.	p-2286	2065	
80-6	160	寺原8F	IV-34	III層	深杯	後期8	後期8 後期8 後期8	後期8 後期8 後期8	後期8 後期8 後期8	口径: 2.6cm. 壁厚: 0.2cm. 施土: 内底付近に約1.5cm幅の窪部がある。外腹: 制目。施土: 粘土。内面: ナデ。施土: 施土。 内底付近に約1.5cm幅の窪部がある。外腹: 制目。施土: 粘土。内面: ナデ。施土: 施土。 内底付近に約1.5cm幅の窪部がある。外腹: 制目。施土: 粘土。内面: ナデ。施土: 施土。	p-2131	2020
80-7	160	寺原8F	IV-34	III層	粗製盃	粗製盃	粗製盃	粗製盃	粗製盃	口径: 31.6cm. 器高: 26.5cm. 施土: 内底付近に約1.5cm幅の窪部がある。外腹: 制目。施土: ナデ。施土: 小. 施土: 粘土。内面: ナデ。施土: 施土。内コロナ. 口径: 31.6cm. 器高: 26.5cm. 施土: 内底付近に約1.5cm幅の窪部がある。外腹: 制目。施土: ナデ。施土: 小. 施土: 粘土。内面: ナデ。施土: 施土。内コロナ. 口径: 31.6cm. 器高: 26.5cm. 施土: 内底付近に約1.5cm幅の窪部がある。外腹: 制目。施土: ナデ。施土: 小. 施土: 粘土。内面: ナデ。施土: 施土。内コロナ.	p-2279	2083
80-8	161	IV-34	III層	半輪製盃	III	後期7-8 後期7-8 後期7-8	後期7-8 後期7-8 後期7-8	後期7-8 後期7-8 後期7-8	口径: 9.6cm. 内底付近に約1.5cm幅の窪部がある。外腹: 制目。施土: 粘土。内面: ナデ。施土: 施土。	p-2283	2102	
80-9	160	IV-34	III層	半輪製盃	III	後期7-8 後期7-8 後期7-8	後期7-8 後期7-8 後期7-8	後期7-8 後期7-8 後期7-8	口径: 9.6cm. 内底付近に約1.5cm幅の窪部がある。外腹: 制目。施土: 粘土。内面: ナデ。施土: 施土。	p-2083	2085	
81-1	161	IV-34	III層	半輪製盃	III	後期7-8 後期7-8 後期7-8	後期7-8 後期7-8 後期7-8	後期7-8 後期7-8 後期7-8	口径: 9.6cm. 器高: 17.2cm. 施土: 内底付近に約1.5cm幅の窪部がある。外腹: 制目。施土: 粘土。内面: ナデ。施土: 施土。	p-2283	2059	
81-2	161	IV-34	III層	粗製盃	III	後期7-8 後期7-8 後期7-8	後期7-8 後期7-8 後期7-8	後期7-8 後期7-8 後期7-8	口径: 8.6cm. 器高: 16.2cm. 施土: 内底付近に約1.5cm幅の窪部がある。外腹: 制目。施土: 粘土。内面: ナデ。施土: 施土。	p-2017	2023	
81-3	161	IV-34	III層	粗製盃	III	後期7-8 後期7-8 後期7-8	後期7-8 後期7-8 後期7-8	後期7-8 後期7-8 後期7-8	口径: 8.6cm. 器高: 15.2cm. 施土: 内底付近に約1.5cm幅の窪部がある。外腹: 制目。施土: 粘土。内面: ナデ。施土: 施土。	p-2014	2014	

繩文土器観察表(50)

図版号	写真	出土位置	層位	器種	器形	時期	特徴	備考	頂上No.	整理No.
81-4	-	Rv-34	III層	直筒杯	I系	後期後 ～後期	口唇：直腹：外縁：外縁。底面：底面。外縁に直腹の一部にドロカナ高まり。内面：ナゴ。	14径：12.0cm、高さ：10.0cm、底径：6.0cm。	2019	2253
81-5	[6]	Rv-34	III層	深杯	I系	後期後 ～後期	口唇：直腹：外縁：外縁。又底モチーフ不明。体無無。内面：ナゴ。施土：	14径：12.0cm、高さ：10.0cm、底径：6.0cm。	2019	2252
81-6	[6]	Rv-34	III層	台付碗	II系	後期後 ～後期	外縁に「土崩」。外縁：外縁。又底モチーフ不明。体無無。内面：ナゴ。施土：	14径：12.0cm、高さ：10.0cm、底径：6.0cm。	2019	2251
81-7	[6]	Rv-35	III層	浅杯	II系	後期Ib	口唇：直腹：外縁。内面：ナゴ。施土：砂質。外縁骨付。底面：外縁。又底モチーフ不明。体無無。内面：ナゴ。施土：	14径：12.0cm、高さ：10.0cm、底径：6.0cm。	2019	2250
81-8	[6]	Rv-33・ Rv-35	III層	深杯	I系	後期Ia	口唇：直腹：外縁。内面：ナゴ。施土：砂質。外縁骨付。底面：外縁。又底モチーフ不明。体無無。内面：ナゴ。施土：	14径：12.0cm、高さ：10.0cm、底径：6.0cm。	2019	2249
81-9	[6]	Rv-33	III層	台付杯	II系	後期Ia	口唇：直腹：外縁。内面：ナゴ。施土：砂質。外縁骨付。底面：外縁。又底モチーフ不明。体無無。内面：ナゴ。施土：	14径：12.0cm、高さ：10.0cm、底径：6.0cm。	P-2080	2112
81-10	[6]	Rv-33	III層	杯	II系I	後期I-4	口唇：直腹：外縁。内面：ナゴ。施土：砂質。外縁骨付。底面：外縁。又底モチーフ不明。体無無。内面：ナゴ。施土：	14径：12.0cm、高さ：10.0cm、底径：6.0cm。	P-2081	2111
81-11	[6]	Rv-33	III層	深杯	II系I	後期Ib	口唇：直腹：外縁。内面：ナゴ。施土：砂質。外縁骨付。底面：外縁。又底モチーフ不明。体無無。内面：ナゴ。施土：	14径：12.0cm、高さ：10.0cm、底径：6.0cm。	P-2089	2129
81-12	[6]	Rv-33	III層	直筒杯	II系I	後期I-4	口唇：直腹：外縁。内面：ナゴ。施土：砂質。外縊骨付。底面：外縊。又底モチーフ不明。体無無。内面：ナゴ。施土：	14径：12.0cm、高さ：10.0cm、底径：6.0cm。	P-2080	2129
82-1	[62]	Rq-39	III層	深杯	II系I	後期後 ～後期	外縁部無。底面：底面。内面：ナゴ。施土：砂質。外縊骨付。底面：外縊。又底モチーフ不明。体無無。内面：ナゴ。施土：	14径：12.0cm、高さ：10.0cm、底径：6.0cm。	P-145	1113
82-2	[62]	Rq-40	III層	直筒杯	I系	後期後 ～後期	外縊部無。底面：底面。内面：ナゴ。施土：砂質。外縊骨付。底面：外縊。又底モチーフ不明。体無無。内面：ナゴ。施土：	14径：12.0cm、高さ：10.0cm、底径：6.0cm。	P-318	2098
82-3	[62]	Rq-41	III層	直筒杯	I系	後期後 ～後期	外縊部無。底面：底面。内面：ナゴ。施土：砂質。外縊骨付。底面：外縊。又底モチーフ不明。体無無。内面：ナゴ。施土：	14径：12.0cm、高さ：10.0cm、底径：6.0cm。	608	558
82-4	[63]	Rq-41	III層	深杯	II系	後期I-3	口唇：直腹：外縊。底面：底面。内面：ナゴ。施土：砂質。外縊骨付。底面：外縊。又底モチーフ不明。体無無。内面：ナゴ。施土：	14径：12.0cm、高さ：10.0cm、底径：6.0cm。	558	538
82-5	[62]	Rq-41	III層	深杯	II系	後期I-4	口唇：直腹：外縊。底面：底面。内面：ナゴ。施土：砂質。外縊骨付。底面：外縊。又底モチーフ不明。体無無。内面：ナゴ。施土：	14径：12.0cm、高さ：10.0cm、底径：6.0cm。	539	539
82-6	[62]	Rq-41	III層	杯	I系	後期I-4	口唇：直腹：外縊。底面：底面。内面：ナゴ。施土：砂質。外縊骨付。底面：外縊。又底モチーフ不明。体無無。内面：ナゴ。施土：	14径：12.0cm、高さ：10.0cm、底径：6.0cm。	540	543
82-7	[63]	Rq-41	III層	深杯	II系	後期I-4	口唇：直腹：外縊。底面：底面。内面：ナゴ。施土：砂質。外縊骨付。底面：外縊。又底モチーフ不明。体無無。内面：ナゴ。施土：	14径：12.0cm、高さ：10.0cm、底径：6.0cm。	P- 1000, 1708	543
82-8	[62]	Rq-19・ Rq-19・ Rv-19	III層	深杯	II系I	後期I-4	口唇：直腹：外縊。底面：底面。内面：ナゴ。施土：砂質。外縊骨付。底面：外縊。又底モチーフ不明。体無無。内面：ナゴ。施土：	14径：12.0cm、高さ：10.0cm、底径：6.0cm。	P- 1000, 1708	543

縄文土器観察表(51)

出番号	出土位置	層位	器種	形態	時期	参考	取上No.	整理No.
S2-9	IW-Q-41	III層	深杯	I	晚期Ib	小形小口縁。外面：沈幅。北側面に施紋する直線。縄文底。内面：ナデ。施土：砂粒。	P-213	531
S2-10	-	IW-Q-41	III層	注口	後末～地期	小口縁。外面：ナデ。施用底。外スヌ。	P-133	502
S2-11	IW-Q-41	III層	粗製芯杯	I 1a1	後期後葉	口唇：直線。外面：縄文底。内面：ナデ。施土：クサリ縫。4mm以下小縫多く。使用痕：外スヌ。	P-133	503
S2-12	IW-Q-41	III層	粗製芯杯	I 1a1	後期後葉	口唇：直線。外面：縄文底。内面：ナデ。施土：クサリ縫。4mm以下小縫。使用痕：外スヌ。	P-108	165
S3-1	IW-Q-40	III層	粗製杯	I 1a1	後期後葉	口唇：直線。外面：ナデ。施土：クサリ縫。4mm以下小縫多く。縄文底。内面：ナデ。施用底。外スヌ。	P-340	506
S3-2	IW-Q-41	III層	深杯	II	後期	口唇：直線。外面：ナデ。施土：砂粒。縄文底。内面：ナデ。施用底。外スヌ。	P-344	519
S3-3	IW-Q-41	III層	台付杯	II	後期	口唇：直線。外面：ナデ。施土：砂粒。縄文底。内面：ナデ。施用底。外スヌ。	P-344	611-1
S3-4	IW-Q-41	III層	台付浅杯	I 1a3	後期Ia	口唇：直線。外面：ナデ。施土：砂粒。縄文底。内面：ナデ。施用底。外スヌ。	P-146	609
S3-5	IW-Q-41	III層	粗製芯杯	I	後期後葉	口唇：直線。外面：ナデ。施土：砂粒。縄文底。内面：ナデ。施用底。外スヌ。	P-1537	509
S3-6	IW-Q-41	III層	粗製芯杯	I 1a1	後期後葉	口唇：直線。外面：ナデ。施土：砂粒。縄文底。内面：ナデ。施用底。外スヌ。	P-146	609
S3-7	IW-Q-41	III層	粗製芯杯	I 1a1	後期後葉	口唇：直線。外面：ナデ。施土：砂粒。縄文底。内面：ナデ。施用底。外スヌ。	P-146	609
S3-8	IW-Q-41	III層	深杯	-	後期後葉	上唇：文様のある底と側部。施土：砂粒。縄文底。内面：ナデ。施用底。外スヌ。	P-10	11
S3-9	IW-Q-42	III層	深杯	-	後期I-3	上唇：文様。施土：砂粒。縄文底。内面：ナデ。施用底。外スヌ。	P-10	11
S3-10	IW-Q-42	III層	深杯	-	後期I-3	上唇：文様。施土：砂粒。縄文底。内面：ナデ。施用底。外スヌ。	P-10	11
S3-11	IW-Q-42・	IV-Q-13・	深杯	-	後期I-4	上唇：文様。施土：砂粒。縄文底。内面：ナデ。施用底。外スヌ。	P-10	11
S3-12	IW-Q-42	III層	深杯	I 1a1	後期I-7~8	口唇：直線。外面：縄文底。内面：ナデ。施用底。外スヌ。	P-10	11
S3-13	IW-Q-42	III層	台付浅杯	I 1a1	後期I-7	口唇：直線。外面：縄文底。内面：ナデ。施用底。外スヌ。	P-10	11
S3-14	IW-Q-42	III層	深杯	I 1a1t	後期I	横筋が突出する底部(2出筋)。口唇：直線。外面：縄文底。内面：ナデ。施用底。外スヌ。	P-10	11
S3-15	IW-Q-42	III層	深杯	I 1a1t	後期I	横筋が突出する底部(2出筋)。人頭の顎の上端と下端が腹筋部の区間に施されている。縄文底。内面：ナデ。施用底。外スヌ。	P-10	11

埴輪土器観察表(52)

因番号	写真	出土位置	層位	志種	器形	時期	参考	段上No.	整理No.	
84-1	165	参頭8.上	Wq-44	Ⅲ層	台付杯	I tsu:t	單口に2脚の突起が立ち立つ口付耳なし。口盤・外面・内面：口縁部を構成には長い幅方向に長い凹窓が開けた口付耳なし。胸・腰部には幅の狭い凹窓がある。腹・底面には複数の凹窓がある。側面は比較的直角的な構成である。腰・胸・腰部の凹窓は下に印字側面の形態を示す。側面は側面窓と呼ぶべき。外縁は側面窓と呼ぶべき。外縁は側面窓と呼ぶべき。外縁は側面窓と呼ぶべき。	口径：21.0cm、高さ：14.5cm、底面には長い幅方向に長い凹窓が開けた口付耳なし。胸・腰部には幅の狭い凹窓がある。腹・底面には複数の凹窓がある。側面は比較的直角的な構成である。腰・胸・腰部の凹窓は下に印字側面の形態を示す。側面は側面窓と呼ぶべき。外縁は側面窓と呼ぶべき。外縁は側面窓と呼ぶべき。外縁は側面窓と呼ぶべき。外縁は側面窓と呼ぶべき。外縁は側面窓と呼ぶべき。外縁は側面窓と呼ぶべき。外縁は側面窓と呼ぶべき。	P-5, 199	53
84-2	164	Wq-43	Ⅲ層	深杯		後期7-4	口付杯	626		
84-3	164	Wq-43	Ⅲ層	深杯		後期7-4	口付杯	527		
84-4	165	Wq-43	Ⅲ層	深杯		後期7-4	口付杯	P-40		
84-5	164	Wq-44	Ⅲ層	注口		後末→極期	口付杯	P-264	503	
84-6	164	Wq-43	Ⅲ層	深杯		後期	口付杯	P-189	287	
84-7	164	Wq-43	Ⅲ層	深杯		後期	口付杯	528		
84-8	164	Wq-43	Ⅲ層	深杯		後期	口付杯	417		
84-9	164	Wq-43	Ⅲ層	深杯		後期	口付杯	P-295	582	
84-10	164	Wq-43	Ⅲ層	深杯		後期	口付杯	578		
84-11	164	Wq-43	Ⅲ層	深杯		後期か	口付杯	P-267	579	
84-12	164	Wq-43	Ⅲ層	深杯		後期	口付杯	420		
84-13	164	Wq-43	Ⅲ層	深杯		後期	口付杯	529		
84-14	164	Wq-43	Ⅲ層	深杯		後期Ia	口付杯	577		
84-15	165	Wq-44	Ⅲ層	深杯	II tsu:s	後期	口付杯	P-41	584	
84-16	164	Wq-43	Ⅲ層	深杯	II tsu:s	後期	口付杯	268		
84-17	164	Wq-43	Ⅲ層	深杯	II tsu:s	後期Ia	口付杯	586		
							口付杯	P-103	588	

縄文土器観察表(53)

区分号	写真	出土位置	場所	器種	器形	時期	備考
85-1	164	IW-Q-44	III層	台付杯	外腹：花瓶、縄文LR(直角)、側面部ナデ。持りによる三叉文。施用：外スス。底面：6.8cm。 ナデ。内底：ナデ。施上：小継多孔含む。施用：外スス。	後期8	P-14, 190 1130
85-2	164	IW-Q-45	III層	深杯	口：施設：外腹：外縁ナデ。施上：小継多孔含む。施用：外スス。縄文LR。内底：ナデ。施上：2mm以下の中継。施用：外スス。	後期後 ～後期	P-206 590
85-3	164	IW-Q-45	III層	粗製24#	1.1cm 口：施設：外腹：外縁：内底：ナデ。施上：4mm以下の中継。施用：外スス。	後期後 ～後期	P-270 530
85-4	164	IW-Q-45	III層	粗製22#	1.1cm 口：施設：外腹：外縁：内底：ナデ。施上：砂粒。施用：外スス。内底：ナデ。	後期後 ～後期	P-206 531
85-5	164	IW-Q-45	III層	粗製23#	1.1cm 口：施設：外腹：外縁：内底：ナデ。施上：砂粒。施用：外スス。内底：ナデ。	後期後 ～後期	P-274 421
85-6	164	IW-Q-45	III層	粗製23#	1.1cm 口：施設：外腹：外縁：内底：ナデ。施上：砂粒。施用：外スス。内底：ナデ。	後期後 ～後期	P-335 512
85-7	164	IW-Q-45	III層	粗製25#	1.1cm 口：施設：外腹：外縁：内底：ナデ。施上：砂粒。施用：外スス。	後期後 ～後期	P-206 540
85-8	165	IW-Q-45	III層	粗製25#	1.1cm 口：施設：外腹：外縁：内底：ナデ。施上：砂粒。施用：外スス。	後期後 ～後期	P-274 516
85-9	165	IW-Q-45	III層	粗製25#	1.1cm 口：施設：外腹：外縁：内底：ナデ。施上：砂粒。施用：外スス。	後期後 ～後期	P-294 513
85-10	164	IW-Q-45	III層	粗製25#	1.1cm 口：施設：外腹：外縁：内底：ナデ。施用：外スス。	後期後 ～後期	P-47 601
85-11	165	IW-Q-45	III層	粗製27#	1.1cm 口：施設：外腹：外縁：内底：ナデ。施上：砂粒。施用：外スス。	後期後 ～後期	P-273 520
85-12	165	IW-Q-44	III層	粗製27#	1.1cm 口：施設：外腹：外縁：内底：ナデ。施上：砂粒。施用：外スス。	後期後 ～後期	P-200 1085
85-13	164	IW-Q-45	III層	粗製25#	1.1cm 口：施設：外腹：外縁：内底：ナデ。施上：砂粒。施用：外スス。	後期後 ～後期	P-267 604
86-1	166	IW-E-42	III層	深杯	口：施設：外腹：外縁：内底：ナデ。施用：外スス。	後期後 ～後期	P-90 545-1
86-2	166	IW-E-42	III層	深杯	口：施設：外腹：外縁：内底：ナデ。施用：外スス。	後期後 ～後期	—
86-3	166	IW-E-42	III層	注口	注口 口：施設：外腹：外縁：内底：ナデ。施用：外スス。	後期Ia～b	548
86-4	166	IW-E-42	III層	深杯	II 口：施設：外腹：外縁：内底：ナデ。施用：外スス。内コダ。	後期Ia～b	533
86-5	166	IW-E-42	III層	杯	口：施設：外腹：外縁：内底：ナデ。施用：外スス。内コダ。	後期IIa ～	535
86-6	166	IW-E-42	III層	浅杯	1.1cm 口：施設：外腹：外縁：内底：ナデ。施用：外スス。内コダ。	後期III ～	536
86-7	166	IW-E-42	III層	浅杯2.12	1.1cm 口：施設：外腹：外縁：内底：ナデ。施用：外スス。内コダ。	後期III～I ～	549
86-8	166	IW-E-42	III層	皿	1.1cm 口：施設：外腹：外縁：内底：ナデ。施用：外スス。内コダ。	後期I ～	519 71
86-9	166	IW-E-42	III層	皿	1.1cm 口：施設：外腹：外縁：内底：ナデ。施用：外スス。内コダ。	後期I ～	P-222 93

調査土器観察表(54)

図番号	写真	出土位置	施位	記種	器形	時期	特徵	備考	出土No.	整理No.
86-10	166 春原9F	IW-E-42	III層	瓶	III-I	後期3	口縁：面取なし。外腹：平行彎文。ミガラ。底部：円形の凹底。内面：ナデ。施土：糊。口径：6.8cm。底径：3.3cm。周長：10.2cm。外底43.5×内底10.5mm様式。内縁部	p-217	98	
86-11	166	IW-E-42	III層	杯	II-B-2	後期3~4	口管：単純な縦司目。外腹：丸彎文。内面：ナデ。施土：砂粒。使用痕：外スズ。		554	
86-12	166	IW-E-42	III層	杯	II-B-2	後期3~4	口縁：鋸歯的な縦目。外腹：丸彎文。角状の突起。彌文。内面：ナデ。施土：砂粒。使用痕：外スズ。		556	
86-13	166	IW-E-42	III層	杯	II-B-2	後期3	平口縁：彎弧。外腹：丸彎文。底盤側に外突し。体窓部文。斜底。内面：ナデ。施土：砂粒。使用痕：外スズ。		90	
86-14	166	IW-E-42	III層	杯	II-B-2	後期3	口縁：彎弧。内コダ。外縁：外スズ。内コダ。突起上に彎弧に寸限がある。口付：砂粒。外腹：彌文。内面：ナデ。施土：砂粒。使用痕：外スズ。内コダ。		95	
86-15	166	IW-E-42	III層	粗製杯	I-C-1	後期後期	口縁：直口縁。内コダ。外縁：外スズ。内面：ナデ。施土：砂粒。使用痕：外スズ。内コダ。	p-316	833	
86-16	166	IW-E-42	III層	杯	II-B-2	後期後期	口縁：直口縁。外腹：彌文。内面：ナデ。施土：砂粒。使用痕：外スズ。		551	
86-17	166	IW-E-42	III層	粗製盃形	I	後期後期	口縁：直口縁。施土：砂粒。施痕骨付。使用痕：外スズ。		559	
86-18	166	IW-E-42	III層	粗製盃形	I	後期後期	外コダ。口縁：直口縁。外腹：彌文。内面：ナデ。施土：砂粒。使用痕：外スズ。	p-317	607	
86-19	166	IW-E-42	III層	粗製盃形	I	後期後期	口縁：直口縁。内面：ナデ。施土：砂粒。外腹：彌文。内面：ナデ。施土：砂粒。外スズ。内コダ。	p-99	541	
86-20	166	IW-E-42	III層	粗製盃形	I	後期後期	口縁：直口縁。外腹：彌文。内面：ナデ。施土：砂粒。使用痕：外スズ。内コダ。		576	
86-21	166	IW-E-42	III層	粗製盃形	I	後期後期	口縁：直口縁。外腹：彌文。内面：ナデ。施土：大粒の砂粒。使用痕：外スズ。	p-322	568	
86-22	166	IW-E-42	III層	粗製盃形	I-C-1	後期後期	口縁：直口縁。外腹：彌文。内面：ナデ。施土：3mm以下小粒多く含む。使用痕：外スズ。	p-381	514	
86-23	166	IW-E-42	III層	粗製盃形	I	後期後期	口縁：直口縁。外腹：彌文。内面：ナデ。施土：砂粒。使用痕：外スズ。内コダ。	p-102	507	
87-1	166	IW-E-42	III層	粗製盃形	I-A-1	後期後期	口縁：直口縁。外腹：彌文。内面：ナデ。施土：砂粒。使用痕：外スズ。	p-381	517	
87-2	166 165103	IW-E-42 7-7?	III層・ 覆土	粗製盃形	I-A-1	後期後期	口縁：直口縁。外腹：彌文。内面：ナデ。施土：砂粒。使用痕：外スズ。	p-323, 324, 347,	610	
87-3	167	IW-E-42	III層	粗製盃形	I-A-1	後期後期	小底突出縁。外腹：彌文。内面：ナデ。施土：砂粒。使用痕：外スズ。	p-97, 193	4	
87-4	167	IW-E-43	III層	盃杯		後期後期	平口縁：突起。突起部に切目。口縁：面取。外腹：彌文。内面：ナデ。		562	
87-5	167	IW-E-43	III層	盃杯		後期後期	平口縁：突起。外腹：外スズ。内面：ナデ。施土：砂粒。外腹：彌文。内面：彌文。外スズ。	p-278	583	
87-6	167	IW-E-43	III層	盃杯		後期	平口縁：大口小底。外腹：彌文。内面：ナデ。施土：砂粒。外腹：彌文。内面：ナデ。施痕骨付。使用痕：外スズ。	p-216	514	

縄文土器観察表(55)

試番号	号	出土地点	層位	形態	器形	時期	備考	段上No.	審査官
57-7	167	IW-E-43	III層	浅杯	口等：面状。外面：外スス、内コガ。底面：外スス、内コガ。	後期Ⅲ		P-599	1444
57-8	167	IW-E-43	III層	浅杯	口等：面状。外面：外スス、内コガ。底面：外スス、内コガ。	後期Ⅲ		563	
57-9	167	IW-E-43	III層	浅杯	口等：面状。外面：外スス、内コガ。底面：外スス、内コガ。	後期Ⅲ		564	
57-10	-	IW-E-43	III層	浅杯小	口等：面状。外面：外スス、内コガ。底面：外スス、内コガ。	後期Ⅲ	57-11と同一個体。	57-1	
57-11	167	IW-E-43	III層	浅杯小	口等：面状。外面：外スス、内コガ。底面：外スス、内コガ。	後期Ⅲ	57-10と同一個体。	57-2	
57-12	167	IW-E-43	III層	皿	口等：面状。底面：外スス、内コガ。底面：外スス、内コガ。	後期Ⅳ	口径：22.4cm。底径：13.5cm。高さ：4.2cm。内外面付着部半中央に凹窓有。	97	
57-13	167	IW-E-43	III層	浅杯	口等：面状。外面：外スス、内コガ。底面：外スス、内コガ。	後期Ⅲ	57-14と同一個体。	580-1	
57-14	167	IW-E-43	III層	浅杯	口等：面状。外面：外スス、内コガ。底面：外スス、内コガ。	後期Ⅲ	57-13と同一個体。	580-2	
57-15	167	IW-E-43	III層	皿	口等：面状。外面：外スス、内コガ。底面：外スス、内コガ。	後期Ⅳ	口径：22.4cm。底径：13.5cm。高さ：4.2cm。内外面付着部半中央に凹窓有。	581	
57-16	-	IW-E-43	III層	浅杯	口等：面状。外面：外スス、内コガ。底面：外スス、内コガ。	後期Ⅲ	57-13・14と同一個体。	570	
57-17	-	IW-E-43	III層	浅杯	口等：面状。外面：外スス、内コガ。底面：外スス、内コガ。	後期Ⅲ	内面：赤彩有。	565	
57-18	167	IW-E-43	III層	浅杯	口等：面状。外面：外スス、内コガ。底面：外スス、内コガ。	後期Ⅲ～IV	内面：赤彩有。	569	
57-19	-	IW-E-43	III層	浅杯	口等：面状。外面：外スス、内コガ。底面：外スス、内コガ。	後期Ⅲ～IV	内面：赤彩有。	567	
580-1	167	IW-E-43	III層	平精製 台付杯	口等：面状。外面：外スス、内コガ。底面：外スス、内コガ。	後期Ⅲ	口径：10.7cm。底径：6.6cm。高さ：1.4cm。削痕有。底部丸く削り出るが、内側に凹窓有。	P-296	96
580-2	-	IW-E-43	III層	杯	口等：面状。外面：外スス、内コガ。	後期Ⅲ～IV	内面：赤彩有。	571	
585-3	167	IW-E-43	III層	台付杯	口等：面状。外面：外スス、内コガ。底面：外スス、内コガ。	後期Ⅲ	口径：7.2cm。	P-188	568
585-4	167	IW-E-43	III層	粗製深杯	口等：面状。外面：外スス、内コガ。	後期後期	口等：面状。外面：外スス、内コガ。	P-322	518
585-5	167	IW-E-43	III層	粗製深杯	口等：面状。外面：外スス、内コガ。	後期後期	口等：面状。外面：外スス、内コガ。	P-38	1091
585-6	167	IW-E-43	III層	粗製深杯	口等：面状。外面：外スス、内コガ。	後期後期	口等：面状。外面：外スス、内コガ。	P-211, 223, 601-600	
587-1	167	IW-E-44	III層	皿	口等：面状。外面：外スス、内コガ。底面：外スス、内コガ。	後期Ⅲ	口径：2.9cm。高さ：6.6cm。口唇付欠。用。外面赤彩。内面は内側へで斜料付。	P-249	84
587-2	167	IW-E-44	III層	平精製 台付杯	口等：面状。外面：外スス、内コガ。底面：外スス、内コガ。	後期Ⅲ	口径：14.4cm。底径：6.7cm。高さ：11.3cm。底部丸く削り出る。底部丸く削り出る。底部丸く削り出る。底部丸く削り出る。外側付赤彩。内コゴメ。	P-22	160

繩文土器観察表(56)

番号	写真	出土位置	施位	器種	器形	時期	特徴	備考	施上No.	整理No.
88-3	167	IVR-44	III層	粗製灰	1本	後期後 ～後期	口等：丸口。外腹：圓球形。底面：平。内面：ナメ。口等：直口。外腹：圓球形。底面：平。内面：ナメ。外腹：ケイリのち圓球形。内腹：ナメ。外腹：内面：ケイリの量比が高くなる。底面：内面：ナメ。外腹：内面：ケイリの量比が高くなる。底面：内面：ナメ。	口径：11.6cm、底径：8.7cm、高さ：5.6cm。	p-23	172
88-4	168	IVR-44	III層	粗製灰	1本	後期後要 ～後期	底面：内面：ナメ。外腹：内面：ケイリの量比が高くなる。底面：内面：ナメ。外腹：内面：ケイリの量比が高くなる。底面：内面：ナメ。外腹：内面：ケイリの量比が高くなる。底面：内面：ナメ。	口径：29.4cm。	p-204	269
88-5	168	IVS-43	III層	陶	II型2t	後期3	底面：内面：ナメ。外腹：内面：ケイリの量比が高くなる。底面：内面：ナメ。外腹：内面：ケイリの量比が高くなる。底面：内面：ナメ。外腹：内面：ケイリの量比が高くなる。底面：内面：ナメ。	口径：28.0cm。	p-194	1086
88-6	168	IVS-44	III層	粗製灰	半輪切妻	III层	内腹：内面：ナメ。外腹：内面：ケイリの量比が高くなる。底面：内面：ナメ。外腹：内面：ケイリの量比が高くなる。底面：内面：ナメ。外腹：内面：ケイリの量比が高くなる。底面：内面：ナメ。	口径：8.8cm。	1144	
88-7	168	IVS-44	III層	半輪切妻	III层	後期3	内腹：内面：ナメ。外腹：内面：ケイリの量比が高くなる。底面：内面：ナメ。外腹：内面：ケイリの量比が高くなる。底面：内面：ナメ。外腹：内面：ケイリの量比が高くなる。底面：内面：ナメ。	口径：10.2cm。	p-32	1342
88-8	168	IVS-44	III層	粗製灰	II型	後期3	内腹：内面：ナメ。外腹：内面：ケイリの量比が高くなる。底面：内面：ナメ。外腹：内面：ケイリの量比が高くなる。底面：内面：ナメ。外腹：内面：ケイリの量比が高くなる。底面：内面：ナメ。	口径：12.3cm、底径：8.8cm、高さ：5.6cm。	1199	
88-9	168	IVS-44	III層	粗製灰	II型	後期3	内腹：内面：ナメ。外腹：内面：ケイリの量比が高くなる。底面：内面：ナメ。外腹：内面：ケイリの量比が高くなる。底面：内面：ナメ。外腹：内面：ケイリの量比が高くなる。底面：内面：ナメ。	口径：12.3cm、底径：10.6cm、高さ：5.6cm。	p-29	1511
88-10	168	IVS-44	III層	粗製灰	II型	後期3	内腹：内面：ナメ。外腹：内面：ケイリの量比が高くなる。底面：内面：ナメ。外腹：内面：ケイリの量比が高くなる。底面：内面：ナメ。外腹：内面：ケイリの量比が高くなる。底面：内面：ナメ。	口径：14.1cm。	251	
90-1	170	IVQ-45	III層	深井	II型3	後期7-4	内腹：内面：ナメ。外腹：内面：ケイリの量比が高くなる。底面：内面：ナメ。外腹：内面：ケイリの量比が高くなる。底面：内面：ナメ。外腹：内面：ケイリの量比が高くなる。底面：内面：ナメ。	口径：24.0cm、底径：17.0cm、高さ：6.5cm。	p-1482	1185・ 1106
90-2	169	IVQ-45	III層	深井	II型3t	後期7-4	内腹：内面：ナメ。外腹：内面：ケイリの量比が高くなる。底面：内面：ナメ。外腹：内面：ケイリの量比が高くなる。底面：内面：ナメ。外腹：内面：ケイリの量比が高くなる。底面：内面：ナメ。	口径：24.0cm、底径：17.0cm、高さ：6.5cm。	p-1309	175
- 25 -										
90-3	169	IVQ-45	III層	深井	II型1t	後期7-4	内腹：内面：ナメ。外腹：内面：ケイリの量比が高くなる。底面：内面：ナメ。外腹：内面：ケイリの量比が高くなる。底面：内面：ナメ。外腹：内面：ケイリの量比が高くなる。底面：内面：ナメ。	口径：23.8cm、底径：17.0cm、高さ：6.5cm。	p-1482, 1519	1115
90-4	169	IVQ-45	III層	深井	II型3	後期7-4	内腹：内面：ナメ。外腹：内面：ケイリの量比が高くなる。底面：内面：ナメ。外腹：内面：ケイリの量比が高くなる。底面：内面：ナメ。外腹：内面：ケイリの量比が高くなる。底面：内面：ナメ。	口径：35.8cm。	1114	

縄文土器観察表(57)

文番号	写真	出土位置	層位	器種	器形	時期	備考	段上No.	審査官
井口型に突起(4個)有り。口脇：背面、外面：口縁部が直角折れ、突起部の中央に3脚の脚を用意とする脚を付ける。底部文様は3脚の脚を構成する脚を付ける。底部文様は3脚の脚を構成する脚を付ける。底部文様は3脚の脚を構成する脚を付ける。									
90-5	169	RQ-45	Ⅲ層	浅杯	後期7-4	口径：24.0cm。 口径：24.0cm。 口径：24.0cm。	P-1486 279		
90-6	169	RQ-45	Ⅲ層	浅杯	Ⅲ段	後期7-4	口径：33.5cm。 口径：33.5cm。 口径：33.5cm。	P-1497 258	柴文新(編文→平行沈線→刻目)。
90-7	168	RQ-45	Ⅲ層	浅杯	Ⅱ	後期7-4	口径：18.1cm.、高さ：10.6cm.、底径：9.8cm. 口径：18.1cm.、高さ：10.6cm.、底径：9.8cm. 口径：18.1cm.、高さ：10.6cm.、底径：9.8cm.	P-1446, 1598 1090	
90-8	171 番頭8F	RQ-45	Ⅲ層	台付浅杯	I B1	後期7-8	口径：11.3-4.5と変化する。底径：9.8cm. 口径：11.3-4.5と変化する。底径：9.8cm. 口径：11.3-4.5と変化する。底径：9.8cm.	P-1465 208	台付浅杯が後期期に多く存在するという意味。 台付浅杯が後期期に多く存在するといっている。
90-9	171	RQ-45	Ⅲ層	台付杯	I B1	後期7-4	口径：9.8cm.、高さ：11.2cm.、底径： 口径：9.8cm.、高さ：11.2cm.、底径： 口径：9.8cm.、高さ：11.2cm.、底径：	P-1226 204	口径：9.8cm.、高さ：11.2cm.、底径： 口径：9.8cm.、高さ：11.2cm.、底径： 口径：9.8cm.、高さ：11.2cm.、底径：
90-10	169 番頭8F	RQ-45	Ⅲ層	粗製盃	Ⅲ	後期8	口径：10.8cm. 口径：10.8cm. 口径：10.8cm.	P-1482 177	後期期では比較的多く、中期に比べて器の色 後期期では比較的多く、中期に比べて器の色 後期期では比較的多く、中期に比べて器の色
91-1	170	RQ-45	Ⅲ層	注口	Ⅲ	後期7-4	口径：12.6cm.、高さ：2.7cm.、底径： 口径：12.6cm.、高さ：2.7cm.、底径： 口径：12.6cm.、高さ：2.7cm.、底径：	P-1129 152	高さが長い、底盤 高さが長い、底盤 高さが長い、底盤
91-2	170	RQ-45	Ⅲ層	注口	Ⅲ段	後期7-4	口径：12.6cm.、高さ：2.7cm.、底径： 口径：12.6cm.、高さ：2.7cm.、底径： 口径：12.6cm.、高さ：2.7cm.、底径：	P-1228 38	(編文→花縞→點錐)。
91-3	170	RQ-45	Ⅲ層	注口	Ⅲ	後期7-4	口径：2.2cmより大きい、注口部完全。 口径：2.2cmより大きい、注口部完全。 口径：2.2cmより大きい、注口部完全。	P-1230 14	口径：2.2cmより大きい、注口部完全。
91-4	170	RQ-45	Ⅲ層	注口	Ⅲ	後期7-4	口径：9.9cm.、体腔容積は約41/2で注口部 口径：9.9cm.、体腔容積は約41/2で注口部 口径：9.9cm.、体腔容積は約41/2で注口部	P-1514 156	は結構大きな、底盤が比較的早い。
91-5	170 番頭8F上	RQ-45	Ⅲ層	半輪切妻	Ⅲ	後期7-4	口径：8.7cm.、底径：4.0cm.、高さ： 口径：8.7cm.、底径：4.0cm.、高さ： 口径：8.7cm.、底径：4.0cm.、高さ：	P-910 39	底盤が平均的なため、後期期に下 底盤が平均的なため、後期期に下 底盤が平均的なため、後期期に下

圖文十器體總表(58)

縄文土器観察表(59)

登番号	写真	出土位置	層位	器種	器形	時期	備考	段上No.	審査官	
92-11	170	IW-q-47・ 裏面16 下	III層	香口	後期7~8	香加原型突起・突出の片側面を粘土上に・馬・牛の口より下の部分は二次で 形成し、施土・小槽・施脂膏・使用痕：なし。外面部：窓R・内外面：窓：なし・ 手子：なし。内面部：窓R・内外面：窓：なし。	口径：6.8cm、底径：2.6cm、高さ： 2.7cm。切込み作り方が注口部底底部と異なるため、後脚末と考えた。	特-67	1247	
92-12	171	IW-q-46	裏面下部	浅杯	1B1	後期7~8	波紋口盤、口唇・腹底、外面部・裏面部に圓形の凹出部が2箇存在すると、腹底部下部に横 円形の施脂を施す。両方に平行して下方の内部筋に施脂を施す。口唇部筋筋には横 溝を有する。施土・小槽・施脂膏・使用痕：なし。	口径：28.4cm、底径：9.4cm、高さ： 11.6cm。底付脚跡有り。残存率：	P-1751	1164
93-1	172	IW-q-46	III層	深杯	II B1	後期7~8	波紋口盤、口唇・腹底、外面部・裏面部に横 溝を有する。施脂膏・施土・小槽・施脂膏・使用痕：なし。	口径：28.4cm、底径：9.4cm、高さ： 12.4cm。底付脚跡なし。外面部に 施脂膏有り。波紋口盤、口唇・腹底に横 溝を有する。	P-1372	1227
93-2	172	IW-q-46	III層	注口	II	後期8	口唇・腹底：高脚・底盤、外面部：窓R・ 窓L・窓M、内面部：ナギ・チャ・窓、 窓M・窓L・窓R、底付脚：なし。	口径：8.0cm、底径：4.8cm、高さ： 12.4cm。注口部元W。	P-1371	36
93-3	172	IW-q-46	III層	深杯	II B1	後期7~8	波紋口盤(9段窓)、口唇・腹底に施脂膏・ 施土・小槽・施脂膏・使用痕：なし。体部下甲子・内面部：ナギ・外面部：ナギ・ 窓M・窓L・窓R、底付脚：外ス、内コガ。	外面部：2000±20%BP。	P-1216, 1352	1212
93-4	172	IW-q-46	III層	台付杯	I C1	後期7~8	口唇・腹底：窓R・窓M・窓L、外面部：窓R・ 窓M・窓L、内面部：窓R・窓M・窓L、底付脚： 外ス、内コガ。	口径：13.1cm、底径：11.3cm、高さ： 6.9cm。	P-1374	1169
93-5	172	IW-q-46	III層	則製杯	I C1	後期7~8	口唇・腹底：窓R・窓M・窓L、外面部：窓R・ 窓M・窓L、内面部：窓R・窓M・窓L、底付脚： 外ス、内コガ。	口径：15.4cm、底径：14.0cm、高さ： 11.4cm。	P-1210	1171
93-6	172	IW-q-46	III層	注口	II 4	後期8	口唇・腹底：窓R・窓M・窓L、外面部：ナギ・ 窓R・窓M・窓L、内面部：ナギ・外ス、内コガ。	口径：7.3cm、底径：1.4cm、高さ： 12.8cm。注口部元H。	P-1213	37
93-7	172	IW-q-46	III層	深杯	II B1	後期7~8	口唇・腹底：窓R・窓M・窓L、外面部：窓R・ 窓M・窓L、内面部：窓R・窓M・窓L、底付脚： 外ス、内コガ。	口径：21.0cm、 残存高14.4cm。	P-1473	1263
93-8	172	IW-q-46	III層	深杯	II B1	後期7~8	口唇・腹底：窓R・窓M・窓L、外面部：窓R・ 窓M・窓L、内面部：窓R・窓M・窓L、底付脚： 外ス、内コガ。	外面部見当たらぬ(未完)。	1417-1- -3-5-6	1357
93-9~11	172	IW-q-46	III層	深杯	II B1	後期7~8	口唇・腹底：窓R・窓M・窓L、外面部：窓R・ 窓M・窓L、内面部：窓R・窓M・窓L、底付脚： 外ス、内コガ。	口径：9.4cm、底径：1.6cm、高さ： 1.6cm。	P-1492	1357
93-12	172	IW-q-46	III層	深杯	II B1	後期7~8	口唇・腹底：窓R・窓M・窓L、外面部：窓R・ 窓M・窓L、内面部：窓R・窓M・窓L、底付脚： 外ス、内コガ。	口径：10.0cm、底径：10.5cm、高さ： 5.5cm。	P-1240	1189

繩文土器観察表(60)

番号	字貫	出土位置	施位	芯種	器形	時期	備考	出土No.	整理No.	
94-1	I72	IWq-46	III層	注口	II	後期7-4	口等:一面底。外腹:一面底。腹部:一面底。施位:なし。	116.12.7m、底径:3.0cm、高さ:27.5cm。口部断面は、施位:なし。	P-126	
94-2	I72	IWq-46	III層	注口		後期7-4	外腹:施部に溝文。次第、施部。施部:ナデ。施位:なし。	口等:一面底。外腹:一面底。施位:なし。	P-1241, 1480	
94-3	I72	IWq-46	III層	縫	III	晚期Ia	5.5cm実現。底部:高台。内腹:ナデ。施位:なし。外腹:裏窓。縫:多く、横長矢状上に施す。外腹:裏窓。	口等:12.0cm。	P-1242	
94-4	I73	IWq-46	III層	半切突起	III	晚期Ib	口等:7.5cm。内腹:ナデ。施位:なし。外腹:裏窓。縫:多く、横長矢状上に施す。外腹:裏窓。	口等:9.9cm、高さ:21.9cm、底径:7.8cm。	P-858	1381
94-5	I73	IWq-46	III層	縫	I Ibis	後期Ia	口等:10.0cm。外腹:裏窓。縫:多く、横長矢状上に施す。外腹:裏窓。	口等:26.8cm、底径:7.6cm、高さ:18.0cm。	P-1292	1215
94-6	I73	IWq-46	III層	合付林	II Ibis	後期Ia	口等:10.0cm。外腹:裏窓。縫:多く、横長矢状上に施す。外腹:裏窓。	口等:31.5cm。	P-1294	1195
94-7	I73	IWq-46	III層	深林	II AS	後期Ia	口等:10.0cm。外腹:裏窓。縫:多く、横長矢状上に施す。外腹:裏窓。	口等:26.0cm、高さ:27.5cm。		1369
94-8	I73	IWq-46	III層	注口	II	後期Ia	口等:10.0cm。外腹:裏窓。縫:多く、横長矢状上に施す。外腹:裏窓。	口等:26.0cm、高さ:27.5cm。		1259
94-9	I73	IWq-46	III層	注口	III	晚期Ia	口等:10.0cm。外腹:裏窓。縫:多く、横長矢状上に施す。外腹:裏窓。	口等:2.8cm、高さ:10.0cm、底径:2.8cm。		1311
95-1	I73	IWq-46	III層	深林	II Ibis	後期Ib	口等:10.0cm。外腹:裏窓。縫:多く、横長矢状上に施す。外腹:裏窓。	口等:26.0cm、高さ:27.5cm。	P-729	1265
95-2	I73	IWq-46	III層	深林	II Ibis	後期Ia	口等:10.0cm。外腹:裏窓。縫:多く、横長矢状上に施す。外腹:裏窓。	口等:21.2cm。	P-733	1332
95-3	I73	IWq-46	III層	粗製深林	I Ibis	後期Ia	口等:10.0cm。外腹:裏窓。縫:多く、横長矢状上に施す。外腹:裏窓。	口等:22.8cm。	P-1367	1234
95-4	I73	IWq-46	III層	粗丸	I Ibis	後期Ia	口等:10.0cm。外腹:裏窓。縫:多く、横長矢状上に施す。外腹:裏窓。	口等:28.2cm、高さ:36.4cm、底径:8.2cm。	P-1474	1303
95-5	I73	IWq-46	III層	粗製深林	I Ibis	後期Ia	口等:10.0cm。外腹:裏窓。縫:多く、横長矢状上に施す。外腹:裏窓。	口等:14.0cm。	P-1474	1228
95-6	I74	IWq-46	III層	粗製林	I Ibis	後期Ia	口等:10.0cm。外腹:裏窓。縫:多く、横長矢状上に施す。外腹:裏窓。	口等:14.1cm、高さ:12.9cm、底径:7.4cm。	P-1211	1175

縄文土器観察表(61)

区番号	写真	出土位置	場所	器種	器形	時期	備考	取上No.	整理No.
95-7	I73	IVq-46	Ⅲ層	粗製G46		後期後 ～後期	外縁：ナメ。底面：平底。内面：ナメ。軸用部：なし。外縁底面：外縁	p-1367	1183
95-8	I74	IVq-48	Ⅲ層	深杯	II 45	後期Ia	外縁後期後 ～後期。外縁：ナメ。内面：ナメ。軸用部：なし。外縁底面：外縁	1392	
95-9	I74	IVq-48	Ⅲ層	深杯	II 45	後期Ia	外縁後期後 ～後期。外縁：ナメ。内面：ナメ。軸用部：なし。外縁底面：外縁	1409	
95-10	I74	IVq-48	Ⅲ層	香炉		後期Ia～8	外縁後期後 ～後期。外縁：ナメ。内面：ナメ。軸用部：なし。外縁底面：外縁	1457	
96-1	I74	IVq-47・ Ⅳq-47上	Ⅲ層	鉢	II 45	後期Ia	外縁後期後 ～後期。外縁：ナメ。内面：ナメ。軸用部：なし。外縁底面：外縁	p-1410	1333
96-2	I74	IVq-47	Ⅲ層	粗製鉢	I 45t	後期後 ～後期	外縁後期後 ～後期。外縁：ナメ。内面：ナメ。軸用部：なし。外縁底面：外縁	p-1631	1217
96-3	I74	IVq-47	Ⅲ層	香炉	II 45t	後期Ia～8	外縁後期後 ～後期。外縁：ナメ。内面：ナメ。軸用部：なし。外縁底面：外縁	p-1196	1179
96-4	I74	IVq-47	Ⅲ層	壺	IV	後期	外縁後期後 ～後期。外縁：ナメ。内面：ナメ。全体に：外縁削鉗。劣化。軸用部：なし。外縁底面：外縁		
96-5	I74	IVq-47	Ⅲ層	粗製G47	I 45t	後期後 ～後期	外縁後期後 ～後期。外縁：ナメ。内面：ナメ。軸用部：なし。外縁底面：外縁	p-1092	202
96-6	I74	IVq-49	Ⅲ層	注口	II 1	後期Ia	外縁後期後 ～後期。外縁：ナメ。内面：ナメ。軸用部：なし。外縁底面：外縁	p-1092	1223
96-7	I74	IVq-49	Ⅲ層	粗製G49	I 45t	後期Ia	外縁後期後 ～後期。外縁：ナメ。内面：ナメ。軸用部：なし。外縁底面：外縁	p-1092	1340
96-8	I74	IVq-50	Ⅲ層	深杯		後期Ia	外縁後期後 ～後期。外縁：ナメ。内面：ナメ。軸用部：なし。外縁底面：外縁	特-43	1362
97-1	I75	IVq-45	Ⅲ層	浅杯	I 45t	後期Ib	外縁後期後 ～後期。外縁：ナメ。内面：ナメ。軸用部：なし。外縁底面：外縁	p-829, 834	253
97-2	I75	IVq-45	Ⅲ層	浅杯	II 45t	後期Ib	外縁後期後 ～後期。外縁：ナメ。内面：ナメ。軸用部：なし。外縁底面：外縁	p-821,	105
							外縁後期後 ～後期。外縁：ナメ。内面：ナメ。軸用部：なし。外縁底面：外縁	808, 837	

繩文土器観察表 (62)

器皿番号	写真	出土位置	層位	器種	器形	時期	備考	版上No.	
97-3	175	IVB-45	III層	深杯	IIa1	後期I-4	平面：底部に圓部を有する浅い盤形。口輪：直線。外側：沈文網(沈文一塊文→沈文)。前面：直線。背面：斜面。前斜面に斜めの凹痕がある。体部：内斜面。内面：ナメ。使用痕：内斜面に擦痕。	1104	
97-4	175	IVB-45	III層	深杯	IIa1	後期I-4	平面：直線。口輪：直線。外側：沈文網(沈文一塊文→沈文)。前面：直線。背面：斜面。前斜面に斜めの凹痕がある。体部：内斜面。内面：ナメ。使用痕：内斜面に擦痕。	1356	
97-5	175	Ⅳ部8上	IVB-45	III層	杯	IIa1	後期I-4	平面：口部に突出した頭部がある。口輪：直線。外側：沈文網(沈文一塊文→沈文)。前面：直線。背面：斜面。前斜面に斜めの凹痕がある。体部：内斜面。内面：ナメ。使用痕：内斜面に擦痕。	1356
97-6	175	Ⅳ部8上	IVB-45	III層	深杯	I C1	後期I-4	平面：口部が浅く、周囲に突出した頭部を持つ。口輪：直線。外側：沈文網(沈文一塊文→沈文)。前面：直線。背面：斜面。前斜面に斜めの凹痕がある。体部：内斜面。内面：ナメ。使用痕：内斜面に擦痕。	1031
97-7	175	IVB-45	III層	深杯	IIa1	後期I-4	平面：口部に突出した頭部がある。口輪：直線。外側：沈文網(沈文一塊文→沈文)。前面：直線。背面：斜面。前斜面に斜めの凹痕がある。体部：内斜面。内面：ナメ。使用痕：内斜面に擦痕。	1102*	
97-8	175	IVB-45	III層	平輪製 台付杯	IIa2	後期I-4	平面：直線。外側：沈文網(沈文一塊文→沈文)。前面：直線。背面：斜面。前斜面に斜めの凹痕がある。体部：内斜面。内面：ナメ。使用痕：内斜面に擦痕。	1352	
97-9	175	IVB-45	III層	平輪製 台付杯	IIa2	後期I-4	平面：直線。外側：沈文網(沈文一塊文→沈文)。前面：直線。背面：斜面。前斜面に斜めの凹痕がある。体部：内斜面。内面：ナメ。使用痕：内斜面に擦痕。	1352	
97-10	175	IVB-45	III層	平輪製杯	I B2	後期I-4	平面：直線。外側：沈文網(沈文一塊文→沈文)。前面：直線。背面：斜面。前斜面に斜めの凹痕がある。体部：内斜面。内面：ナメ。使用痕：内斜面に擦痕。	1352	
97-11	175	Ⅳ部9下	IVB-45	III層	平輪製杯	I C1	後期I-4	平面：直線。外側：沈文網(沈文一塊文→沈文)。前面：直線。背面：斜面。前斜面に斜めの凹痕がある。体部：内斜面。内面：ナメ。使用痕：内斜面に擦痕。	1354
98-1	176	IVB-45	III層	粗製杯	I B2	後期I-4	平面：直線。外側：沈文網(沈文一塊文→沈文)。前面：直線。背面：斜面。前斜面に斜めの凹痕がある。体部：内斜面。内面：ナメ。使用痕：内斜面に擦痕。	168	
98-2	176	IVB-45	III層	粗製杯	I B2	後期I-4	平面：直線。外側：沈文網(沈文一塊文→沈文)。前面：直線。背面：斜面。前斜面に斜めの凹痕がある。体部：内斜面。内面：ナメ。使用痕：内斜面に擦痕。	275	
98-3	176	IVB-45	III層	粗製杯	I A1	後期I-4	平面：直線。外側：沈文網(沈文一塊文→沈文)。前面：直線。背面：斜面。前斜面に斜めの凹痕がある。体部：内斜面。内面：ナメ。使用痕：内斜面に擦痕。	164	
98-4	176	IVB-45	III層	深杯	-	-	後期I-4	平面：直線。外側：沈文網(沈文一塊文→沈文)。前面：直線。背面：斜面。前斜面に斜めの凹痕がある。体部：内斜面。内面：ナメ。使用痕：内斜面に擦痕。	266

縄文土器観察表(63)

器番号	出土位置	場所	器種	形態	時期	参考	段上No.	基準No.
96-5	IW-45	III層	粗陶杯	口縁：直角、外面：ケズリ。内面：ケズリのナダ。施土：小粒、他用削：外スス。	後期後窓 ～後期	口径：29.8cm、底径：29.8cm。		300
96-6	IW-45	III層	粗陶杯	口縁：直角、外面：ケズリ。内面：外スス。 手子：施土：珍化、他用削：外スス。	後期後窓 ～後期	口径：26.0cm、底径：26.0cm、高さ：26.4cm、底径： 8.6cm。	P-1082	186
96-7	IW-45	III層	粗陶杯	口縁：直角、外面：珍化、他用削：外スス、ヨコゲ。	後期後窓 ～後期	口径：29.0cm、底径：26.4cm、底径： 8.6cm。	P-1094	181
96-8	IW-45	III層	粗陶杯	口縁：直角、外面：珍化、他用削：外スス。	後期後窓 ～後期	口径：41.0cm、内口：	P-1006	299
96-9	IW-45	III層	粗陶杯	口縁：直角、外面：ケズリ。施土：ナダ。底部：半平、底面ケズリ。施土：海綿削	後期後窓 ～後期	口径：20.8cm、底径：20.8cm、底径： 6.6cm。	P-1299	182
99-1	IW-46	III層	深杯	底面：直角、縁：直角。内面：直角。外面：直角。他用削：外スス。 内コガタ：円コガタ。	後期	口径：6.5cm、底径：2.4cm、高さ：15.0cm、底面：高さから欠損し、欠損部の内側に黒い斑状（スヌードル）付。	P-1253	1272
99-2	IW-46	III層	注口	III式 後期～4	口縁：直角、外面：直角。内面：直角。外面：直角。他用削：外スス。 内コガタ：円コガタ。	口径：4.0cm、底径：1.6cm、高さ： 17.8cm。注口部は丸く欠損。	P-1252	30
99-3	IW-46	III層	注口	II式 後期7-4	口縁：直角、外面：直角。内面：直角。外面：直角。他用削：外スス。 内コガタ：直角。	口径：4.6cm、底径：1.6cm、高さ： 12.0cm。口縁外面に楕円形のよ。	P-1396	1221
99-4	IW-46	III層	注口	III式 後期7-4	口縁：直角、外面：直角。内面：直角。外面：直角。他用削：外スス。	口径：12.0cm、高さ： 12.0cm。口縁外面に楕円形のよ。	P-1394	1348
99-5	IW-46	III層	粗陶杯	口縁：直角、外面：直角。内面：直角。外面：直角。他用削：外スス。	後期後窓 ～後期	口径：11.7cm、底径：9.6cm、底径： 5.4cm。	P-1393	1178
99-6	IW-46	III層	粗陶杯	口縁：直角、外面：直角。内面：直角。外面：直角。他用削：外スス。	後期後窓 ～後期	口径：12.0cm、底径：9.6cm、底径： 5.4cm。	P-1392	1338
99-7	-	IW-46	III層	粗陶杯	口縁：直角、外面：直角。内面：直角。外面：直角。他用削：外スス。	口径：12.0cm、底径：9.6cm、底径： 5.4cm。	P-1398	1331
99-8	IW-46	III層	粗陶杯	口縁：直角、外面：直角。内面：直角。外面：直角。他用削：外スス。	後期後窓 ～後期	口径：12.0cm、底径：9.6cm、底径： 5.4cm。	P-1394, 1604	1329
100-1	IW-46	III層	深杯	口縁：直角、外面：直角。内面：直角。外面：直角。他用削：外スス。	後期～4	口径：31.2cm。	P-1694, 1669	1351
100-2	IW-46	III層	深杯	口縁：直角、外面：直角。内面：直角。外面：直角。他用削：外スス。	後期	口径：18.0cm、底径：18.0cm、高さ：18.0cm、底径： 6.0cm。	P-1139	1262
100-3	IW-46	III層	深杯	口縁：直角、外面：直角。内面：直角。外面：直角。他用削：外スス。	後期7-4	口径：29.8cm、底径：29.8cm、高さ：29.8cm、底径： 6.0cm。	P-1305	1250
100-4	IW-46	III層	深杯	口縁：直角、外面：直角。内面：直角。外面：直角。他用削：外スス。	後期～4	口径：30.0cm、底径：30.0cm、高さ：30.0cm、底径： 6.0cm。	P-961, 1141	1336

繩文土器観察表(64)

図版号	写真	出土位置	層位	器形	時期	備考	版上No.	整理No.
109-5	IWR-46	III層	深井	1C1a	後期7-4	皮張口縫、底部部には円筒形突起を有する外縫。内縫は斜めに開き、外縫は直角に開く。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。	11往: 24.1cm、器高：8.5cm、底径：4.5cm	P-1669, 1670
109-6	IWR-46	III層	壺	III	後期7-4	口縫に圓孔。底部部には円筒形突起を有する外縫。内縫は斜めに開き、外縫は直角に開く。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。	11往: 12.0cm、器高：8.5cm、底径：4.5cm	P-1442
109-7	IWR-46	III層	粗製壺	I C1a	後期7-8	口縫に圓孔。底部部には円筒形突起を有する外縫。内縫は斜めに開き、外縫は直角に開く。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。	11往: 12.0cm、器高：8.5cm、底径：4.5cm	P-1442
109-8	IWR-46	III層	注口	II	後期7-4	口縫に圓孔。底部部には円筒形突起を有する外縫。内縫は斜めに開き、外縫は直角に開く。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。	11往: 5.4cm、底径：1.1cm、器高：9.0cm	P-1471
109-9	IWR-46	III層	注口	II	後期7-4	口縫に圓孔。底部部には円筒形突起を有する外縫。内縫は斜めに開き、外縫は直角に開く。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。	11往: 7.2cm、底径：1.5cm、器高：4.0cm、注口部底径：1.0cm	P-1413
109-10	IWR-46	III層	注口	III	後期7-4	口縫に圓孔。底部部には円筒形突起を有する外縫。内縫は斜めに開き、外縫は直角に開く。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。	11往: 9.0cm、底径：2.1cm、器高：18.1cm、注口部底径：1.0cm、注口部底径：1.0cm	P-1447
109-11	IWR-46	III層	香炉	IV	後期7-8	各部の上半部が、側面に円形の窪みが施された外縫。内縫は斜めに開き、外縫は直角に開く。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。	11往: 2.0cmの次第は側面が少し、外縫は直角に開く。	P-1444
101-1	IWR-46	III層	透井	I B1t	後期Ia	口縫に圓孔。底部部には円筒形突起を有する外縫。内縫は斜めに開き、外縫は直角に開く。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。	11往: 9.0cm、施文刺把手+調文-北	P-1412
101-2	IWR-46	III層	透井	III	後期Ia	口縫に圓孔。底部部には円筒形突起を有する外縫。内縫は斜めに開き、外縫は直角に開く。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。	11往: 11.1cm、器高：36.7cm、底径：8.5cm	P-1445
101-3	IWR-46	III層	透井	III	後期Ia	口縫に圓孔。底部部には円筒形突起を有する外縫。内縫は斜めに開き、外縫は直角に開く。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。	11往: 9.0cm、施文刺把手+調文-北	P-1446
101-4	IWR-46	III層	粗製壺	III	後期Ia	口縫に圓孔。底部部には円筒形突起を有する外縫。内縫は斜めに開き、外縫は直角に開く。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。	11往: 11.1cm、器高：36.7cm、底径：8.5cm	P-1447
101-5	IWR-46	III層	粗製壺	I B1t	後期Ia	口縫に圓孔。底部部には円筒形突起を有する外縫。内縫は斜めに開き、外縫は直角に開く。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。	11往: 11.1cm、器高：36.7cm、底径：8.5cm	P-1448
101-6	IWR-46	III層	粗製壺	I A1	後期Ia	口縫に圓孔。底部部には円筒形突起を有する外縫。内縫は斜めに開き、外縫は直角に開く。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。	11往: 11.1cm、器高：36.7cm、底径：8.5cm	P-1449
101-7	IWR-46	III層	粗製壺	II C1	後期Ia	口縫に圓孔。底部部には円筒形突起を有する外縫。内縫は斜めに開き、外縫は直角に開く。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。	11往: 11.1cm、器高：36.7cm、底径：8.5cm	P-1450
102-1	IWR-46	III層	粗製壺	I A1	後期Ia	口縫に圓孔。底部部には円筒形突起を有する外縫。内縫は斜めに開き、外縫は直角に開く。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。	11往: 11.1cm、器高：36.7cm、底径：8.5cm	P-1451
102-2	IWR-47	III層	台付杯	I B1t	後期Ia	口縫に圓孔。底部部には円筒形突起を有する外縫。内縫は斜めに開き、外縫は直角に開く。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。	11往: 11.1cm、器高：36.7cm、底径：8.5cm	P-1452
102-3	IWR-47	III層	台付杯	I B1t	後期Ia	口縫に圓孔。底部部には円筒形突起を有する外縫。内縫は斜めに開き、外縫は直角に開く。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。	11往: 11.1cm、器高：36.7cm、底径：8.5cm	P-1453
						口縫に圓孔。底部部には円筒形突起を有する外縫。内縫は斜めに開き、外縫は直角に開く。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。	11往: 11.1cm、器高：36.7cm、底径：8.5cm	P-1454
						口縫に圓孔。底部部には円筒形突起を有する外縫。内縫は斜めに開き、外縫は直角に開く。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。内縫の底には内縫側に開いた穴がある。	11往: 11.1cm、器高：36.7cm、底径：8.5cm	P-1455

縄文土器観察表(65)

次番号	写真	出土位置	層位	器種	器形	時期	備考	段上No.	審査官
番号									
102-4	180	IW-E-47	III層	注口	H1	後期7-4	口横：5.6cm、高さ：9.5cm。施文有(品)。注口部笠形。器底一端一火痕。	P-1181	35
102-5	180	IW-E-47	III層	注口	H1	後期1a	口横：5.2cm、内面：ナメ。外腹：無文。器表面施文。底部に突出した骨頭による膨らみがある。底土：4mm以下的小粒。	P-1027	201
102-6	180	IW-E-47・ IW-E-51	III層	浅杯	1.8S1t	後期7-4	口横：5.5cm、高さ：10.2cm。器底一端一火痕。器底は円柱状の骨頭による膨らみがある。底土：4mm以下の中粒。	P-1354	
102-7	180	IW-E-47	III層	粗製杯	1.8a1	後期後期 ～後期	口横：5.2cm、内面：ナメ。底土：高台。底土：ナメ。底部：高台。底土：ナメ。内面：ナメ。外腹：無文。器表面に突出した骨頭による膨らみがある。底土：4mm以下の中粒。	P-1296	
102-8	180	IW-E-47	III層	粗製杯	1.8a1t	後期後期 ～後期	口横：5.2cm、内面：ナメ。底土：高台。底土：ナメ。内面：ナメ。外腹：無文。器表面に突出した骨頭による膨らみがある。底土：4mm以下の中粒。	P-14388	1309
102-9	180	IW-E-47	III層	半精製盃	III	後期1a	口横：5.2cm、内面：ナメ。底土：高台。底土：ナメ。内面：ナメ。外腹：無文。器表面に突出した骨頭による膨らみがある。底土：4mm以下の中粒。	P-1278	1213
103-1	180	IW-E-47	III層	台付杯	1.C3	後期7-4	口横：5.2cm、内面：ナメ。外腹：無文。器表面に突出した骨頭による膨らみがある。底土：外腹ス。内コダ。	P-1502	1322
103-2	180	IW-E-47	III層	杯	1.8S1t	後期7-4	口横：5.2cm、内面：ナメ。外腹：無文。器表面に突出した骨頭による膨らみがある。底土：外腹ス。内コダ。	P-1504	1177
103-3	180	IW-E-47	III層	盃	III	後末～後期1a	口横：5.2cm、内面：ナメ。外腹：無文。器表面に突出した骨頭による膨らみがある。底土：外腹ス。内コダ。	P-1501	1222
103-4	180	IW-E-47	III層	台付杯	1.8S1t	後期	口横：5.2cm、内面：ナメ。外腹：無文。器表面に突出した骨頭による膨らみがある。底土：外腹ス。内コダ。	P-1094	1239
103-5	180	IW-E-47	III層	浅杯	H5	後期	口横：5.2cm、内面：ナメ。外腹：無文。器表面に突出した骨頭による膨らみがある。底土：外腹ス。内コダ。	P-1066	1225
103-6	181	IW-E-47	III層	注口	H1	後期7-4	口横：5.6cm、高さ：2.4cm。器底：ナメ。底土：高台。内面：ナメ。	P-1306	1238
103-7	181	IW-E-47	III層	注口	III	後期7-4a	口横：5.6cm、高さ：2.4cm。器底：ナメ。底土：高台。内面：ナメ。	P-1408	1278
103-8	181	IW-E-47	III層	注口	H5	後期7-4	口横：5.6cm、高さ：2.4cm。器底：ナメ。底土：高台。内面：ナメ。	P-1254	29
103-9	181	IW-E-47	III層	浅杯	H5o1t	後期	口横：5.2cm、高さ：7.0cm。器底：ナメ。底土：高台。内面：ナメ。	P-1255	1256

埴輪土器観察表(66)

図版号	写真	出土位置	層位	器種	器形	時期	備考	頂上No.	整理No.
103-10	181	IVR-47	III層	台付深杯	IIホ1t	後期7-4	円形底付又は直下に伴う突起と、外側を突出する口唇部。前面は前後で分ける頭部を有する。背面は前後で分ける山形状部。前頭部の側面には横筋がある。頭部を構成する2箇所の窓孔は、外側に2965+2054BP。内側に2965+2054BP。外表面は彫形れり。西存3/5。	1349	
103-11	181	IVR-47	III層	深杯	IIホ1t	後期7-4	円形底付又は直下に伴う突起と、外側を突出する口唇部。前面は前後で分ける頭部を有する。背面は前後で分ける山形状部。前頭部の側面には横筋がある。頭部を構成する2箇所の窓孔は、外側に2965+2054BP。内側に2965+2054BP。外表面は彫形れり。西存3/5。	1324	
104-1	181	IVR-48	III層	深杯	IIホ1t	後期7-4	円形底付又は直下に伴う突起と、外側を突出する口唇部。前面は前後で分ける頭部を有する。背面は前後で分ける山形状部。前頭部の側面には横筋がある。頭部を構成する2箇所の窓孔は、外側に2965+2054BP。内側に2965+2054BP。外表面は彫形れり。西存3/5。	1335	
104-2	181	IVR-48	III層	深杯	IIホ1t	後期7-4	円形底付又は直下に伴う突起と、外側を突出する口唇部。前面は前後で分ける頭部を有する。背面は前後で分ける山形状部。前頭部の側面には横筋がある。頭部を構成する2箇所の窓孔は、外側に2965+2054BP。内側に2965+2054BP。外表面は彫形れり。西存3/5。	1226	
104-3	[81]	IVR-48	III層	深杯	II	後期7-4	円形底付又は直下に伴う突起と、外側を突出する口唇部。前面は前後で分ける頭部を有する。背面は前後で分ける山形状部。前頭部の側面には横筋がある。頭部を構成する2箇所の窓孔は、外側に2965+2054BP。内側に2965+2054BP。外表面は彫形れり。西存3/5。	1410	
104-4	181	IVR-48	III層	台付深杯	Iホ1t	後期7-4	円形底付又は直下に伴う突起と、外側を突出する口唇部。前面は前後で分ける頭部を有する。背面は前後で分ける山形状部。前頭部の側面には横筋がある。頭部を構成する2箇所の窓孔は、外側に2965+2054BP。内側に2965+2054BP。外表面は彫形れり。西存3/5。	1182	
104-5	182	IVR-48	III層	深杯	IIホ1t	後期7-4	円形底付又は直下に伴う突起と、外側を突出する口唇部。前面は前後で分ける頭部を有する。背面は前後で分ける山形状部。前頭部の側面には横筋がある。頭部を構成する2箇所の窓孔は、外側に2965+2054BP。内側に2965+2054BP。外表面は彫形れり。西存3/5。	1204	
104-6	182	IVR-48	III層	台付深杯	Iホ5t	後期7-4	円形底付又は直下に伴う突起と、外側を突出する口唇部。前面は前後で分ける頭部を有する。背面は前後で分ける山形状部。前頭部の側面には横筋がある。頭部を構成する2箇所の窓孔は、外側に2965+2054BP。内側に2965+2054BP。外表面は彫形れり。西存3/5。	1235	
104-7	182	IVR-48	III層	深杯	IIホ5	後期7-4	円形底付又は直下に伴う突起と、外側を突出する口唇部。前面は前後で分ける頭部を有する。背面は前後で分ける山形状部。前頭部の側面には横筋がある。頭部を構成する2箇所の窓孔は、外側に2965+2054BP。内側に2965+2054BP。外表面は彫形れり。西存3/5。	1320	
104-8	182	IVR-48	III層	深杯	IIホ5	後期7-4	円形底付又は直下に伴う突起と、外側を突出する口唇部。前面は前後で分ける頭部を有する。背面は前後で分ける山形状部。前頭部の側面には横筋がある。頭部を構成する2箇所の窓孔は、外側に2965+2054BP。内側に2965+2054BP。外表面は彫形れり。西存3/5。	1256	

縄文土器観察表(67)

器番号	出土位置	層位	器種	形態	時期	備考	段上No.	筆記	
104-9	182	IVe-48	III層	深杯	晚期Ia	口唇：圓。外面：深部十字切欠線を有す。内面：ナギ。施土：糊。表面糞付。使用痕：外スス、内コガ。	1413		
104-10	182	IVe-48	III層	深杯	Ila-t	半輪形。外面：口唇：直角。外底：浅底。裏面：瓦底。施土：糊。表面糞付。體部は4等分された後、体部下端ナギ。内面：ナギ。施土：糊。	1411		
104-11	182	IVe-48*	III層	浅杯	II 2t	半輪形。外面：口唇：直角。外底：浅底。裏面：瓦底。施土：糊。表面糞付。使用痕：外スス、内コガ。	P-918	1208	
105-1	182	IVe-49	III層	深杯	II 6t	半輪形。外面：口唇：直角。外底：浅底。裏面：瓦底。施土：糊。表面糞付。使用痕：外スス、内コガ。	P-1120	1307	
105-2	182	IVe-49	III層	深杯	II 6t	半輪形。外面：口唇：直角。外底：浅底。裏面：瓦底。施土：糊。表面糞付。使用痕：外スス、内コガ。	P-1067	1238	
105-3	182	IVe-49	III層	深杯	II 6t	半輪形。外面：口唇：直角。外底：浅底。裏面：瓦底。施土：糊。表面糞付。使用痕：外スス、内コガ。	1406*	1405	
105-4	182	IVe-49	III層	浅杯	II 1	半輪形。口唇：直角。外底：浅底。裏面：瓦底。施土：糊。表面糞付。使用痕：外スス、内コガ。	1407		
105-5	182	IVe-49	III層	浅杯	II 1	半輪形。口唇：直角。外底：浅底。裏面：瓦底。施土：糊。表面糞付。使用痕：外スス、内コガ。	P-1103	1408	
105-6	182	IVe-49	III層	粗製杯	I 1a-t	後期後要。口唇：直角。外底：ケブリのち丸がきに近いナギ。施土：台面。外面：ナギ。施土：糊。表面糞付。使用痕：外スス、内コガ。	P-1337*	1185	
105-7	182	IVe-49	III層	粗製杯	I 1b-t	後期後要。口唇：直角。外底：ケブリのち丸がきに近いナギ。施土：台面。外面：ナギ。施土：糊。表面糞付。使用痕：外スス、内コガ。	P-1333	1210	
105-8	182	IVe-49*	III層	粗製杯	I 1a-t	後期後要。口唇：直角。外底：ケブリのち丸がきに近いナギ。施土：台面。外面：ナギ。施土：糊。表面糞付。使用痕：外スス、内コガ。	P-1558	1417*	
9	~12	183	IVe-48	III層	粗製杯	I 1a-t	後期後要。口唇：直角。外底：ケブリのち丸がきに近いナギ。施土：台面。外面：ナギ。施土：糊。表面糞付。使用痕：外スス、内コガ。	1418	1,3
105-10	183	49	III層	粗製深杯	II 2-t	後期後要。口唇：直角。外底：ケブリのち丸がきに近いナギ。施土：台面。外面：ナギ。施土：糊。表面糞付。使用痕：外スス、内コガ。	P-1562	1346	
105-11	183	IVe-50	III層	粗製深杯	I 1a-t	後期後要。口唇：直角。外底：ケブリのち丸がきに近いナギ。施土：台面。外面：ナギ。施土：糊。表面糞付。使用痕：外スス、内コガ。	1306		
105-12	183	IVe-50	III層	台付杯	III	後期後要。口唇：直角。外底：ケブリのち丸がきに近いナギ。施土：台面。外面：ナギ。施土：糊。表面糞付。使用痕：外スス、内コガ。	P-1184	1201	
105-13	183	IVe-50	III層	注口	III	後期後要。口唇：直角。外底：ケブリのち丸がきに近いナギ。施土：台面。外面：ナギ。施土：糊。表面糞付。使用痕：外スス、内コガ。	P-1291	18	
105-14	183	IVe-50	III層	粗製深杯	I 1a-t	後期後要。口唇：直角。外底：ケブリのち丸がきに近いナギ。施土：台面。外面：ナギ。施土：糊。表面糞付。使用痕：外スス、内コガ。	P-1150	289	
105-15	183	IVe-50	III層	注口	III	後期後要。口唇：直角。外底：ケブリのち丸がきに近いナギ。施土：台面。外面：ナギ。施土：糊。表面糞付。使用痕：外スス、内コガ。	P-1150	183	
105-16	183	IVe-S-45	III層	粗製深杯	I 1a-t	後期後要。口唇：直角。外底：ケブリのち丸がきに近いナギ。施土：台面。外面：ナギ。施土：糊。表面糞付。使用痕：外スス、内コガ。	P-1179	171	
106-2	183	IVe-S-45	III層	粗製杯	II 6-t	後期後要。口唇：直角。外底：ケブリのち丸がきに近いナギ。施土：糊。表面糞付。使用痕：外スス、内コガ。			
106-3	183	IVe-S-45	III層	台付杯	II 6-t	後期後要。口唇：直角。外底：ケブリのち丸がきに近いナギ。施土：糊。表面糞付。使用痕：外スス、内コガ。			

繩文土器観察表(68)

図版号	写真	出土位置	層位	器種	器形	時期	備考	頂上No.	整理No.
106-4	番號9下	IV-S-45	Ⅲ層	縦	口盤:面取なし。外腹:口付付生地。底盤:コガラ。体部:比腹。直脚:ミガラ。	口盤3 発期3	口盤:面取なし。外腹:口付付生地。底盤:コガラ。体部:比腹。直脚:ミガラ。	11透・8.4cm、底径:3.0cm、器高:13.5cm、外腹:口付付生地。底盤:コガラ。	P-1055 178
106-5	184	IV-S-45	Ⅲ層 Ⅲ層下部	縦	口盤:面取なし。外腹:口付付生地。底盤:コガラ。直脚:ミガラ。	口盤3 発期4	口盤:面取なし。外腹:口付付生地。底盤:コガラ。直脚:ミガラ。	11透・9.0cm、器高:17.6cm、底径:7.4cm。	1080
106-6	184	IV-S-45	Ⅲ層	縦	口盤:面取なし。外腹:口付付生地。底盤:コガラ。直脚:ミガラ。	口盤3 発期4	口盤:面取なし。外腹:口付付生地。底盤:コガラ。直脚:ミガラ。	11透・12.8cm、器高:8.2cm、底径:4.1cm。	13透(外腹彫刻) P-1297 157
106-7	184	IV-S-45	Ⅲ層	横	口盤:面取なし。外腹:口付付生地。底盤:コガラ。直脚:ミガラ。	口盤3 発期4	口盤:面取なし。外腹:口付付生地。底盤:コガラ。直脚:ミガラ。	11透・23.0cm、器高:24.3cm、底径:9.0cm。	P-1180 255
106-8	184	IV-S-45	Ⅲ層	横	口盤:面取なし。外腹:口付付生地。底盤:コガラ。直脚:ミガラ。	口盤3 発期4	口盤:面取なし。外腹:口付付生地。底盤:コガラ。直脚:ミガラ。	11透・27.6cm、器高:30.1cm、底径:9.2cm。	P-1057 296
107-1	184	IV-S-46	Ⅲ層	横	口盤:面取なし。外腹:口付付生地。底盤:コガラ。直脚:ミガラ。	口盤3 発期4	口盤:面取なし。外腹:口付付生地。底盤:コガラ。直脚:ミガラ。	11透・21.2cm、器高:6.4cm、底高:14.5cm。外腹:口付付生地。底盤:コガラ。	1310 P-997
107-2	184	IV-S-46	Ⅲ層	横	口盤:面取なし。外腹:口付付生地。底盤:コガラ。直脚:ミガラ。	口盤3 発期4	口盤:面取なし。外腹:口付付生地。底盤:コガラ。直脚:ミガラ。	11透・19.2cm、外腹:口付付生地。底盤:コガラ。	1454
107-3	184	IV-S-46	Ⅲ層	横	口盤:面取なし。外腹:口付付生地。底盤:コガラ。直脚:ミガラ。	口盤3 発期4	口盤:面取なし。外腹:口付付生地。底盤:コガラ。直脚:ミガラ。	11透・19.2cm、外腹:口付付生地。底盤:コガラ。	1208 P-1171
107-4	184	IV-S-46	Ⅲ層	横	口盤:面取なし。外腹:口付付生地。底盤:コガラ。直脚:ミガラ。	口盤3 発期4	口盤:面取なし。外腹:口付付生地。底盤:コガラ。直脚:ミガラ。	11透・19.2cm、外腹:口付付生地。底盤:コガラ。	1202
107-5	184	IV-S-46	Ⅲ層	横	口盤:面取なし。外腹:口付付生地。底盤:コガラ。直脚:ミガラ。	口盤3 発期4	口盤:面取なし。外腹:口付付生地。底盤:コガラ。直脚:ミガラ。	11透・17.7cm、底径:7.0cm、器高:18.0cm。	1225
107-6	184	IV-S-46	Ⅲ層	横	口盤:面取なし。外腹:口付付生地。底盤:コガラ。直脚:ミガラ。	口盤3 発期4	口盤:面取なし。外腹:口付付生地。底盤:コガラ。直脚:ミガラ。	11透・17.7cm、底径:7.0cm、器高:18.0cm。	1363
107-7	184	IV-S-46	Ⅲ層	横	口盤:面取なし。外腹:口付付生地。底盤:コガラ。直脚:ミガラ。	口盤3 発期4	口盤:面取なし。外腹:口付付生地。底盤:コガラ。直脚:ミガラ。	11透・17.7cm、底径:7.0cm、器高:18.0cm。	1303
108-1	185 番號8上	IV-S-47	Ⅲ層	横	口盤:面取なし。外腹:口付付生地。底盤:コガラ。直脚:ミガラ。	口盤3 発期4	口盤:面取なし。外腹:口付付生地。底盤:コガラ。直脚:ミガラ。	11透・17.7cm、底径:7.0cm、器高:18.0cm。	P-1230 1219
108-2	185	IV-S-47	Ⅲ層	横	口盤:面取なし。外腹:口付付生地。底盤:コガラ。直脚:ミガラ。	口盤3 発期4	口盤:面取なし。外腹:口付付生地。底盤:コガラ。直脚:ミガラ。	11透・17.6cm、底径:6.6cm、器高:16.0cm。外腹:口付付生地。底盤:コガラ。	P-1781 100

縄文土器観察表(69)

区分号	出上位置	層位	器種	器形	時期	備考	段上No.	審査官	
108-3	185	IV-S-47	III層	深杯	口幅：面取、外腹：底輪。脚は柱頭形にして2段。体部半ばに段波の凹凸性もある。	口幅：面取、外腹：底輪。脚は柱頭形にして2段。体部半ばに段波の凹凸性もある。ナメ、密閉され、外腹に大さきの窪付けられる。ナメ、内腹：	P-1768	1401	
108-4	185	IV-S-47	III層	粗製深杯	後期7-3	ナメ、脚：ナメ。脚付。使用痕：タコアコガ。脚削痕。外用痕：外腹：体部上に深くX線。下部はナメ。底盤：高18.4cm、腹径：15.5cm、高径：7.0cm、器高：	P-1765	43	
108-5	185	卷頭8上	IV-S-47	粗製深杯	II段1t	口幅：16.0cm、底径：15.5cm、高：7.0cm、器高：			
108-5	185	IV-S-47	III層	粗製杯	後期7-3	脚：ナメ。脚付。外腹：ナメ。内腹：内腹に黒褐模るため底用痕	P-1769	1209	
108-6	185	IV-S-47	III層	粗製杯	I段1t	口幅：19.2cm、器高：15.5cm、底径：	P-1770	1186	
108-7	185	IV-S-47	III層	深杯	後期7-8	口幅：面取、外腹：ナメ。内腹：底盤が開けている。このよくなな形	P-1346	1361	
108-8	185	IV-S-47	III層	粗製深杯	後期後7-8	口幅：面取、外腹：ナメ。内腹：底盤が開けている。このよくなな形	P-1347	1347	
108-9	185	IV-S-47	III層	粗製杯	後期後7-8	口幅：面取、外腹：ナメ。内腹：底盤が開けている。このよくなな形	P-1729	1233	
108-10	185	IV-S-47	III層	粗製杯	I段1t	口幅：面取、外腹：ナメ。内腹：底盤が開けている。このよくなな形	P-1349	1404	
108-11	185	IV-S-47	III層	粗製杯	I段1t	口幅：面取、外腹：ナメ。内腹：底盤が開けている。このよくなな形	P-1258	1246	
108-12	185	IV-S-47	III層	粗製杯	II段1t	口幅：面取、外腹：ナメ。内腹：底盤が開けている。このよくなな形	P-1222	1176	
109-1,2	186	IV-S-48	III層	半精製深杯	III段1t	口幅：面取、外腹：ナメ。内腹：底盤が開けている。このよくなな形	P-1221	99	
109-3	186	IV-S-48	III層	深杯	IV	口幅：面取、外腹：ナメ。内腹：底盤が開けている。このよくなな形	P-1559	1352	
109-4	186	卷頭8上	IV-S-48	III層	半精製深杯	IV	口幅：面取、外腹：ナメ。内腹：底盤が開けている。このよくなな形	P-1721	1229
109-5	186	IV-S-48	III層	深杯	I段1t	口幅：面取、外腹：ナメ。内腹：底盤が開けている。このよくなな形	P-1761	1761	
109-6	186	IV-S-48	III層	深杯	II段1t	口幅：面取、外腹：ナメ。内腹：底盤が開けている。このよくなな形	P-1761	1328	
109-7	186	IV-S-48	III層	粗製杯	II段7-4	口幅：面取、外腹：ナメ。内腹：底盤が開けている。このよくなな形	P-1822, 1823		
110-1	186	IV-S-48	III層	注口	II	口幅：8.9cm、底径：2.0cm、器高：	P-1821-2	32	
110-2	187	IV-S-48	III層	粗製杯	II段1t	口幅：8.9cm、底径：2.0cm、器高：	P-1758	1253	
						口幅：8.9cm、底径：2.0cm、器高：	P-1758	1211	

繩文土器観察表(70)

番号	文書	出土層	層位	芯種	器形	時期	特徴	備考	段上No.
110-3	187	WS-48	III層	注口	III型 晚期IIb	後期	單口部に突起(1個)。注口部の上に突起。口唇：弧状・圓錐形。外腹：直腹。底盤：圓錐形。表面：三面火。外腹全体が褐色に「L」の字状に燒いてある。底盤：ナデ。口唇：ナデ。底盤：ナデ。	口径：12.0cm。注口部突出。	P-1756, 1794, 1892 1359
110-4	186	WS-48	III層	注口	III 晚期IIb	後期	口唇：圓錐形。外腹：直腹。底盤：圓錐形。表面：三面火。外腹全体が褐色に燒いてある。底盤：ナデ。口唇：ナデ。骨質。使用痕：なし。	口径：8.4cm。底高：10.6cm。底径：2.5cm。注口部底盤が焼けた。底盤：ナデ。表面：焼成。	P-1802 1172
110-5	187	WS-48	III層	粗製杯	I型I 後期IIb	後期後～晩期	口唇：圓錐形。外腹：直腹。底盤：圓錐形。底高：低平な高さ。内面：ナデ。底盤：砂質。海綿骨質：ナデ。外腹：黒色。	口径：12.0cm。底高：18.6cm。底径：8.4cm。底盤：砂質。	P-1753, 1794 1297
111-1	187	WS-48	III層	深杯	II型I 後期IIb	後期後～晩期	小腹部口縁：有孔状の切欠孔。内面：ナデ。底盤：ナデ。外腹：圓錐形。表面：ナデ。外腹：外腹全体が褐色に燒いてある。底盤：ナデ。外腹：外腹全体が褐色に燒いてある。底盤：ナデ。	口径：29.0cm。底高：(頸部2-3cm)。外腹：骨質化物年代未定。	P-1716, 1718 1249
111-2	187	WS-48	III層	粗製杯	II型II 後期後～晩期	後期後～晩期	小腹部口縁に突起(1個)。口唇：斜口。外腹：圓錐形。内面：ナデ。底盤：ナデ。外腹：外腹全体が褐色に燒いてある。底盤：ナデ。外腹：外腹全体が褐色に燒いてある。底盤：ナデ。	口径：19.2cm。底高：(頸部2-3cm)。外腹：骨質化物年代未定。	P-1717, 1795, 1890 1290
111-3	187	WS-48	III層	粗製杯	II型II 後期後～晩期	後期後～晩期	小腹部口縁：圓錐形。外腹：圓錐形。内面：ナデ。底盤：ナデ。外腹：外腹全体が褐色に燒いてある。底盤：ナデ。外腹：外腹全体が褐色に燒いてある。底盤：ナデ。	口径：13.8cm。底高：(頸部2-3cm)。外腹：骨質化物年代未定。	P-1759 1314
111-4	187	WS-48	III層	深杯	II型II 後期後～晩期	後期後～晩期	底盤：圓錐形。外腹：圓錐形。表面：直腹。外腹：外腹全体が褐色に燒いてある。底盤：ナデ。外腹：外腹全体が褐色に燒いてある。底盤：ナデ。外腹：外腹全体が褐色に燒いてある。底盤：ナデ。	口径：27.0cm。底高：(頸部2-3cm)。外腹：骨質化物年代未定。	P-1318 1257
111-5	187	WS-48	III層	深杯	II型II 後期後～晩期	後期後～晩期	底盤：圓錐形。外腹：圓錐形。表面：直腹。外腹：外腹全体が褐色に燒いてある。底盤：ナデ。外腹：外腹全体が褐色に燒いてある。底盤：ナデ。外腹：外腹全体が褐色に燒いてある。底盤：ナデ。	口径：21.4cm。底高：(頸部2-3cm)。外腹：骨質化物年代未定。	P-1817 1296
112-1	187	WS-48 W-49	III層	深杯	II型II 後期後～晩期	後期後～晩期	底盤：圓錐形(5cm半径)。口唇：直口。外腹：圓錐形。表面：ナデ。底盤：砂質。外腹：外腹全体が褐色に燒いてある。底盤：ナデ。外腹：外腹全体が褐色に燒いてある。底盤：ナデ。	口径：39.0cm。底高：8.0cm。底径：35.5cm。修理丸あら9.0。完形。	P-1722, 1763 1312
112-2	186	WS-48	III層	粗製盆	III 後期	後期	底盤：圓錐形。外腹：圓錐形。表面：ナデ。底盤：砂質。外腹：外腹全体が褐色に燒いてある。底盤：ナデ。外腹：外腹全体が褐色に燒いてある。底盤：ナデ。外腹：外腹全体が褐色に燒いてある。底盤：ナデ。	口径：4.2cm。底高：9.2cm。底径：5.0cm。修理丸あら9.0。完形。	P-1818 1190
112-3	186	WS-48	III層	粗製杯	I型I 後期	後期～晩期	口唇：圓錐形。底盤：高台・底面ケヅリ。外腹：圓錐形。表面：ナデ。底盤：ナデ。外腹：外腹全体が褐色に燒いてある。底盤：ナデ。外腹：外腹全体が褐色に燒いてある。底盤：ナデ。外腹：外腹全体が褐色に燒いてある。底盤：ナデ。	口径：8.7cm。底高：4.0cm。底径：5.4cm。修理丸あら9.0。外腹：外腹全体が褐色に燒いてある。底盤：ナデ。外腹：外腹全体が褐色に燒いてある。底盤：ナデ。外腹：外腹全体が褐色に燒いてある。底盤：ナデ。	P-1723 1266
112-4	186	WS-48	III層	注口	II 晚期IIa	後期	口唇：圓錐形。外腹：圓錐形。表面：ナデ。底盤：ナデ。外腹：外腹全体が褐色に燒いてある。底盤：ナデ。外腹：外腹全体が褐色に燒いてある。底盤：ナデ。外腹：外腹全体が褐色に燒いてある。底盤：ナデ。外腹：外腹全体が褐色に燒いてある。底盤：ナデ。	口径：8.5cm。底高：13.5cm。底径：4.6cm。底盤下に「ヒ」字形。	P-1720 1194
112-5	187	WS-48	III層	深杯	II型IIa 後期	後期	小腹部口縁：直口。外腹：圓錐形。表面：ナデ。底盤：砂質。外腹：外腹全体が褐色に燒いてある。底盤：ナデ。外腹：外腹全体が褐色に燒いてある。底盤：ナデ。外腹：外腹全体が褐色に燒いてある。底盤：ナデ。	口径：29.0cm。底高：(頸部2-3cm)。外腹：骨質化物年代未定。	P-1855 1390
112-6	186	WS-48	III層	台形深杯	後期	後期～晩期	底盤：圓錐形。外腹：直腹。底盤：ナデ。外腹：圓錐形。表面：ナデ。底盤：ナデ。外腹：外腹全体が褐色に燒いてある。底盤：ナデ。外腹：外腹全体が褐色に燒いてある。底盤：ナデ。	口径：9.0cm。修理丸あら9.0。完形。	P-1565 1372

繩文土器觀察表(71)

繩文土器觀察表(72)

縄文土器観察表(73)

器番号	写真	出土位置	層位	器種	形態	時期	備考	
115-7	W5-50	III層	注口	III	吹期待1b	口径：面版。外面：浅板。 ^{アガハ} 。注口先端部削減。注口底部に内形削尖と人頭三叉文。底 部底面切に人頭三叉文。内面：ナデ。施土：小量。使用痕：なし。外面墨脱。	口径：12.0cm、高さ：11.8cm。底口部先 が、24.8cm。觸感丸。	
116-1	W7-48	III層	粗製器底	I底1t	後期Ib	口部：面版。外面：浅板。 ^{アガハ} 。注口先端部削減。注口底部に内形削尖と人頭三叉文。内 面：ナデ。施土：小量。使用痕：なし。外面墨脱。	口径：24.8cm。觸感丸。	
116-2	W7-49	III層	深林	II	後期I~8	口部：面版。外面：浅板。 ^{アガハ} 。注口底部に内形削尖と人頭三叉文。内面：ナデ。施土：小量。使用痕：外ス ト。	口径：24.8cm。觸感丸。	
116-3	W7-49	III層	深林	II	後期I~3	口部：面版。外面：浅板。 ^{アガハ} 。注口底部に内形削尖と人頭三叉文。内面：ナデ。施土：小量。使用痕：外ス ト。	口径：24.8cm。觸感丸。	
116-4	W7-49	III層	深林	II	後期I~6	口部：面版。外面：浅板。 ^{アガハ} 。注口底部に内形削尖と人頭三叉文。内面：ナデ。施土：小量。使用痕：外ス ト。	口径：24.8cm。觸感丸。	
116-5	W7-49	III層	台付器底	II底1t	後期Ib	口部：面版。外面：浅板。 ^{アガハ} 。注口底部に内形削尖と人頭三叉文。内面：ナデ。施土：小量。使用痕：外ス ト。	口径：24.8cm。觸感丸。	
116-6	番頭8上	W7-49	III層	深林	II底1t	後期I~6	口部：面版。外面：浅板。 ^{アガハ} 。注口底部に内形削尖と人頭三叉文。内面：ナデ。施土：小量。使用痕：外ス ト。	口径：24.8cm。觸感丸。
116-7	W7-49	III層	注口	III	後末～鉢形	口部：面版。外面：浅板。 ^{アガハ} 。注口底部に内形削尖と人頭三叉文。内面：ナデ。施土：少 量。使用痕：なし。	口径：4.1cm。注口部は基部から欠損。	
116-8	番頭8下	W7-49	III層	注口	III	後期Ib	口部：面版。外面：浅板。 ^{アガハ} 。注口底部に内形削尖と人頭三叉文。内面：ナデ。施土：少 量。使用痕：なし。	口径：8.6cm。底径：2.4cm。器高：18.1cm。注口部は底部から欠損。
116-9	W7-50	III層	釜	II	後期I~8	口部：面版。外面：浅板。 ^{アガハ} 。注口底部に内形削尖と人頭三叉文。内面：ナデ。施土：少 量。使用痕：なし。	口径：5.6cm。器高：14.7cm。底径：4.8cm。注口部は基部から欠損。	
116-10	W7-50	III層	注口	II	後期Ia	口部：面版。外面：浅板。 ^{アガハ} 。注口底部に内形削尖と人頭三叉文。内面：ナデ。施土：少 量。使用痕：なし。	底径：2.0cm。注口部は基部から欠損。	
116-11	W7-50	III層	深林	II底1t	後期Ib	口部：面版。外面：浅板。 ^{アガハ} 。注口底部に内形削尖と人頭三叉文。内面：ナデ。施土：少 量。使用痕：なし。	口径：20.5cm。器高：24.4cm。底径：7.6cm。觸感丸。	
116-12	W7-50	III層	粗製器底	I底1t	後期Ia	口部：面版。外面：浅板。 ^{アガハ} 。注口底部に内形削尖と人頭三叉文。内面：ナデ。施土：少 量。使用痕：なし。	口径：21.8cm。底径：8.7cm。	
116-13	W7-50	III層	粗製器底	I底1t	後期Ia	口部：面版。外面：浅板。 ^{アガハ} 。注口底部に内形削尖と人頭三叉文。内面：ナデ。施土：少 量。使用痕：なし。	口径：21.8cm。底径：8.7cm。	
117-1	W7-32	III層	深林	II	後期I~8	口部：面版。外面：浅板。 ^{アガハ} 。注口底部に内形削尖と人頭三叉文。内面：ナデ。施土：少 量。使用痕：なし。	口径：21.8cm。底径：8.7cm。	
117-2	W7-29	III層	深林	II	後期Ib	口部：面版。外面：浅板。 ^{アガハ} 。注口底部に内形削尖と人頭三叉文。内面：ナデ。施土：少 量。使用痕：なし。	口径：21.8cm。底径：8.7cm。	
117-3	W7-32	III層	深林	II	後期Ib	口部：面版。外面：浅板。 ^{アガハ} 。注口底部に内形削尖と人頭三叉文。内面：ナデ。施土：少 量。使用痕：なし。	口径：21.8cm。底径：8.7cm。	
117-4	W7-35	III層	香44	後期Ib	口部：面版。外面：浅板。 ^{アガハ} 。注口底部に内形削尖と人頭三叉文。内面：ナデ。施土：少 量。使用痕：なし。	口径：21.8cm。底径：8.7cm。		
117-5	W7-36*	III層	注口	IV	後期I	口部：面版。外面：浅板。 ^{アガハ} 。注口底部に内形削尖と人頭三叉文。内面：ナデ。施土：少 量。使用痕：なし。	口径：21.8cm。底径：8.7cm。	

繩文土器観察表(74)

図版号	出土地点	層位	器種	器形	時期	備考	版上No.	整理No.
	IW-32・ IW-32(1)10-1 180	III層・ III層	深杯	手に持つ突起・口唇：正面、背面：外腹：縦文(直腹)。一端で巻き上げた時に巻き残る部分がかかる。内腹：正面が丸い。入屈部：斜面部より下へ。底面：外腹に付く突起部がかかる。内腹：底面に付く突起部がかかる。内腹：内コ。	後期8			1306
117-6	[19]	III層・ III層	深杯	体に沿う突起の部分。内腹：底面に付く突起部がかかる。内腹：内コ。	後期8			1306
117-7	[19]	IV-37	III層	深杯	後期8	口唇部が突出する部分がかかる。内腹：底面に付く突起部がかかる。内腹：内コ。	2239	2187
117-8	[19]	IV-31	III層	注口	後末～後切	外腹：外腹から側面に付く突起部がかかる。内腹：ナ。底面：海面削付。使用痕：なし。	2239	2187
117-9	[19]	IV-31・ I層～III層	深杯	小突起口縁。外腹：正面、背面：外腹：口唇：正面。内腹：ナ。底面：ナ。側面：ナ。	後期16	小突起口縁。外腹：正面、背面：外腹：口唇：正面。内腹：ナ。底面：ナ。側面：ナ。	2301	2184
117-10	[19]	IV-32	I層～III層	杯	後期2	口唇：正面、背面：外腹：内腹：内コ。	2301	2184
117-11	[19]	IV-32	I層・ III層	粗製深杯	後期1～2	口唇：正面、背面：外腹：内腹：内コ。	1468	1468
117-12	[19]	IV-30	I層・ III層	半精製	後期1～5	口唇：正面、背面：外腹：内腹：内コ。	2221	2221
117-13	[19]	IV-29	III層	浅杯	後期5	口唇：正面、背面：外腹：口唇：正面。内腹：ナ。底面：内腹削付。外腹：ナ。	2225	2225
117-14	[19]	IV-32	III層	蓋か	後期	口唇：正面、背面：外腹：内腹：内コ。	2203	2203
117-15	[19]	IV-32	III層	深杯	後期6	口唇：正面、背面：外腹：内腹：内コ。	2217	2217
		IW-49・ IW-49(1)10-1 176	III層	蓋か	後期1a	外腹：正面に付く突起部。内腹：ナ。底面：内腹削付。外腹：内腹。	1306	1306
117-16	[19]	IV-48	III層	深杯	後期2	口唇：正面、背面：外腹：正面、背面：外腹：内腹：ナ。底面：内腹削付。外腹：内腹。	1451	1451
117-17	[19]	IV-57	III層	台付浅杯	1.84	口唇：正面、背面：外腹：内腹：ナ。底面：内腹削付。外腹：内腹。	P-1827, 1826	1470
117-18	[19]	IV-57	III層	台付浅杯	1.84	口唇：正面、背面：外腹：内腹：ナ。底面：内腹削付。外腹：内腹。	P-1827, 1826	1470
117-19	[19]	IV-57	III層	台付浅杯	1.84	口唇：正面、背面：外腹：内腹：ナ。底面：内腹削付。外腹：内腹。	P-1827	42
		IW-33	III層下	深杯	円筒上縁	内腹：内腹削付。外腹：内腹削付。ナ。内腹：内腹削付。ナ。	2308	2308
118-1	[19]	IW-44	III層	深杯	底本・ 底本・ 底本	底本：内腹：内腹削付。内腹：内腹削付。内腹：内腹削付。ナ。	1420	1420
118-2	[19]	IW-44	III層	深杯	底本・ 底本	底本：内腹：内腹削付。内腹：内腹削付。内腹：内腹削付。ナ。	1429	1429
118-3	[19]	IW-33	III層下	深杯	底本・ 底本	底本：内腹：内腹削付。内腹：内腹削付。内腹：内腹削付。ナ。	1429	1429
118-4	[19]	IW-33	III層下	深杯	大木Sb	口唇：正面。外腹：外腹：内腹削付。内腹：内腹削付。ナ。	2308	2308

縄文土器観察表(75)

区分号	写真	出土位置	場所	器種	器形	時期	備考	段上No.	整理No.
118-5	[写真]	IWq-48	III層	深杯	圓杯・ 大木Sb	外腹：粘土被刷件。芯腹：繩文灰。内面：ナフ。施土：砂粒・小塊。使用痕：内コロ。		1402	
118-6	[写真]	IWq-44	III層	深杯	飛花 飛花	外腹：芯腹：外スヌ、内コロ。 外腹：繩文灰。内面：ナフ。施土：砂粒。使用痕：内ナフ。		1435 ~1438	
118-7	[写真]	IWq-44	III層	深杯	飛花	外腹：外スヌ、内コロ。 外腹：繩文灰。内面：ナフ。施土：砂粒。使用痕：内ナフ。		1431	
118-8	[写真]	IWq-44	III層	深杯	中隔浅窪	外腹：粘土被刷件による浅窪。繩文灰。内面：ナフ。施土：砂粒。使用痕：外スヌ。		1432	
118-9	[写真]	IWq-45	III層	深杯	中隔後窪	口唇：面丸。外腹：強いコロナナフ。芯腹：砂粒。使用痕：ナフ。		1422	
118-10	[写真]	IWq-40	III層	深杯小	十槽内1	外腹：ナフ。芯腹：内面：ナフ。施土：砂粒。小塊。使用痕：ナフ。	118-11・12と同。側部。	1297	
118-11	[写真]	IWq-40	III層	深杯小	十槽内1	—	118-10・12と同。側部。	P-468	1298
118-12	[写真]	IWq-40	III層	深杯小	十槽内1	—	118-10・12と同。側部。	P-468	1299
118-13	[写真]	IWq-48	III層	壺小	十槽内1	外腹：芯腹。内面：櫛状工具によるナフ。施土：クリヤ。クリヤ。芯部含糞。使用痕：ナフ。	118-10・11と同。側部。	1420	
118-14	[写真]	IWq-48	III層	壺小	十槽内1	外腹：粘土被刷件。芯腹。内面：ナフ。施土：砂粒。使用痕：ナフ。		1403	
118-15	[写真]	IWq-48	III層下部	深杯	十槽内1	口唇：面丸。外腹：条状文。ナフ。内面：ナフ。施土：砂粒。使用痕：ナフ。	P-1392	1419	
118-16	[写真]	IWq-35	III層	深杯	十槽内1	外腹：網目状焼成文(網目状体第5組)。内面：ナフ。施土：クリヤ。使用痕：ナフ。		1424	
118-17	[写真]	IWq-51	III層	壺	十槽内IV	外腹：繩文上昇文(束縛文のない)。芯部含糞。内面：ナフ。施土：砂粒。使用痕：ナフ。		1387	
118-18	[写真]	IYt-52	III層	台付壺	十槽内IV	外腹：ミガキ。芯部含糞。内面：ナフ。施土：砂粒。芯部含糞。内面：ナフ。	P-1798	1421	

調査土器観察表(76)

団番号	出土位置	層位	器形	時期	特徴	備考	直上No.	整理No.
写	SNA-1	焼土直上	注口	晩期	外腹「体部の屈曲部につよい地。ナデ。内面：粗いナガ」。施土：砂粒。	写真のみの複数。		2334
写	SNA-2	焼土	注口	晩期3	体部：平らか。外面：火泥。屈曲部：薄い。施土：砂粒。内面：タマリに近いナデ。	写真のみの複数。		2341
写	SNA-3	SNM-35切	四輪	後期7-4	全体に黒褐色。表面：滑らか。施土：砂粒。	写真のみの複数。		2335
写	SNA-4	SNM-35切	四輪	後期8	前面：火泥。火泥間の隙する割目。施土：小塊。タマリ地。施用直：外スス。	写真のみの複数。		2336
写	SNA-5	SNM-35切	2輪	注口	晩期1a-b	前面：火泥。体部：外面。火泥。頭：2輪か。前面：砂粒。海綿骨片。	写真のみの複数。	2310
写	S101-1	柱直	注口	後末～後切	前面：火泥。一部：ガキ。施土：小塊。海綿骨片。	写真のみの複数。		2315
写	S101-6	柱直	注口	後期1a	前面：火泥。頭：火泥。器蓋厚。施土：砂泥。海綿骨片。使用直：外スス。	写真のみの複数。		2316
写	S101-7	柱直	台付深鉢	後期1a	前面：火泥。頭：火泥。施土：小塊。タマリ地。使用直：内面に光沢のある楕状のココロ。	写真のみの複数。		2318
写	S101-8	柱直	半周切鉢	後期1a-b	前面：火泥。火泥。口縁：火泥。外腹：火泥。施土：小塊。砂粒。海綿骨片。使用直：外スス。	写真のみの複数。		2320
写	S101-9	柱直	深鉢	後期1a-b	口縁：火泥。外腹：火泥。施土：小塊。砂粒。海綿骨片。砂粒。タマリ地。使用直：外スス。	写真のみの複数。		2321
写	S101-10	柱直	深鉢	後期1b	小袋形はね。前面：火泥。人組：又文。施土：小塊。砂粒。海綿骨片。砂粒。使用直：外スス。	写真のみの複数。		2322
写	S101-11	柱直	深鉢	後期1a	小袋形はね。前面：火泥。火泥。施土：小塊。砂粒。海綿骨片。	写真のみの複数。		2323
写	S101-12	柱直	注口	後期8	前面：火泥。頭：火泥。施土：小塊。海綿骨片。	写真のみの複数。		2326
写	S101-13	瓶	深鉢	後期1a	火泥のくぼみを有する。前面：火泥。頭：火泥。施土：タマリ地。砂粒。砂粒。使用直：外スス。	写真のみの複数。		2334
写	S101-14	柱直	深鉢	後期1a	小袋形はね。前面：火泥。施土：火泥。砂粒。火泥。使用直：外スス。内コロ。	写真のみの複数。		2335
写	S101-15	柱直	瓶	後期7-4	平に突起。口縁：火泥。外腹：火泥。施土：火泥。砂粒。外腹：火泥。施用直：外スス。	写真のみの複数。		2347
写	S101-16	柱直	深鉢	後期8	捕ら。施土：小塊。砂粒。火泥。施用直：外スス。	写真のみの複数。		2348
写	S101-17	柱直	深鉢	後末～後切	前面：火泥。屈曲部付ナデ。底部：高台。施土：砂粒。海綿骨片。施用直：外スス。	写真のみの複数。		2349
写	RIV-34	III層下部	深鉢	後期7-4	前面：火泥。外腹：火泥。施土：火泥。砂粒。火泥。使用直：外コロ。	写真のみの複数。	P-2447	2254
写	SNA-35切	III層床F	深鉢	後期8	口縁：火泥。施土：火泥。砂粒。火泥。使用直：外コロ。	写真のみの複数。		2327
写	SNA-35切	III層床F	深鉢	後期1a	口縁：火泥。施土：火泥。砂粒。火泥。使用直：外コロ。	写真のみの複数。		2328
写	SNA-35切	III層床F	深鉢	後期1a	口縁：火泥。施土：火泥。砂粒。火泥。使用直：外コロ。	写真のみの複数。		2329
写	SNA-35切	III層床F	深鉢	後期1a-b	前面：火泥。外腹：火泥。施土：火泥。砂粒。火泥。使用直：外スス。内コロ。	写真のみの複数。		2332
写	SNA-35切	III層床F	注口	後期	注口部。前面：火泥。頭：火泥。施土：火泥。砂粒。火泥。使用直：外スス。	写真のみの複数。		2333

縄文土器観察表(77)

試番号	写真	出土位置	層位	形種	器形	時期	特徴	備考	段上No.	審査官
写 号	193-24 SN456U III層末下	泥林	泥林	晚期Ia	外腹：面縫。内腹：ケヌリ。施土：小穢。海綿骨針。使用痕：外××。	写真のみの複数。			2337	
写 号	193-25 IVT-35U III層末下	泥林	泥林	晚期Ia	半縫：面縫。外腹：ケヌリ。施土：小穢。海綿骨針。内腹：ナガ。施土：少。	写真のみの複数。			2338	
写 号	193-26 SN456U III層末下	泥林	泥林	晚期Ia	外腹：外縫。内腹：外縫。施土：少。	写真のみの複数。			2339	
写 号	193-27 P10707 覆土	泥林	泥林	後期7-4	波紋口縫。口縫：面縫。内腹：ナガ。施土：少。	海綿骨針の複数有り。施土：少穢。海綿骨針。施土：少穢。使用痕：外××。	写真のみの複数。		2347	
写 号	193-28 P10720 1層	泥林	泥林	後期7-4	波紋口縫。口縫：面縫。内腹：ナガ。施土：少穢。海綿骨針の複数有り。施土：少穢。海綿骨針。施土：少穢。使用痕：外××。	写真のみの複数。			2349	
写 号	193-29 P10176 覆土	泥林	泥林	後期Ia	外腹：口縫下に2つほど有る外縫。使用痕：外××。施土：少穢。	写真のみの複数。			2369	
写 号	193-30 P10176 柱頭	泥林	泥林	後期	外腹：板状工具による捺文。使用痕：外コロ。	写真のみの複数。			2370	
写 号	193-31 P10176 板方	蓋	蓋	後期3-4	口縫下部に沙継。施土：少穢。海綿骨針。	写真のみの複数。			2371	
写 号	193-32 P10181 柱頭	半筋輪林	半筋輪林	晚期3	芸能的な口縫。外腹：波紋。施土：少穢。海綿骨針。	写真のみの複数。			2372	
写 号	193-33 P10209 板方	瓦林小	瓦林小	晚期Ia	周縁による小窓状口縫。外腹：波紋で入組三文。施土：少穢。	写真のみの複数。			2373	
写 号	193-34 P10436 覆土	泥林	泥林	晚期5	外腹：施綱部界に窓。施土：少穢。海綿骨針。使用痕：外××。	写真のみの複数。			2374	
写 号	193-35 P10743 板方	泥林	泥林	晚期3	外腹：窓去による捺文。施土：少穢。施土：少穢。	写真のみの複数。内腹赤彩。			2375	
写 号	194-1 S901	台付蓋林	台付蓋林	後末～巣切	外腹：波紋。施土：少穢。海綿骨針。使用痕：吉野の面にニス。	写真のみの複数。			1485	
写 号	194-2 S902直下 III層	泥林	泥林	後末～巣切	外腹：ナガ。施土：少穢。使用痕：な。	外腹赤彩。			1488	
写 号	194-3 S902直下 III層	泥林	泥林	後期後窓～外腹：縄文	施土：小穢。タシリ縫。使用痕：不明。	写真のみの複数。			1487	
写 号	194-4 S902	配石下 III層	泥林	後期	外腹：縄文。施土：少穢。海綿骨針。使用痕：外××。	写真のみの複数。			1489	
写 号	194-5 S905	III層	泥林	後期後窓	外腹：波紋。施土：少穢。海綿骨針。使用痕：外××。	写真のみの複数。			1492	
写 号	194-6 S905	III層	泥林	後期後窓	外腹：ケヌリ。内腹：租いナガ。	施土：小穢。海綿骨針。使用痕：外××、内コロ。	写真のみの複数。	P-6	1493	
写 号	194-7 S902直下 III層	泥林	泥林	後期後窓	外腹：ナガ。	施土：少穢。海綿骨針。使用痕：外××。	写真のみの複数。	P-7	1493	
写 号	194-8 S902	配石下 III層	泥林	後期後窓	口唇：骨取抜孔。	施土：少穢。海綿骨針。使用痕：外××。	写真のみの複数。		1490	
写 号	194-9 S905	III層	泥林	後期後窓	外腹：ケヌリ。	施土：少穢。海綿骨針。使用痕：外××。	写真のみの複数。		1491	
写 号	194-10 S905	III層	泥林	後期後窓	外腹：波紋。施土：少穢。タシリ縫。海綿骨針。使用痕：外××。	内面：外吹きこぼれコロ。	写真のみの複数。	P-7	1494	
写 号	194-11 S905	III層	泥林	後期後窓	外腹：波紋。施土：少穢。タシリ縫。海綿骨針。使用痕：外××。	内面：外吹きこぼれコロ。	写真のみの複数。	P-1	1495	
						内面：外吹きこぼれコロ。	写真のみの複数。	P-2	1496	

繩文土器観察表(78)

図版号	出土地点	層位	形態	器形	時期	特徴	備考	版上No. 細部No.	
写	194-12	SQ11	配石下	深杯	後昭和期～	縄文I期。施土：小塊、海綿骨粉。使用直：内コダ。	写真のみ複数。	1486	
写	194-13	SQ16	構造面	深杯	既知	体部下。外面：縄文II。内面：ナデ。施土：小塊。海綿骨粉。使用直：外スス。	写真のみ複数。後昭和期によくみられる施土。	2360	
写	194-14	(HS117	Ⅲ層	深杯	体部下平片	外面：解底。内面：板状工具によるナデ。使用直：内コダ。	写真のみ複数。	2362	
写	194-15	SQ19a	F	注口	既知a-b	体部下。外面：ナガキ。内面：ナガキ。施土：精良。	写真のみ複数。	2330	
写	194-16	SQ16	F・ Ⅲ層	—	既知	20cmほどからなる時限省の形になり、5点ほどを並用。右左は口等を企する後昭和末の写真より。左中央は後期の小口底の様模様。左下は口等を面取る。右上は側面を取った粗製骨盤。	写真のみ複数。	2368	
写	194-17	SQ19a	F	注口	既知	体部下。外面：ナデ。内面：ナデ。施土：精良。	写真のみ複数。	2331	
写	194-18	SQ19	1層	注口	後末～後初	端に焼付の注口部。施土：砂粒。海綿骨粉。	写真のみ複数。注口部先端欠損。	2332	
写	195-1	SQ14	2層	粗製骨盤	体部下	外面：單底。施土：精良。内面：ナガキ。器壁薄い。使用直：外スス。	写真のみ複数。	2364	
写	195-2	SQ14	S33	盤	粗製骨盤	体部下。外面：縄文II。器壁薄い。施土：精良。内面：ナガキ。成良好。使用直：外スス。	写真のみ複数。	2348	
写	195-3	RV-33	SQ18	F	注口又は 盤	後末～後初	体部下。外面：縄文II。器壁薄く低い。施土：小塊多々、海綿骨粉。使用直：外スス。	写真のみ複数。	2343
写	195-4	RV-33	SQ18	F	深杯	後昭和～地 下	体部下か。外面：施土面に凹みあり。文様の可能性も。頭部陶文後ナデ。器壁薄い。使用直：外スス。	写真のみ複数。	2344
写	195-5	SQ18	構造面	粗製骨盤	後末～後初	口等。口等：单底。外面：縄文II。内面：ナデ。使用直：外スス。	写真のみ複数。	2330	
写	195-6	SQ18	Ⅲ層下	粗製骨盤	後末～後初	頭方とも体部前方。左は胫部前面に繩文の削痕なし。外スス、右は穿底。	写真のみ複数。	2353	
写	195-7	SQ18	列石下	深杯	体部下	外面：縄文II。器壁薄い。使用直：外スス。内コダ。	写真のみ複数。	2367	
写	195-8	SQ18	Ⅲ層下	粗製骨盤	体部下か	外面：縄文II。器壁薄い。施土：精良。	写真のみ複数。	P-11	
写	195-9	SQ18	列石下	浅杯	既知	口等。口等又は口唇部又は口唇部。外面：縄文II。施土：砂粒。ナラリ壁。海綿骨粉。使用直：外スス。	写真のみ複数。	P-6	
写	195-10	SQ18	Ⅲ層	粗製骨盤	既知	既知未～既知。頭部外側に近所から出土。体部下。器壁やや厚く。外面：縄文II。施土：砂粒。研灰岩質。	写真のみ複数。	P-3	
写	195-11	SQ18	Ⅲ層下	深杯	既知	体部下が。外面：砂粒。頭部外側を削り。内面：ナガキ。研灰岩質。	写真のみ複数。	P-7	
写	195-12	SQ18	Ⅲ層下	深杯	既知	体部下が。外面：砂粒。研灰岩質。	写真のみ複数。	2356	
写	195-13	SQ18	Ⅲ層下	深杯	中間小	外側に穿孔。2条の底。工具類が施土。研灰岩質のような小塊。二三次焼熱で赤化。	写真のみ複数。	2361	
写	195-14	SQ18	盤	粗製骨盤	体部下	体部下。外面：縄文II。器壁薄い。使用直：不明。	写真のみ複数。	2362	
写	195-15	SQ18	既石用	粗製骨盤	体部下	体部下。外面：单底。内面：ナガキ。器壁薄い。施土良好。使用直：内コダ。	写真のみ複数。	2363	

縄文土器観察表(79)

区分番号	写真	出土位置	場所	器種	器形	時期	特徴	備考	取上No.	整理No.
写	195-16	SQ48	板方 A1層	—	—	—	写真のみの複数。	—	2366	—
写	195-17	SE24	相模谷266	相模谷266	発現	外縁・縦縫文SL。内面:ナデ。施上:砂粒。海部骨付。使用痕:外:スス、内:コダ。	写真のみの複数。	P-1	1480*	1481
写	195-18	SR05	相模谷266	相模谷266	発現	外縁・ケンリのナデ。内面:ナデ。施上:砂粒。使用痕:外:スス。	写真のみの複数。	—	1483	—
写	195-19	SR05	1層	相模谷266	発現	外縁・ケンリ。内面:ナデ。施上:小織。海部骨付。使用痕:外:スス、内:コダ。	写真のみの複数。	—	1484	—
写	195-20	SE21	相模谷266	相模谷266	発現	外縁・縦縫文SL。内面:ナデ。施上:砂粒。海部骨付。	写真のみの複数。	相模谷266	1478*	1479
写	195-21	Sec3 IV-4	西林	円筒下層4	口唇:面	縦縫文SL。内面:ナデ。施上:砂粒。海部骨付。	写真のみの複数。	本体	1613	—
写	195-22	IV-4	西林	円筒下層4	口唇:面	縦縫文SL。内面:ナデ。施上:砂粒。海部骨付。	写真のみの複数。	—	1614	—
写	195-23	IV-4	西林	相模深井	発現	口唇:面	縦縫文SL。内面:ナデ。施上:砂粒。海部骨付。	写真のみの複数。	—	1482
写	195-24	IV-4	西林	相模深井	発現前後	口唇:面	口唇:砂粒。海部骨付。内面:ナデ。施上:砂粒。海部骨付:なし。路表面の黒斑がよく残つていて、	写真のみの複数。	—	2169
写	195-1	IV-34	III層	相模深井	1段1	発現前後	口唇:砂粒。海部骨付。内面:ナデ。施上:砂粒。海部骨付:なし。路表面の黒斑がよく残つていて、	口径: 9.2cm。底径: 5.2cm。高さ:	—	2195
写	—	Sec2 IV-3-	III層・ IV-44	半精製	II段2	発現3	口唇: 粗目。外縁: 深模。切欠。縦縫文SL。内面: 下端肥厚單輪。施上: 砂粒。使用痕: 外:スス、内:コダ。	8.5cm。写真のみ複数。	—	200
写	195-2	IV-44	III層	半精製	II段2	発現3	口唇: 粗目。外縁: 深模。切欠。縦縫文SL。内面: 下端肥厚單輪。施上: 砂粒。使用痕: 外:スス、内:コダ。	口径: 10.0cm。底径: 6.0cm。高さ:	P-1251	226
写	195-3	IV-45	III層	台竹林	II段2	発現3	口唇: ダラ。外縁: 台形模。内縁: 单輪。外縁肥厚: なし。施上: 粗目。外縁: ナデ。内面: 砂粒。海部骨付。	口径: 8.2cm。底径: 6.0cm。高さ: 10.2cm。写真のみ複数。	—	—
写	195-4	IV-50	III層	粗製粘	II	発現	外縁: 台形模。内縁: 单輪。外縁肥厚: なし。施上: 粗目。外縁: ナデ。内面: 砂粒。海部骨付。	切欠: 小輪のような輪郭だが、内縁: 单輪のような輪郭が施されたため、両輪の可能性もある。珍しい形状である。	—	1205
写	195-5	IV-50	III層	粗製粘	II	発現前後	外縁: ナデ。内面: ナデ。施上: 粗目。外縁: ナデ。内面: 单輪。施上: 粗目。外縁: ナデ。内面: 单輪。	写真のみの複数。	—	1204
写	195-6	IV-45	III層	半精製	III层1	発現3	外縁: 粗目。内縁: 单輪。施上: 粗目。外縁: ナデ。内面: 单輪。施上: 粗目。外縁: ナデ。内面: 单輪。	写真のみの複数。	—	228
写	195-7	IV-49	III層	半精製	III层1	発現3	外縁: 粗目。内縁: 单輪。施上: 粗目。外縁: ナデ。内面: 单輪。施上: 粗目。外縁: ナデ。内面: 单輪。	写真のみの複数。	P-170	1317
写	195-8	IV-45	III層	半精製	I段2	発現3	外縁: 粗目。内縁: 单輪。施上: 粗目。外縁: ナデ。内面: 单輪。施上: 粗目。外縁: ナデ。内面: 单輪。	写真のみの複数。	P-846	254
写	195-9	IV-45	III層	半精製	I段2	発現3	外縁: 粗目。内縁: 单輪。施上: 粗目。外縁: ナデ。内面: 单輪。施上: 粗目。外縁: ナデ。内面: 单輪。	写真のみの複数。	P-157	236
写	195-10	IV-42	III層	深井	発現2	外縁: 2ヶ所削ぎ。施上: 粗目。外縁: ナデ。内面: 单輪。施上: 粗目。外縁: ナデ。内面: 单輪。	写真のみの複数。	—	1516	
写	195-11	IV-45	III層	粗製256	1段1t	発現前後	外縁: 粗目。内面: 单輪。施上: 粗目。外縁: ナデ。内面: 单輪。施上: 粗目。外縁: ナデ。内面: 单輪。	写真のみの複数。施上: 外:スス。施上: ナデ。内面: ナデ。	P-1855	1186
写	195-12	IV-45	1層・II 層	—	III层1	発現3	外縁: 1組の粗目と2組の单輪。外縁: 2ヶ所削ぎ。内面: 单輪。施上: 粗目。外縁: ナデ。内面: 单輪。	写真のみの複数。施上: ナデ。内面: ナデ。	1045	1045
写	195-1	IV-41	III層	注口	発現2	外縁: 粗目。内面: 单輪。施上: 粗目。外縁: ナデ。内面: 单輪。	アーチルの複数。	—	1499	—

繩文土器観察表(80)

団番号 写真	出土位置	層位	断面	器形	時代	参考	取上No. 整理No.
写 197-2	IVq-16	III層	注口	外腹：注口部底下に二段状の施上。内腹：砂粒。海綿骨質。	後期末	写真のみ。裏腹、内腹・黑色物質アス アスルが付着。内腹に「11」書込。	1497
写 197-3	IVq-16	III層	注口	外腹：沈底。縄文R。施上：砂粒。海綿骨質。	後期末	写真のみ。裏腹、内腹に「11」書込。	1510
写 197-4	IVt-34	III層	注口	外腹：注口部は方に沈底。注口部底下に二段状の施上。内腹：注口部穿孔の際に外側へ傾いた構造の工具痕を入れた施上。施上：砂粒。海綿骨質。	後期末～晩 期	写真のみ。裏腹、内腹に「11」書込。	2315
写 197-5	IVt-49	風呂木	注口	外腹：沈底。縄文R。施上：砂粒。海綿骨質。	後期末～晩 期	写真のみ。裏腹、内腹に「11」書込。	1511
写 197-6	IVt-48	注口	外腹：沈底。縄文R。ミガキ。施上：砂粒。海綿骨質。	後期末～晩 期	写真のみ。裏腹、注上・内腹を含めた全体 アスルが付着。	P-1795	1512
写 197-7	IVt-49	III層	注口	外腹：沈底。縄文R。施上：砂粒。海綿骨質。	後期末～晩 期	写真のみ。裏腹、注上・内腹を含めた全体 アスルが付着。	1498
写 197-8	S103	覆土凹目	注口又は 蓋	外腹：ナデ。内腹：ナデ。施上：砂粒。海綿骨質。	後末～晩期	写真のみ。裏腹、内腹に「11」書込。 アスルが付着。内腹に「光沢から無地」と 記入。	591
写 197-9	IVN-42	III層	平底製作	口管：幅が狭く開口。外腹：沈底。2個一組の突起。突起間に沈線が2箇入。縄文R(斜化)。	後期4	写真のみ。裏腹、内腹に「11」書込。	1502
写 197-10	IVN-45	III層	台付鉢	口管：幅が狭く開口。外腹：外スス。	後期4	写真のみ。裏腹、内腹に「11」書込。	1500
写 197-11	IVN-44	III層	台付深鉢	口管：幅が狭く開口。外腹：外スス。	後期末	写真のみ。裏腹、内腹に「11」書込。	1504
写 197-12	IVN-44	III層	浅鉢	口管：幅が狭く開口。外腹：縄文R。窓い立ぎ足。	後期	写真のみ。裏腹、内腹に「11」書込。	1505
写 197-13	IVN-45	III層	深鉢	体部上：外腹：縄文R。内腹：ナデ。使用痕：外スス。	晩期	写真のみ。裏腹、内腹に「11」書込。	1507
写 197-14	IVN-45	III層	粗削鉢	体部上：外腹：縄文R。内腹：ナデ。施上：小量。海綿骨質。使用痕：不明。	後期末～晩 期	写真のみ。裏腹、内腹に「11」書込。	1508*
写 197-15	IVS-45	III層	浅鉢	体部上：外腹：縄文R。施上：細い立脚。施用痕：不明。	晩期	写真のみ。裏腹、内腹に「11」書込。	1506
写 197-16	IVS-48	III層	粗削鉢	体部上：外腹：縄文R。施上：砂粒。施用痕：不明。	後期末～晩 期	写真のみ。裏腹、内腹に「11」書込。	1503
写 197-17	IVS-46	III層	深鉢	外腹：縄文R。施上：砂粒。施用痕：不明。	晩期5	写真のみ。裏腹、内腹に「11」書込。	1501

遺物観察表(剥片石器・自然礫・石斧)(1)

図-Na	写真	出土位置	層位	器種	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理 No.
1 - 8	93	S101	下層	二次加工剥片	珪質頁岩	42.0	35.9	12.9	16.7		1514
1 - 9	93	S101	貼床	二次加工剥片	珪質頁岩	54.2	37.1	9.6	16.9		1515
1 - 25	93	S102	覆土	削型	珪質頁岩	64.3	34.6	14.6	26.5	月部光沢	999
2 - 5	93	S104	1層	接着資料	珪質頁岩	61.0	49.0	21.0	30.9	剥片2点接合	8120
2 - 6	93	S104	1層	石様	珪質頁岩	39.1	53.3	31.4	35.0		7145
2 - 7	93	S104	1層	石様	珪質頁岩	33.0	68.5	36.9	86.2		5092
10 - 5	98	SQ09	覆土	石様	珪質頁岩	54.2	65.8	12.5	35.7	アスファルト	1500
13 - 1	100	SQ19	1層	石様	珪質頁岩	40.2	45.4	14.5	28.1		8594
13 - 2	100	SQ19	1層	石様	珪質頁岩	39.7	44.6	64.0	151.8		7128
13 - 3	100	SQ19	1層	石様	珪質頁岩	50.8	75.7	48.5	220.5		7129
13 - 4	100	SQ19	直下	石様	珪質頁岩	36.9	69.0	40.2	103.7		6808
13 - 5	-	SQ19	直下	石様	珪質頁岩	61.0	66.0	41.0	189.3		6804
15 - 11	102	SR18	1層	剥片	珪質頁岩	35.0	36.0	7.0	6.6	アスファルト	3943
25 - 1	111	剥片集中1	III	接着資料	珪質頁岩	66.0	82.0	26.0	70.5	剥片2点接合 S-53+S-X	8579
25 - 2	-	剥片集中1	III	石様	珪質頁岩	66.0	44.0	24.0	48.1	S-2	8578
25 - 3	-	剥片集中1	III	剥片	珪質頁岩	60.0	33.0	15.0	22.2		8580
25 - 4	111	剥片集中2	III	石様	珪質頁岩	49.2	58.0	36.4	89.6		7149
25 - 5	111	剥片集中2	III	石様	珪質頁岩	77.1	50.4	37.3	131.1		7144
25 - 6	111	剥片集中2	III	石様	珪質頁岩	36.9	40.1	21.9	28.5		7150
25 - 7	111	剥片集中2	III	石様	珪質頁岩	23.4	30.9	21.0	16.4		7148
25 - 8	111	剥片集中2	III	石様	珪質頁岩	26.9	30.6	29.4	25.8		7147
25 - 9	111	剥片集中2	III	剥片	珪質頁岩	33.0	54.0	10.0	10.9	玉質體に近い	8590
25 - 10	-	剥片集中2	III	剥片	珪質頁岩	30.0	30.0	8.0	5.8		8591
25 - 11	111	剥片集中4	III	接着資料	珪質頁岩	33.0	33.0	13.0	6.9	剥片2点接合	8582
25 - 12	111	剥片集中4	III	接着資料	珪質頁岩	39.0	17.0	10.0	4.0	剥片2点接合、礫皮部分	8586
25 - 13	-	剥片集中4	III	剥片	珪質頁岩	30.0	27.0	8.0	6.0		8585
119 - 1	198	IVN-43	III	石礫	珪質頁岩	45.5	10.7	5.5	2.0	アスファルト微量	218
119 - 2	198	IVN-44	III	石礫	珪質頁岩	(28.1)	6.6	3.4	(0.5)	アスファルト	217
119 - 3	198	IVN-44	III	石礫	珪質頁岩	29.6	10.3	5.1	1.2	アスファルト	180
119 - 4	198	IVR-37	III	石礫	珪質頁岩	36.0	9.2	4.3	1.3	アスファルト	586
119 - 5	198	IVR-39	III	石礫	珪質頁岩	32.0	10.5	4.3	1.1	アスファルト	184
119 - 6	198	IVS-39	III	石礫	珪質頁岩	23.9	10.3	4.2	0.9	アスファルト	178
119 - 7	198	IVN-41	III	石礫	珪質頁岩	26.2	8.6	3.9	0.9	アスファルト	588
119 - 8	198	IVP-33	III	石礫	珪質頁岩	20.9	12.6	3.1	0.5	アスファルト	187
119 - 9	198	IVP-48	III	石礫	珪質頁岩	18.0	8.0	4.0	0.4	アスファルト	3930
119 - 10	198	IVN-47	III	石礫	珪質頁岩	26.0	10.0	4.0	0.8	アスファルト	3937
119 - 11	198	IVQ-47	III	石礫	珪質頁岩	27.1	10.1	3.3	0.7	アスファルト	223
119 - 12	198	IVQ-41	III	石礫	珪質頁岩	30.2	13.1	3.4	1.1	アスファルト、主に正面縁辺加工	171
119 - 13	198	IVQ-44	II	石礫	珪質頁岩	28.3	10.0	5.6	1.5	アスファルト	1405
119 - 14	198	IVT-52	III	石礫	珪質頁岩	27.9	13.1	4.7	1.2	アスファルト	211
119 - 15	198	IVQ-53	III	石礫	珪質頁岩	19.0	11.1	3.7	0.6	アスファルト	1414
119 - 16	198	IVQ-47	III	石礫	珪質頁岩	37.6	11.8	4.4	1.4	アスファルト	212
119 - 17	198	IVQ-43	II	石礫	珪質頁岩	23.6	9.8	4.3	0.8	アスファルト	210
119 - 18	198	IVV-40	I	石礫	珪質頁岩	21.1	8.7	2.8	0.5	アスファルト	175
119 - 19	198	IVQ-44	III-8	石礫	珪質頁岩	21.1	9.7	2.2	0.4	アスファルト	1413
119 - 20	198	IVQ-44	III	石礫	珪質頁岩	23.7	8.6	3.2	0.5	アスファルト	154
119 - 21	198	IVR-30	I	石礫	珪質頁岩	24.4	10.3	3.5	0.8	アスファルト	163
119 - 22	198	IVT-48	III	石礫	珪質頁岩	22.6	9.3	3.5	0.6	アスファルト	215
119 - 23	198	IVP-39	III	石礫	珪質頁岩	23.1	11.1	4.3	0.9	アスファルト	152
119 - 24	198	IVQ-44	III-8	石礫	珪質頁岩	37.5	17.8	5.0	1.8	アスファルト	1410
119 - 25	198	IVR-43	III	石礫	珪質頁岩	23.1	13.8	3.7	0.8	アスファルト	165
119 - 26	198	IVQ-42	III	石礫	珪質頁岩	38.3	14.2	5.2	1.9	アスファルト	291
119 - 27	198	IVS-51	III	石礫	珪質頁岩	26.1	14.1	5.4	1.2	アスファルト	204
119 - 28	198	IVN-44	III	石礫	珪質頁岩	37.0	11.2	4.3	1.2	アスファルト	454
119 - 29	198	IVQ-37	III	石礫	珪質頁岩	38.1	15.3	4.8	1.8	アスファルト	200
119 - 30	198	IVM-47	III	石礫	珪質頁岩	35.0	12.7	4.8	1.7	アスファルト	176
119 - 31	198	IVR-35 Sec1	III-2	石礫	珪質頁岩	32.6	13.9	4.7	1.3	アスファルト	221
119 - 32	198	IVQ-43	III	石礫	珪質頁岩	35.2	14.9	5.3	1.9	アスファルト	181
119 - 33	198	IVR-51	III	石礫	珪質頁岩	41.0	14.1	4.5	1.9	アスファルト微量	149
119 - 34	198	IVP-39	III	石礫	珪質頁岩	28.1	15.9	3.6	1.4	アスファルト	188
119 - 35	198	IVQ-42	III	石礫	珪質頁岩	28.6	11.9	5.2	1.3	アスファルト微量	214
119 - 36	198	IVQ-38	III	石礫	珪質頁岩	33.0	14.9	4.4	1.4	アスファルト	158
119 - 37	198	IVQ-48	III	石礫	珪質頁岩	34.9	13.5	4.5	1.7	アスファルト微量	194
119 - 38	198	IVT-56	II	石礫	珪質頁岩	(45.0)	11.5	4.7	(1.7)	アスファルト	1390
119 - 39	198	IVR-32	III	石礫	珪質頁岩	32.9	14.8	5.0	1.4	アスファルト	177
119 - 40	198	IVQ-98	III	石礫	珪質頁岩	29.9	12.7	3.5	0.9	アスファルト	189

遺物観察表(剥片石器・自然隕・石斧)(2)

国-No.	写真	出土位置	層位	器種	石 材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備 考	整理 No.
119-41 198	IVQ-38	ペルト	III-4	石鎚	珪質頁岩	42.6	12.8	5.4	2.2	アスファルト	155
119-42 198	IVN-47		III	石鎚	玉髓	41.1	12.5	5.8	2.3	アスファルト微量	145
119-43 198	IVM-60		III	石鎚	珪質頁岩	47.6	12.4	5.3	2.2	アスファルト	1397
119-44 198	IVR-46		III	石鎚	珪質頁岩	28.8	15.9	4.6	1.4	アスファルト	179
119-45 198	IVT-56	I	III	石鎚	珪質頁岩	37.0	12.4	5.0	1.9	アスファルト	1434
119-46 198	IVR-45	II	III	石鎚	珪質頁岩	39.6	10.2	4.6	1.5	アスファルト	208
119-47 198	IVV-31	I	III	石鎚	珪質頁岩	36.9	15.6	6.5	2.3	アスファルト	173
119-48 198	IVN-43	III	III	石鎚	珪質頁岩	41.4	11.6	5.6	1.7	アスファルト	220
119-49 198	IVP-41	III	III	石鎚	珪質頁岩	(35.9)	16.6	5.5	(1.8)	アスファルト	197
119-50 198	IVO-41	III	III	石鎚	珪質頁岩	30.1	10.2	5.3	1.2	アスファルト	213
119-51 198	IVQ-39	III	III	石鎚	珪質頁岩	32.8	15.2	4.8	1.6	アスファルト	172
120-1 198	IVQ-45	III	III	石鎚	珪質頁岩	(26.8)	13.5	4.0	(1.0)	アスファルト	198
120-2 198	IVR-39	III	III	石鎚	珪質頁岩	(38.0)	13.8	4.5	(1.6)	アスファルト	156
120-3 198	IVR-47	II	III	石鎚	珪質頁岩	(31.3)	11.5	3.6	(1.1)	アスファルト	209
120-4 198	IVM-39	III	III	石鎚	珪質頁岩	23.4	8.8	3.0	0.5	アスファルト	205
120-5 198	IVV-33	III	III	石鎚	珪質頁岩	26.0	14.0	3.0	0.7	アスファルト微量	8119
120-6 198	IVO-38	III	III	石鎚	珪質頁岩	(35.4)	14.5	5.0	(1.8)	アスファルト	169
120-7 198	IVO-40	III	III	石鎚	珪質頁岩	(34.9)	12.1	3.2	(1.1)	アスファルト	467
120-8 198	IVR-45	III	III	石鎚	珪質頁岩	29.7	13.2	4.0	1.2	アスファルト	196
120-9 198	IVO-36	III	III	石鎚	珪質頁岩	(32.2)	13.8	5.0	(2.1)	アスファルト	474
120-10 198	IVR-46	III	III	石鎚	珪質頁岩	(32.5)	9.7	4.2	(1.3)	アスファルト	544
120-11 198	IVM-46	III	III	石鎚	珪質頁岩	36.9	8.8	5.3	1.4	アスファルト	146
120-12 198	IVO-44	II	III	石鎚	珪質頁岩	(31.9)	8.0	4.2	(1.1)	アスファルト	1404
120-13 198	IVS-49	III	III	石鎚	珪質頁岩	(25.6)	14.1	4.2	(1.0)	アスファルト	185
120-14 198	IVR-50	III	III	石鎚	珪質頁岩	23.0	11.0	6.0	0.8	アスファルト	3793
120-15 198	IVR-44	III-10	III	石鎚	珪質頁岩	30.1	15.4	4.7	1.5	アスファルト	1395
120-16 198	IVO-42	II	III	石鎚	珪質頁岩	(33.8)	19.0	4.1	(1.7)	アスファルト	206
120-17 198	IVO-36	III	III	石鎚	珪質頁岩	(26.9)	11.8	4.2	(1.2)	アスファルト微量	199
120-18 198	IVS-45	III	III	石鎚	玉髓珪質頁岩	37.2	12.4	4.8	1.6	アスファルト	180
120-19 198	IVV-32	III	III	石鎚	珪質頁岩	34.2	18.9	4.8	1.9	アスファルト	182
120-20 198	IVN-43	III	III	石鎚	珪質頁岩	24.1	8.7	3.9	0.6	アスファルト	207
120-21 198	IVR-44	II	III	石鎚	珪質頁岩	19.2	11.2	4.5	0.6	アスファルト	1398
120-22 198	IVQ-45	III	III	石鎚	珪質頁岩	25.4	14.2	4.5	0.9	アスファルト	164
120-23 198	IVR-45	III-1	III	石鎚	珪質頁岩	25.9	11.6	4.7	1.6	アスファルト	1396
120-24 198	IVN-46	III	III	石鎚	珪質頁岩	27.1	12.1	4.0	1.7	アスファルト	167
120-25 198	IVR-37	III	III	石鎚	珪質頁岩	25.1	11.6	3.7	0.8	アスファルト	193
120-26 198	IVM-46	III	III	石鎚	珪質頁岩	36.3	12.8	5.8	1.7	アスファルト	166
120-27 198	IVN-43	III	III	石鎚	珪質頁岩	28.0	14.5	4.0	0.9	アスファルト	3691
120-28 198	IVO-46	III	III	石鎚	珪質頁岩	38.0	14.4	4.7	0.7	アスファルト	168
120-29 198	IVN-41	III	III	石鎚	珪質頁岩	36.0	9.3	4.6	1.0	アスファルト	161
120-30 198	IVN-44	III	III	石鎚	珪質頁岩	29.1	9.2	5.0	0.8	アスファルト	195
120-31 198	IVB-46	III	III	石鎚	珪質頁岩	(32.3)	10.8	4.2	(1.0)	アスファルト	160
120-32 198	IVQ-48	III	III	石鎚	珪質頁岩	21.7	12.8	3.3	0.7	アスファルト	153
120-33 198	ブロック	覆土	III	石鎚	珪質頁岩	(19.7)	9.0	2.6	(0.3)	アスファルト	219
120-34 198	IVN-44	III	III	石鎚	珪質頁岩	(23.0)	11.2	3.6	(0.7)	アスファルト微量	1071
120-35 198	IVN-45	III	III	石鎚	珪質頁岩	(25.9)	10.3	4.5	(1.1)	アスファルト	162
120-36 198	IVM-46	III	III	石鎚	珪質頁岩	31.8	9.3	3.8	1.2	アスファルト	222
120-37 198	IVT-56	I	III	石鎚	珪質頁岩	(22.4)	9.2	4.2	(0.8)	アスファルト	1402
120-38 198	IVQ-49	III	III	石鎚	珪質頁岩	27.9	7.0	4.0	0.7	アスファルト	582
120-39 198	IVO-44	II	III	石鎚	珪質頁岩	(24.9)	9.8	5.0	(0.9)	アスファルト	1430
120-40 198	IVS-45	III	III	石鎚	珪質頁岩	28.8	11.9	6.0	1.6	アスファルト	568
120-41 198	IVQ-38	III	III	石鎚	珪質頁岩	45.6	11.3	7.3	3.8	アスファルト微量	574
120-42 198	IVN-45	III	III	石鎚	珪質頁岩	28.2	12.8	3.3	0.9	アスファルト微量	192
120-43 198	IVV-38	I	III	石鎚	珪質頁岩	22.2	8.9	3.8	0.6	アスファルト微量	183
120-44 198	IVS-45	III	III	石鎚	珪質頁岩	22.2	8.2	4.0	0.6	アスファルト微量	216
120-45 198	IVO-43	II	III	石鎚	珪質頁岩	(28.4)	10.6	7.2	(1.3)	アスファルト微量	136
120-46 198	IVR-49	III	III	石鎚	珪質頁岩	35.4	12.3	7.0	2.6	アスファルト微量	584
120-47 198	IVP-36	III	III	石鎚	珪質頁岩	33.6	15.8	6.2	3.1	アスファルト微量	551
120-48 198	IVN-41	III	III	石鎚	珪質頁岩	25.2	15.6	5.5	2.1	アスファルト	547
120-49 198	IVN-39	III	III	石鎚	珪質頁岩	(18.4)	13.3	2.5	(0.6)	アスファルト	546
120-50 198	IVQ-41	III	III	石鎚	珪質頁岩	21.4	19.1	4.0	1.5	アスファルト	549
120-51 198	IVQ-40	III	III	石鎚	黒曜石	23.6	13.2	3.5	0.8		121
120-52 198	IVO-46	III	III	石鎚	黒曜石	18.6	10.7	3.0	0.4		113
120-53 198	IVS-37	III	III	石鎚	黒曜石	(17.0)	7.0	4.0	(0.5)		565
120-54 198	IVN-41	III	III	石鎚	黒曜石	(26.0)	14.0	4.0	(1.2)		393

遺物観察表(剥片石器・自然礫・石斧)(3)

図-No.	写真	出土位置	層位	器種	石 材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備 考	整理 No.
120-55	198	IVP-41	III	石礫	黒曜石	(21.4)	11.1	4.0	(0.8)		224
120-50	198	IVR-45	III	石礫	黒曜石	(14.0)	8.0	4.0	(0.2)	先端部破片	601
121-1	198	IVS-33	III	石礫	珪質頁岩	61.8	15.3	6.3	4.3		9
121-2	198	IVR-35	III	石礫	珪質頁岩	36.7	15.1	4.5	1.6		1408
121-3	198	IVT-52	III	石礫	珪質頁岩	45.1	13.8	4.5	1.6		46
121-4	198	IVR-45	III	石礫	珪質頁岩	45.5	16.1	4.2	2.0		77
121-5	198	IVQ-47	III	石礫	珪質頁岩	43.8	15.8	4.8	2.1		64
121-6	198	IVR-47	III	石礫	珪質頁岩	35.4	12.8	5.2	2.0		81
121-7	198	IVQ-50	II	石礫	珪質頁岩	30.6	11.2	5.2	1.3		142
121-8	198	IVQ-36	III	石礫	珪質頁岩	35.4	12.1	4.5	1.3		96
121-9	198	IVQ-46	III	石礫	珪質頁岩	37.8	19.3	4.5	2.0		115
121-10	198	IVN-43	II	石礫	珪質頁岩	38.5	9.8	5.8	1.7		101
121-11	198	IVP-37	III	石礫	珪質頁岩	41.2	18.5	5.3	2.7		114
121-12	198	IVT-44	III	石礫	珪質頁岩	45.5	18.7	9.5	5.2		34
121-13	198	IVN-96	III	石礫	珪質頁岩	44.0	10.1	4.0	1.6		132
121-14	198	IVR-96	III	石礫	珪質頁岩	35.5	13.8	4.5	1.5		123
121-15	198	IVR-45	III	石礫	珪質頁岩	32.5	13.7	4.2	1.1		82
121-16	198	IVS-49	III	石礫	珪質頁岩	29.5	13.8	3.8	1.2		63
121-17	198	IVR-45	III	石礫	珪質頁岩	32.0	16.2	4.2	1.3		1401
121-18	198	IVQ-45	III	石礫	珪質頁岩	30.1	13.9	4.4	1.2		120
121-19	-	IVN-47	III	石礫	珪質頁岩	29.0	9.5	5.0	1.1		3779
121-20	198	IVN-42	III	石礫	珪質頁岩	27.1	10.1	3.5	0.8		119
121-21	198	IVQ-43	III	石礫	珪質頁岩	20.1	12.0	3.6	0.6		59
121-22	198	IVQ-49	III	石礫	珪質頁岩	24.5	13.8	3.2	0.8		58
121-23	198	IVR-47	III	石礫	珪質頁岩	(36.6)	14.8	3.5	(1.4)		13
121-24	198	IVP-42	III	石礫	珪質頁岩	30.2	11.7	2.5	0.6		143
121-25	198	IVP-42	III	石礫	珪質頁岩	25.6	13.1	3.9	0.8		140
121-26	198	IVQ-44	II	石礫	珪質頁岩	18.4	12.8	3.4	0.5		1392
121-27	198	IVP-36	III	石礫	珪質頁岩	21.2	10.2	2.8	0.3		118
121-28	198	IVR-45	I	石礫	珪質頁岩	21.8	12.3	4.5	0.8		33
121-29	198	IVS-44	III	石礫	珪質頁岩	(25.6)	12.9	5.0	(1.2)		109
121-30	198	IVT-50	III	石礫	珪質頁岩	(28.3)	18.0	5.8	(1.8)		67
121-31	198	IVR-45	III	石礫	珪質頁岩	24.1	13.2	3.2	0.6		1409
121-32	198	IVR-45	III	石礫	珪質頁岩	(28.6)	16.4	4.5	(1.5)火ハチ		14
121-33	198	IVQ-56	I	石礫	珪質頁岩	35.2	11.1	4.6	1.3		1399
121-34	198	IVQ-39	III	石礫	珪質頁岩	32.0	15.3	4.3	1.4		45
121-35	198	IVN-45	III	石礫	珪質頁岩	(23.0)	9.9	4.8	(0.9)		50
121-36	-	IVM-47	III	石礫	珪質頁岩	23.0	11.0	4.0	0.7		3780
121-37	198	IVV-42	I	石礫	珪質頁岩	42.2	12.1	6.7	2.5		21
121-38	198	IVQ-39	III	石礫	珪質頁岩	29.9	11.8	3.8	1.1		48
121-39	198	IVN-44	III-1	石礫	珪質頁岩	(32.5)	9.4	3.5	(0.9)		1400
121-40	198	IVQ-42	III	石礫	珪質頁岩	(24.7)	14.2	3.1	(0.8)		15
121-41	198	IVN-39	III	石礫	珪質頁岩	37.6	12.2	6.2	2.0		47
121-42	198	IVR-44	II	石礫	珪質頁岩	34.0	8.5	4.1	0.7	長長い	1393
121-43	198	IVQ-44	II	石礫	珪質頁岩	29.1	8.8	5.3	1.1		1403
121-44	198	IVQ-45	III	石礫	珪質頁岩	31.8	14.1	4.2	1.3		41
121-45	198	IVR-96	III	石礫	珪質頁岩	34.4	15.2	4.4	1.4		124
121-46	198	IVN-43	III	石礫	珪質頁岩	(46.2)	16.4	6.5	(3.3)		87
121-47	198	IVN-47	III	石礫	珪質頁岩	35.4	11.2	6.1	1.7		148
121-48	198	IVR-46	III	石礫	珪質頁岩	40.4	17.4	4.6	1.8		72
122-1	198	IVN-45	III	石礫	珪質頁岩	37.4	9.8	7.0	2.0		19
122-2	198	IVN-96	III	石礫	珪質頁岩	26.4	10.1	3.2	0.6		20
122-3	198	IVQ-42	III	石礫	珪質頁岩	26.0	8.5	4.0	0.5		3698
122-4	198	IVS-45	II	石礫	珪質頁岩	(43.0)	15.4	6.0	(2.5)		125
122-5	198	IVQ-44 Sec3	II	石礫	珪質頁岩	(31.5)	10.1	4.4	(1.2)		73
122-6	198	IVT-56	I	石礫	珪質頁岩	34.4	12.1	3.8	1.0		1412
122-7	198	IVT-47	III	石礫	珪質頁岩	33.9	16.6	6.1	2.0		144
122-8	198	IVS-49	III	石礫	珪質頁岩	25.1	11.0	4.3	0.8		107
122-9	198	IVQ-47	III	石礫	珪質頁岩	(34.9)	11.4	5.2	(1.3)		75
122-10	198	IVU-30	I	石礫	珪質頁岩	(27.6)	10.8	4.2	(1.2)		1436
122-11	198	IVN-43	I	石礫	珪質頁岩	(28.8)	8.4	4.0	(0.7)		141
122-12	198	IVR-43 Sec3	III	石礫	珪質頁岩	(29.4)	15.0	4.3	(1.3)		32
122-13	198	IVS-44 Sec3	I	石礫	珪質頁岩	(35.9)	11.3	4.8	(1.4)		65
122-14	198	表採	-	石礫	珪質頁岩	29.0	13.1	3.4	0.8		110
122-15	198	IVN-45	I	石礫	珪質頁岩	(37.2)	11.1	4.2	(1.4)		51

遺物観察表(剥片石器・自然礫・石斧)(4)

國-No.	写真	出土位置	層位	器種	石 材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備 考	整理 No.
122-16	198	IVN-44	II	石鐵	珪質頁岩	(25.4)	9.5	4.2	(0.6)		137
122-17	198	IVN-45	III	石鐵	珪質頁岩	20.5	8.4	3.0	0.4		106
122-18	—	IVM-96	III	石鐵	珪質頁岩	21.5	9.5	5.0	0.6		3781
122-19	198	IVP-44	II	石鐵	珪質頁岩	25.2	11.2	3.9	0.8 Sec2		1411
122-20	198	IVN-46	III	石鐵	珪質頁岩	22.4	9.2	4.6	0.8		18
122-21	198	IVN-44	III-7	石鐵	珪質頁岩	31.4	12.9	3.8	0.9 Sec2		1389
122-22	198	IVQ-46	III	石鐵	珪質頁岩	23.4	10.0	3.0	0.6		127
122-23	198	IVN-41	III	石鐵	珪質頁岩	30.6	12.1	4.5	1.0		23
122-24	198	IVO-44	III	石鐵	珪質頁岩	36.2	10.2	4.1	0.8		93
122-25	198	IVS-48	III	石鐵	珪質頁岩	(31.6)	10.3	4.8	(0.7)		7
122-26	199	IVP-44	III	石鐵	珪質頁岩	29.8	8.7	3.4	1.1		80
122-27	199	IVS-47	III	石鐵	珪質頁岩	39.2	11.6	8.3	3.4		951
122-28	199	IVP-41	III	石鐵	珪質頁岩	38.4	11.7	9.3	3.4		581
122-29	199	IVN-47	III	石鐵	珪質頁岩	24.6	8.3	4.6	0.9		133
122-30	199	IVQ-48	III	石鐵	珪質頁岩	35.8	9.8	4.4	1.1		90
122-31	199	IVQ-56	III上部	石鐵	珪質頁岩	24.2	7.8	3.5	0.6		1407
122-32	199	IVR-35	III	石鐵	珪質頁岩	39.4	14.2	7.0	3.2		583
122-33	199	IVN-43	III	石鐵	珪質頁岩	41.4	8.9	5.0	1.4		135
122-34	199	IVT-48	III	石鐵	珪質頁岩	30.9	13.9	4.0	1.3		130
122-35	199	IVS-45	III	石鐵	珪質頁岩	30.8	9.9	4.2	1.1		577
122-36	—	IVS-34	III	石鐵	珪質頁岩	17.0	7.5	3.5	0.5		3785
122-37	199	IVO-42	III	石鐵	珪質頁岩	31.3	11.2	7.0	2.0		575
122-38	199	IVP-43	III	石鐵	珪質頁岩	32.3	16.3	4.8	2.0		589
122-39	199	IVQ-44	III	石鐵	珪質頁岩	31.5	8.9	4.5	0.9		49
122-40	199	IVO-44	II	石鐵	珪質頁岩	21.9	7.3	5.0	0.7 Sec2		1406
122-41	199	IVO-37	III	石鐵	珪質頁岩	36.5	9.9	4.7	1.4		598
122-42	199	IVQ-41	III	石鐵	珪質頁岩	26.2	9.2	3.9	0.8		599
122-43	199	IVS-48	III	石鐵	珪質頁岩	29.2	8.4	3.7	0.8		578
122-44	—	IVM-47	III	石鐵	珪質頁岩	(21.0)	11.0	6.0	(1.0)		3705
122-45	199	IVN-45	I	石鐵	珪質頁岩	18.1	7.9	4.3	0.5		573
122-46	199	IVN-96	III	石鐵	珪質頁岩	(17.8)	8.7	4.8	(0.6)		600
122-47	199	IVT-51	III	石鐵	珪質頁岩	17.8	7.4	3.8	0.4		590
122-48	—	IVM-47	III	石鐵	珪質頁岩	26.0	11.0	3.5	0.7		3703
122-49	199	IVP-44	排土	石鐵	珪質頁岩	23.4	9.8	4.7	1.0		1437
122-50	199	IVR-37	III	石鐵	珪質頁岩	27.2	11.6	8.1	2.4		570
122-51	199	IVV-33	III	石鐵	珪質頁岩	37.5	16.2	6.4	3.3		569
122-52	199	IVV-38	I	石鐵	珪質頁岩	39.2	13.0	6.0	2.1		11
122-53	199	IVT-48	III	石鐵	珪質頁岩	39.0	11.4	6.8	2.6		593
122-54	199	IVT-47	III	石鐵	珪質頁岩	34.7	10.2	5.2	1.8		596
122-55	199	IVU-56	III	石鐵	珪質頁岩	34.2	13.9	7.7	3.2		1391
122-56	199	IVP-38	III	石鐵	珪質頁岩	28.9	11.6	5.5	1.5		580
122-57	—	IVR-49	III	石鐵	珪質頁岩	26.0	16.5	5.0	1.6		3768
123-1	199	IVQ-44	III	石鐵	珪質頁岩	43.2	21.4	9.6	4.4		105
123-2	199	IVR-47	III	石鐵	珪質頁岩	29.9	18.2	5.5	2.4		62
123-3	199	IVP-39	III	石鐵	珪質頁岩	37.2	22.2	6.5	3.7		625
123-4	199	IVP-40	III	石鐵	珪質頁岩	24.6	15.8	3.3	1.1		117
123-5	199	IVV-47	III	石鐵	珪質頁岩	30.1	9.9	3.9	1.2		579
123-6	199	IVQ-41	III	石鐵	珪質頁岩	15.9	10.0	2.0	0.2		548
123-7	199	IVQ-29	III	石鐵	珪質頁岩	23.6	12.5	3.6	1.0		545
123-8	199	IVQ-48	III	石鐵	珪質頁岩	30.2	13.1	7.2	3.1		553
123-9	199	IVV-44	I	石鐵	珪質頁岩	19.9	13.1	3.9	0.9		554
123-10	199	IVN-44	下部	石鐵	珪質頁岩	31.9	14.7	5.8	2.5		550
123-11	199	P110072	I	石鐵	珪質頁岩	25.9	12.9	5.7	1.8		555
123-12	199	IVN-43	III	石鐵	珪質頁岩	18.1	11.1	6.3	1.1		552
123-13	199	IVN-42	III	石鐵	珪質頁岩	24.4	12.6	2.4	0.7		556
123-14	—	IVN-46	III	石鐵	珪質頁岩	19.0	19.0	5.0	0.5		3692
123-15	—	IVN-46	III	石鐵	珪質頁岩	24.5	20.0	5.0	1.9		3763
123-16	199	IVM-47	III	石鐵	珪質頁岩	34.5	10.0	5.0	1.2		3767
123-17	199	IVS-49	III	石鐵	珪質頁岩	34.5	12.5	6.0	1.8		3802
123-18	—	IVT-45	III	石鐵	珪質頁岩	(27.0)	15.0	6.0	(1.5)未製品?		3783
123-19	—	IVT-35	III	石鐵	珪質頁岩	26.0	18.0	6.0	2.0 未製品?		8118
123-20	—	IVQ-50	B	石鐵	珪質頁岩	20.0	18.0	5.0	1.3 未製品?		3765
123-21	—	IVM-48	I	石鐵	珪質頁岩	32.0	19.0	39.0	3.9 未製品?		3741
123-22	—	IVV-42	III	石鐵	珪質頁岩	29.0	16.5	4.0	1.3 未製品?		3769
123-23	199	IVW-32	III	石鐵	珪質頁岩	22.0	14.0	4.0	1.0 未製品?		8110
123-24	199	IVR-40	III	石鐵	珪質頁岩	30.8	18.8	5.4	2.8 未製品?		607

遺物観察表(剥片石器・自然礫・石斧)(5)

図-No.	写真	出土位置	層位	器種	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理 No.
123-25	199	IV-S-49	III	石鏟	珪質頁岩	52.6	20.6	7.2	(5.7)	未製品?	151
123-26	-	IVR-44 Sec3	I	石鏟	珪質頁岩	36.0	20.5	8.0	5.3	未製品?	3764
123-27	-	IV-O-42	III	石鏟	珪質頁岩	40.0	20.5	8.0	5.6	未製品?	3770
123-28	199	IVQ-38	III	石鏟	玉髓	(29.2)	11.9	7.5	(2.3)	未製品?	780
123-29	-	IV-N-32	III	石鏟	珪質頁岩	(28.0)	20.0	6.0	(2.9)	未製品?	8111
123-30	-	IVT-49	III	石鏟	珪質頁岩	28.0	18.0	4.0	1.7	未製品?	3687
123-31	-	IV-S-35	III	石鏟	珪質頁岩	32.0	23.0	7.0	4.1	未製品?	7795
123-32	199	IV-O-45	I	石槍	珪質頁岩	30.1	18.7	9.0	4.9	側縁非直線的、未製品?	970
123-33	-	IVR-37	III	石鏟	珪質頁岩	40.0	21.0	8.0	5.4	未製品?	3742
123-34	-	IV-S-48	III	石鏟	珪質頁岩	31.0	16.0	5.0	2.1	未製品?	8113
123-35	-	IVP-39	III	石鏟	珪質頁岩	41.0	25.5	7.0	5.4	未製品?	3721
123-36	199	IVN-46	III	石鏟	珪質頁岩	19.0	13.0	5.0	1.1	未製品	3689
123-37	199	IVU-34	III	石鏟	珪質頁岩	28.0	20.0	6.0	2.7	未製品	7818
123-38	-	IVR-50	III	石鏟	珪質頁岩	27.5	15.0	6.5	1.5	未製品	3782
123-39	-	IVN-46	III	石鏟	珪質頁岩	32.0	15.0	3.5	1.4	未製品	3751
123-40	-	IV-S-35 Sec5	III-5	石鏟	珪質頁岩	38.0	16.0	5.0	2.9	未製品	8000
123-41	-	IV-O-46	III	石鏟	珪質頁岩	25.0	14.0	4.0	1.3	未製品	3666
123-42	-	IV-O-46	III	石鏟	珪質頁岩	(25.0)	13.0	4.0	(1.2)	未製品	3761
123-43	-	IVN-43	III	石鏟	珪質頁岩	(37.0)	22.0	6.0	(3.4)	未製品	3652
123-44	-	IV-O-42	III	石鏟	珪質頁岩	(23.0)	15.0	4.5	(1.6)	未製品	3752
123-45	-	IV-O-48	III	石鏟	珪質頁岩	(18.0)	17.0	2.0	(0.8)	未製品	3654
123-46	-	IV-Q-96	III	石鏟	珪質頁岩	(23.0)	12.0	3.0	(0.8)	未製品	3655
123-47	-	IVN-96	III	石鏟	珪質頁岩	(24.0)	20.0	5.0	(2.1)	未製品	3684
124-1	199	IVR-50	III	石槍	珪質頁岩	63.6	17.9	10.7	10.9		971
124-2	199	IVR-43	III	石槍	珪質頁岩	44.6	21.1	9.7	7.1		1309
124-3	199	IVR-47	III	石槍	珪質頁岩	46.5	19.2	10.2	7.0		964
124-4	199	IVQ-42	III	石槍	珪質頁岩	(43.6)	18.2	9.8	(6.5)		972
124-5	199	IVQ-41	III	石槍	珪質頁岩	46.5	20.9	9.2	6.8		969
124-6	199	IV-S-96	III	石槍	珪質頁岩	(47.5)	23.9	11.9	(11.3)		965
124-7	199	IVR-39	III	石槍	珪質頁岩	47.2	20.4	9.9	8.5		963
124-8	199	IVR-45	III	石槍	珪質頁岩	(46.3)	22.1	12.8	(11.8)		966
124-9	199	IVQ-48	III	石槍	珪質頁岩	51.0	22.9	8.5	9.1		962
124-10	199	IVN-39	III	石槍	珪質頁岩	38.4	25.9	6.9	6.2		955
124-11	199	IV-O-41	III	石槍	珪質頁岩	(31.8)	19.6	6.3	(3.2)		1673
124-12	199	IVQ-44	I	石槍	珪質頁岩	36.5	21.1	8.3	5.8	石頭未製品?	975
124-13	199	IVQ-45	III	石槍	珪質頁岩	35.9	25.6	8.9	7.2	石頭未製品?	1074
124-14	199	IVN-44	I	石槍	珪質頁岩	43.7	23.5	8.4	6.9		974
124-15	199	IVN-47	III	石槍	珪質頁岩	46.5	21.1	9.3	9.4		959
124-16	199	IVR-43	III	石槍	珪質頁岩	37.6	24.6	8.6	6.9		1386
124-17	199	IVQ-41	III	石槍	珪質頁岩	46.5	26.6	9.3	10.6	側面湾曲	1636
124-18	199	IV-O-42	III	石槍	珪質頁岩	44.5	20.7	8.8	7.8		958
124-19	199	IVR-36 Sec1	III-2	石槍	珪質頁岩	53.8	24.7	9.1	10.6		1637
124-20	199	IVR-37	III	石槍	珪質頁岩	38.6	22.5	11.2	6.1		1638
124-21	199	IVN-45	III-7	石槍	珪質頁岩	43.0	26.5	13.8	14.1		1642
124-22	199	IVN-40	III	石槍	珪質頁岩	37.4	20.2	11.1	6.8		968
124-23	199	IVP-37	III	石槍	珪質頁岩	41.8	20.8	9.8	8.1		1639
124-24	199	IVR-42	III	石槍	珪質頁岩	49.0	32.5	11.6	18.9	折れ面から再加工	997
124-25	199	IVS-45	III	石槍	珪質頁岩	40.7	28.6	9.8	10.5		8598
125-1	199	IVR-96	III	石錐	珪質頁岩	43.4	29.0	5.4	3.3	上面縫合	739
125-2	199	IVQ-47	III	石錐	珪質頁岩	51.1	23.8	7.7	4.8		734
125-3	199	IVQ-49	III	石錐	珪質頁岩	(52.2)	34.9	11.3	(12.3)	上面縫合	776
125-4	199	IVP-41	III	石錐	珪質頁岩	64.5	28.9	6.8	6.7	上面縫合	741
125-5	199	IVS-48	III	石錐	珪質頁岩	(51.3)	24.2	11.8	(7.4)	上面縫合	768
125-6	199	IVP-47	III	石錐	珪質頁岩	53.4	19.7	9.5	4.1		740
125-7	199	IVN-42	III	石錐	珪質頁岩	(44.8)	30.4	9.3	(5.9)		771
125-8	199	IVP-42	III	石錐	珪質頁岩	62.4	23.5	7.9	6.1		726
125-9	199	IVN-43	III	石錐	珪質頁岩	55.7	26.9	9.9	4.5	上面縫合?	723
125-10	199	IVQ-48	III	石錐	珪質頁岩	(40.6)	19.4	6.3	(2.8)		760
125-11	199	IVV-33	III	石錐	珪質頁岩	65.5	29.2	13.1	12.8		8726
125-12	199	IV-O-45	III下部	石錐	珪質頁岩	44.4	19.1	8.3	3.9		724
125-13	199	IVT-34	III	石錐	珪質頁岩	73.2	18.9	12.1	9.5		8721
125-14	199	IVT-36	III	石錐	珪質頁岩	47.1	25.0	10.2	8.2	先端端耗	2925
125-15	199	IVN-46	III	石錐	珪質頁岩	44.1	22.7	7.0	3.7		738
125-16	199	IVT-34	III	石錐	珪質頁岩	70.1	26.0	16.6	17.7		8600

遺物観察表(剥片石器・自然礫・石斧)(6)

國-No.	写真	出土位置	層位	器種	石 材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備 考	整理 No.
125-17	199	IVT-35	III	石錐	珪質頁岩	45.0	17.9	6.2	1.8	ブロック12	2945
125-18	199	IVT-43	III	石錐	珪質頁岩	48.5	15.2	7.2	3.0		721
125-19	199	IVT-38	III	石錐	珪質頁岩	(47.9)	20.4	6.7	(4.3)	次ハモ	758
125-20	199	IVS-45	III	石錐	珪質頁岩	(46.8)	22.1	7.8	(3.8)		725
125-21	199	IVP-42	III	石錐	珪質頁岩	(43.4)	34.5	10.2	(9.2)		751
125-22	199	IVP-40	III	石錐	珪質頁岩	45.9	17.2	4.8	2.5		733
125-23	200	IVQ-37	III	石錐	珪質頁岩	44.4	14.4	6.8	2.2		742
125-24	200	IVS-47	III	石錐	珪質頁岩	42.0	21.7	5.4	2.9		743
125-25	200	IVR-47	III	石錐	珪質頁岩	(45.1)	24.9	4.5	(2.8)		756
125-26	200	IVS-35	III	石錐	珪質頁岩	(37.7)	21.6	9.7	(4.9)		8602
125-27	200	IVP-42	III	石錐	珪質頁岩	(45.8)	24.1	5.7	(3.5)		726
125-28	200	IVN-42	III	石錐	珪質頁岩	44.8	14.4	9.7	4.2		728
126-1	200	IVN-42	III	石錐	珪質頁岩	63.2	34.8	12.7	17.8		763
126-2	200	IVS-44	III	石錐	珪質頁岩	(58.6)	25.1	16.8	(17.1)	木製品?	1481
126-3	200	IVS-49	III	石錐	珪質頁岩	(31.5)	21.6	13.6	(5.2)	底部は縦面付近の軟質部	2918
126-4	200	IVU-33	III	石錐	珪質頁岩	(36.2)	16.4	8.0	(3.7)		8617
126-5	200	IVS-34	III	石錐	珪質頁岩	(53.5)	21.0	9.6	(9.0)	ブロック11	8612
126-6	200	IVT-47	III	石錐	珪質頁岩	35.6	17.4	5.9	3.1		730
126-7	200	IVT-41	I	石錐	珪質頁岩	37.0	15.5	7.0	3.2		732
126-8	200	IVQ-45	III	石錐	珪質頁岩	44.0	22.4	5.9	5.4		731
126-9	200	IVQ-54	III	石錐	珪質頁岩	40.4	22.2	6.0	4.1		9638
126-10	200	IVQ-39	III	石錐	珪質頁岩	42.2	13.3	5.2	1.9	アスファルト	747
126-11	200	IVT-52	III	石錐	珪質頁岩	33.5	14.2	5.5	1.8		737
126-12	200	IVD-40	III	石錐	珪質頁岩	30.1	14.8	4.0	1.6		745
126-13	—	IVU-29	III	石錐	珪質頁岩	35.0	15.0	8.0	4.0		8108
126-14	200	IVW-31	I	石錐	珪質頁岩	55.8	15.8	12.7	9.7		8608
126-15	200	IVQ-38	III	石錐	珪質頁岩	43.3	15.3	11.1	6.6	先端摩滅	735
126-16	200	IVT-51	III	石錐	珪質頁岩	35.0	8.7	5.8	1.6		783
126-17	200	IVT-46	III	石錐	珪質頁岩	42.0	10.4	6.8	2.0	上面縦面	711
126-18	200	ブロック 旧I03 取り上げ	38日	石錐	珪質頁岩	47.5	15.3	9.9	7.0	先端側縁わざかに摩滅	1517
126-19	200	IVQ-43	III	石錐	玉髓珪質頁岩	46.1	14.2	10.8	6.2		678
126-20	—	IVV-33	III	石錐	珪質頁岩	38.9	11.6	8.6	3.9	先端摩滅、二重バティナ	8615
126-21	200	IVM-46	III	石錐	珪質頁岩	(33.2)	13.5	6.0	(2.2)		669
126-22	200	IVR-42	III	石錐	珪質頁岩	40.0	10.0	6.1	2.5	先端摩滅	715
126-23	200	IVV-34	III	石錐	珪質頁岩	45.1	14.0	6.4	3.6		2946
126-24	200	IVT-49	III	石錐	珪質頁岩	50.5	10.9	9.6	4.7		695
126-25	200	IVQ-40	III	石錐	珪質頁岩	47.3	10.3	6.4	2.5	先端摩滅	704
126-26	200	IVW-33	III	石錐	珪質頁岩	43.4	8.2	5.8	2.0		8606
126-27	200	IVT-33	III	石錐	珪質頁岩	61.1	9.1	6.6	4.2	先端摩滅	8601
126-28	200	IVQ-48	III	石錐	珪質頁岩	78.5	11.1	7.7	7.5	先端摩滅	671
126-29	200	IVO-43	III	石錐	珪質頁岩	61.2	9.9	8.9	4.6		717
126-30	200	IVT-35	III	石錐	珪質頁岩	(47.3)	8.6	5.9	(5.8)	先端側縁わざかに摩滅	8603
126-31	200	IVQ-48	III	石錐	珪質頁岩	(48.6)	10.1	7.0	(3.5)	先端摩滅	676
126-32	200	IVQ-39	III	石錐	珪質頁岩	48.3	9.1	7.0	2.7	先端摩滅	718
126-33	200	IVT-47	III	石錐	珪質頁岩	42.9	7.7	5.0	1.8		705
126-34	200	IVO-42	III	石錐	珪質頁岩	48.5	8.8	7.5	3.0	先端側縁摩滅	712
126-35	200	IVQ-45	III	石錐	珪質頁岩	46.4	8.9	5.7	2.4	先端摩滅、See2	1415
126-36	200	IVQ-37	III	石錐	珪質頁岩	40.9	7.7	5.7	1.8	先端使用? 基部端側縁わざかに摩滅、See2	687
126-37	200	IVT-35	III	石錐	珪質頁岩	30.1	8.1	5.5	1.2	先端側縁わざかに摩滅	8604
126-38	—	IVU-34	III	石錐	珪質頁岩	26.5	7.3	4.5	0.7	アスファルト、石礫?	8616
126-39	200	IVW-44	III	石錐	珪質頁岩	22.0	5.1	4.0	0.5	先端摩滅	1489
126-40	—	IVU-34	III	石錐	珪質頁岩	34.0	8.4	4.7	1.3	先端側縁わざかに摩滅、ブロック99	8611
126-41	200	IVS-35	III上	石錐	珪質頁岩	33.4	5.7	3.6	0.8	先端使用? 基部端側部摩滅	8725
126-42	200	IVR-39	III	石錐	珪質頁岩	(24.6)	5.2	3.5	(0.5)		719
126-43	200	IVM-46	III	石錐	珪質頁岩	26.1	7.4	5.5	1.1	先端摩滅	697
126-44	200	IVR-45	III	石錐	珪質頁岩	30.8	7.7	4.2	1.1		706
126-45	—	IVU-33	III	石錐	珪質頁岩	19.9	6.2	3.5	0.6		8605
127-1	200	IVT-50	III	石錐	珪質頁岩	38.2	10.2	8.2	3.0	先端摩滅	707
127-2	200	IVO-46	III	石錐	珪質頁岩	47.3	8.5	7.9	2.8	先端摩滅	677
127-3	200	IVQ-45	III	石錐	珪質頁岩	48.5	8.8	6.9	2.5		691
127-4	200	IVN-40	III	石錐	珪質頁岩	39.1	8.8	5.5	2.1	先端摩滅	693
127-5	200	IVQ-48	III	石錐	珪質頁岩	35.7	7.5	5.5	1.7		690
127-6	200	IVT-49	III	石錐	珪質頁岩	30.1	9.2	5.6	1.9		679
127-7	200	IVU-30	III	石錐	珪質頁岩	42.4	10.6	7.4	3.3	先端摩滅、先端鋸歯	8618
127-8	200	IVN-45	III	石錐	珪質頁岩	(32.9)	7.3	3.9	(1.0)		709
127-9	200	IVS-46	II	石錐	珪質頁岩	(38.9)	9.8	7.9	(2.6)		674

遺物観察表(剥片石器・自然礫・石斧)(7)

図-No.	写真	出土位置	層位	器種	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理 No.
127-10 200	IVN-44		III	石鎚	珪質頁岩	43.4	9.9	7.5	2.7		683
127-11 200	IVQ-34		III	石鎚	珪質頁岩	38.0	9.5	7.8	2.9	先端摩滅	688
127-12 200	IVQ-44		III-8	石鎚	珪質頁岩	42.1	9.7	6.5	2.6	先端摩滅	1418
127-13 200	IVQ-44		III	石鎚	珪質頁岩	39.6	10.6	7.8	3.4	先端摩滅	699
127-14 200	IVN-34		III	石鎚	珪質頁岩	39.2	8.2	4.2	1.4	先端摩滅	8607
127-15 200	IVQ-37		III	石鎚	珪質頁岩	42.7	11.7	8.5	3.6	先端摩滅、先端顎著	779
127-16 200	IVS-47		III	石鎚	珪質頁岩	42.5	9.8	7.1	2.9	先端摩滅	708
127-17 200	IVQ-41		III	石鎚	珪質頁岩	35.1	9.3	6.5	2.3	先端摩滅	703
127-18 200	IVQ-44		III	石鎚	珪質頁岩	33.4	10.8	6.8	2.2		685
127-19 200	IVR-46		III	石鎚	珪質頁岩	38.5	11.0	7.6	3.3		684
127-20 200	IVQ-45		I	石鎚	珪質頁岩	30.9	7.0	4.5	1.1		720
127-21 200	IVU-50		III	石鎚	珪質頁岩	32.5	8.0	4.5	1.2		680
127-22 200	IVS-47		III	石鎚	珪質頁岩	(28.9)	8.9	6.0	(1.5)	先端摩滅	713
127-23 200	IVQ-39		III	石鎚	珪質頁岩	26.5	5.7	5.1	0.8		701
127-24 200	IVR-48		III	石鎚	珪質頁岩	23.2	7.6	5.5	1.1		675
127-25 200	IVQ-41		I	石鎚	珪質頁岩	28.0	7.9	6.5	1.6		686
127-26 200	IVT-33 ブロック9		III	石鎚	珪質頁岩	39.3	8.2	6.2	2.0		8720
127-27 200	IVP-42		III	石鎚	珪質頁岩	40.9	9.2	6.3	2.4	先端摩滅	681
127-28 200	IVU-33		III	石鎚	珪質頁岩	32.7	8.6	5.5	1.6		8610
127-29 200	IVU-55		I	石鎚	珪質頁岩	35.4	7.0	5.2	1.0		1490
127-30 200	IVQ-47		III下部	石鎚	珪質頁岩	(31.6)	11.0	6.4	(2.0)		673
127-31 200	IVS-48		III	石鎚	珪質頁岩	(33.6)	7.8	5.2	(1.2)		682
127-32 200	IVS-45		III	石鎚	珪質頁岩	(26.4)	7.4	3.5	(0.8)		716
127-33 200	IVU-40		I	石鎚	珪質頁岩	24.6	8.6	4.7	1.1	先端摩滅	694
127-34 200	IVR-40		III	石鎚	珪質頁岩	30.4	9.6	6.6	2.0		670
127-35 200	IVT-49		III	石鎚	珪質頁岩	(26.9)	9.0	5.3	(1.3)	先端からの衝撃により欠損	702
127-36 200	IVR-44		III	石鎚	珪質頁岩	37.6	6.3	4.8	1.0		696
127-37 200	ブロック S103 3回目 取上げ		III	石鎚	珪質頁岩	35.1	7.4	5.0	1.6	先端摩滅	1516
127-38 200	IVQ-44		III	石鎚	珪質頁岩	31.8	9.2	6.8	2.0	先端摩滅、火ハリ	700
127-39 200	IVT-49		III	石鎚	珪質頁岩	26.8	7.2	5.5	1.2	先端からの衝撃により欠損	672
127-40 200	IVQ-43		III	石鎚	珪質頁岩	29.0	8.3	5.7	1.4		692
127-41 200	IVN-45		I	石鎚	珪質頁岩	22.2	6.0	3.1	0.4	先端摩滅	689
127-42 200	IVR-49		III	石鎚	珪質頁岩	29.2	8.3	6.6	1.3	先端摩滅	710
127-43 200	IVN-47		III	石鎚	珪質頁岩	26.9	6.8	4.0	0.7		714
127-44 200	IVT-29		III	石鎚	珪質頁岩	88.2	49.5	24.7	81.8		2950
127-45 200	IVU-31		III	石鎚	珪質頁岩	59.3	44.4	18.2	39.4	先端摩滅	1073
127-46 200	IVR-34		III	石鎚	珪質頁岩	(39.6)	20.4	7.0	(3.4)		1072
127-47 200	IVR-48		III	石鎚	玉飾珪質頁岩	(27.6)	8.3	3.8	(0.9)		698
127-48 -	IVT-34		III	石鎚	珪質頁岩	30.0	10.0	5.0	1.1		8116
127-49 200	IVQ-39		III	石鎚	珪質頁岩	40.8	27.6	6.2	4.6		782
127-50 200	IVQ-57		III	石鎚	珪質頁岩	(45.9)	39.6	8.7	(11.3)	アスファルト?	2919
127-51 200	IVU-34		III	石鎚	珪質頁岩	(30.4)	6.5	4.7	(1.0)		8605
128-1 -	IVV-33		III	石鎚	珪質頁岩	86.0	39.8	16.5	48.1	光沢	7124
128-2 201	IVU-42		III	石鎚	珪質頁岩	90.3	41.1	13.1	54.2	月部・基部光沢	1076
128-3 201	IVR-36		III	石鎚	珪質頁岩	76.6	39.0	13.2	38.5	光沢、月部再加工?	6653
128-4 201	IVR-50		III	石鎚	珪質頁岩	88.9	42.0	15.7	51.5		8595
128-5 201	IVN-42		III	石鎚	珪質頁岩	63.7	29.6	16.8	30.3		1373
128-6 201	IVN-39		III	石鎚	珪質頁岩	78.4	34.0	18.9	44.5		1635
128-7 201	IVU-41		III	石鎚	珪質頁岩	71.4	30.2	13.4	27.8	光沢	988
128-8 201	IVT-44		III	石鎚	珪質頁岩	87.9	44.1	17.4	73.0		1374
128-9 201	IVR-43		III	石鎚	珪質頁岩	57.0	35.0	14.8	26.9		1375
128-10 201	IVN-39		III	石鎚	珪質頁岩	71.6	26.8	10.4	21.2		1634
128-11 201	IVV-40		I	石鎚	珪質頁岩	(49.9)	27.1	10.6	(15.2)		989
128-12 201	IVV-30		I	石鎚	珪質頁岩	94.4	64.7	25.7	101.7	二重バティナ	7127
129-1 201	IVT-29		III	石鎚	珪質頁岩	69.4	56.5	20.9	53.8	光沢	7123
129-2 201	IVN-40		III	石鎚	珪質頁岩	68.4	39.9	29.3	76.4	石核?	1632
129-3 201	IVV-30		I	石鎚	珪質頁岩	48.5	19.0	9.1	9.0		7126
129-4 201	IVT-29		III	石鎚	珪質頁岩	72.6	54.2	15.4	41.8		7122
129-5 201	IVS-35 Sec7		III-9	石鎚	珪質頁岩	38.5	26.9	7.8	6.3		8599
129-6 201	IVN-45		III	石鎚	珪質頁岩	42.5	33.3	10.4	11.0		1077
129-7 201	IVN-42		III	石鎚	珪質頁岩	70.4	76.0	16.2	56.6		937
129-8 201	IVN-66		III	石鎚	珪質頁岩	44.3	27.5	10.7	12.9	未製品?	4108
129-9 201	IVT-34		III	石鎚	珪質頁岩	38.5	27.6	8.6	10.5		7125
129-10 201	IVR-66		III	石鎚	珪質頁岩	38.5	32.0	8.2	8.2		799

遺物観察表(剥片石器・自然礫・石斧)(8)

国-No.	写真	出土位置	層位	器種	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理 No.
129-11 201	IVP-40		III	石槍	珪質頁岩	70.8	55.2	21.6	58.0	正面基部左側縁つぶれ	1633
129-12 201	IVP-41		III	石槍	珪質頁岩	42.4	29.9	6.7	7.5		800
129-13 201	IVR-48		III	両面調整石器	珪質頁岩	49.7	30.8	14.4	19.6	石槍・石鎌未製品?	3641
129-14 201	IVU-51		III	両面調整石器	珪質頁岩	44.1	18.6	9.5	7.2	石槍(未製品)? 石鎌未製品?	960
129-15 201	IVS-44		III	両面調整石器	珪質頁岩	47.7	29.9	13.6	18.3	石槍・石鎌未製品?	1388
129-16 201	IVS-44 See3	I	両面調整石器	珪質頁岩	51.6	26.9	11.3	15.4	石槍未製品?	1641	
130-1 201	IVN-39		III	両面調整石器	珪質頁岩	53.5	18.5	9.9	10.7	石槍・石鎌未製品?	1038
130-2 201	IVR-45		III	両面調整石器	珪質頁岩	47.0	15.5	6.4	4.4	石槍未製品? 削器?	1030
130-3 201	IVR-47		III	両面調整石器	珪質頁岩	60.2	18.8	9.9	10.1	石鎌未製品?	1037
130-4 202	IVU-29		III	両面調整石器	矽灰岩	127.0	41.0	29.0	133.2	正面左側縁つぶれ。核?	6735
130-5 201	IVP-43		III	両面調整石器	珪質頁岩	47.9	25.8	10.5	11.7	石槍・石鎌未製品?	2910
130-6 201	IVQ-45		III	両面調整石器	珪質頁岩	40.5	24.6	10.8	10.1	石鎌未製品?	973
130-7 201	IVM-39		III	両面調整石器	珪質頁岩	47.5	30.5	8.1	10.6		3644
130-8 201	IVR-44 See3	III-8	両面調整石器	珪質頁岩	71.1	28.6	15.2	32.9	石鎌(未製品)?	1581	
130-9 201	IVP-41		III	両面調整石器	珪質頁岩	72.4	36.5	11.3	30.5	石槍未製品?	1372
130-10 201	IVS-52		III	両面調整石器	珪質頁岩	66.7	37.6	12.0	31.2	石槍? 光沢	8597
130-11 202	IVS-41		III	両面調整石器	珪質頁岩	44.7	60.0	16.4	34.7	削器?	1621
130-12 202	IVQ-49		III	両面調整石器	珪質頁岩	74.2	32.2	12.4	25.4	石槍・石鎌未製品?	3643
130-13 202	IVO-43		III	両面調整石器	珪質頁岩	70.5	45.9	22.6	62.2	光沢、石鎌刃部再加工?	8722
130-14 202	IVN-44		III	両面調整石器	珪質頁岩	48.3	25.1	10.6	10.2	石匙(未製品)?	8730
131-1 —	IVT-34		II	石匙	珪質頁岩	28.0	12.0	6.0	1.6		7135
131-2 —	IVQ-49		III	石匙	珪質頁岩	40.0	17.0	5.0	2.5	素材測定ヒンジフラクチャー	3441
131-3 202	IVQ-45		III	石匙	珪質頁岩	42.9	20.1	4.3	3.2	素材測定ステップフラクチャー	836
131-4 202	IVO-40		III	石匙	珪質頁岩	(41.5)	21.4	4.4	(2.2)		845
131-5 202	IVS-35 See5	III-7, 8	石匙	珪質頁岩	60.5	22.0	8.0	5.3	アスファルト	3543	
131-6 —	IVP-96		III	石匙	珪質頁岩	65.0	22.0	6.0	6.9		3473
131-7 —	IVQ-36 See1	III-1	石匙	珪質頁岩	45.5	14.0	9.0	2.8		843	
131-8 202	IVS-48		III	石匙	珪質頁岩	42.0	17.0	5.0	2.7		840
131-9 —	IVR-48		III	石匙	珪質頁岩	46.0	19.0	11.0	6.7		9437
131-10 —	IVR-48		III	石匙	珪質頁岩	50.0	22.0	8.0	4.9		9055
131-11 202	IVS-48		III	石匙	珪質頁岩	49.0	19.0	6.0	3.7		823
131-12 —	IVN-47		III	石匙	珪質頁岩	60.0	26.0	12.0	11.5	表面末端修理	3445
131-13 202	IVS-34 See7	III-2	石匙	珪質頁岩	56.0	30.0	9.0	8.3	素材測定ウータラバッセ	3552	
131-14 202	IVT-29	I	石匙	珪質頁岩	45.0	33.0	7.0	4.8		3504	
131-15 202	IVS-35		III	石匙	珪質頁岩	67.0	24.0	12.0	8.9		3512
131-16 —	IVR-45		III	石匙	珪質頁岩	(61.5)	23.5	9.0	(6.2)		842
131-17 —	IVR-48		III	石匙	珪質頁岩	46.0	24.0	8.0	3.5		6072
131-18 —	IVQ-37		III	石匙	珪質頁岩	62.0	34.0	9.0	10.2		1340
131-19 —	IVT-52		III	石匙	珪質頁岩	50.0	28.0	8.0	5.5		6499
131-20 202	IVT-51		III	石匙	珪質頁岩	53.9	(20.2)	7.5	(5.0)		862
131-21 202	IVW-31	I	石匙	珪質頁岩	60.0	20.0	5.0	4.1		3486	
131-22 202	IVQ-96		III	石匙	珪質頁岩	84.0	31.0	13.0	25.7		3480
131-23 202	IVQ-37		III	石匙	珪質頁岩	70.0	30.0	12.0	11.5		1820
131-24 202	IVT-48		III	石匙	珪質頁岩	45.5	14.0	7.0	3.6		3449
131-25 202	IVS-48		III	石匙	珪質頁岩	67.0	34.0	12.0	22.8		6081
131-26 202	IVS-50		III	石匙	珪質頁岩	50.0	30.0	9.0	7.7		858
132-1 —	IVQ-47		III	石匙	珪質頁岩	48.0	14.0	7.0	2.6		6055
132-2 —	IVQ-47		III	石匙	珪質頁岩	72.0	34.0	16.0	33.0	アスファルト抉り部に微量	6084
132-3 202	IVS-47		III	石匙	珪質頁岩	51.2	20.2	3.0	2.8		844
132-4 202	IVN-45		III	石匙	珪質頁岩	45.9	32.3	8.9	6.9		853
132-5 202	IVQ-45		III	石匙	珪質頁岩	56.5	22.0	6.0	4.2		860
132-6 —	IVR-48		III	石匙	珪質頁岩	46.0	22.0	8.0	4.2	ツマミ部内彌	6058
132-7 202	IVS-50		III	石匙	珪質頁岩	75.0	36.0	11.0	22.6	正面右下刃部アスファルト	3478
132-8 202	IVU-34		III	石匙	珪質頁岩	95.4	34.5	15.9	(32.5)	両側縁の一箇火ハズ	7140
132-9 202	IVQ-43		III	石匙	珪質頁岩	41.0	25.5	8.8	7.1	アスファルト	2889
132-10 202	IVR-48		III	石匙	珪質頁岩	58.1	22.1	7.2	9.1	素材測定ウータラバッセ	871
132-11 202	IVQ-45		III	石匙	珪質頁岩	79.3	45.1	11.9	36.3		852
132-12 202	IVP-37		III	石匙	珪質頁岩	71.0	39.0	18.0	26.8		1785
132-13 202	IVP-42		III	石匙	珪質頁岩	54.8	24.4	8.3	10.6		856
132-14 202	IVS-49		III	石匙	珪質頁岩	71.2	34.6	10.9	22.0		830
132-15 202	IVR-48		III	石匙	珪質頁岩	64.8	29.5	8.3	11.4		834
132-16 203	IVM-56		III	石匙	珪質頁岩	58.5	32.6	4.6	9.7	素材測定ヒンジフラクチャー	828

遺物観察表(剥片石器・自然礫・石斧)(9)

図-No.	写真	出土位置	層位	器種	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理 No.
132-17	203	IVP-41	III	石匙	珪質頁岩	68.8	31.8	10.2	15.8	アスファルト	805
132-18	203	IVQ-45	III	石匙	珪質頁岩	66.6	47.1	9.6	22.9	アスファルト	798
133-1	203	IVQ-48	III	石匙	珪質頁岩	79.0	29.0	8.0	11.5	アスファルト	6373
133-2	203	IVR-37	III	石匙	珪質頁岩	92.7	29.6	7.7	14.4	アスファルト	804
133-3	203	IVW-31	III	石匙	珪質頁岩	114.3	64.5	20.8	(90.4)	万部光沢、正面下辺にガジリ	9547
133-4	203	IVS-45	III	石匙	珪質頁岩	75.5	31.3	14.7	27.0	アスファルト	6506
133-5	203	IVN-45	III	石匙	珪質頁岩	87.4	43.8	16.6	38.9	アスファルト	3955
133-6	203	IVQ-37 See1	III-2	石匙	珪質頁岩	91.1	45.1	14.1	38.7	万部光沢、S-4	810
133-7	203	IVR-43	III	石匙	珪質頁岩	83.0	26.0	9.0	21.5	アスファルト	3934
133-8	203	IVQ-45	III	石匙	珪質頁岩	72.5	33.9	10.0	20.5	上面節理面、 素材剥片ステップフラクチャー	825
133-9	-	IVS-48	III	石匙	珪質頁岩	(56.2)	(31.6)	6.5	(7.7)	アスファルト	801
133-10	203	IVN-39	III	石匙	珪質頁岩	95.4	32.4	12.2	32.8		6312
133-11	203	IVT-35	III	石匙	珪質頁岩	70.0	38.0	9.0	13.9	つまみ部は縦皮付近の軟質部	3545
133-12	203	IVS-42	III	石匙	珪質頁岩	(73.7)	51.4	17.2	(66.8)		1380
134-1	203	IVP-43	III	石匙	珪質頁岩	63.6	29.8	8.8	18.1	アスファルト	802
134-2	-	IVS-35	III	石匙	珪質頁岩	42.0	22.0	8.0	6.0		3500
134-3	203	IVR-35	III	石匙	珪質頁岩	54.0	12.0	8.0	3.9	つまみ部は縦皮付近の軟質部	839
134-4	203	IVT-49	III	石匙	珪質頁岩	55.9	21.6	13.3	8.0	つまみ部は縦皮付近の軟質部	835
134-5	203	IVQ-48	III	石匙	珪質頁岩	48.8	19.4	6.0	4.7		854
134-6	203	IVI-29	III	石匙	珪質頁岩	75.0	19.0	7.5	6.4	上部は縦皮付近の軟質部	3521
134-7	-	IVR-46	III	石匙	珪質頁岩	68.0	22.0	10.0	9.2		6691
134-8	203	IVS-48	III	石匙	珪質頁岩	71.3	36.5	11.4	32.5		829
134-9	-	IVQ-48	III	石匙	珪質頁岩	72.0	38.0	16.0	34.2		6482
134-10	-	IVR-37	III	石匙	珪質頁岩	83.0	42.0	8.0	25.7	上面節理面、 素材剥片ステップフラクチャー	1825
134-11	203	IVR-48	III	石匙	珪質頁岩	55.4	30.9	9.0	14.6		849
134-12	203	IVQ-29	III	石匙	珪質頁岩	59.0	24.0	8.0	9.6		1786
134-13	-	IVT-49	III	石匙	珪質頁岩	53.0	26.0	9.0	7.5		3442
134-14	-	IVN-96	III	石匙	珪質頁岩	57.0	30.0	9.0	7.5		3464
134-15	-	IVQ-39	III	石匙	珪質頁岩	67.0	31.0	7.0	8.1		1341
134-16	203	IVS-34	III	石匙	珪質頁岩	34.0	21.5	5.0	2.6		3519
134-17	-	IVS-48	III	石匙	珪質頁岩	46.0	21.0	7.0	3.5		6675
134-18	203	IVS-35	III-7	石匙	珪質頁岩	32.0	26.5	5.0	3.8		3533
134-19	-	IVD-43	III	石匙	珪質頁岩	44.0	41.0	8.0	9.3		3469
134-20	203	IVR-45	III	石匙	珪質頁岩	(43.2)	15.7	7.0	(3.2)		876
134-21	-	IVN-41	III	石匙	珪質頁岩	44.0	51.5	12.0	12.8		1808
134-22	203	IVR-45	III	石匙	珪質頁岩	59.2	31.8	9.7	12.3		851
135-1	-	IVT-48	III	石匙	玉髓質珪質頁岩	43.0	32.0	5.0	2.6		848
135-2	-	ブロック S103 取上げ	3回目	石匙	珪質頁岩	41.0	47.0	9.0	7.1		1518
135-3	-	IVQ-90	III	石匙	珪質頁岩	41.0	35.0	9.0	8.8		855
135-4	203	IVS-96	III	石匙	珪質頁岩	68.5	25.2	8.8	13.4	素材剥片ヒンジフラクチャー、S-164	864
135-5	-	IVQ-42	III	石匙	珪質頁岩	59.0	32.0	5.0	5.5		846
135-6	203	IVS-48	III	石匙	珪質頁岩	(55.4)	27.6	7.7	(9.5)		872
135-7	-	IVR-96	III	石匙	珪質頁岩	47.0	26.0	7.0	4.4		6669
135-8	-	IVI-34	III	石匙	珪質頁岩	30.0	23.0	7.0	2.9		8114
135-9	203	IVQ-42	III	石匙	珪質頁岩	52.5	42.0	6.0	7.9	アスファルト	3465
135-10	203	IVQ-37	III	石匙	珪質頁岩	34.6	51.4	8.4	15.5		826
135-11	203	IVS-49	III	石匙	珪質頁岩	36.9	68.8	8.9	22.2	上部縦皮付近の軟質部	831
135-12	203	IVQ-47	III	石匙	珪質頁岩	44.6	58.8	9.0	18.3	抉り部にアスファルト?微量	936
135-13	-	IVN-43	III	石匙	珪質頁岩	55.0	55.0	10.0	22.1	アスファルト	6354
135-14	203	IVQ-96 See1	III-2	石匙	珪質頁岩	73.0	30.6	7.7	16.2		859
135-15	203	IVS-49	III	石匙	珪質頁岩	58.0	31.0	10.0	10.9	アスファルト、S-49	2992
135-16	203	IVN-42	III	石匙	珪質頁岩	60.8	46.5	11.2	27.9	素材剥片ヒンジフラクチャー	1379
135-17	203	IVT-49	III	石匙	珪質頁岩	36.9	66.1	7.8	18.2	アスファルト	807
136-1	203	IVT-50	III	石匙	珪質頁岩	35.8	52.0	7.8	13.5	アスファルト	837
136-2	204	IVS-47	III	石匙	珪質頁岩	42.4	63.1	11.1	22.7		838
136-3	204	IVS-47	III	石匙	珪質頁岩	27.1	70.7	10.9	15.2	S-119	875
136-4	204	IVN-42	III	石匙	珪質頁岩	56.8	50.0	9.2	24.7		873
136-5	204	IVQ-42	III	石匙	珪質頁岩	26.9	42.0	10.5	11.3	アスファルト	806
136-6	204	IVS-34	III	石匙	珪質頁岩	36.0	32.0	6.5	4.6		3531
136-7	204	IVQ-45	III	石匙	珪質頁岩	53.1	30.4	10.2	15.1		850
136-8	204	IVR-49	III	石匙	珪質頁岩	58.5	(79.2)	14.7	(53.6)	正裏ともに下部刃部に薄く光沢	847
136-9	204	IVQ-44	III	石匙	珪質頁岩	38.5	46.5	8.0	14.1	アスファルト	803

遺物観察表(剥片石器・自然隕・石斧)(10)

国-No.	写真	出土位置	層位	器種	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理 No.
136-10	204	IVT-35	III	石匙	珪質頁岩	50.3	65.7	12.6	28.2	アスファルト	3546
136-11	204	IVN-46	III	石匙	珪質頁岩	36.7	42.4	12.0	13.3		3471
136-12	204	IVR-49	III	石匙	珪質頁岩	35.0	33.0	7.0	3.7	アスファルト	3891
136-13	204	IVM-46	III	石匙	珪質頁岩	34.0	22.0	7.0	3.2		3475
136-14	204	IVP-42	III	石匙	珪質頁岩	38.4	46.5	9.4	14.0		833
136-15	204	IVR-48	III	石匙	珪質頁岩	65.5	48.0	8.0	16.7		6056
136-16	—	IVT-34	III-7~8	石匙	珪質頁岩	37.0	34.0	4.0	2.8		3540
136-17	—									欠番	3540
137-1	—	IVS-44	I	石匙	珪質頁岩	55.0	49.5	11.0	18.9		1771
137-2	204	IVQ-36 Sec1	III-2	石匙	珪質頁岩	55.4	14.8	9.2	6.6		841
137-3	204	IVT-29	III	石匙	珪質頁岩	60.0	50.0	20.0	39.2		3520
137-4	—	IVR-46	III	石匙	珪質頁岩	53.0	38.0	101.0	15.8		3467
137-5	204	IVS-49	III	石匙	珪質頁岩	53.0	48.0	13.0	22.0	アスファルト	3951
137-6	204	IVT-49	III	石匙	珪質頁岩	46.0	34.0	8.0	13.8	緑色	992
137-7	204	IVN-45	I	石匙	珪質頁岩	60.2	71.9	12.8	32.2	アスファルト	1822
137-8	204	IVR-45	III	石匙	珪質頁岩	28.0	62.5	6.7	11.2		888
137-9	—	IVT-49	III	石匙	珪質頁岩	32.0	46.0	7.0	4.5		8093
137-10	—	IVS-45	III	石匙	珪質頁岩	77.0	71.0	14.0	45.6		6505
137-11	204	IVR-37	III	石匙	珪質頁岩	51.6	51.0	13.5	29.8	アスファルト	797
137-12	—	IVV-33	III	石匙	珪質頁岩	39.0	21.0	6.0	2.5		3505
137-13	204	IVN-40	III	石匙	珪質頁岩	52.0	95.5	9.0	13.0	アスファルト	1779
137-14	—	IVV-41	III	石匙	珪質頁岩	57.0	29.0	6.0	4.7		1802
137-15	204	IVS-45	III	石匙	珪質頁岩	91.0	62.0	15.0	26.8	つまみ部2個	6079
137-16	204	IVQ-36 Sec5	III	石匙	珪質頁岩	45.0	55.0	11.0	14.1	アスファルト	3430
138-1	204	IVQ-47	III	石匙	珪質頁岩	56.5	44.0	8.0	14.2	アスファルト	3931
138-2	204	IVQ-49	III	石匙	珪質頁岩	32.5	88.9	11.7	18.7	アスファルト、特38	868
138-3	204	IVV-40	III	石匙	珪質頁岩	45.5	64.6	9.2	22.3		930
138-4	204	IVU-35 SN45 F	III	石匙	珪質頁岩	23.5	48.5	5.0	3.7		3513
138-5	204	IVT-52	III	石匙	珪質頁岩	33.7	56.9	8.3	12.4		913
138-6	204	IVS-47	III	石匙	珪質頁岩	37.4	52.5	8.6	11.4		921
138-7	204	IVR-49	III	石匙	珪質頁岩	38.3	53.2	10.8	18.5		824
138-8	204	IVR-37	III	石匙	珪質頁岩	39.5	56.0	9.2	16.1		934
138-9	205	IVQ-50	III	石匙	珪質頁岩	35.4	60.8	13.1	24.4		925
138-10	205	IVV-40	III	石匙	珪質頁岩	45.2	73.5	10.7	29.9		933
138-11	205	IVQ-46	III	石匙	珪質頁岩	35.5	60.6	8.6	12.0		917
138-12	—	IVN-44	III	石匙	珪質頁岩	53.0	61.0	9.0	26.2		6480
138-13	205	IVR-48	III	石匙	珪質頁岩	38.5	55.6	10.1	15.1		909
138-14	205	IVT-33 ブロック9	III	石匙	珪質頁岩	34.8	69.8	11.5	15.8		2858
139-1	205	IVS-46	III	石匙	珪質頁岩	34.8	69.8	11.5	15.8		6060
139-2	205	IVT-34	III	石匙	珪質頁岩	36.0	69.7	12.4	22.3		8728
139-3	205	IVS-49	III	石匙	珪質頁岩	48.0	49.0	13.0	16.3	アスファルト	6063
139-4	205	IVT-44	I	石匙	珪質頁岩	58.1	66.9	14.9	41.4	Sec3	1378
139-5	205	IVS-48	III	石匙	珪質頁岩	43.1	50.1	8.2	12.5		914
139-6	205	IVV-41	III	石匙	珪質頁岩	34.3	72.5	12.3	(17.6)	アスファルト	1803
139-7	205	IVR-47	III	石匙	珪質頁岩	51.5	53.3	11.2	19.2		922
139-8	205	IVR-35	III	石匙	珪質頁岩	35.6	74.7	9.1	14.9	アスファルト	1070
139-9	205	IVP-42	III	石匙	珪質頁岩	33.0	64.0	11.0	16.1	アスファルト	6478
139-10	205	IVN-44	III	石匙	珪質頁岩	41.1	56.8	11.3	16.7	アスファルト、S-67	899
139-11	205	IVN-39	III	石匙	珪質頁岩	53.0	68.8	13.8	33.6	アスファルト	900
139-12	205	IVQ-45	III	石匙	珪質頁岩	31.9	66.8	9.2	12.7	アスファルト	919
139-13	205	IVR-49	III	石匙	珪質頁岩	46.4	62.7	9.3	17.8	アスファルト	903
139-14	205	IVT-34	III	石匙	珪質頁岩	26.0	30.0	6.0	2.0		3508
140-1	205	IVV-47	III	石匙	珪質頁岩	74.0	69.5	13.0	47.5	正面抉り部変色、アスファルト痕? 義和の絆痕? 写真参照	908
140-2	205	IVT-34	III	石匙	珪質頁岩	42.5	56.0	12.0	18.6	アスファルト	2859
140-3	205	IVS-47	III	石匙	珪質頁岩	40.0	61.0	9.0	16.6	アスファルト、 つまみ部縦皮付近の軟質部	3466
140-4	205	IVS-37	III	石匙	珪質頁岩	36.0	53.0	10.0	13.4	義和下部にアスファルト	1817
140-5	205	IVQ-48	III	石匙	珪質頁岩	34.0	43.1	10.5	13.3	アスファルト	935
140-6	205	IVV-30	I	石匙	珪質頁岩	49.0	40.0	10.0	12.7	アスファルト	9410
140-7	205	IVQ-46	III	石匙	珪質頁岩	42.0	52.0	10.0	16.0	アスファルト	2450
140-8	205	IVT-34	III	石匙	珪質頁岩	43.0	54.0	10.0	19.4	アスファルト	2860
140-9	205	IVP-38	III	石匙	珪質頁岩	51.5	74.0	16.0	28.8	アスファルト、S-12	942

遺物観察表(剥片石器・自然隕・石斧)(11)

図-No.	写真	出土位置	層位	器種	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理 番号
140-10	205	IVT-50	I	石匙	珪質頁岩	37.2	53.2	10.2	14.4		932
140-11	205	IVR-47	III	石匙	珪質頁岩	36.2	39.6	7.9	8.5		931
140-12	205	IVR-47	III	石匙	珪質頁岩	42.5	47.4	10.9	15.5	アスファルト。 つまみ部縫合付近の軟質部	3933
140-13	206	IVS-47	III	石匙	珪質頁岩	67.0	60.2	11.0	34.3	アスファルト	2990
140-14	206	IVS-44	III	石匙	珪質頁岩	27.1	24.4	5.2	2.5	アスファルト	895
140-15	206	IVT-47	III	石匙	珪質頁岩	48.5	50.9	10.2	20.6		926
140-16	206	IVS-44	III	石匙	珪質頁岩	65.1	(37.4)	14.9	(29.6)	アスファルト。 下部刃部の表面に薄く光沢	878
140-17	206	IVS-35	III	石匙	珪質頁岩	47.2	34.9	11.6	12.3	アスファルト。 下部刃部の表面に薄く光沢	8727
141-1	206	IVR-34	I	石匙	珪質頁岩	50.3	53.0	9.0	19.3	アスファルト	1331
141-2	206	IVT-33	III	石匙	珪質頁岩	47.0	60.0	11.0	22.1	アスファルト	2856
141-3	206	IVR-43	II	石匙	珪質頁岩	32.1	34.3	8.2	5.6	アスファルト	896
141-4	206	IVR-36 Sec1	III-2	石匙	珪質頁岩	30.6	54.5	7.3	10.0	S-48	924
141-5	206	IVS-48	III	石匙	珪質頁岩	20.8	29.9	5.0	2.1		918
141-6	206	IVT-29	III	石匙	珪質頁岩	44.0	58.0	9.0	17.0	アスファルト	3537
141-7	206	IVT-51	III	石匙	珪質頁岩	41.8	61.9	6.7	10.4		916
141-8	206	IVS-48	III	石匙	珪質頁岩	42.8	53.4	9.8	15.6		897
141-9	206	IVT-28	I	石匙	珪質頁岩	42.5	60.0	9.0	13.8	アスファルト	2854
141-10	206	IVN-50	III	石匙	珪質頁岩	41.5	49.5	8.9	13.9	つまみ部縫合付近の軟質部	923
141-11	206	IVN-44	III-1	石匙	珪質頁岩	70.3	69.2	14.7	47.5	アスファルト。Sec2	1381
141-12	206	IVQ-34	III	石匙	珪質頁岩	37.9	47.4	7.8	9.0		910
141-13	206	IVT-50	III	石匙	珪質頁岩	36.9	62.4	9.5	13.0		927
141-14	206	IVS-45	III	石匙	珪質頁岩	66.3	64.7	14.8	47.4	アスファルト	939
142-1	206	IVR-47	III	石匙	珪質頁岩	50.0	54.4	11.1	20.5		940
142-2	206	IVQ-34	III	石匙	珪質頁岩	49.2	(59.3)	10.9	(26.3)	アスファルト	938
142-3	206	IVN-45	III-1	石匙	珪質頁岩	45.4	45.8	10.6	19.5	アスファルト	1377
142-4	206	IVN-43	III	石匙	珪質頁岩	53.8	68.2	15.2	36.6		869
142-5	206	IVR-38	III	石匙	珪質頁岩	38.6	57.1	13.8	20.0	アスファルト	898
142-6	206	IVN-35	III	石匙	珪質頁岩	48.0	59.0	9.0	13.7	アスファルト	2851
142-7	206	IVR-47	III	石匙	珪質頁岩	41.0	(45.0)	11.0	(14.1)	アスファルト	2880
142-8	206	IVM-38	I	石匙	珪質頁岩	62.0	78.8	14.1	42.7	アスファルト	1376
142-9	206	IVN-50	III	石匙	珪質頁岩	54.1	62.2	9.8	22.4		915
142-10	206	IVQ-40	III	石匙	珪質頁岩	29.4	43.4	7.6	7.0		941
142-11	206	IVT-28	III	石匙	珪質頁岩	51.0	62.0	15.0	30.8	アスファルト	2855
142-12	206	IVS-47	III	石匙	珪質頁岩	58.6	37.0	8.2	12.7	つまみ部上面縫合	827
142-13	206	IVQ-51	III	石匙	珪質頁岩	44.0	40.0	8.8	14.2	アスファルト	902
143-1	207	IVT-30	I	石匙	珪質頁岩	41.9	62.5	12.1	26.6	アスファルト	929
143-2	207	IVS-47	III	石匙	珪質頁岩	46.5	51.8	8.9	15.8	アスファルト	943
143-3	207	IVT-32	III	石匙	珪質頁岩	43.1	43.5	8.3	9.7		928
143-4	207	IVN-44	III	石匙	珪質頁岩	47.0	77.4	12.4	30.0	アスファルト	3482
143-5	207	IVT-41	I	石匙	珪質頁岩	57.4	58.1	13.3	30.8	万能ねじかに光沢	906
143-6	207	IVT-50	III	石匙	珪質頁岩	46.8	67.2	11.7	23.8	アスファルト	901
143-7	207	IVR-46	III	石匙	珪質頁岩	54.0	76.0	14.4	41.1		920
143-8	207	IVQ-46	III	削器	珪質頁岩	53.0	48.0	16.0	28.6	アスファルト	3970
143-9	207	IVS-48	III	削器	珪質頁岩	33.0	36.0	7.0	7.1	アスファルト	3948
143-10	207	IVQ-49	III	削器	珪質頁岩	56.0	36.0	11.0	7.6	アスファルト。正面右に微細刻離	3969
143-11	207	IVV-30	I	削器	珪質頁岩	88.0	30.0	10.0	16.7		6996
144-1	207	IVQ-45	III	削器	珪質頁岩	99.0	45.6	18.6	70.1	削器と複合	8593
144-2	207	IVR-48	III	削器	珪質頁岩	42.4	31.9	12.1	14.2		4152
144-3	207	IVP-41	III	削器	珪質頁岩	57.0	38.0	10.0	19.0	削器と複合	1958
144-4	207	IVQ-45	III	削器	珪質頁岩	48.4	43.7	11.1	23.0		990
144-5	207	IVQ-45	III	削器	珪質頁岩	(56.4)	26.4	6.3	(12.4)		1018
144-6	207	IVN-45	III	削器	珪質頁岩	59.8	48.7	12.7	23.3		1382
144-7	207	IVQ-40	III	削器	珪質頁岩	70.5	36.9	22.1	44.0	素材丸片ウータラバッセ	998
144-8	-	ブロック 汨土	ST103	覆土	珪質頁岩	51.0	26.0	9.0	6.5	石匙?	1507
144-9	207	IVU-30	III	削器	珪質頁岩	84.8	41.7	16.8	34.0		7205
144-10	207	IVU-30	III	削器	珪質頁岩	74.2	42.5	13.3	35.8		7175
144-11	207	IVN-44 Sec2	III-1	削器	珪質頁岩	91.5	40.4	13.0	48.9	正面右側軟質部	1545
144-12	207	IVQ-45	III	削器	珪質頁岩	38.4	38.8	9.7	12.4		993
144-13	-	IVS-33	III	削器	珪質頁岩	57.0	42.0	15.0	23.4		7197
144-14	207	IVN-44	III	削器	珪質頁岩	80.0	86.0	17.0	107.8		3910
145-1	207	IVQ-44	III	削器	珪質頁岩	112.6	42.5	26.1	105.2	正面右側軟質部	6661

遺物観察表(剥片石器・自然隕・石斧)(12)

国-N _o	写真	出土位置	層位	器種	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理 No.
145-2	208	IVN-42	III	削器	珪質頁岩	60.8	40.8	18.2	39.6	正面左側軟質部	1383
145-3	-	IVR-45	III	削器	珪質頁岩	38.0	26.0	8.0	7.1		3658
145-4	208	IVR-35	III	削器	珪質頁岩	(68.7)	36.2	8.1	(26.6)		1010
145-5	208	IVR-45	III	削器	珪質頁岩	68.2	29.9	11.7	20.1		8596
145-6	208	IVT-45	III	削器	珪質頁岩	83.3	49.3	17.0	63.5		6383
145-7	208	IVU-30	III	削器	珪質頁岩	55.4	71.3	15.3	49.5		7206
145-8	208	IVU-34	III	削器	珪質頁岩	80.6	40.6	17.3	44.6	素材剥片打面線状・ウートラバッセ	7206
145-9	208	IVS-31	III	削器	珪質頁岩	83.4	44.6	11.5	37.6		7845
145-10	208	IVQ-48	III	削器	珪質頁岩	102.3	33.1	10.3	31.8		1014
145-11	208	IVQ-41	III	削器	珪質頁岩	68.8	34.0	7.9	19.5		1015
145-12	208	IVQ-41	I	削器	珪質頁岩	61.0	48.2	16.3	46.5		1385
145-13	208	SN45周辺	2	削器	珪質頁岩	69.1	37.7	8.7	16.4		8613
146-1	208	IVN-39	III	削器	珪質頁岩	84.8	50.8	13.9	55.0		1384
146-2	208	IVT-35	III上	削器	珪質頁岩	95.9	58.7	22.4	82.1		7293
146-3	208	IVP-45	III	削器	珪質頁岩	80.6	25.8	12.6	20.8	アスファルト・石底?	6427
146-4	208	IVQ-45	III	削器	珪質頁岩	51.0	27.2	9.3	14.7	アスファルト	991
146-5	208	IVM-44	III	削器	珪質頁岩	18.9	40.3	8.1	6.3	アスファルト	6355
146-6	208	IVQ-46	III	削器	珪質頁岩	33.0	26.0	6.0	3.5	アスファルト	3651
146-7	208	IVS-44	I	削器	珪質頁岩	41.0	20.0	6.0	4.0	正面左側にアスファルト微量、右側に光沢	2302
146-8	208	IVF-44	III	削器	珪質頁岩	37.7	19.6	9.2	6.2		1387
146-9	208	IVN-44	B	削器	珪質頁岩	75.0	25.7	10.8	18.2		8592
146-10	208	IVD-43	III	削器	珪質頁岩	96.0	22.3	8.4	8.4		967
146-11	-	IVR-48	III	削器	珪質頁岩	37.0	29.0	7.0	8.2	石礫・削器・石錐未製品?	3662
146-12	-	IVR-48	III	削器	珪質頁岩	42.0	27.0	7.0	6.9	石礫・削器・石錐未製品?	3659
146-13	208	IVQ-46	III	削器	珪質頁岩	40.0	29.0	7.0	7.4	石礫・削器・石錐未製品?	3759
146-14	-	IVQ-42	III	削器	珪質頁岩	41.0	23.0	5.0	3.9	石礫・削器・石錐未製品?	3756
146-15	-	IVU-30	I	削器	珪質頁岩	36.0	40.0	11.0	10.9	三脚石器に形似類似	6659
146-16	208	ブロック IBS103	覆土	削器	珪質頁岩	33.4	40.0	9.6	10.3		1511
146-17	-	IVM-47	III	削器	珪質頁岩	45.0	28.0	9.0	12.8	石礫・削器・石錐未製品?	3671
146-18	208	ブロック IBS103	覆土	削器	珪質頁岩	52.6	39.0	12.4	27.7		1508
146-19	208	IVU-34	III	両極石器	珪質頁岩	43.8	21.5	11.3	11.0	正面側左右から両極打撃	8729
146-20	-	IVS-48	III	両極石器	珪質頁岩	22.0	33.0	12.0	8.4		8117
146-21	-	IVV-31	I	両極石器	玉髓珪質頁岩	22.1	13.4	3.5	1.0		1080
147-1	-	IVN-41	III	両極石器	珪質頁岩	42.9	40.4	11.2	23.0		1079
147-2	-	IVS-43	III	両極石器	珪質頁岩	43.5	39.4	12.9	26.7		1081
147-3	208	IVT-44	III	両極石器	珪質頁岩	34.0	36.7	15.2	21.0		1078
147-4	-	IVQ-39	III	二次加工剥片	珪質頁岩	30.4	46.9	15.5	16.7		1082
147-5	209	IVU-34	III	二次加工剥片	珪質頁岩	34.0	23.0	6.0	5.0	左右縁刃両極打撃? 石礫未製品?	7793
147-6	-	IVT-47	II	二次加工剥片	珪質頁岩	(28.0)	17.0	5.0	(2.5)	石錐未製品?	3653
147-7	-	IVN-46	III	二次加工剥片	珪質頁岩	25.0	17.0	3.0	0.7	石礫・削器・石錐未製品?	3679
147-8	209	IVQ-37 See1	III-4	二次加工剥片	玉髓珪質頁岩	(27.0)	16.0	6.0	(1.6)	石錐未製品?	3753
147-9	-	IVQ-47	III	二次加工剥片	珪質頁岩	39.0	25.0	9.0	5.9	石礫・削器・石錐未製品?	3788
147-10	209	IVS-35 See5	III-7,8	二次加工剥片	珪質頁岩	50.0	20.0	7.0	6.8	石錐未製品?	7995
147-11	-	去採	-	二次加工剥片	珪質頁岩	36.0	33.0	8.0	6.8	石錫・削器・石錐未製品?	3686
147-12	209	IVR-56	III	二次加工剥片	珪質頁岩	38.0	15.5	5.0	2.8	石錫・削器・石錐未製品?	3801
147-13	-	IVP-44	-	二次加工剥片	珪質頁岩	38.0	22.0	5.0	2.9	石錫・削器・石錐未製品?	3680
147-14	-	IVQ-42	III	二次加工剥片	珪質頁岩	29.0	16.0	7.0	1.8	石錫・削器・石錐未製品?	3760
147-15	-	IVR-48	III	二次加工剥片	珪質頁岩	29.0	22.0	7.0	4.1	石錫・削器・石錐未製品?	3657
147-16	-	IVQ-46	III	二次加工剥片	珪質頁岩	25.0	19.0	6.5	3.5	石錫・削器・石錐未製品?	3663
147-17	-	IVQ-46	III	二次加工剥片	珪質頁岩	37.0	20.0	3.0	2.0	石錫未製品?	3660
147-18	209	IVN-43	III	二次加工剥片	珪質頁岩	30.0	22.5	5.0	1.5	石錫・削器・石錐未製品?	3713
147-19	-	IVN-46	III	二次加工剥片	珪質頁岩	40.0	21.0	5.0	2.8	石錫未製品? 石匙?	3665
147-20	-	IVS-48	III	二次加工剥片	珪質頁岩	32.0	23.0	6.0	2.4	石錫未製品?	3754
147-21	-	IVM-46	III	二次加工剥片	珪質頁岩	32.5	16.0	4.0	1.6	石錫未製品?	3749
147-22	209	IVU-39	I	二次加工剥片	珪質頁岩	35.0	74.0	4.0	4.1	石錫未製品?	7686
147-23	-	IVN-47	III	削器	珪質頁岩	(24.0)	16.0	6.0	(2.4)	石錫未製品?	3758
147-24	-	IVN-47	III	削器	珪質頁岩	(17.0)	12.0	3.0	(0.7)	石錫未製品? 火ハネ	3685
147-25	-	IVQ-46	III	二次加工剥片	珪質頁岩	30.0	25.0	7.0	3.4	石錫未製品?	3664
147-26	-	IVN-40	III	二次加工剥片	珪質頁岩	30.5	21.0	7.0	4.5	石錫未製品?	3738
147-27	-	IVR-48	II	二次加工剥片	珪質頁岩	34.0	21.0	8.0	5.0	石錫未製品?	3673
147-28	209	IVR-47	III	二次加工剥片	珪質頁岩	37.0	24.0	4.5	5.0	石錫未製品?	3734

遺物觀察表(剥片石器・自然隕・石斧)(13)

図-No.	写真	出土位置	層位	器種	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理 No.
147-29	-	IVR-48	III	二次加工剥片	珪質頁岩	35.0	21.0	8.0	6.3	石礫未製品?	3682
147-30	-	IVN-96	III	二次加工剥片	珪質頁岩	39.0	18.0	5.0	2.2	石礫未製品?	3690
147-31	-	IVS-49	風化木	二次加工剥片	珪質頁岩	29.0	17.0	5.0	1.9	石礫未製品?	3712
147-32	-	IVN-47	III	二次加工剥片	珪質頁岩	30.0	15.0	5.0	2.2	石礫未製品?	3688
147-33	-	IVR-48	III	二次加工剥片	珪質頁岩	34.0	16.0	7.0	(3.4) 石礫未製品? 火ハネ	3676	
147-34	-	IVN-46	III	二次加工剥片	珪質頁岩	20.0	15.0	3.0	0.6	未製品?	3755
148-1	-	IVR-48	III	二次加工剥片	珪質頁岩	(34.0)	24.0	8.0	(4.1) 未製品?	3762	
148-2	-	IVQ-50	II	二次加工剥片	珪質頁岩	35.0	24.0	8.0	6.3	石槍破片? 石礫未製品?	3661
148-3	-	IVN-96	III	二次加工剥片	珪質頁岩	40.0	26.0	8.0	8.5	石礫未製品?	3672
148-4	209	IVI-30	III	二次加工剥片	珪質頁岩	78.0	27.0	10.0	13.8	石匙?	7075
148-5	209	IVS-34 Sec7	III	二次加工剥片	珪質頁岩	91.0	106.0	29.0	189.6	光沢	7074
148-6	209	IVN-29	III	二次加工剥片	珪質頁岩	47.0	23.0	6.0	5.7	所器? 石礫未製品? 加工側縁非直線的	7660
148-7	209	IVV-30	I	二次加工剥片	珪質頁岩	87.7	61.6	21.5	(95.5)	異形石器? ガジリ有	7176
148-8	209	IVN-46	III	二次加工剥片	珪質頁岩	51.0	31.0	9.0	8.3	異形石器?	4163
148-9	-	IVM-47	III	二次加工剥片	珪質頁岩	50.2	20.2	9.0	6.4	所器? 加工側縁非直線的	3683
148-10	-	ブロック HS103	覆土	二次加工剥片	珪質頁岩	53.0	37.0	12.0	16.6		1506
148-11	209	IVS-35	III	二次加工剥片	珪質頁岩	34.0	27.0	5.0	2.4	アスファルト	3417
148-12	209	IVV-34 ブロック7	III	二次加工剥片	珪質頁岩	35.0	38.0	9.0	10.3	アスファルト	3432
148-13	209	IVQ-36	III	二次加工剥片	珪質頁岩	34.0	29.0	5.0	3.5	アスファルト	3944
148-14	209	IVS-35 Sec5	III-7,8	二次加工剥片	珪質頁岩	50.0	36.0	15.0	23.9	アスファルト	3431
148-15	209	IVN-45	III	二次加工剥片	珪質頁岩	78.0	42.0	15.0	33.4	アスファルト	3652
148-16	209	IVT-50	III	二次加工剥片	玉髓珪質頁岩	47.0	45.0	16.0	26.1	アスファルト	3550
148-17	-	IVR-44 Sec3	III-10	二次加工剥片	珪質頁岩	29.0	23.0	9.0	4.7	アスファルト	3946
149-1	-	IVN-46	III	異形石器	珪質頁岩	20.0	9.0	5.0	0.7	黒褐色(10YR3/1)	4162
149-2	209	IVR-40	III	異形石器	玉髓珪質頁岩	(25.6)	12.4	6.3	(1.7)	石礫? 黄灰色(2.5Y6/1)	953
149-3	209	IVQ-39	III	異形石器	玉髓珪質頁岩	24.6	12.3	5.5	1.5	灰黄色(2.5Y7/2)	952
149-4	209	IVP-43	III	異形石器	珪質頁岩	23.4	26.3	5.8	2.6	黒色(2.5Y2/1), S-89	949
149-5	209	IVT-35 ブロック12	III	異形石器	珪質頁岩	81.0	42.0	18.0	36.3	黄灰色(2.5Y6/1)	8718
149-6	209	IVS-49	III	異形石器	ジャッパー	84.3	32.4	11.1	(22.1)	火ハネ 喧灰色(N3.0), S-173	1067
149-7	209	IVR-66	III	異形石器	珪質頁岩	60.0	33.6	10.4	18.7	灰黃褐色(10YR4/2), S-70	944
149-8	209	IVR-49	III下部	異形石器	珪質頁岩	39.0	29.8	5.9	(3.1)	黒褐色(10YR3/1), S-184	1068
149-9	209	IVQ-48	III	異形石器	黑曜石	21.8	17.1	7.6	1.7	黒褐色(N2/0)	945
149-10	209	IVQ-44	III	異形石器	玉髓質	(38.0)	29.4	4.7	(3.1)	被熱 灰白色(2.5Y8/1), S-73	950
149-11	209	IVQ-42	III	異形石器	珪質頁岩	52.3	44.3	12.8	17.4	黄灰色(2.5Y4/1)	4164
149-12	209	IVT-34 ブロック12	III	異形石器	綠色混灰岩	28.2	23.2	5.1	1.3	綠色灰(10YG6/1)	2846
149-13	209	IVQ-45	III	異形石器	黑曜石	32.0	13.2	5.2	2.1	黒褐色(N2/0)	947
149-14	209	IVR-47	III	異形石器	珪質頁岩	42.2	12.7	9.1	5.3	黒褐色(2.5Y3/1), S-89	946
149-15	209	IVS-45	III	異形石器	凝灰岩	37.9	17.9	6.4	2.3	白灰色(5G8/1), 特55	948
149-16	209	IVT-32	III	異形石器	珪質頁岩	64.4	39.6	8.3	12.0	灰白色 灰黃色(2.5Y7/2)	2844
149-17	209	IVQ-41	III	異形石器	珪質頁岩	45.3	52.7	7.2	15.5	褐灰色(10YR6/1), S-38	954
149-18	210	IVI-33	III	異形石器	珪質頁岩	39.6	16.3	6.7	3.4	蘭灰色(2.5Y4/1)	2845
149-19	210	IVP-46	III	異形石器	珪質頁岩	36.0	21.9	6.0	4.4	灰黃色(2.5Y6/2)	1069
149-20	210	IVR-45	III	異形石器	珪質頁岩	143.2	50.8	35.5	22.1	石核? 裏面アスファルト?	6280
149-21	210	IVS-36	III	異形石器	珪質頁岩	17.0	31.0	8.0	2.2	被熱, 灰色(N4/0)	8112
150-1	210	IVT-28	I	微細片	凝灰岩	123.0	8.0	22.0	159.2	万能摩滅	7007
150-2	210	IVQ-36 Sec1	III-2	微細片	珪質頁岩	118.0	54.0	20.0	96.1	打面小さい	1533
150-3	210	IVT-29	III	微細片	珪質頁岩	74.0	128.0	23.0	145.1		7006
150-4	210	ブロック HS103 取上げ	III回目	微細片	黑曜石	24.0	21.0	6.0	2.5	被熱	1519
150-5	210	IVS-45	III	微細片	珪質頁岩	46.0	26.0	10.0	9.3	アスファルト	3938
150-6	210	IVQ-37	III	微細片	珪質頁岩	72.0	21.0	8.0	9.6	石刀状、剥片剝離軸はねじれ	1763
150-7	210	IVI-30	I	微細片	珪質頁岩	47.0	25.0	9.0	8.2	アスファルト	7682
150-8	210	IVQ-34 Sec1	III	微細片	珪質頁岩	141.0	63.0	27.0	139.8		7673
150-9	210	IVR-48	II	微細片	珪質頁岩	42.0	36.0	13.0	11.7	アスファルト。石匙?	3968
150-10	210	IVQ-55	III	微細片	珪質頁岩	41.0	24.0	10.0	5.9	アスファルト	3956
151-1	211	IVT-48	III	石核	黑曜石	26.4	22.4	20.7	11.0		6783
151-2	211	IVR-48	III	石核	黑曜石	25.9	28.8	16.7	12.2	下部打面つぶれ。最後は両極打法	959
151-3	211	IVV-33	III	石核	黑曜石	33.4	33.5	15.2	14.1		8911

遺物観察表(剥片石器・自然礫・石斧)(14)

国-N _o	写真	出土位置	層位	器種	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理 No.	
151-4	211	IVR-47	III	石核	黒曜石	37.1	39.6	32.4	55.0		5906	
151-5	211	IVR-50	III	石核	黒曜石	18.9	42.5	27.8	23.6		5907	
151-6	211	IVR-46	III	石核	黒曜石	29.6	37.7	19.4	16.6		5786	
151-7	211	IVT-35	III	石核	黒曜石	28.2	21.5	13.5	8.5		5988	
151-8	211	IVR-47	II	石核	黒曜石	45.6	39.0	28.1	48.5		5787	
151-9	211	IVT-34	III	石核	黒曜石	41.9	37.8	32.3	53.2		5909	
151-10	211	IVU-35 SN45周辺	石核	黒曜石	25.9	27.6	21.1	16.2	不純物なく良質		5908	
151-11	211	IVN-42	III	石核	黒曜石	30.5	31.2	15.4	13.3	最後面極打法?		5983
151-12	211	IVO-41	III	石核	黒曜石	27.8	38.0	25.5	26.3	不純物なく良質		5786
151-13	211	IVV-31	III	石核	黒曜石	24.4	19.2	19.3	9.2		5912	
151-14	211	IVU-33	III	石核	黒曜石	31.1	21.4	12.0	7.2	二次加工剥片?		5910
151-15	211	IVR-45	III	石核	黒曜石	28.9	33.5	23.2	20.5		5780	
151-16	211	ブロック 旧S103	覆土	石核	珪質頁岩	29.1	44.3	20.6	27.6		5991	
151-17	211	ブロック 旧S103	覆土	石核	珪質頁岩	35.1	51.2	27.3	47.2		5999	
151-18	211	IVU-35	III	石核	珪質頁岩	27.4	38.5	14.8	16.2		5669	
151-19	211	IVT-48	III	石核	珪質頁岩	33.1	47.9	20.4	31.3		5102	
151-20	211	IVN-41	III	石核	珪質頁岩	61.2	87.9	35.0	179.7		5270	
152-1	211	IVR-43	III	石核	珪質頁岩	35.8	59.8	21.0	31.6		5073	
152-2	211	IVU-44	III	石核	珪質頁岩	102.5	108.1	44.0	487.1		5003	
152-3	211	IVT-33	III	石核	珪質頁岩	27.9	47.4	22.9	31.3		7133	
152-4	211	IVS-35	III	石核	珪質頁岩	68.2	79.7	39.0	196.4		6739	
152-5	211	IVU-43	II	石核	珪質頁岩	39.0	39.3	21.9	28.8		7126	
152-6	211	IVO-43	III	石核	珪質頁岩	29.0	55.0	20.0	22.5		5784	
152-7	—	IVU-48	III	石核	珪質頁岩	44.0	42.0	24.0	37.9		5799	
152-8	211	IVW-31	III	石核	珪質頁岩	43.9	76.8	28.8	81.5		6584	
152-9	211	IVU-34	III	石核	珪質頁岩	35.0	38.0	16.0	18.5		7116	
152-10	211	IVR-43	III	石核	珪質頁岩	33.5	49.5	28.6	46.9		5211	
152-11	211	IVS-35	III-2	石核	珪質頁岩	22.4	42.3	24.7	25.2	Sec7	6602	
153-1	211	IVS-35	III下	石核	珪質頁岩	27.6	38.7	29.1	29.3		5803	
153-2	211	IVN-41	III	石核	珪質頁岩	55.5	62.6	47.0	187.3		5020	
153-3	211	IVU-35	III	石核	珪質頁岩	56.2	85.7	54.5	253.1		6682	
153-4	211	IVU-43	III	石核	珪質頁岩	23.9	29.7	26.0	22.6		5191	
153-5	212	IVT-52	III	石核	珪質頁岩	43.5	46.3	24.2	57.0		7143	
153-6	212	IVO-48	III	石核	珪質頁岩	33.4	31.6	24.6	28.3		7130	
153-7	212	IVU-29	I	石核	珪質頁岩	105.0	87.0	40.0	412.6		6672	
153-8	212	IVV-30	IV	石核	珪質頁岩	39.7	45.2	32.5	60.4		6615	
153-9	212	IVU-33	III	石核	珪質頁岩	46.2	75.3	36.1	118.3		6654	
154-1	212	IVR-41	III	石核	珪質頁岩	27.6	36.9	36.1	37.8		5015	
154-2	212	IVQ-43	III	石核	珪質頁岩	86.6	104.4	83.7	948.8		5287	
154-3	—	IVU-41	III	石核	珪質頁岩	73.8	86.3	86.3	48.5		5258	
154-4	212	IVU-34	III	石核	珪質頁岩	59.1	64.4	40.1	148.0		6632	
155-1	—	IVT-29	I	石核	珪質頁岩	40.4	90.7	46.3	175.2		5148	
155-2	212	IVM-41	III	石核	珪質頁岩	40.9	60.8	32.5	86.0		5243	
155-3	212	IVU-45	III	石核	珪質頁岩	28.9	35.5	23.6	25.0		7132	
155-4	212	IVU-37	III	石核	珪質頁岩	53.8	75.4	41.1	173.9		5121	
155-5	212	IVW-31	III	石核	珪質頁岩	33.1	44.8	14.0	23.3		5552	
155-6	212	IVU-33	III	石核	珪質頁岩	42.2	78.8	34.7	97.8		5677	
155-7	212	IVR-44	III	石核	珪質頁岩	31.0	44.6	20.2	25.4		5021	
155-8	212	IVU-34	III	石核	珪質頁岩	40.0	70.5	26.2	89.1		6533	
155-9	212	IVU-37	III	石核	珪質頁岩	67.7	68.2	40.1	119.4		5028	
156-1	212	IVU-43	III	石核	珪質頁岩	36.9	43.4	35.4	56.7		5236	
156-2	212	IVS-35	III	石核	珪質頁岩	67.3	84.4	66.8	378.1		7134	
156-3	212	IVS-36	III	石核	珪質頁岩	34.8	41.0	20.8	33.6		6685	
156-4	212	IVS-35	III上	石核	珪質頁岩	44.2	84.3	48.7	245.9		6777	
156-5	212	IVT-37	III	石核	珪質頁岩	31.8	34.4	29.8	46.3		5053	
156-6	212	IVU-36	III	石核	珪質頁岩	34.1	43.1	24.9	37.8		5056	
156-7	212	ブロック 旧S103	覆土	石核	珪質頁岩	30.6	43.2	35.7	60.5		5093	
156-8	212	IVU-41	III	石核	珪質頁岩	39.2	35.9	34.3	52.6		5022	
157-1	213	IVU-41	III	石核	珪質頁岩	39.8	97.5	52.3	199.3		5266	
157-2	213	IVS-35	III	石核	珪質頁岩	119.2	51.3	40.1	216.0		6785	
157-3	213	IVN-43	III	石核	珪質頁岩	44.0	86.0	48.1	181.8		7136	
157-4	213	IVS-45	III	石核	珪質頁岩	94.8	42.5	39.1	183.2		7125	

遺物観察表(剥片石器・自然礫・石斧)(15)

図-No.	写真	出土位置	層位	器種	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理 No.
157-5	213	IVS-34	III	石核	珪質頁岩	55.6	131.2	62.6	417.4	S-218	7135
158-1	-	IVS-43	III	石核	珪質頁岩	20.3	38.1	31.2	26.5		5182
158-2		欠番									
158-3	213	IVR-37	III	石核	珪質頁岩	38.2	35.9	29.1	46.4		5055
158-4	213	IVI-30	III	石核	珪質頁岩	45.6	37.2	24.8	35.5		6532
158-5	213	IVS-44 Sec3	III-2	石核	珪質頁岩	39.9	59.2	45.6	120.7		5094
158-6	213	IVS-35	III上	石核	珪質頁岩	40.0	29.0	23.2	25.9		6792
158-7	213	IVT-34	III	石核	珪質頁岩	26.1	31.2	22.6	18.2		6742
158-8	213	IVQ-41	III	石核	珪質頁岩	28.1	53.8	21.7	35.4		5025
158-9	213	IVP-36	III	石核	珪質頁岩	31.4	29.8	34.5	34.7		7131
158-10	-	IVQ-57	III	石核軸用敲石	珪質頁岩	63.5	43.2	36.2	140.4		313
158-11	213	IVW-33	III	石核軸用敲石	珪質頁岩	31.2	34.3	34.8	42.2		6646
158-12	213	IVS-57	II	石核軸用敲石	珪質頁岩	48.3	47.0	39.4	44.6		1318
159-1	213	IVR-47	III	石核軸用敲石	珪質頁岩	55.0	54.0	51.8	175.0		508
159-2	213	IVM-47	III	石核軸用敲石	珪質頁岩	60.4	56.3	52.0	240.6		507
159-3	213	IVR-42	III	石核軸用敲石	珪質頁岩	58.1	39.0	28.4	65.0		451
159-4	213	IVN-39	III	石核軸用敲石	珪質頁岩	51.8	32.7	33.5	67.7		452
159-5	-	IVS-49	III	石核軸用敲石	珪質頁岩	72.0	64.0	44.2	268.9	S-142	25
160-1	213	IVR-35	III	石核軸用敲石	珪質頁岩	66.7	46.9	43.7	174.3		1315
160-2	213	IVN-44	III	石核軸用敲石	珪質頁岩	46.0	29.8	26.4	33.1		1316
160-3	213	IVI-30	I	石核軸用敲石	珪質頁岩	34.0	35.9	22.6	34.7		1319
160-4	213	IVS-51	III	石核軸用敲石	珪質頁岩	38.9	39.1	27.2	49.6		1317
160-5	214	IVR-45	III	石核軸用敲石	珪質頁岩	52.3	54.5	49.1	181.0		8614
160-6	214	IVQ-35	III	石核軸用敲石	珪質頁岩	45.5	50.1	20.6	49.9		454
160-7	214	IVQ-46	III	石核軸用敲石	珪質頁岩	69.3	60.6	57.1	249.6	S-114	24
160-8	214	IVQ-39	III	石核軸用敲石	珪質頁岩	52.9	54.3	34.4	133.6		8250
161-1	214	IVS-49	III	接合資料	珪質頁岩	63.2	72.7	23.9	61.0	同一グリッドの剥片3点接合	8724
161-2	214	IVS-49	III	接合資料	珪質頁岩	71.3	54.0	22.6	52.3	同一グリッドの剥片5点接合	8723
161-3	-	IVQ-49	III	剥片	珪質頁岩	20.0	13.0	4.0	0.8		3654
161-4	214	IVQ-45	III	剥片	黒曜石	18.2	14.8	4.8	1.0	両極剥片	982
161-5	214	IVS-34 Sec5	A	剥片	珪質頁岩	41.0	44.0	12.0	15.1	アスファルト	3428
161-6	214	IVR-47	III	剥片	珪質頁岩	29.0	27.0	8.0	4.1	アスファルト	3662
161-7	214	IVR-44 Sec3	II	剥片	珪質頁岩	43.0	44.0	11.0	14.5	アスファルト	3935
161-8	214	Pit0006 覆土	剥片	珪質頁岩	37.0	35.5	8.0	3.7	アスファルト、IV-35	9939	
161-9	214	IVS-49	III	剥片	珪質頁岩	28.0	44.0	9.0	7.9	アスファルト	3666
161-12	214	IVM-45	III	剥片	珪質頁岩	50.0	29.0	11.0	10.5	アスファルト	3949
161-10	214	IVR-35	III	剥片	珪質頁岩	32.0	50.0	7.5	8.3	アスファルト	3941
161-11	214	IVT-35	III	剥片	珪質頁岩	30.0	32.0	8.0	4.0	アスファルト	3418
161-13	214	IVS-42	III	剥片	珪質頁岩	44.0	24.0	5.0	5.5	アスファルト	3940
161-14	214	IVU-35	III	剥片	珪質頁岩	31.0	18.0	10.0	4.0	アスファルト	8109
162-1	215	IVS-35 Sec7	III-5	打製石斧	緑色凝灰岩	136.7	66.2	40.5	371.6		3929
162-2	215	IVT-48	III	打製石斧	珪質頁岩	145.7	61.4	36.0	(300.9)		6217
162-3	215	IVS-49	III	打製石斧	粗粒玄武岩	149.0	57.3	21.6	212.7	S-149	506
162-4	215	IVQ-48	III	磨製石斧	粗粒玄武岩	(88.1)	61.4	33.3	(298.0)	S-96	4
163-1	215	Pit0035 1層	磨製石斧	粗粒玄武岩	130.8	56.3	28.7	318.8	S-50	71	
163-2	215	表掲	-	磨製石斧	粗粒玄武岩	106.5	59.0	29.0	303.1		504
163-3	215	植土	-	磨製石斧	粗粒玄武岩	(63.8)	43.5	30.6	(123.3)		73
163-4	215	IVS-38	III	磨製石斧	粗粒玄武岩	(76.5)	61.4	34.2	(321.1)		177
163-5	215	IVP-29	III	磨製石斧	粗粒玄武岩	(51.4)	36.5	22.6	(54.8)	脱稿後6と接合	75
163-6	215	IVR-49	III	磨製石斧	粗粒玄武岩	(69.1)	49.2	23.1	(126.1)	脱稿後5と接合	8
163-7	215	IVU-34	III	磨製石斧	粗粒玄武岩	(100.0)	43.0	28.0	(181.0)		8118
163-8	215	IVS-49	III	磨製石斧	粗粒玄武岩	96.3	47.1	22.0	142.1	S-154	2
163-9	216	IVU-30	III	磨製石斧	粗粒玄武岩	68.0	34.0	12.0	37.3		8717
164-1	216	IVS-34	III	磨製石斧	粗粒玄武岩	(43.0)	15.0	10.0	(11.4)		8107
164-2	-	IVS-35	III	磨製石斧	デイサイト	78.0	57.0	31.0	192.5		8102
164-3	216	IVQ-45	III	磨製石斧	砂岩	72.8	45.5	22.8	119.6		1609
164-4	216	IVT-24	III	磨製石斧	凝灰岩	114.0	47.0	26.0	185.3	基礎再加工	8104
164-5	216	IVP-50	III	磨製石斧	凝灰岩	113.5	53.5	30.7	320.3		505
164-6	216	IVP-42	III	磨製石斧	凝灰岩	(84.4)	41.8	21.3	(73.9)	火ハモ	436
164-7	216	IVQ-45	III	磨製石斧	凝灰岩	92.1	36.9	20.3	103.2		457
164-8	216	IVS-48	III	磨製石斧	緑色凝灰岩	86.5	48.8	24.7	185.4		7
165-1	216	IVU-33	III	磨製石斧	緑色凝灰岩	(70.0)	47.0	25.0	(132.8)		8103

遺物観察表(剥片石器・自然礫・石斧)(16)

国-N _o	写真	出土位置	層位	器種	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理 No.	
165-2	216	IV-47	III	磨製石斧	緑色岩	26.8	22.8	7.5	8.2		74	
165-3	216	P10206	堆積土	磨製石斧	緑色岩	42.0	19.0	15.0	7.0		8742	
165-4	216	IVS-46	III	磨製石斧	緑色岩	90.8	54.0	27.4	219.1	基部側面加工	6	
165-5	216	IVW-44	II	磨製石斧	緑色岩	84.0	53.0	27.0	207.0	正面側面赤色顔料?付着	8105	
165-6	216	IV-39	III	磨製石斧	緑色岩	66.8	46.3	10.9	138.1	折れ面敲打初期?敲石転用?	5	
165-7	216	IVT-48	III	磨製石斧	緑色岩	(85.6)	45.3	11.9	(146.7)		72	
165-8	216	IVQ-45	III	磨製石斧	緑色岩	(51.4)	39.2	21.8	(70.3)		1	
165-9										欠番		
165-10	216	IVQ-44 See3	III-9	磨製石斧	緑色岩	45.6	25.1	10.2	18.0		70	
写 真 の み に 掲 載 す る	1	217	IVS-34	III	石鐵	珪質頁岩	42.0	14.0	4.0	1.9	正面側面周辺加工	8739
	2	217	IVQ-41	III	石鐵	珪質頁岩	28.0	13.0	3.5	1.1	正面側面周辺加工	636
	3	217	SQ19	I	石鐵	珪質頁岩	37.0	11.0	4.0	1.3		8741
	4	217	IVU-29	III	石鐵	珪質頁岩	15.0	8.0	4.0	0.3	細小形	8740
	5	217	IVT-41	I	石鐵	鈣質頁岩	30.0	23.0	8.0	4.6		961
	6	217	IVQ-47	III	石鐵	珪質頁岩	41.0	7.5	7.0	1.6	アスファルト	562
	7	217	IVQ-42	III	石鉋	珪質頁岩	52.0	36.0	12.0	14.1	アスファルト	1836
	8	217	IVN-45	I	石鉋	珪質頁岩	56.0	48.0	14.0	22.7	アスファルト	2935
	9	217	IVR-39	III	石鉋	珪質頁岩	75.0	17.0	5.5	6.9		1804
	10	217	IVQ-46	II	石鉋	珪質頁岩	47.0	33.0	9.0	10.3		4113
	11	217	IVU-30	III	石鉋	珪質頁岩	107.0	57.0	27.0	126.4		8739
	12	217	IVV-29	III	削器	珪質頁岩	76.0	48.0	22.0	59.3	刃部は良質部分にのみ加工	1212
	13	217	IVV-29	III	削器	珪質頁岩	85.0	45.0	15.0	28.7		7174
	14	217	IVT-51	III	削器	珪質頁岩	86.0	41.0	14.5	48.9		5553
	15	217	IVT-34	床下	両極石器	珪質頁岩	46.0	38.0	15.0	26.0		8751
	16	217	IVQ-42	III	両極石器	珪質頁岩	62.0	35.0	20.0	45.6		4120
	17	217	IVN-41	III	両極石器	珪質頁岩	58.0	35.0	12.0	32.5		4115
	18	217	IVS-41	III	二次加工剝片	珪質頁岩	136.0	58.0	24.0	147.4		8791
	19	217	IVQ-40	III	二次加工剝片	珪質頁岩	48.0	18.0	11.0	7.2		1107
	20	217	IVR-38	III	石蓮	珪質頁岩	110.0	66.0	23.0	110.3		4109
	21	217	IVN-42	III	微細剝片	珪質頁岩	134.0	55.0	32.0	144.4	刀部光沢	1753
	22	217	IVQ-41	III	二次加工剝片	珪質頁岩	38.0	31.5	10.0	6.2	アスファルト	2104
	23	217	IVT-49	III	剝片	珪質頁岩	16.0	14.0	9.0	6.1	アスファルト	6207
	24	217	IVN-41	III	剝片	珪質頁岩	36.0	24.0	7.0	4.6	アスファルト	1083
	1	218	IVN-44	I	剝片	珪質頁岩	25.0	13.0	4.0	1.5	アスファルト	6198
	2	218	IVQ-46	III	研	珪質頁岩	40.0	39.0	11.0	10.3		2124
	3	218	IVT-49	III	剝片	ジャスパー	35.0	31.0	7.0	4.4		4121
	4	218	IVS-49	III	剝片	珪質頁岩	40.0	38.0	7.0	7.7		8750
	5	218	IVS-34 ショット	II	自然礫	水晶	34.0	25.0	16.0	13.9 g 3片 (10.1g, 2.3g, 1.5g) 接合		8731
	6	218	IVR-40	III	自然礫	水晶	28.0	15.0	9.0	4.3		3804
	7	218	IVY-40	I	自然礫	水晶	18.0	11.0	5.0	1.0		3803
	8	218	IVN-41	III	核転用敲石	珪質頁岩	53.0	35.0	12.0	28.8 「剝片」の転用品か		8767
	9	218	IVR-47	III	核転用敲石	珪質頁岩	114.0	46.0	43.0	271.0		8750
	10	218	IVR-35	III	核転用敲石	珪質頁岩	55.0	27.0	31.0	92.5		8759
	11	218	IVR-50	III	核転用敲石	珪質頁岩	48.0	44.0	42.0	119.2		8773
	12	218	IVR-45	III	核転用敲石	珪質頁岩	53.0	43.0	26.0	68.7		8763
	13	218	IVQ-37	III	核転用敲石	珪質頁岩	64.0	31.0	30.0	66.8		8761
	14	218	IVQ-37	III	核転用敲石	珪質頁岩	59.0	54.0	41.0	132.3		8758
	15	218	IVN-37	I	原石	玉髓珪質頁岩	26.0	22.0	17.0	16.5		2795
	16	218	IVT-48	III	原石	玉髓珪質頁岩	32.0	19.0	12.0	13.0		8793
	17	218	IVP-53	III	原石	黒曜石	53.0	38.0	31.0	94.0 2片に割れ、剝片撮影		8794
	18	218	IVR-49	III	原石	珪質頁岩	94.0	76.0	41.0	420.5		7330
	19	218	IVT-47	III	原石	珪質頁岩	125.0	105.0	88.0	1280.0		8792
	20	218	IVR-50	III	原石	珪質頁岩	195.0	105.0	70.0	1058.6		7333
	21	218	IVQ-45	III	原石	珪質頁岩	220.0	180.0	163.0	5356.0		8755
	写218	剥片集中1	III	接合資料	珪質頁岩	34.0	22.0	10.5	4.6	剝片2点接合	8581	
	写218	剥片集中3	III	接合資料	珪質頁岩	124.0	57.5	29.0	136.0	剝片3点接合、裏面含め縫隙で割れ	8735	
	写218	剥片集中4	III	接合資料	珪質頁岩	39.0	29.0	11.0	5.4	剝片3点接合	8584	

縄石器観察表(1)

図-Na	写真	出土位置	層位	器種	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理 番
1-10	93	S101	下層	石皿	粗粒玄武岩	28.9	33	6.5	7,500	やや凹む 緑なし	120
1-11	93	S101	床面	石皿	安山岩	22.2	41.1	4.6	4,940	板状渦理 破損	118
1-26	93	S102	1層	磨石	安山岩	12.6	10.2	7.8	1,350	チノキ石に似る	59
1-27	93	S102	床面	石皿	斑岩	28.7	35	11.7	13,340	完形 中央隆む	119
3-16	94	SN45周辺 IVU-35	III	凹石	凝灰岩	12.6	6.3	3.4	330.4	両面に凹孔	1138
3-17	226	SN45周辺 IVU-35	III	石皿	凝灰岩				14,180		1359
5-1	95	SN38 IVT-48		敲石	花崗閃緑岩	9.5	11.8	7.7	1,300	平坦面は平滑 側面に打痕	58
5-2	95	SN38 IVT-48		砥石	安山岩	16.2	11	4.6	1,210	平坦面に磨痕	83
5-3	95	SQ12 IVT-48	III	石皿	凝灰岩	24.1	32.2	4.9	5,200	板状 緑なし 平滑 ※SQ12はSN39上部の配石。	1011
5-4	95	SQ12 IVT-48	III	石皿	安山岩	29.5	39.9	9.8	15,400	完形 緑なし 両面利用 ※SQ12はSN39上部の配石。	1010
5-6	96	SN39 IVT-48	III	石皿	凝灰岩	24.3	19.3	3.6	17,380	両面利用	460
6-1	96	SN39 IVT-48		石皿	安山岩	20.5	28.6	4.9	7,540	破損品 緑なし 平坦で滑らか	122
9-6	97	SQ01	確認面	台石	安山岩	17.9	13.1	6.7	1,780		32
9-14	97	SQ06	III	石皿	デイサイト	52	44.6	5	15,150	板状	124
9-18	98	SQ07	1層	敲石	デイサイト	8.7	10.2	7.1	670	部にアバタ状の敲打痕	67
10-6	98	SQ09 IVR-45	覆土	石皿	凝灰岩	31.4	40	7.3	9,750	完形 緑なし赤色顔料付着	79
11-3	99	SQ11		石皿	安山岩	36.8	46.4	4.5	10,100	板状渦理 平面平滑	138
11-6	99	SQ14		石皿	凝灰岩	24.5	23.8	6.2	3,802	両面利用 平滑な部分と打痕	1354
11-7	99	SQ14		石皿	安山岩	23.4	28	7.5	5,860		1209
12-6	100	SQ19		石皿	花崗閃緑岩	33.5	40.7	10	19,200	大形	1210
12-7	-	SQ19	I	凹石	安山岩	10.5	9	5.8	644.5	破壊利用 両面に凹孔	1339
13-6	99	SQ11 IVT-48	III	鍛器	デイサイト	10	18.4	7.9	1637.3	一側面に打痕	139
166-1	219	IVR-47	III	磨石	粗粒玄武岩	5.5	5	4.7	170	表面に磨痕	885
166-2	219	IVT-35	III	磨石	デイサイト	10.4	8.4	5.4	699.4	赤色顔料付着 平坦面に磨痕	1110
166-3	219	IVT-52	III	磨石	凝灰岩	7.3	6.5	3.5	210	黒色物質の付着	1008
166-4	219	IVQ-42 (HS103) 3回目	覆土	磨石	緑色凝灰岩	10.5	7.5	4.5	460	平坦面に磨痕	65
166-5	219	IVQ-44	III	磨石	粗粒玄武岩	11.1	8.2	4.8	690	平坦面に磨痕	251
166-6	219	IVQ-45	III	磨石	安山岩	8.9	9.6	7.4	890	表面に磨痕	920
166-7	219	IVU-34	III	磨石	花崗閃緑岩	12	9.2	8.8	1,240	全体に磨痕	1082
166-8	219	アサP11 IVT-34	III	磨石	安山岩	14.5	11.1	7.7	1,640	平坦面に磨痕と線状痕	1299
166-9	219	IVP-49	III	磨石	安山岩	11.5	8.4	6.5	800	片面に磨痕	927
166-10	219	IVP-48	III	磨石	斑岩	10.4	8.2	7.4	963	表面に光沢 截打整形	347
166-11	219	IVN-36	III	磨石	安山岩	8.9	9	6.2	740	平坦面に磨痕 側面打痕	169
166-12	219	IVT-35	III上	磨石	安山岩	8.6	7.8	4.4	426.3	両面に磨痕 片面に線状痕	1112
166-13	219	IVS-48	III	磨石	花崗閃緑岩	9	6.9	5.5	460	全体整形 両面に磨痕	882
166-14	219	IVP-43	III	磨石	花崗閃緑岩	9	8	5.8	580	一部被熱 両面に磨痕	435
166-15	219	IVR-34	III	磨石	花崗閃緑岩	10	7.8	6	680.1	両面に磨痕 側縁に打痕	1066
166-16	219	IVS-34	III	磨石	花崗閃緑岩	10.1	6.9	5.5	574.3	両面に磨痕 全体整形	1109
166-17	219	IVS-35	III	磨石	花崗閃緑岩	11.7	7.8	6.8	950.6	両面に磨痕	1098
166-18	219	Sec7 IVS-35	III-7	磨石	安山岩	11.1	8.5	6.3	760.6	両面に磨痕	1119
166-19	219	IVP-46	III	磨石	安山岩	11.3	9.2	7.2	1,040	側面に黒色物質付着	896
166-20	219	IVQ-45	III	磨石	安山岩	10.9	9.4	6.6	790	両面に光沢	353
166-21	219	IVT-51	III	磨石	緑色凝灰岩	11.6	9.3	6.5	790	平坦面は平滑 薄状痕あり	773
166-22	219	Sec3 IVQ-44	III-6	磨石	安山岩	10.6	9.5	6.4	920	平坦面に磨痕 側面に打痕	62
167-1	219	IVR-47	III	磨石	安山岩	10.5	10.2	7.1	1,050	表裏面に滑らかな磨痕	884
167-2	219	IVT-49	III	磨石	粗粒玄武岩	10.7	9.8	6	940	端面は滑らか; 磨痕	18
167-3	219	Sec3 IVS-44	III-2	磨石	粗粒玄武岩	15	8.7	5.8	1,140	凹孔周辺は滑らかな磨痕	63
167-4	219	IVN-42	III	磨石	安山岩	10.1	9	6	770		384
167-5	219	IVT-52	III	磨石	花崗閃緑岩	10.4	8.5	5.6	710	平坦面に磨痕と打痕	954
167-6	219	IVR-50	III	磨石	緑色凝灰岩	10.6	9.6	5.2	700	摩り潰し状の磨痕と擦条痕	652
167-7	220	IVQ-46	III	磨石	安山岩	9.6	8	5.7	580	中央にアバタ状の打痕	922

縄石器観察表(2)

図-Na	写真	出土位置	層位	器種	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理 No.
167 - 8 220	IVT-48	III	磨石	安山岩	10.3	8.8	7.1	930	3面に凹孔	490	
167 - 9 220	IVT-50	III	磨石	安山岩	12.4	8.6	7.3	1,120	平坦面に磨痕 側面に打痕	944	
167 - 10 220	IVO-42	III	磨石	玄武岩	10.1	8.3	6.3	736.3	3面に凹孔	298	
167 - 11 -	IVS-35	III	磨石	安山岩	11	7.3	6.4	656	3面の平坦な面に光沢	1690	
167 - 12 220	IVS-38	III	磨石	緑色凝灰岩	12.3	8.8	3	346.9	側面に敲打痕	264	
167 - 13 220	IVS-45	III	磨石	緑色凝灰岩	15.9	10.1	7.2	1,440	ない磨痕と大きな凹孔	657	
168 - 1 220	IVS-35	III	磨石	緑色凝灰岩	14.8	8.7	2.7	464.6	側面に敲磨痕	1158	
168 - 2 220	IVO-42	III	磨石	緑色凝灰岩	13.4	7.6	4.4	610	扁平磨石 両面に浅い凹孔	382	
168 - 3 220	IVS-47	III	磨石	デイサイト	12.3	7.8	4.9	647.5	扁平磨石 両面に凹孔	739	
168 - 4 220	IVR-46	III	磨石	緑色凝灰岩	17.5	7.9	4	561.6	扁平磨石 平坦面に凹孔	694	
168 - 5 -	IVR-45	III	磨石	凝灰岩	13	3.7	2.5	142.5	端部に磨痕 スリコギ的	1240	
168 - 6 220	See7 IVN-36	III-10	磨石	安山岩	9.2	4	1.5	87.2	スリコギ的 両端部に磨痕	1345	
168 - 7 220	IVT-34	III	磨石	粗粒玄武岩	13.5	7.3	5.4	737.5	側面に打痕 端部に磨痕	1115	
168 - 8 220	IVW-32	III	凹石	安山岩	10.6	8.7	7.3	718.5	片面に凹孔	1154	
168 - 9 220	IVQ-49	III	凹石	安山岩	9	10.3	7.1	820	片面利用 平坦面に凹孔	840	
168 - 10 220	IVO-44	III	凹石	凝灰岩	11.1	7.1	4.5	449	円孔は浅い 敲打による	356	
168 - 11 220	IVS-45	III	凹石	玄武岩	14.3	6.1	3.6	469.2	片面に凹孔	666	
168 - 12 -	IVP-45	III	凹石	緑色凝灰岩	16.6	9.9	2.4	450	片面に凹孔 裏面平滑	664	
168 - 13 -	IVP-45	III	凹石	緑色凝灰岩	13	6.8	5.9	710	圓孔のある面は滑らか	681	
168 - 14 -	IVS-52	III	凹石	緑色凝灰岩	11.1	8.3	3	300	片面に凹孔	663	
168 - 15 220	See2 IVN-44	III-1	凹石	凝灰岩	9.9	7.9	2	150	片面に凹孔	57	
168 - 16 220	IVT-52	III	凹石	凝灰岩	10.7	10	6.5	780	両面に凹孔	768	
168 - 17 -	See5 IVS-35	III-5	凹石	砂岩	14.5	10.2	3.5	427.9		1120	
168 - 18 220	IVQ-46	III	凹石	緑色凝灰岩	7.6	6.3	4.1	227.6	深い凹孔と深い凹孔	691	
169 - 1 -	IVS-45	III	凹石	緑色凝灰岩	6.8	7.6	3.6	240		665	
169 - 2 221	IVR-44	III	凹石	安山岩	8	5.7	4.9	230.2	両面利用 器面はザラツク	275	
169 - 3 -	IVR-50	III	凹石	安山岩	7.7	6	5.6	270	両面に凹孔	651	
169 - 4 -	IVR-46	III	凹石	緑色凝灰岩	7.8	7.1	6	360	両面に凹孔	706	
169 - 5 -	IVT-49	III	凹石	緑色凝灰岩	9	7.4	3.5	250	両面に凹孔	586	
169 - 6 221	IVP-43	III	凹石	緑色凝灰岩	8.5	6.4	4	203.7	両面に浅い凹孔	371	
169 - 7 -	IVR-47	III	凹石	緑色凝灰岩	9.3	7	3.7	320	両面に凹孔	745	
169 - 8 -	IVR-47	III	凹石	粗粒玄武岩	8.4	8.3	5.3	510	平面に凹孔	741	
169 - 9 -	IVR-45	III	凹石	緑色凝灰岩	9.8	9.3	3	290	両面に凹孔	717	
169 - 10 -	IVT-49	III	凹石	凝灰岩	9.1	6.1	2.2	150	両面に凹孔	571	
169 - 11 -	IVS-46	III	凹石	緑色凝灰岩	9.8	9.9	5.5	610	両面に凹孔	715	
169 - 12 221	IVS-27	I	凹石	凝灰岩	14.1	8.6	4.1	637.8	両面に深い凹孔	1172	
169 - 13 -	IVQ-49	III	凹石	緑色凝灰岩	7.3	9.4	2.9	220	両面に打痕による凹孔	764	
169 - 14 221	IVW-31	III	凹石	凝灰岩	9.9	8	4.1	327.4	両面に凹孔	1152	
169 - 15 -	IVO-42	III	凹石	緑色凝灰岩	14.4	7.7	4.4	540	両面に凹孔	758	
169 - 16 221	IVQ-46	III	凹石	安山岩	12.3	6.3	5.4	562.1	平坦面にナリ鉢状の凹孔	661	
169 - 17 221	IVS-47	III	凹石	緑色凝灰岩	11.5	7.8	4.5	390	被熱 両面に凹孔	722	
169 - 18 221	IVU-30	III	凹石	緑色凝灰岩	12.8	7.6	4.2	429.8	両面に凹孔 一部に擦痕	1096	
169 - 19 221	IVP-49	III	凹石	緑色凝灰岩	8.4	7.7	3.5	260	両面に凹孔 平坦面に凹孔	572	
170 - 1 -	IVR-47	III	凹石	緑色凝灰岩	9.7	9	5	510	両面に凹孔	734	
170 - 2 -	IVT-49	III	凹石	凝灰岩	11	7.1	5.5	440	両面に凹孔	585	
170 - 3 221	IVS-48	III	凹石	安山岩	11	6.3	4.7	369.5	両面に深い凹孔	813	
170 - 4 221	IVS-48	III	凹石	緑色凝灰岩	11.6	10.6	2.8	450	両面に凹孔 側縁打ち欠き	286	
170 - 5 221	IVR-50	III	凹石	安山岩	12.8	8	6	850	タール状の物質付着	655	
170 - 6 221	IVQ-46	III	凹石	緑色凝灰岩	10.3	8.1	4.6	380	両面に凹孔	638	
170 - 7 -	IVP-46	III	凹石	凝灰岩	13.6	10	3.8	550	板状に加工・整形	262	
170 - 8 -	IVN-45	III	凹石	安山岩	10.1	6.9	5.1	480	両面に複数の深い凹孔	669	
170 - 9 -	IVS-44	III	凹石	緑色凝灰岩	11.1	8.7	4.4	500	両面に凹孔	483	
170 - 10 221	IVO-45	III	凹石	緑色凝灰岩	10	8.2	5.5	440	両面利用 深い凹孔	686	
170 - 11 -	IVS-48	III	凹石	緑色凝灰岩	11.7	7.6	4	460	両面に連続する凹孔	746	
170 - 12 221	IVS-48	III	凹石	緑色凝灰岩	13.1	7.9	3.7	408.9	片端に剥離痕 被熱	751	
170 - 13 -	IVS-50	III	凹石	緑色凝灰岩	11.2	7.8	4.1	560	両面に連続する凹孔	642	
170 - 14 -	IVM-46	III	凹石	緑色凝灰岩	10.1	7.4	2.6	290	両面に凹孔	754	
170 - 15 -	IVP-45	III	凹石	デイサイト	13	8.9	2.8	370	両面に凹孔	680	
170 - 16 221	IVU-34	III	凹石	凝灰岩	11.8	7.5	3.9	386.8	両面に凹孔	1136	
170 - 17 -	IVR-48	III	凹石	粗粒玄武岩	10.4	5.6	3.3	290	両面に凹孔	749	
171 - 1 221	IVR-47	III	凹石	緑色凝灰岩	10	6.9	5.5	440.5	凹孔の一つはナリ鉢状	731	

縄石器観察表(3)

図-Na	写真	出土位置	層位	器種	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	整理 番
171- 2 221	IVW-33		III	円石	緑色凝灰岩	12.5	6.9	4.2	385.1	両面に凹孔	1147
171- 3 -	IV0-45		III	円石	緑色凝灰岩	11.9	7.5	2	210	両面に凹孔	689
171- 4 221	IVN-45		III	円石	緑色凝灰岩	13.6	7.3	2.6	330	凹孔は深くすり鉢状	233
171- 5 221	IVR-47		III	円石	デイサイト	15.4	8.5	2.7	410	両面に連続する凹孔	723
171- 6 -	IVR-50		III	円石	安山岩	12.6	8.1	5.6	760	両面に凹孔 片端に弱い打痕	647
171- 7 221	IVR-46		III	円石	凝灰岩	12.7	9.8	6.2	830	両面に凹孔	704
171- 8 221	IVS-27	I	III	円石	玄武岩	15.7	8	3.5	534	両面に凹孔	1168
171- 9 222	IVR-44		III	円石	緑色凝灰岩	16.3	6.2	2.9	389.9	両面に凹孔	397
171-10 222	IVR-34	III下	III	円石	凝灰岩	16.5	5.6	3.6	369	片端に刻離	1183
171-11 222	IVT-50		III	円石	安山岩	14.8	7.8	3.7	600		611
171-12 222	IVR-44		III	円石	安山岩	14.2	5.3	3.1	310	両面に凹孔 被熱	404
171-13 -	IVR-46		III	円石	緑色凝灰岩	12.3	8	3.5	490		703
172- 1 222	IVQ-42		III	円石	粗粒玄武岩	15.5	7.1	4.4	547.5	端部欠損 煙付着	160
172- 2 222	IVT-49		III	円石	緑色凝灰岩	13.1	5.1	3	240	両面に凹孔	577
172- 3 -	IVP-45		III	円石	緑色凝灰岩	13.9	6.7	4.7	610		688
172- 4 222	IVT-48		III	円石	緑色凝灰岩	10.3	7	6.4	480	3面に凹孔	591
172- 5 222	IVP-47		III	円石	緑色凝灰岩	13.4	7.4	6.1	776.7	3面に凹孔 一部に麻糸痕	599
172- 6 222	IVR-37		III	円石	凝灰岩	11.1	4.5	4.1	250	円柱状 凹孔付近に打痕	210
172- 7 222	IVR-44		III	円石	凝灰岩	8.6	7.2	5.5	410	4面に凹孔	274
172- 8 222	IVR-46		III	円石	緑色凝灰岩	13.1	8.1	5.5	730	4面に凹孔	1007
172- 9 222	IVR-47		III	円石	緑色凝灰岩	14.4	5.4	4.1	400	側面は敲打痕が主体	709
172-10 222	IVQ-45		III	円石	デイサイト	12.3	6.7	4.7	450		424
172-11 222	IVQ-49		III	円石	緑色凝灰岩	9.5	4.1	3.2	170	3面に凹孔	835
172-12 222	IVQ-47		III	円石	緑色凝灰岩	12.8	4.8	4	300	側面にも敲打痕	710
172-13 222	IVQ-34		III	円石	凝灰岩	13.1	5.2	2.9	241.3	平面に回転系の凹孔	1189
172-14 222	IVR-48		III	円石	緑色凝灰岩	11.4	8.4	4.9	520	半坦面の凹孔はすり鉢状	755
173- 1 223	IVS-51		III	円石	粗粒玄武岩	13.5	5.3	2.9	247.6		772
173- 2 -	IVS-46		III	円石	緑色凝灰岩	7.7	6.7	4.4	310	両面利用	707
173- 3 -	IVS-45		III	円石	安山岩	10.5	9.7	6.5	860	両面に打痕による凹孔	668
173- 4 223	IVS-53		III	円石	緑色凝灰岩	12.9	8.2	3.5	350	側面に打痕	341
173- 5 223	IVW-48		III	円石	緑色凝灰岩	13.9	6.5	3.6	450	端部に敲打痕	733
173- 6 223	IVT-49		III	円石	安山岩	9.8	8.8	6	639.7	両面に凹孔 側面に麻糸痕	573
173- 7 223	IVS-44		III	円石	緑色凝灰岩	10.3	8.4	3.7	310	両面に凹孔 側面に打痕	496
173- 8 223	IVW-34		III	円石	緑色凝灰岩	15.3	11.4	3.4	790.3	両面に連続する凹孔	1153
173- 9 223	IVR-45		III	円石	緑色凝灰岩	10.9	10.4	6.1	740	側面には敲打痕	365
173-10 223	IVS-33		III	円石	凝灰岩	12.3	8.6	5.7	666	凹孔付近に崩痕 端部に打痕	1173
173-11 223	IVQ-45		III	円石	粗粒玄武岩	13.5	8.9	4.2	720	両面に凹孔が漸なる	423
173-12 223	IVP-42		III	円石	緑色凝灰岩	10.5	8.3	3.2	288.4	両面に凹孔	390
174- 1 223	IVN-39		III	円石	安山岩	10.8	7.2	3.2	280	端部に打痕か凹	156
174- 2 223	IVR-50		III	円石	安山岩	11.8	5.2	3.3	270	両面に凹孔 側面に刻み	656
174- 3 223	IVR-48		III	円石	緑色凝灰岩	12.2	5.1	4.1	340	両面、片側面に凹孔	750
174- 4 223	IVU-33		III	円石	凝灰岩	11	8.3	5.2	469.1	両面と側縁に側縁に打痕	1142
174- 5 223	プロック 旧S103	覆土	III	円石	緑色凝灰岩	12.4	10.5	6.4	1,050	片面に斬り痕、IVQ-42	49
174- 6 -	IV0-45		III	敲石	デイサイト	8.9	4.1	3.1	153.6	小形 端部に打痕	1239
174- 7 224	IVR-48		III	敲石	デイサイト	7.1	5	2.5	120	小形 端部に打痕	876
174- 8 -	IVV-34		III	敲石	デイサイト	7.4	5.7	4	233.9	小形 端部に打痕	1046
174- 9 224	IVS-47		III	敲石	凝灰岩	10.6	6.4	4	377.4	やや柱状 端部に打痕	489
174-10 224	IVS-49		III	敲石	凝灰岩	14.7	5.9	4	425.9	端部に打痕 平坦部に麻痕	1054
174-11 224	IVN-43		III	敲石	花崗閃緑岩	9.2	7.1	4.9	428.9	ザラツク表面 端部に打痕	432
174-12 224	IVQ-50		III	敲石	花崗閃緑岩	14.6	8.1	7.8	1,240	平面に麻痕 端部に打痕	947
174-13 224	IVR-47		III	敲石	花崗閃緑岩	11.9	6.8	6.1	660	全面打痕 麻石的	872
174-14 -	IVS-50		III	敲石	粗粒玄武岩	10	9.5	7.3	960	周縁に打痕 平坦面に凹み	645
174-15 224	IVS-44		III	敲石	安山岩	13.3	8	7.3	1,210		366
174-16 224	Sec5 IVS-35	III-4	III	敲石	凝灰岩	9.7	7.6		534.3	楕円球状確 全面に敲打痕	1123
174-17 -	IVR-34		III	花崗閃緑岩		7.8	7.1	6.1	446	全面打痕	1034
174-18 224	IV0-44		III	敲石	凝灰岩	7	5.9	5.2	220.5	全体打痕 3面に打痕	362
174-19 224	IVT-53		III	敲石	デイサイト	8.5	7.5	5.4	435.1	全面打痕	297
174-20 224	IVQ-46		III	敲石	凝灰岩	5	4.4	3	90	平坦面に打痕	860
174-21 224	IVR-49		III	敲石	凝灰岩	5.4	4.7	3.6	120	片面に打痕	866
174-22 -	IVS-50		III	敲石	凝灰岩	5.5	4.7	3.9	130	裏面に打痕	644
174-23 -	IVT-35		III	敲石	安山岩	9.8	8.7	2.2	186.4	平坦面にアバタ状の打痕	1018

縄石器観察表(4)

図-Na	写真	出土位置	層位	器種	石材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	地理 Na
174-24 224	See2 IVP-44	III-8	蔽石	安山岩	12.3	8.6	6.4	930	片面にアバタ状の打痕	69	
174-25 224	IVS-47	III	蔽石	黒灰岩	14.9	9.1	3.4	490	側面に打痕	854	
175-1 224	IVS-48	III	石鍬	粗粒玄武岩	4.8	7.8	1.1	53.2	小形 短軸辺を抉り蔽打	516	
175-2 224	IVQ-45	III	石鍬	安山岩	4.8	6.2	2.3	80	小形 短軸辺を抉り	448	
175-3 224	IVS-49	III	石鍬	黒灰岩	8.1	8.8	2.2	190.6	短軸辺に抉り	515	
175-4 224	IVS-54	III	石鍬	粗粒玄武岩	7.9	6.4	2.2	167.8	短軸端に剥離	514	
175-5 224	IVM-46	III	加工鍬	緑色凝灰岩	13.1	9.4	2.9	481.6	長軸端と短軸辺に剥離	513	
175-6 224	IVN-41	III	縄器	珪質頁岩	10.6	5.3	4.4	260.5		509	
175-7 224	IVS-50	III	縄器	珪質頁岩	12.8	8.7	6	567.3		512	
175-8 224	IVT-46	III	縄器	珪質頁岩	17.6	5.4	5.3	508.3		511	
175-9 224		III	縄器	デイサイト	15.4	5.7	4.3	459.2		510	
175-10 224	IVS-48	III	砥石	安山岩	20.3	20.9	5.8	2811.8	有溝砥石 片面を利用	15	
176-1 224	IVR-46	III	砥石	黒灰岩	12.4	12	7.8	862.9	有溝砥石	14	
176-2 224	IVT-35	III	砥石	黒灰岩	26.5	23.1	4.3	3,040	中央が滑らか	1219	
176-3 225	IVV-34	III	砥石	黒灰岩	17.2	9.4	2.8	580	縁辺部整形 片面に擦痕	1230	
176-4 225	IVQ-45	III	砥石	黒灰岩	9.3	7.8	2	176.4	縁半 両面平滑	442	
176-5 225	IVS-33	III	石鑿	安山岩	34.5	46.8	3.5	6,940	板状修理	1218	
176-6 225	IVU-34	III	石鑿	安山岩	31.1	36.3	3.6	5,390	板状修理 片面利用	1227	
177-1 225	IVU-32	III	石鑿	安山岩	28.3	32.5	1.9	1,790	板状修理 片面	1083	
177-2 225	IVU-33	III	石鑿	安山岩	31.4	44.4	2	3,620	板状修理 両面利用	1206	
177-3 -	ブロック 旧SI03	覆土	石皿	安山岩	13.4	12.7	2	388.3	板状修理 片面	1350	
177-4 225	IVT-35	III上	石皿	縄器	21.4	16.3	3.1	1,190	縁取り 破壊	1190	
177-5 225	IVT-29	III	石皿	黒灰岩	23.3	22.1	5.8	2,140	破損 縁あり	1233	
177-6 225	IVS-45	III	石皿	黒灰岩	29.4	43	9.2	8,100	一部破損 大きく窪む	459	
177-7 225	See3 IVS-44	III-4-C	石皿	安山岩	22.5	37.4	6.5	5,750	縁あり 破損	116	
178-1 225	IVR-46	III	石皿	黒灰岩	58.6	47	16	24,660		458	
178-2 225	IVS-43	III	石皿	安山岩	15.9	19.9	5.5	2,030	完形 縁あり 大きく凹む	544	
178-3 226	IVQ-46	III	石皿	黒灰岩	37	46.4	7	12,350	完形 縁あり	137	
178-4 225	IVQ-35	III	石皿	安山岩	23.3	27.2	5	5,300	縁なし タール状物質付着	179	
178-5 226	IVR-57	III	石皿	安山岩	27.6	37.1	8.2	5,200	大型 完形 縁なし	1012	
179-1 226	IVO-49	III	石皿	安山岩	25.4	40.8	14.2	20,400	大型 縁なし	1013	
179-2 226	See3 IVR-44	III-4-C	石皿	デイサイト	18	36.4	5.5	4,000	縁半 完形 縁なし 両面平滑	114	
179-3 226	IVT-47	III下部	石皿	黒灰岩	27.2	30.3	13.5	13,160	完形 縁なし	471	
179-4 226	ブロック 旧SI03	覆土	石皿	安山岩	41.4	45.4	8	19,600	完形縁なし	123	
179-5 226	See3 IVR-44	III-4-C	石皿	黒灰岩	29.6	22.3	5.5	3,860	縁半 完形 縁なし 両面平滑	115	
180-1 227	IVP-46	III	磨石	デイサイト	10.8	8.5	6.2	760	赤色顔料付着 片面に顕著	889	
180-2 -	IVS-35	III	磨石	安山岩	6.5	5.7	4.5	212.5	小形 平坦面に磨痕	1100	
180-3 227	IVU-54	III	磨石	斑岩	11.2	8.6	6	774.6	平面面に赤色顔料付着	777	
180-4 227	IVR-43	III	磨石	花崗閃緑岩	8.7	8.5	6.4	700	赤色顔料付着	13	
180-5 227	IVP-42	III	磨石	緑色凝灰岩	10	8.6	6.7	768.4	赤色顔料の付着	383	
180-6 227	IVS-47	III	磨石	安山岩	11.1	7	4.7	522.5	赤色顔料付着	725	
180-7 227	IVS-45	III	磨石	デイサイト	11.6	9	7.1	1,020	強烈的に赤色顔料が付着	912	
180-8 227	See2 IVO-44	III-6	磨石	黒灰岩	13.1	8	4.8	700	赤色顔料の付着	66	
180-9 227	IVQ-45	III下部	凹石	安山岩	7.1	6.4	4.4	280	強烈的に赤色顔料が付着	358	
180-10 227	IVO-45	III	石皿	安山岩	9.5	10.5	1.7	200	板状修理 赤色顔料付着	979	
180-11 227	IVU-29	III	石皿	安山岩	10.6	15.8	1.7	337.1	赤色顔料付着 板状修理	1351	
180-12 227	IVS-37	III	石皿	デイサイト	9.2	24.4	2	430	板状修理 片面に赤色顔料付着	81	
181-1 227	IVR-43	III	石皿	デイサイト	15.8	28.8	2	800	板状修理 片面に赤色顔料付着	80	
181-2 227	Pt01045	確認面	石皿	安山岩	21.6	26.2	2.7	1,911	赤色顔料付着 板状修理	1352	
181-3 227	IVQ-41	III	石皿	安山岩	11.8	17.6	3	910	板状修理 片面に赤色顔料付着	215	
181-4 227	IVR-43	III	石皿	安山岩	35	25.6	10.1	8,150	縁なし 片面に赤色顔料付着	20	
181-5 227	IVR-45	III	石皿	安山岩	32.1	39.8	5.9	8,450	縁なし 赤色顔料付着	135	

土製品觀察表(1)

図-N _o	写真	遺構名	層位	分類	部位	形状	長さ (mm)	幅 (mm)	重さ (g)	備考	取上N _o	整理
182-1	228	S(03)空	匂上	土偶(中空)	頭	頭	28.9	32.7	10.5	6.9 プロックHS103	135	
182-2	228	IV-Q-49	III	土偶(中空)	頭	頭	35.2	36.4	10.4	8.9	124	
182-3	228	Sec2	IV-T-44	III-5	土偶	頭	45	52	33	22.5	P-15	
182-4	228	IV-T-54	III	土偶	角状突起	頭	20.9	19.6	13	4.2	特-93D	16
182-5	228	IV-T-54	III	土偶	上半身	頭	101.5	109.2	51.4	157.8	特-94	1
182-6	228	IV-T-34	III	土偶	中空?	頭部	49	42	28	19.6 前面欠損	169	
182-7	228	IV-T-54	III	土偶	上半身	頭部	23.1	18.6	19	3.5	特-93E	15
182-8	228	IV-T-54	III	土偶	中空?	頭部	17.6	27.3	13.5	3.9	特-93C	15
183-1	228	P-1020 付近	WN-44	III	土偶(中空)	全身	183	88	55	210.7 +93+36+121+122	土偶	8
183-2	229	IV-Q-41	III	土偶(中空)	骨管中	頭	58	95	56	67.1 +27+128	土偶×	7
183-3	228	IV-Q-38	III	土偶(中空)	脚部	頭	52.9	35.1	38.2	18.8	13	
183-4	228	IV-T-54	III	土偶(中空)	右肩	頭	34	58	43.4	26.4	特-93A	13
184-1	229	WQ-44	III	土偶(中空)	腹部	頭	96	125	54	311.9	P-1016	56
184-2	229	WQ-48	III	土偶?	不明	頭	—	—	9	23	P-1591	123
184-3	229	IV-S-48	III	土偶?	不明	頭	—	—	4	8.1	126	
184-4	229	IV-T-54	III	土偶?	不明	頭	23	34	27	8.6	特-93B	14
184-5	229	IV-R-44	III	土偶?	不明	頭	—	8	8	—	130	
184-6	228	IV-R-44	III	土偶?	不明	頭	44.6	47.5	12.9	22.3 断面に黑色着物。沈殿内赤彩	125	
184-7	229	IV-N-41	III	土偶?	不明	頭	—	—	5	4.9	134	
184-8	229	IV-S-50	III	土偶?	不明	頭	—	—	6	34.8	184	
185-1	230	IV-P-45	III	土偶(中空)	頭部	頭	91	78	67	250.3±3	特-73	2
185-2	230	Sec1	IV-Q-46	III-2	土偶(中実)	上半身	92	174	46	310 +54+146	特-25	
185-3	230	IV-Q-43	III	土偶(中空)	胸部	頭	75	37	27	62.6 +6+16上=— +5+16+16同=— +20	特-207	5
186-1	230	IV-S-35	III	配石面	土偶(中空)	頭部	89	36	31	75.7 +21.5 +20.5 +16.5付近	特-12	28
186-2	229	IV-V-32	III	配石面	土偶(中空)	頭部	87	71	59	215.2 +20.5 +16.5付近	特-213	157
186-3	229	Sec7	IV-S-35	III-10	土偶(中空)	頭部	75	49.5	44	110.9	特-239	158
187-1	231	IV-Q-45	III	土偶(中空)	上半身	頭	67.3	62.9	17.3	37.3	特-37	4
187-2	230	IV-S-50	III	土偶	頭部	頭	108.5	83	49.5	239.4	特-38	
187-3	231	IV-V-33	III	土偶(中空)	上半身	頭	70.2	43	25.5	37.6	特-201	11
188-1	231	(不明)	III	土偶	頭部	頭	35	63.2	19.6	24.6	特-213	137
188-2	231	IV-W-31	III	土偶	頭部	頭	46.4	30.5	19.2	15.1	特-206	155
188-3	231	(不明)	III	土偶	頭部	頭	18.2	37.4	18.3	9.7	136	
188-4	231	IV-R-45	III	土偶	頭部	頭	21.1	22.4	23	8.8	133	
188-5	231	IV-R-50	III	土偶	頭部	頭	27.4	18.4	23.5	11.2	167	
188-6	231	IV-V-30	I	土偶	頭部	頭	63.6	41	23.4	42.4	153	
188-7	231	IV-P-37	III	土偶	不明	頭	—	—	12.2	17.6 もしくは頭部	P-×	
188-8	231	IV-R-43	III	土偶?	不明	頭	74.2	74.5	39	99.4	53	
188-9	231	IV-Q-33	I	土偶?	不明	頭	52.2	33.3	21.9	18.1 土器の一部?	32	
188-10	231	IV-Q-45	III	土偶(中空)	頭部	頭	47.4	31	26	29.4	特-202	145
188-11	231	IV-S-30	III	土偶?	不明	頭	—	24.1	23.4	50.9	特-27	12
											159	

土製品観察表(2)

図-No.	写真	遺構名	グリッド	部位	分類	部位・形状	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	備考	地上高 m	
189-1	231	IV-T-48	III	直施	直形	直形	—	19.9	19.1	赤彩	11.3		
189-2	231	IV-T-35	III	直施	直形	直形	54.3	57.6	24.9	47	赤彩	33	
189-3	231	IV-T-33	III	直施	直形	直形	49.6	51.6	21	35.6	特-215	114	
189-4	231	IV-T-34	III	直施	直形	直形	46.7	27.4	29.4	28.5	特-187	187	
189-5	231	IV-T-38	III	直施	直形	直形	25	12	5	特-21	21		
189-6	231	IV-N-40	III	直施	直輪形	直輪形	24.8	24.6	14.4	7.3	赤彩	P-X	
189-7	231	IV-S-48	III	直施	直輪形	直輪形	24	23.6	14.8	7.2	特-91	41	
189-8	231	IV-T-34	III	直施	直輪形	直輪形	40.5	35.6	20.1	22.7	赤彩	188	
189-9	231	IV-T-32	III	直施	直輪形	直輪形	21.6	21.5	19.3	8	特-203	116	
189-10	231	IV-T-32	III	直施	直輪形	直輪形	24	27	26	16.2	202	202	
189-11	231	IV-S-50	III	直施	直形	直形	17	23	23	3.3	特-171	171	
189-12	231	IV-P-35	III	直施	直形	直形	26.7	29.5	29.2	11.9	特-179	179	
189-13	231	IV-R-46	III	直施	直状	直状	48	48	15	25.4	赤彩	104	
189-14	231	IV-Q-46	III	直施	直状	直状	41	40	16	13.5	特-46	18	
189-15	231	Sec2	IV-S-34	III-2	直施	直状	35	37	13	15	特-296	119	
189-16	231	IV-Q-44	III	直施	直状	直状	31	31.6	19.6	10.3	110	110	
189-17	231	IV-O-44	III	直施	直状	直状	18.3	18.2	11.4	1.7	35	35	
190-1	231	IV-T-51	II	直施	直状	直状	—	—	—	—	特-182	182	
190-2	231	IV-S-49	III	直施	直状	直状	—	—	—	—	P-X	105	
190-3	231	IV-S-47	III	直施	直状	直状	—	—	—	—	P-1249	107	
190-4	231	IV-Q-46	III	直施	直状	直状	—	—	—	—	P-106	106	
190-5	231	IV-Q-48	III	直施	直状	直状	—	—	—	—	P-1765	50	
190-6	231	IV-S-47	III	直施	直状	直状	—	—	—	—	P-1765	50	
190-7	231	IV-Q-47	III	直施	直状	直状	—	—	—	—	P-X	54	
190-8	231	IV-Q-45	III	直施	直状	直状	—	—	—	—	P-X	49	
190-9	231	IV-R-41	III	直施	直状	直状	—	—	—	—	P-X	44	
190-10	231	IV-T-48	III	直施	直状	直状	—	—	—	—	特-108	40	
190-11	231	IV-S-48	III	直施	直状	直状	—	—	—	—	P-X	51	
190-12	231	Sec3	IV-R-44	III-8	直施	直状	—	—	—	—	P-X	59	
191-1	231	P101077	IV-T-7	施土	直施	直状	—	—	—	—	特-165	185	
191-2	231	IV-T-34	III	直施	直状	直状	—	—	—	—	特-186	186	
191-3	231	IV-S-35	III	直施	直状	直状	—	—	—	—	特-168	168	
191-4	231	IV-R-59	III	直施	直状	直状	—	—	—	—	特-66	22	
191-5	231	IV-Q-45	III	土玉	星型	星型	25	24	16	5.8	赤彩、50cm近く離れてそれぞれに出土。	特-92	25
191-6	231	IV-T-49	III	土玉	星型	星型	21	21	13	3.4	赤彩	特-234	120
191-7	231	Sec5	IV-R-35	相引	土玉	直直形	20	20.2	13.4	3.8	赤彩	特-52	24
191-8	231	IV-Q-46	III	土玉	直直形	直直形	19	19	17	4.8	赤彩	118	
191-9	231	IV-T-35	III	土玉	直直形	直直形	14.4	16	13.6	2.3	赤彩	特-38	20
191-10	231	IV-O-43	III	土玉	直直形	直直形	17	17	17	1.5	赤彩	42	42
191-11	231	IV-R-43	III	土玉	勾玉	勾玉	15.2	8.7	3.6	0.5	赤彩	特-6	45
191-12	231	IV-R-43	III	土玉	丸玉	丸玉	16.4	10.2	3.8	0.3	赤彩	37	37
191-13	231	Sec3	IV-R-44	III-d	土玉	丸玉	7	7	6	0.3	赤彩	特-8	43
191-14	231	IV-R-43	III	土玉	丸玉	丸玉	7	7	6	0.2	赤彩	—	—

土製品觀察表(3)

図-No.	写真	遺構名	グリッド	層位	分類	部位/形状	長さ (mm)	幅 (mm)	重さ (g)	備 考			取上No.	性別
										横径	縦径	厚さ		
191-15 231	WR-43	III	丸玉	丸玉	7	7	0.3	赤彩	特-7	44				
191-16 231	WR-43	III	土玉	丸玉	6	6	0.2	赤彩	特-10	46				
191-17 231	WR-43	III	土玉	丸玉	6	7	0.2	赤彩	特-9	47				
191-18 231	WR-43	III	土玉	丸玉	8	7	0.3	赤彩	特-9	48				
191-19 232	WR-45	III	赤輪品	楕円形	30	27	7	4.9	特-77	23				
192-1 232	WR-47	III	ニチユア	楕円形	36.1(最高)	36(最高)	4	21.9		38				
192-2 232	SR31	獨立	楕形	楕形	28(最高)	12(118)	4	6.3		94				
192-3 232	WR-49	III	ニチユア	楕形	口吹部	62.4(最高)	56(最高)	4	60.6	P-1633	99			
192-4	WR-49	III	ニチユア	楕形	口吹部	47(最高)	56(最高)	3	11.8		95			
192-5 232	WR-48	III	ニチユア	楕形	口吹部	45(最高)	56(最高)	4	19.5		101			
192-6 (不明)	WR-48	III	ニチユア	楕形	口吹部	11(最高)	15(最高)	—	2.6		109			
192-7 232	WR-31	III	ニチユア	楕形	楕形	29(最高)	52(最高)	4	21.5		201			
192-8	WR-31	III	ニチユア	楕形	楕形	14(最高)	21(118)	4	21.7		203			
192-9	WR-49	III	ニチユア	楕形	口吹部	—	—	4	1.9		100			
192-10 232	WR-37	III	ニチユア	楕形	口吹部	—	—	5	3.4	P-×	60			
192-11 232	WR-49	III	ニチユア	楕形	不明	63	37.5	28.5						
192-12 232	WR-44	III-2	土製品	棒状	54.8	19.4	20.1	13.3	特-12	30				
192-13 232	WR-49	III	土製品	不明	32	46.5	26	19.9		97				
192-14 232	WS-48	III	土製品	不明	37.2	21.4	8	4.1	特-103	39				
192-15 232	WS-48	III	土製品	不明	—	—	5	22.5	P-×	57				
192-16	WS-50	III	土製品	不明	—	—	5	21.8		184				
192-17 欠番	WR-49	III	土製品	不明	—	—	4	1.2	ニチユア	158片				
192-18 232	WR-49	III	土製品	不明	—	—	—	—		98				
193-1 232	WS-49	III	円盤	—	32.2	29.4	7.8	7.9		52				
193-2	WT-47	III	円盤	—	35	33	6	7.5		64				
193-3	WS-49	III	円盤	—	31	29	12	11.6		65				
193-4	WS-45	III	円盤	—	41	40	6	10.1		66				
193-5	WR-49	III	円盤	—	31	35	8	9.9		67				
193-6	WR-48	III	円盤	—	30	33	7	6.1		68				
193-7	WR-46	III	円盤	—	22	24	5	2.9		70				
193-8 232	WS-2	III	円盤	—	26	5	4.3			71				
193-9 232	WR-49	III	円盤	—	23	24	4	2.1		72				
193-10 232	WR-48	III	円盤	—	27	29	5	4		73				
193-11	?	III	円盤	—	31	35	6	6.8		75				
193-12	WN-41	III	円盤	—	35	36	6	8.2		76				
193-13	W ² -38	1	円盤	—	29	31	5	4.7		77				
193-14 232	WR-47	III	円盤	—	31	35	7	7.1		78				
193-15	WS-47	III	円盤	—	37	35	5	8.5		79				
193-16	WN-41	III	円盤	—	31	35	7	8.8		80				
193-17	WO-46	III	円盤	—	30	30	6	5		81				
193-18	WR-49	III	円盤	—	45	47	5	13.9		82				
193-19	WT-49	III	円盤	—	48	46	10	24.1		85				
193-20 232	WO-45	III	円盤	—	49	51	8	23		87				
193-21 232	IV-49	III	円盤	—	51	48	7	19.5		89				

参考図-N₆₀に添付のあるものは、完形品として取った小型土器。

土製品観察表(4)

図-No.	写真	遺構名	グリッド	部位	分類	部位・形状	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	地上%
193-22		IV-T-49	III	円盤	—	32	34	8	8.5			90
193-23	9	IV-T-49	9	円盤	—	37	39	8	11.3			91
193-24		IV-T-49	III	円盤	—	39	46	8	11.9			92
193-25		IV-R-50	III	円盤	—	33	38	6	8.7			106
193-26	7-27-11	IV-S-34	III	円盤	—	26	29	8	5	P-3000の中		170
193-27	IV-S-51	IV盤	III	円盤	—	4	36	7	11.1			172
193-28	IV-S-50	IV盤	III	円盤	—	36	33	4	5.6			173
193-29	IV-A-31	1	円盤	—	30	31	6	6.5				174
193-30	232	IV-T-34	III	円盤	—	23	3	5	4	P-2174		175
193-31		IV-S-50	III	円盤	—	41	43	6	8.8			176
194-1		IV-S-50	III	円盤	—	48	47	7	13.6			177
194-2		IV-T-49	III	円盤	—	35	39	6	8			178
194-3		IV-T-50	III	円盤	—	49	49	7	19.7			180
194-4		IV-S-50	III	円盤	—	34	35	5	7.1			181
194-5		IV-T-35	III	円盤	—	41	48	48	15.4			190
194-6	232	IV-T-34	III	円盤	—	55	47	5	17.1			191
194-7		IV-T-35	III	円盤	—	39	41	7	10.1			194
194-8		IV-T-34	III	円盤	—	27	30	5	5			193
194-9		IV-T-35	III上	円盤	—	46	45	6	11.2			192
写真のみ	232	IV-O-44	III	円盤	—	—	—	—	15.8	P-×		58
写真のみ	232	IV-T-48	III	粘土塊	—	—	—	—	91.5	P-×		208
写真のみ	232	Sec3	IV-S-44	1	粘土塊	—	—	—	4.2			210
写真のみ	232	IV-O-45	III	粘土塊	—	—	—	—	6.6			211
写真のみ	232	IV-R-45	III	粘土塊	—	—	—	—	—			269
写真のみ	232	IV-R-47	III	粘土塊	—	—	—	—	17.6			29
凶示なし		IV-T-47	III	粘土塊	—	—	—	—	13.9			84
凶示なし		IV-R-48	III	ミニチュア器	—	—	—	—	1.4			86
凶示なし		IV-N-45	III	ミニチュア器	—	—	—	—	5.2			102
凶示なし	7-27-11 F	IV-S-34	III	不明	—	—	—	—	14.4	特-230		161
凶示なし		IV-O-47	III	不明	—	—	—	—	8.1			129
凶示なし		IV-T-49	III	円盤	—	—	—	—	9.3			83
凶示なし		IV-T-49	III	円盤	—	—	—	—	9.5			84
凶示なし		IV-T-49	III	円盤	—	—	—	—	2.4			86
凶示なし		IV-T-49	III	円盤	—	—	—	—	18			74
凶示なし		IV-S-35	III-4	円盤	—	—	—	—	8.6			195
凶示なし		IV-S-35	III	円盤	—	—	—	—	16.4			207
凶示なし		IV-S-44	III	円盤	—	—	—	—	5.9			69
凶示なし		IV-R-40	III	円盤	—	—	—	—	18.6			88
凶示なし		IV-R-46	III	円盤	—	—	—	—	15			31
凶示なし		IV-T-34	III	其他の	—	—	—	—	7.7			206
凶示なし		IV-T-35	III	其他の	—	—	—	—	3.6			205
凶示なし		IV-R-46	III	耳飾	—	—	—	—	2.2			204
凶示なし		IV-S-35	III	耳飾	—	—	—	—	2.4	P-×		103

石製品観察表(1)

図-№	写真	出土位置	層位	器種	石 材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備 考	取上 №	整理 №
195-1	233	IV-0-45	III	岩版類	凝灰岩	63	46	10	33.7		P-1272	135
195-2	233	IVM-52	擾乱	岩版類	凝灰岩	51	41	7	12.3			395
195-3	233	IVR-50	III	岩版類	凝灰岩	88.5	66.2	19.7	105.3		特-35	136
195-4	233	IVT-29	I	岩版類	凝灰岩	35	37	6				
195-5	233	IVR-57	III	岩版類	凝灰岩	78.6	65.1	18	99.7		特-104	131
195-6	233	IVS-48	III	岩版類	凝灰岩	146	170	40	970.1	中央部に盲孔	特-70	99
195-7	233	IVR-44	III	岩版類	凝灰岩	31	30	23	24.9	十字の線刻	特-5	134
195-8	233	IVT-51	III	岩版類	安山岩	46	41	11.5	18.7	十字の線刻	特-160	102
195-9	-	IVS-34		岩版類		65	36	28	36.2	下面部に線刻	特-217	339
195-10	233	IVN-45	III	岩版類	安山岩	87.3	61.7	21	123.4	正面放射状の線刻	特-60	101
195-11	233	IV-0-41	III	有孔石製品	ヒスイ	8.5	8.6	6.2	0.8	小玉 片側穿孔	特-17	121
195-12	233	IV-0-39	III	有孔石製品	ヒスイ	9.2	9.2	6.1	0.8	小玉 片側穿孔	特-14	122
195-13	233	IVR-45	III	有孔石製品	緑色凝灰岩	10.8	10.6	9.4	1	小玉 円側穿孔	特-47	118
195-14	233	IVR-46	III	有孔石製品	緑色凝灰岩	11.5	11.7	7.6	0.9	小玉 円側穿孔	特-41	119
195-15	233	IVR-47	III	有孔石製品	緑色凝灰岩	12.2	11.4	5.6	0.8	小玉 円側穿孔	特-48	123
195-16	233	IVQ-41	III	有孔石製品	凝灰岩	12.5	12	3	0.5	小玉 片側穿孔		120
195-17	-	IVS-34	III	有孔石製品		11	9	5	0.5	小玉未成晶？ 盲孔	特-218	340
195-18	233	IVN-44	III	有孔石製品	緑色凝灰岩	25	15	8	3.7	未成品？ 盲孔		144
195-19	233	IVT-34	III	有孔石製品	緑色凝灰岩	2.4	2	1.2		縫入縫		
195-20	-	IV-0-42	III	有孔石製品	緑色凝灰岩	31	26	20	18.8	未成品？ 盲孔		124
195-21	-	IVN-44	II	有孔石製品	緑色凝灰岩	33	22	17	16.5	縫入縫		125
195-22	233	IVT-34 SN-45周辺	床下	有孔石製品	蛭石	60	35	15	3.5	垂飾品 片側穿孔	特-224	342
195-23	233	IV-0-42	III	有孔石製品	蛭石	42	27	14	3.7	垂飾品 片側穿孔		167
195-24	233	IVQ-43	III	有孔石製品	凝灰岩	50.1	38.4	8.7	12.9	破壊面に両側穿孔の貫通孔 側面盲孔に赤彩残る部分有	特-2	137
195-25	233	IV-0-42	III	有孔石製品	粘板岩	53	25	5	10.1	垂飾品？ 両側穿孔		311
195-26	233	IVR-35	III	有孔石製品	凝灰岩	52	35	27	23.3	垂飾品？ 両側穿孔・正面に赤彩	P-×	312
195-27	233	IVQ-37	III	有孔石製品	凝灰岩	47	30	19	13.9	垂飾品？ 両側穿孔		130
195-28	233	IVR-36	III	有孔石製品	粘板岩	34	17	5	3.8	垂飾品 前面研磨 両側穿孔		443
195-29	233	IVT-45	III	有孔石製品	マンガン ノジュール	2.9	2.8	0.8		盲孔(穿孔未達)両側穿孔	マンガ 601	
195-30	233	IVQ-48	III	有孔石製品	凝灰岩	85	42	17	71.8	盲孔(周間に敲打痕)		171
196-1	234	IV-0-42	III	円盤状石製品	凝灰岩	31	29.3	5	7.2	全面研磨	S-37	39
196-2	234	IVQ-53	III	円盤状石製品	緑色凝灰岩	30.2	32.6	8.4	12.5	全面研磨		188
196-3	234	IVQ-41	III	円盤状石製品	凝灰岩	26.8	28	6.2	7	全面研磨		46
196-4	234	IVS-49		円盤状石製品	凝灰岩	35.2	34.8	5	7.5	全面研磨・中央部に浅い盲孔	S-183	42
196-5	234	IV-36 Sec3	III-3	円盤状石製品	凝灰岩	26.2	27.4	7.4	6.1	全面研磨		41
196-6	-	IVN-44	III	円盤状石製品	凝灰岩	56	58	13	51.2	側面研磨		206
196-7	234	IVR-50	III	円盤状石製品	凝灰岩	25	26	11	12.3	棱縫磨耗	特-44	33
196-8	-	IVT-52	III	円盤状石製品	凝灰岩	25	28	10	9.7	棱縫磨耗		36
196-9	234	IVT-49	III	円盤状石製品	凝灰岩	28	27	12	11.1			209
196-10	234	IVR-46	III	円盤状石製品	凝灰岩	32	31	13	18.3			35
196-11	234	IVS-41	III	円盤状石製品	凝灰岩	31	32	10	14.9	棱縫磨耗		208
196-12	-	IVR-50	III	円盤状石製品	凝灰岩	36	37	13	27.9	側面一部磨耗激しい	S-126	16
196-13	-	IVR-44 Sec3	III-8	円盤状石製品	緑色凝灰岩	38	38	12	23.3		S-3	2
196-14	-	IVS-46	III	円盤状石製品	安山岩	36	36	15	29.4			381
196-15	234	IVS-41	III	円盤状石製品	凝灰岩	38	40	12	28.6			156
196-16	-	IVS-52	III	円盤状石製品	凝灰岩	41	41	19	42.6			176
196-17	-	IV-0-47	III	円盤状石製品	緑色凝灰岩	47	45	14	29	側面一部敲打	S-134	21
196-18	234	IVR-46	III	円盤状石製品	凝灰岩	43	45	14	32.8			183
196-19	234	IVR-46	III	円盤状石製品	凝灰岩	54	51	25	92.5			179
196-20	-	IVS-35	III	円盤状石製品	安山岩	45	48	17	56.7			221
196-21	234	IVQ-46	III	円盤状石製品	凝灰岩	46	45	13	30.2	側面一部敲打		202
196-22	-	IVS-38	III	円盤状石製品	安山岩	50	49	19	69.8			210
196-23	-	IV-0-42	III	円盤状石製品	デイサイト	54	51	20	77.2		S-47	26
196-24	-	IVR-46	III	円盤状石製品	凝灰岩	55	52	23	84.9		S-55	10
196-25	-	IVS-52	III	円盤状石製品	泥岩	57	55	19	55.6	黒色物質付着	P-×	391
196-26	234	IVR-42	III	円盤状石製品	デイサイト	51	57	10	35.7	赤色顔料・粘土状物質付着		159
196-27	-	IVQ-46	III	円盤状石製品	デイサイト	57	63	20	85.3		S-107	6

石製品観察表(2)

図-Na	写真	出土位置	層位	器種	石 材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備 考	取上 Na	整理 Na	
196-28	234	IVT-34	III	円盤状石製品	粘板岩	58	60	13	69.1		216		
196-29	—	IVR-46	III	円盤状石製品	凝灰岩	56	60	15	77		S-56	4	
196-30	—	IVS-49	III	円盤状石製品	粗粒玄武岩	65	63	19	85.3		S-144	31	
196-31	—	IVR-46	III	円盤状石製品	安山岩	65	58	36	178.4			174	
196-32	234	IVR-49	III	円盤状石製品	安山岩	55	60	20	118.9	側面一部敲打	S-94	19	
197-1	—	IVS-49	III	円盤状石製品	緑色凝灰岩	75	72	19	142.6		S-183	8	
197-2	—	IVO-43	III	円盤状石製品	デイサイト	79	82	17	141.6			157	
197-3	234	IVV-33	III	円盤状石製品	デイサイト	68	71	18	134.5			141	
197-4	—	IVS-53	III	円盤状石製品	デイサイト	86	84	14	163.4		特-101	20	
197-5	—	IVR-50	III	円盤状石製品	凝灰岩	85	90	32	350		—	34	
197-6	—	IVV-33	III	円盤状石製品	凝灰岩	84	85	20	209.6			386	
197-7	—	IVW-31	III	円盤状石製品	凝灰岩	83	85	13	110.5			375	
197-8	—	IVP-34	II~III	円盤状石製品	凝灰岩	34	36	16	25.2	側面敲打		376	
197-9	—	欠番											
197-10	—	IVW-31	III	円盤状石製品	安山岩	62	68	20	132.9	側面敲打		352	
197-11	—	IVS-49	III	円盤状石製品	安山岩	58	57	29	103.3	側面一部敲打	S-143	14	
197-12	—	IVS-54	III	円盤状石製品	デイサイト	43	45	10	27.6	不整形	S-179	5	
197-13	—	IVR-44	III	円盤状石製品	凝灰岩	45	51	11	32.2	不整形		160	
197-14	—	IVS-49	III	円盤状石製品	安山岩	53	52	16	58.8	不整形	S-129	30	
197-15	—	IVS-49	III	円盤状石製品	安山岩	60	63	16	65.3	不整形	S-148	180	
197-16	—	IVR-50	III	円盤状石製品	凝灰岩	45	50	14	43.2	不整形	S-127	28	
197-17	—	S102	1	円盤状石製品	泥岩	57	55	18	60.6	不整形	S-1	3	
197-18	—	IVT-48	III	円盤状石製品	凝灰岩	88	83	28	311.2	不整形		161	
198-1	234	IVO-45	III	円盤状石製品	凝灰岩	45	44	8	22.1	側縁両面からの剥離		196	
198-2	234	IVO-49	落ち込み	円盤状石製品	デイサイト	56	54	18	75.1	側縁両面からの剥離		164	
198-3	—	IVQ-44	Sec3	II	円盤状石製品	凝灰岩	62	66	14	69.3	側縁両面からの剥離		198
198-4	—	IVR-57	III	円盤状石製品	凝灰岩	62	60	12	57.3	側縁両面からの剥離・黒色物質付着	S-182	32	
198-5	—	IVR-44	Sec3	III-10	円盤状石製品	緑色凝灰岩	82	75	19	141	側縁両面からの剥離・側面一部敲打		17
198-6	234	IVQ-45	III	円盤状石製品	安山岩	89	75	20	174.3	側縁両面からの剥離・側面一部敲打		155	
198-7	—	IVN-44	Sec2	III-7	円盤状石製品	凝灰岩	67	61	20	121.7	側縁両面からの剥離・側面一部敲打		199
198-8	—	IVR-49	III	円盤状石製品	安山岩	68	71	21	148.7	側縁両面からの剥離	S-99	385	
198-9	—	IVQ-53	III	円盤状石製品	緑色凝灰岩	62	62	23	98.6	側縁両面からの剥離	特-105	191	
198-10	234	IVT-54	III	円盤状石製品	デイサイト	66	87	22	213.5	側縁両面からの剥離		152	
198-11	234	IVR-49	III	円盤状石製品	凝灰岩	63	61	19	94.1	側面一部敲打・磨耗、剥離有	S-98	1	
198-12	—	IVR-50	III	円盤状石製品	デイサイト	60	64	20	99.3	剥離有	S-112	7	
198-13	234	IVR-45	III	円盤状石製品	安山岩	80	75	18	150.1	一部分のみ加工		153	
198-14	—	IVQ-49	III	円盤状石製品	安山岩	64	65	22	115.8		S-86	22	
199-1	235	IVO-42	III	石棒	凝灰岩	116	34	38	49.1	正面溝内に赤彩、表面に擦痕	S-58	104	
199-2	235	IVT-44	Sec3	I	石棒	砂岩	92	34	15	63	表面に札縫		103
199-3	235	IVT-49	III	石棒	凝灰岩	56	41	37	83.4		S-161	64	
199-4	235	IVT-47	III	石棒	粘板岩	69	43	39	137.2	彫刻の痕跡	特-96	132	
199-5	235	IVS-35	Sec5	III-7	石棒	粘板岩	278	37	30	473.6	先端部に激光器状の模刻、先端部直下に貫通孔	特-237	245
199-6	235	IVR-37	III	石棒	凝灰岩	113	28	22	126.1	帶状敲打痕・沈線線取り	特-18	66	
199-7	235	IVN-43	III	石棒	粘板岩	92	28	11	28.1	帶状敲打痕・沈線線取りとX字状	S-60	75	
199-8	235	IVT-50	III	石棒	粘板岩質 凝灰岩	196	34	23	283.7		S-171	55	
199-9	—	IVT-50	III	石棒	粘板岩	64	29	22	43.1	X字状丸擦		170	
199-10	235	IVS-51	III	石棒	粘板岩質 凝灰岩	89	24	7	21.8	帶状敲打痕	S-166	46	
199-11	235	IVO-43	III	石棒	粘板岩質 凝灰岩	142	32	22	166.5	破損品の両端部を研磨し再加工	S-72	71	
199-12	235	HS103 2回目	石棒	凝灰岩	104	33	29	170.9		S-3	58		
199-13	—	IVT-53	III	石棒	粘板岩質 凝灰岩	118	35	13	102.2		特-102	61	
199-14	—	IVS-49	III	石棒	粘板岩質 凝灰岩	159	37	17	161		S-95	70	
199-15	235	IVS-47	III	石棒	泥岩質粘板岩	189	33	25	282.1	帶状の擦痕	S-118	69	

石製品観察表(3)

国-№	写真	出土位置	層位	器種	石 材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備 考	取上 №.	整理 №.
199-16	235	IV-0-42	III	石棒	凝灰岩	120	28	22	121.8		57	
200-1	-	IVR-36 IVQ-37 Sec1	III-2	石棒	粘板岩質 凝灰岩	365	38	15	287.5		特-24 S-5 68	
200-2	236	IVV-33	III	石棒	泥岩質粘板岩	202	30	25	277.3	沈線	S-202	243
200-3	235	IVT-50	III	石棒	粘板岩	140	27	18	114.7		S-169	62
200-4	236	IVR-46	III	石棒	凝灰岩	66	42	35	145.9	やや反る	特-61	53
200-5	236	IVW-31	I	石棒	安山岩	248	88	80	2086	表面に敲打痕、西捨場と接合		373
200-6	236	IVO-46	III	石棒	デイサイト	100	78	62	669	表面に擦痕・被熱	S-123	168
201-1	-	IVT-34	III	石棒	粘板岩	291	30	22	310.6	下端部折損後研磨し再加工	S-215	360
201-2	236	IVN-44 Sec2	III-7上面	石劍	粘板岩質 凝灰岩	176	25	19	132.8			84
201-3	236	IVR-33	I	石劍	ホルンフェルス	139	23	17	86.7			91
201-4	236	IVR-48	III	石劍	粘板岩質 凝灰岩	164	30	23	192.1		S-97	54
201-5	-	IVS-44	III	石劍	ホルンフェルス	67	23	20	56.3	沈線		258
201-6	-	IVR-42	III	石劍	粘板岩	127	30	17	116.1	下半柄部に敲打痕残存	S-8	68
201-7	236	IVO-42	III	石劍	ホルンフェルス	95	22	18	46.8		S-59	89
201-8	236	IVS-33	III	石劍	粘板岩	207	24	20	97.9	折損部研磨再加工、下端面磨耗	S-203	244
201-9	236	IVN-39	III	石劍	粘板岩	151	22	18	76.9		特-22	85
201-10	236	IVR-43	III	石劍	粘板岩	198	29	23	196.8	帶状敲打痕、沈線跡取り	特-3	73
201-11	236	IVS-50	III	石劍	ホルンフェルス	265	30	25	339.5	帶状敲打痕、下端面磨耗	S-152	87
201-12	236	IVM-52	I	石劍	泥岩質粘板岩	149	35	23	166.7	帶状敲打痕、下端面磨耗		169
201-13	236	IVS-50	III	石劍	粘板岩	52	17	8	12.1	小型、沈線	特-68	60
202-1	237	IVR-39	III	石刀	凝灰岩	206	61	23	294.9		S-14	109
202-2	237	IVN-45	III	石棒	凝灰岩	134	32	16.5	246.9	擦痕	S-110	59
202-3	237	IVT-49	III	石棒	粘板岩質 凝灰岩	215	32	16.5	73.3	柄部沈線、峰に沈線	S-160	51 266
202-4	237	IVY-53	III	石棒	粘板岩質 凝灰岩	98	36	10	50			267
202-5	237	IVW-31	I	石棒	粘板岩	45	31	7	12.1	柄部に沈線		56
202-6	237	IVO-42	III	石棒	砂岩(古期)	91	32	6	37.1	擦痕		106
202-7	237	IVT-52	III	石棒	粘板岩	208	34	12	104.8	刃部内反り	S-167	94
202-8	-	IVT-48	III	石棒	粘板岩	84	26	12	49.1		S-158	96
202-9	237	IVS-44 Sec3	III-2	石棒	粘板岩	87	32	12	37.4	刃部にまち		92
202-10	237	IVO-44 Sec2	III-1	石棒	粘板岩	167	32	25	195.9		S-2	93
202-11	-	IV-34 プロック8	III	斧状	粘板岩	220	33	14	185.1	剥離整形→研磨	S-226	361
202-12	237	IVS-34 プロック11	III	斧状	粘板岩質 凝灰岩	290	32	21	304.3	黒色物質付着	特-299	242
202-13	-	IVN-43	III	棒状石製品	手	92	16	15	48.5	全面研磨	S-65	116
202-14	-	IVR-42	III	棒状石製品	凝灰岩	38	9.4	9.7	6.4			105
202-15	237	IVS-45	III	石製模倣品	凝灰岩	32	37	16	7.3	容器状、外面に沈線		330
203-1	238	IVQ-46	III	石製模倣品	安山岩	66	68	49	237.5	敲打整形、正面が凹む	S-71	107
203-2	238	IVS-47	III	石製模倣品	凝灰岩	66	56	31	68.8	素材軟質	S-109	108
203-3	238	IVR-35	III F	石製模倣品	粗粒玄武岩	83	72	46	369.7	裏面に敲打痕、正面削ぐ凹む		402
203-4	-	IVS-35	III	石製模倣品	粗粒玄武岩	101	96	27	326	黒色物質付着、下端敲打痕		393
203-5	238	IVV-34	III	石製模倣品	粗粒玄武岩	54	57	27	102.9	表裏面に敲打痕		380
203-6	238	IVT-35	III	石製模倣品	デイサイト	197	61	40	537.3	石槍の模倣品？一部に敲打痕		430
203-7	238	IVT-43	III	石製模倣品	安山岩	95	39	11	42.2	石冠？ 背部に擦痕、表裏面にくぼみと敲打痕		321
203-8	-	IVT-56	I	石製模倣品	凝灰岩	94	92	14	91.8	石槍の模倣品？		394
203-9	238	IVN-44 Sec2	III-1	石製模倣品	凝灰岩	141	86	35	408.5	石槍の模倣品？擦痕		138
203-10	238	IVT-43	III	石製模倣品	凝灰岩	77	155	35	411.6		S-1	100
204-1	239	IVR-49	III	擦痕の見られる 石製品	凝灰岩	84	43	15	57.4	表面研磨	S-90	98
204-2	239	IVS-50	III	擦痕の見られる 石製品	粘板岩	107	18	9	22.4	表面研磨、盲孔	S-153 特-69	65-61
204-3	239	IVM-52	III	擦痕の見られる 石製品	凝灰岩	55	25	17	41.2	表面研磨		441
204-4	239	IVT-56	III 上面	擦痕の見られる 石製品	凝灰岩	77	52	15	71.2	表面研磨・敲打	特-×	193

石製品観察表(4)

図-N _o	写真	出土位置	層位	器種	石 材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重 量 (g)	備 考	取上 N _o	整理 N _o
204-5	-	IVQ-43	III	螺旋の見られる 石製品	凝灰岩	30	24	24	8.1	上下端面に凹み	S-20	133
204-6	-	IVP-42	III	螺旋の見られる 石製品	瑪瑙	34	32	18	29	側面に敲打痕	S-49	115
204-7	239	IVO-53	III	螺旋の見られる 石製品	緑色凝灰岩	111	72	16	152.7	全面研磨		151
204-8	-	IVQ-45	III	螺旋の見られる 石製品	緑色岩	123	48	25	2.8	全面研磨、凝灰岩	S-162	277
204-9	239	IVQ-46	III	螺旋の見られる 石製品	凝灰岩	80	73	19	148.9	表面研磨		97
204-10	239	IVS-34	II	螺旋の見られる 石製品	凝灰岩	79	62	18	104.3	表面研磨		396
204-11	239	IVS-34	III	螺旋の見られる 石製品	凝灰岩	137	73	31	335.8	正面に縦刻?	特-219	337
204-12	239	IVR-46	III	螺旋の見られる 石製品	凝灰岩	163	109	25	395.7	正面中央部磨耗		173
204-13	239	IVT-53	III	螺旋の見られる 石製品	凝灰岩	134	117	42	480	一部研磨	特-88	187
204-14	239	IVR-43	III	自然縫利用	凝灰岩	55	54	37	96.2	自然に孔の開いた縫	S-157	110
204-15	239	IVS-35	I	自然縫利用	凝灰岩	60	51	18	64.2	自然に孔の開いた縫		336
報告なし	-	IVN-43	III	円盤	緑色凝灰岩				60.7		S-83	9
報告なし	-	IVQ-40	III	円盤	凝灰岩				17		P-×	11
報告なし	-	IVN-45 Sec2	III-1	円盤	閃綠岩				112.2			12
報告なし	-	IVR-50	III	円盤	泥岩				44		特-39	13
報告なし	-	IVQ-45	III	円盤	泥岩				43.8			15
報告なし	-	IVT-31	III	円盤	凝灰岩				101.8			18
報告なし	-	IVW-32	III	円盤	緑色凝灰岩				143.6			23
報告なし	-	IVR-50	III	円盤	凝灰岩				212.4		S-135	24
報告なし	-	IVT-52	III	円盤	凝灰岩				9.2			25
報告なし	-	IVS-54	III	円盤	粗粒玄武岩	48	52	14	37		S-180	27
報告なし	-	IVS-49	III	円盤	安山岩				7			29
報告なし	-	IVR-46	III	円盤	凝灰岩				37.9		-	37
報告なし	-	IVT-31	I	円盤	シルト				1.1			38
報告なし	-	IVS-47	III	石棒類	粗粒玄武岩				191.7	自然石だろう	S-106	44
報告なし	-	IVS-48	III	石棒類	粗粒玄武岩				65	自然石だろう	S-131	45
報告なし	-	IVQ-39	III	石棒類	粘板岩質 凝灰岩				11.1			47
報告なし	-	IVQ-37	III	石棒類	粘板岩				5.5			48
報告なし	-	IVR-36 Sec1	III-3	石棒類	粘板岩				32.8			49
報告なし	-	IVQ-42	II	石棒類	—				90.2			50
報告なし	-	IVQ-41	III	石棒	粘板岩				144.2	No. 143と接合	特-15	52
報告なし	-	IVQ-45	III	石棒	角閃石				25.3	接合しない 同一個体 破片2点	S-115	63
報告なし	-	IVQ-41	III	石棒	粘板岩質 凝灰岩				87.2		S-29	72
報告なし	-	IVQ-47	III	石棒	粘板岩				121	No. 248と接合	S-105	74
報告なし	-	IVQ-43	III	石棒	粘板岩				14.9		S-77	76
報告なし	-	IVQ-42	III	石棒	粘板岩質 凝灰岩				27.1		S-57	77
報告なし	-	IVS-48	III	石棒	粘板岩質 凝灰岩				57.5		S-176	78
報告なし	-	IVT-46	III	石棒	粘板岩質 凝灰岩				174.7		S-80	79
報告なし	-	IVS-45	III	石棒	粘板岩				74.7		S-129	80
報告なし	-	IVR-45	III	石劍	粘板岩				58.1	写真是S054になっている	特-34	81
報告なし	-	IVQ-45	II	石劍	粘板岩				26.8			82
報告なし	-	IVQ-34	III	石劍	粘板岩				7.8			83
報告なし	-	IVS-43	III	石劍	粘板岩				37.1	写真是S058になっている	S-15	86
報告なし	-	IVN-45	III	石劍	粘板岩質 凝灰岩				—	No. 84と接合		90
報告なし	-	IVS-43	III	石劍	粘板岩				32.6			95
報告なし	-	IVN-44	III	搬入鍬	玉鮎				33.2			111
報告なし	-	IVN-41	III	搬入鍬	水晶				0.2			112
報告なし	-	IVR-33	I	搬入鍬	水晶				1.1			113

石製品観察表(5)

図-Na	写真	出土位置	層位	器種	石 材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備 考	取上 No.	整理 No.
報告なし	-	IVR-46	III	搬入縫	珪化木				120.9		114	
報告なし	-	IVN-44 Sec2	III-1	搬入縫	安山岩				76.1		117	
報告なし	-	IVR-48	III	搬入縫	緑色凝灰岩				0.9		S-133	126
報告なし	-	IVN-44	III	搬入縫	緑色凝灰岩				0.5		127	
報告なし	-	IVR-48	III	搬入縫	緑色凝灰岩				0.6		特-56	128
報告なし	-	IVR-48	III	搬入縫	緑色凝灰岩				1.3		特-55	129
報告なし	-	IVV-38	I	搬入縫	カルセドニー				53.6		139	
報告なし	-	IVS-44	III	円盤打次	泥岩				129.9		140	
報告なし	-	IVS-37	III	不明	凝灰岩				95.4		142	
報告なし	-	IVS-48	III	石劍					-	No. 52と接合	S-168	143
報告なし	-	IVQ-38	III-4	石劍	粘板岩				49.8		145	
報告なし	-	IVQ-36	III	石劍	粘板岩				-	No. 50と同一接合	146	
報告なし	-	-	表様	円盤	凝灰岩				208.1		147	
報告なし	-	IVQ-57	III	円盤	安山岩	51	50	22	103		148	
報告なし	-	IVP-53	III	円盤	泥岩				110.2		149	
報告なし	-	IVQ-57	III	円盤	泥岩				102.1		150	
報告なし	-	IVQ-43	III	円盤	泥岩	65	76	20	144.1		154	
報告なし	-	S102	I	円盤	凝灰岩	53	56	13	53.9		158	
報告なし	-	-	拂土	円盤	安山岩				182.1		162	
報告なし	-	IVT-47	III下部	円盤	花崗閃緑岩				149.7		163	
報告なし	-	IVQ-49	落ち込み	円盤	安山岩				119.9		165	
報告なし	-	IVQ-44	III	石劍	粘板岩				47		166	
報告なし	-	IVQ-45	岩版(三角形)	円盤	凝灰岩	120	125	23	356.8		172	
報告なし	-	IVQ-48	III	円盤	緑色凝灰岩				55.8		175	
報告なし	-	IVT-50	III	円盤	流紋岩				255.1		177	
報告なし	-	IVT-52	III	円盤	安山岩				214.8		178	
報告なし	-	IVS-49	III	円盤	安山岩				89.7		S-147	181
報告なし	-	IVR-46	III	円盤	閃綠岩				183.8		182	
報告なし	-	IVR-46	III	円盤	安山岩				118.3		184	
報告なし	-	IVT-49	III	円盤	花崗閃緑岩				44.6		185	
報告なし	-	IVN-45 Sec2	III-1	石劍	粘板岩				11.6		186	
報告なし	-	IVN-54	III	円盤	花崗閃緑岩				27.1		特-×	189
報告なし	-	IVT-48	III	石劍	粘板岩				36.8		特-107	190
報告なし	-	IVQ-30	I	円盤	泥岩				20.3		特-×	192
報告なし	-	IVS-44 Sec3	I	円盤	安山岩				41.9		194	
報告なし	-	IVQ-44	III	円盤	凝灰岩				11.8		195	
報告なし	-	IVN-46	III	円盤	ホルンフェルス				63.7		197	
報告なし	-	IVQ-45	I	円盤	—				6.2		200	
報告なし	-	IVR-45	III	円盤	凝灰岩				33.6	自然石かも	201	
報告なし	-	IVT-50	III	円盤	凝灰岩				46.9		203	
報告なし	-	IVQ-45	III	円盤状石製品	玄武岩				112.8		204	
報告なし	-	IVP-45	III	円盤状石製品	凝灰岩				26.8		205	
報告なし	-	IVR-51	II	円盤	泥岩				73.4		207	
報告なし	-	IVS-38	III	円盤	凝灰岩				30.4		211	
報告なし	-	IVQ-41	III	円盤	凝灰岩				14.7		212	
報告なし	-	IVT-29	I	円盤	泥岩				81.9		213	
報告なし	-	IVR-41	III	円盤	凝灰岩				10.7		214	
報告なし	-	IVT-29	I	円盤状石製品	凝灰岩				7.9		215	
報告なし	-	IVU-52	板III	円盤状石製品	凝灰岩				91		218	
報告なし	-	IVT-36	III	円盤状石製品	泥岩				110.8		219	
報告なし	-	IVU-55 Sec4	I	円盤状石製品	凝灰岩				79.1		220	
報告なし	-	IVW-33	III	円盤	花崗閃緑岩				149.2		227	
報告なし	-	IVU-52 ブロック2	ブク土	円盤	緑色凝灰岩	34	34	9	14.7		229	
報告なし	-	-	拂土	円盤状石製品	安山岩				67.8	未製品	235	
報告なし	-	-	表様	石棒	—				-	No. 74と接合	248	
報告なし	-	IVU-34	III	石棒	—				30.9		S-209	249
報告なし	-	IVV-34	III	石棒	—				18.9		S-23	250
報告なし	-	IVU-33	III	石棒	—				52.8		S-220	252
報告なし	-	IVV-31	I	石棒	—				27		253	

石製品観察表(6)

図-Na	写真	出土位置	層位	器種	石 材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備 考	取上 No.	整理 No.
報告なし	-	IVS-34 Sec5	III-3	石棒	-				131.1		S-249	254
報告なし	-	IVS-35	III	石棒	-				10.6			256
報告なし	-	IVR-44	III	石棒	-				17.3			257
報告なし	-	IVR-44	III	石棒	-				6.6			259
報告なし	-	IVQ-44	III	石棒	粘板岩				42.8			260
報告なし	-	IVN-46	III	石棒	-				34.6			261
報告なし	-	IVT-46	III	石棒	-				11.5			262
報告なし	-	旧SI03	フク土	石棒	-				63.5	No. 264と接合	S-1	263
報告なし	-	IVR-42	III	石棒	-				-	No. 263と接合		264
報告なし	-	IVR-47	II	石棒	-				15.8			265
報告なし	-	IVO-42	III	玉類	緑色石				1			276
報告なし	-	IVO-42	III	玉類	緑色石				1.3			278
報告なし	-	IVN-46	III	玉類	緑色石				11.1			279
報告なし	-	IVO-41	III	玉類	-				15.7			280
報告なし	-	IVO-40	III	玉類	-				4.8			281
報告なし	-	IVM-46	III	玉類	-				17.4			282
報告なし	-	IVM-42	III	その他	-				40.3			313
報告なし	-	IVO-42	III	その他	-				14.4			314
報告なし	-	IVR-44	I	その他	-				17.9			315
報告なし	-	IVV-44	I	その他	-				6.6			316
報告なし	-	IVY-44	I	その他	-				1.1			317
報告なし	-	IVR-44	I	その他	-				3.3			318
報告なし	-	IVR-44	I	その他	-				1.7			319
報告なし	-	IVN-42	III	その他	-				14.1			320
報告なし	-	IVV-44	I	その他	-				7			322
報告なし	-	IVR-44	III	その他	-				1.4			323
報告なし	-	IVR-45	III	その他	-				58.8			324
報告なし	-	IVS-48	III	その他	-				5.7			325
報告なし	-	IVT-49	III	その他	-				6.2			326
報告なし	-	IVP-41	III	その他	-				8.4			327
報告なし	-	IVO-41	III	その他	-				9.9			328
報告なし	-	IVT-49	III	その他	-				5			329
報告なし	-	IVV-39	I	その他	凝灰岩	27	15	9	3			332
報告なし	-	排土	その他	-					124.7			334
報告なし	-	IVU-54	仮III下	その他	-				4.4			335
報告なし	-	IVU-54	仮III2	その他	粗粒玄武岩	91	57	23	144.4			338
報告なし	-	IVU-55	I	その他	凝灰岩	19	26	18	5.5			341
報告なし	-	IVS-39	II	その他	-				5.3			特-×
報告なし	-	IVU-54	仮III	その他	ホルンフェルス	44	6	6	2.4			347
報告なし	-	IVU-54	仮III下	その他	-				1.4			348
報告なし	-	IVS-34	III	その他	-				69.7			350
報告なし	-	IVU-56	仮III1	その他	-				0.7			特-229
報告なし	-	Sec4	-	その他	-							351
報告なし	-	IVW-31	III	円盤	-				78.2			354
報告なし	-	IVW-31	III	石棒	-				95.7			356
報告なし	-	IVT-33	III	石棒	-				150.5			S-214
報告なし	-	IVU-35	III	石棒	-				22.8			359
報告なし	-	IVS-30	III	石棒	-				89			363
報告なし	-	IVS-30	III	石棒	-				23			364
報告なし	-	IVV-30	I	石棒	-				14.6			365
報告なし	-	IVU-30	III	石棒	-				76.4			366
報告なし	-	IVU-29	III	石棒	-				-	No. 366と接合		367
報告なし	-	IVU-30	III	石棒	-				-	No. 366と接合		368
報告なし	-	IVT-35	III	石製品	-				52.8			369
報告なし	-	IVV-33	III	石製品	-				18.2			370
報告なし	-	IVS-47	II	石製品素材?	-				6.9			371
報告なし	-	IVV-31	III	石製品	-				4.2			372
報告なし	-	IVS-32	III	石棒	-				376.9			374
報告なし	-	IVT-53	III	石製品	安山岩				10.9			377
報告なし	-	IVU-32	I	石製品	緑色凝灰岩				7			378
報告なし	-	IVT-56	III	石製品	泥岩				57			379
報告なし	-	IVV-30	I	石製品	凝灰岩				15.4			382
報告なし	-	IVW-31	III	石製品	泥岩				61.7			383

石製品観察表(7)

図-Na	写真	出土位置	層位	器種	石 材	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g.)	備 考	取上 No.	整理 No.
報告なし	—	IVS-35	III下	珪化木	60	61	24	116.5			384	
報告なし	—	IVR-46	III	円盤状石製品	泥岩				19.5		387	
報告なし	—	IVQ-53	III	石製品	凝灰岩				15.1		388	
報告なし	—	IVT-47	III	石製品	安山岩				82.1		389	
報告なし	—	IVP-52	I	石製品	凝灰岩				168.9		390	
報告なし	—	IVS-49	III	石製品	安山岩				101.8		392	
報告なし	—	IVS-48	III	石製品	緑色凝灰岩				5.6		397	
報告なし	—	IVU-30	I	石製品	粘板岩				2.5		398	
報告なし	—	IVT-33	III		緑色凝灰岩				61.3		399	
報告なし	—	IVS-48	III	石製品素材	緑色凝灰岩				24.5		400	
報告なし	—	IVR-32	III		凝灰岩				93.5		401	
報告なし	—		III	石製品	—				17.7		403	
報告なし	—		III	石製品	—				51.4		404	
報告なし	—		III	石製品素材?	—				57.5		405	
報告なし	—	ブロック9	III		—				170		406	
報告なし	—		III		—				15.7		407	
報告なし	—		III	石製品	—				4.1		408	
報告なし	—		I	石製品	—				19.1		409	
報告なし	—		III	石製品	—				6.8	p-×	410	
報告なし	—			石製品	—				60.5	p-×	411	
報告なし	—		III		—				76		412	
報告なし	—		III	石製品	—				240.5		413	
報告なし	—		III		—				13.1		414	
報告なし	—		III	石製品	—				37.7		415	
報告なし	—	不明	不明	石製品	—				16		不明	416
報告なし	—	IVQ-59	I	石製品	—				6.1		417	
報告なし	—	IVQ-58	III		—				18.5		418	
報告なし	—	IVU-33	III	石製品	—				77.1		419	
報告なし	—	IVM-52		石製品	—				16.7		420	
報告なし	—	IVS-52	III	石製品	—				15.1	p-×	421	
報告なし	—	IVQ-56	III	石製品	—				13.5	p-×	422	
報告なし	—	IVS-33	III	石製品素材?	—				90.1		423	
報告なし	—	IVS-35	III	石製品?	—				155.6		424	
報告なし	—	IVT-53	III		—				42.3		425	
報告なし	—	IVU-33	III	石製品	—				119.5		426	
報告なし	—	IVU-34	III	石製品	—				230.9		427	
報告なし	—	IVU-28	I	石製品	—				5.7		428	
報告なし	—	IVU-33	III		—				49.5		429	
報告なし	—	IVS-35	III	円盤状素材	—				48.9		431	
報告なし	—	IVS-35	III	石製品素材?	—				31		432	
報告なし	—	IVT-48	III	石製品素材?	—				114.5		433	
報告なし	—	IVQ-54	III	石製品	—				53		434	
報告なし	—	IVV-34	III	石製品	—				956.4		435	
報告なし	—	IVR-48	III	石製品	—				10.1		436	
報告なし	—	—	表採	石棒破片	—				25.1	—	437	
報告なし	—	IVP-45	III		—				91.5		438	
報告なし	—	IVT-50	III	円盤状石製品	凝灰岩				28.2		439	
報告なし	—	IVT-48	III	石皿破片	凝灰岩				14.5		440	
報告なし	—	IVR-50	III	石製品	—				3.5		442	
報告なし	—	IVS-50	III		—						444	
報告なし	—	IVT-50	III		凝灰岩						445	
報告なし	—	IVS-49	III		安山岩						446	
報告なし	—	IVU-30	I		凝灰岩						447	
報告なし	—	IVT-29	I		凝灰岩						448	
報告なし	—	IVR-47	III		凝灰岩						449	
報告なし	—	IVQ-44	III		安山岩						450	
報告なし	—	IVQ-55	III		凝灰岩						451	
報告なし	—	IVR-49	III		緑色凝灰岩						452	

漆製品観察表

図-N _o	写真	出土位置	層 位	器 種	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	備 考	取上N _o	整理 N _o
205-1	240	IVR-43	III	堅桶	7	19	8		特-16	J-8
205-2	240	IVR-43	III	堅桶	14	51	19		特-4	J-1
205-3	240	IVR-47	III	堅桶	16	27	19		特-47	J-11
205-4	240	IVU-34	III	籠胎漆器	—	—	—			J-26
写真のみ	240	IVQ-36 Sec1	III-2	不明	—	—	—		Sec1 特-1	J-5
写真のみ	240	IVQ-36 Sec1	III-2	不明	—	—	—	籠胎漆器?	Sec1 特-2	J-9
写真のみ	240	IVQ-37	III	堅桶	—	—	—		特-1	J-7
写真のみ	240	IVQ-44	III	堅桶	—	—	—		特-42	J-6
写真のみ	240	IVQ-44	III	不明	—	—	—	鐵錐痕みられる。	特-83	J-12
写真のみ	240	IVR-36 Sec1	III-2	不明	—	—	—	籠胎漆器?	特-23	J-10
写真のみ	240	IVR-37	III	堅桶	—	—	—		特-19	J-3
写真のみ	240	IVT-50	III	堅桶	—	—	—		特-95	J-4
写真のみ	240	IVT-50	III	不明	—	—	—	鐵錐痕みられる。	特-87	J-13
写真のみ	240	IVS-35 Sec5	III-8	堅桶	—	—	—			特-238
図示なし		IV0-39	III	不明	—	—	—	堅桶?	特-20	J-17
図示なし		IVQ-36 Sec1	III-2	不明	—	—	—		特-4	J-16
図示なし		IVQ-44	III	不明	—	—	—	堅桶?	特-86	J-22
図示なし		IVQ-45	III	不明	—	—	—		特-89	J-14
図示なし		IVQ-45	III	不明	—	—	—		特-3	J-19
図示なし		IVR-36 Sec1	III-3	不明	—	—	—		特-31	J-18
図示なし		IVR-44 Sec3	III-5-d	不明	—	—	—		特-113	J-25
図示なし		IVR-47	III	不明	—	—	—		特-62	J-21
図示なし		IVR-48	III	不明	—	—	—		特-61	J-20
写真のみ	240	IVS-47	III	不明	—	—	—		特-65	J-2
図示なし		IVS-49	III	不明	—	—	—		特-99	J-24
図示なし		IVT-50	III	不明	—	—	—		特-98	J-23

アスファルト関連遺物観察表

図-N _o	写真	出土位置	層 位	器 種	重量 (g)	備 考	取上N _o	整理 N _o
205-5	241	IVS-49	III	土器内面付着	30.4	P-1796處・注口の底部に付着		A1
205-6	241	IVS-50	III	土器内面付着	41.9			土183
205-7	241	IVP-42	III	土器内面付着	6.6			特-29 A2
205-8	241	IVR-42	III	アスファルト塊	78.4			特-13 A5
205-9	241	IVU-33	III	アスファルト塊	1.5			A4
205-10	241	IVQ-48	III	アスファルト塊	3.8			A3
205-11	241	IVR-36 Sec1	III-3	アスファルト塊	76.9			特-32 A6
写真のみ	241	IVR-35	III	アスファルト塊	2.7	P-1834より下から出土		A7
写真のみ	241	IVR-51	II	アスファルト塊	1.0		C-×	A8
写真のみ	241	IVR-48	III	土器内面付着	26.6	土器の底部に付着		A9

弥生土器観察表

図-N _o	写真	出土位置	層 位	器 種	時期	特 徴	取上N _o	整理 N _o
206-1	242	IVS-44 Sec3	II	甕・壺・鉢	不明	外面部縦帶・無文頸部、2条の横走沈線。横走沈線に粘土粒被さる。 内面は3条の凹線、繩文(L.RかR.Lか不明)。復元口径20.7cm。		弥生1

土師器観察表

図-N _o	写真	出土位置	層 位	器 種	時期	特 徴	取上N _o	整理 N _o
206-2	242	IVS-49	II	甕	10世紀 代	ロクロ 口縁部 大きく端反る 外面段状のロクロ目 灰白～灰黄色 横成直壁 砂粒と前面骨針含む		土師器 1

陶磁器観察表

写真-Na	出土位置	層位	種別	器種	時期	产地	文様など	整理Na
写真242-1	IVP-49	I	磁器	皿類	肥前IV期	肥前	人物文か	陶磁器002
写真242-2	IVW-40	I	磁器	皿類	肥前IV期	肥前	内面見込み蛇目軸刺 外面高台付近露胎	陶磁器001
写真242-3	IVW-48	I	磁器	皿類	肥前IV期	肥前	内外面唐草文	陶磁器027
写真242-4	IVP-51	I	磁器	碗類	肥前IV期	肥前	内面一重網目文 外面二重網目文	陶磁器069
写真242-5	IVU-55	I	磁器	碗類	肥前IV期	肥前	内面四方博文か 外面青磁輪	陶磁器072-a
写真242-6	IVY-34	I	磁器	瓶類	肥前IV期	肥前	内面露胎	陶磁器071
写真242-7	IVQ-30	I	磁器	碗類	19世紀中葉	瀬戸	内外面染付	陶磁器2005-a
写真242-8	排土	磁器	碗類	19世紀中葉	瀬戸	内外面染付	陶磁器2031	
写真242-9	IVT-39	I	磁器	碗類	19世紀中葉	瀬戸	内外面染付	陶磁器2054
写真242-10	IVT-29	I	磁器	碗類	19世紀中葉	瀬戸	内外面染付 口唇部口鉗	陶磁器2074
写真242-11	IVU-55	I	磁器	瓶類	19世紀中葉	瀬戸	赤が主体 一部に青あり	陶磁器2081-a
写真242-12	IVU-30	I	磁器	皿類	19世紀後葉以降	不明	擂繪 外底面蛇目軸刺	陶磁器2041
写真242-13	IVU-30	I	磁器	碗類	19世紀後葉以降	不明	擂繪	陶磁器2052
写真242-14	IVU-30	I	磁器	瓶類	19世紀後葉以降	不明	擂繪 内面無輪 外底面無輪	陶磁器2049
写真242-15	IVU-55	I	磁器	皿類	19世紀後葉以降か	不明	内面鉄輪 内外面貫入	陶磁器075
写真242-16	IVU-54	I	陶器	碗類か	19世紀中葉以降か	不明	外底面鉄輪と白滿輪 内面白滿輪	陶磁器077-a
写真242-17	IVU-30	I	陶器	瓶類か	19世紀中葉以降か	不明	内外面灰輪	陶磁器062-a
写真242-18	IVT-54	I	陶器	鉢類	肥前IV期	肥前	鉢類(擂鉢)	陶磁器068
写真242-19	IVT-29	I	陶器	鉢類	19世紀中葉	瀬戸	鉢類(擂鉢) 内外面鉄塗	陶磁器2060-a
写真242-20	IVS-32	I	陶器	碗類か	19世紀中葉以降か	不明	内外面灰輪、貫入	陶磁器2039-a
写真242-21	IVW-34	I	陶器	瓶類か	19世紀中葉以降か	不明	外面一部に灰輪? 外底面回転系切痕	陶磁器022
写真242-22	IVY-40	I	陶器	鉢類	19世紀中葉	瀬戸	鉢類(片口鉢か) 内外面灰輪	陶磁器016
写真242-23	IVT-34	I	陶器	鉢類	19世紀中葉	瀬戸	鉢類(片口鉢か) 内外面灰輪	陶磁器067
写真242-24	IVP-44	I	陶器	盃類か	肥前IV期か	肥前か	内面鉄輪 外面熱弾打	陶磁器037
写真242-25	IVW-45	I	陶器	鉢類	19世紀中葉以降か	不明	内外面鉄輪 外面鉄輪掛付	陶磁器2040
写真242-26	IVU-55	I	陶器	瓶類か	19世紀中葉以降か	不明	内外面灰輪	陶磁器2064
写真242-27	IVU-30	I	土器	罐炉	19世紀中葉頃か	不明	出窓あり 舟カマド形	陶磁器061-a
写真242-28	IVU-30	I	土器	罐炉	19世紀中葉頃か	不明	出窓あり 舟カマド形	陶磁器2059-a

報 告 書 抄 錄

ふりがな	かわらたい (I) いせきに						
書名	川原平(I)遺跡 II						
副書名	津軽ダム建設事業に伴う遺跡発掘調査報告書						
シリーズ名	青森県埋蔵文化財調査報告書						
シリーズ番号	第564集						
編著者	岡本洋 笠森一朗 斎藤岳 木村高 岩山昇 高橋哲 茅野嘉雄 岩井美香子 佐々木雅裕						
編集機関	青森県埋蔵文化財調査センター						
所在地	〒038-0042 青森県青森市大字新城字天田内152-15 TEL 017-788-5701 FAX 017-788-5702						
発行機関	青森県教育委員会						
発行年月日	西暦 2016年 3月 25日						
所取遺跡名	所取在地	コード	世界測地系(JGD2000)	調査期間	調査面積	調査原因	
川原平(I)遺跡	青森県津軽郡西目屋村大字川原平字福岡地内	市町村 02343	遺跡番号 343009	北緯 40° 31° 35°	東経 140° 13° 31°	20110511 /20111028 20130507 /20131114	4,250m ² (報告範囲) 記録保存調査
所取遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項		
川原平(I)遺跡	集落 調査	弥生	建物跡 土坑 石棺状配石 配石遺構 土器埋設遺構	6棟 42基 3基 15基 5基	調文土器(前期～晩期) 石器 土製品 石製品 漆製品 アスファルト 発成粘土塊 鉢物(マンゴンジュール) 赤色顔料原礦	・後期後葉～晩期後葉にかけての大規模な集落跡で、遺物が大量に出土。 ・石棺状配石はいわゆる石棺墓と同じ構造であるが、後期末葉頃に構築されたものである。 ・塗付土器後半(青森県史による後期7-4期)～晩期初頭(晩期1a期)の土器が主とあって出土している。 ・人面付土器が複数個体出土している。	
要約	<p>川原平(I)遺跡は西目屋村役場から南西約9kmに位置し、岩木川右岸の河段丘上に立地する。本報告は川原平(I)遺跡に関する2番目の報告書である。今回の報告範囲は、2011年度本調査範囲全てと、2013年度本調査範囲の一部である。また、両年度ともに青森県埋蔵文化財調査報告書第409集として刊行された2003年度本調査区域も含まれており、当年度確認されたまで未精査だった遺構も2013年度に精査が終了し、今回の報告となっている。</p> <p>本報告の対象となった出土遺物は、段ボール箱にして土器・土製品が724点、石器・石製品が404点、漆製品が3箱の合計1,131箱である。遺物のほとんどは繩文時代後期後葉～晩期後葉の遺物である。</p> <p>本遺跡から出土された調査部の集落は後期葉(青森県史による後期7-4期)～晩期後葉(晩期1a期)にかけて継続して営まれており、津軽ダム建設予定地における該期の拠点的な集落と考えられる。今回の報告範囲は遺物出土量に対して建物跡の検出数が多く、居住域に隣接した「捨て場」であると考えられ、居住域の主体は今回報告範囲の北側に広がる。捨て場に重要なように土器埋設・配石遺構・土器埋設遺構が検出されている。土器埋設遺構の検出数は、これまでに調査された青森県内の櫻井遺跡では最多である。また、いかにも石棺墓と類似した遺構が3基検出され、これらは構築時期が後期末葉頃と確定したのは特筆される成果である。石棺墓は青森県内で多数検出されているが、構築時期は中期末葉～後期前葉であり本遺跡とは時期が異なる。また、該期の石棺墓は改葬を前座とした一次葬施設と考えられているのに対し、本遺跡の石棺墓類似遺構は内部が埋め戻されている点で異なり、人骨も出土しないため墓と断定することができず。石棺状配石は報告した。秋田県大船山矢石館遺跡では晩期の組石瓶が報告されており、本遺跡の石棺瓶も含まれる。</p> <p>大量に出土した後期後葉～晩期後葉の遺物のなかでも、後期7-4期～晩期1a期の土器はこれまで青森県内でまとめて出土することが稀であったため、本遺跡出土資料は今後土器編年基準としての役割を果たすものと考えられる。該期の土器付着化物25点については放射性炭素年代測定を実施しており、晚期開始年代を3000yrBP頃とする見通しが得られた。人面付土器も複数出土しており、その中には精巧に作られた注口土器も含まれる。</p> <p>なお、川原平(I)遺跡の発掘調査は2015年8月に完了し、今後数冊の報告書が刊行される予定である。また、放射性炭素年代測定を含め、今回報告範囲に係る自然科学分析の詳細な結果は本書には収録しておらず、今後刊行される報告書にまとめて掲載する予定である。</p>						

青森県埋蔵文化財調査報告書 第564集

川原平(1)遺跡 II

一津軽ダム建設事業に伴う道路発掘調査報告～
(第1分冊)

発行年月日 2016年3月25日
発 行 青森県教育委員会
編 集 青森県埋蔵文化財調査センター
〒038-0042 青森県青森市大字新城字天田内152番15
TEL (017)788-5701 FAX (017)788-5702
印 刷 ワタナベサービス株式会社
〒030-0803 青森県青森市安方二丁目17-3
TEL (017)777-1388 FAX (017)735-5982
